2021
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学　生涯スポーツ学部　3年次

HOKUSHO UNIVERSITY
School of lifelong sport

令和３年度　北翔大学・北翔大学短期大学部　学事日程

月		火		水		木		金		土		日		備考
						4／1		4／2		4／3		4／4		
4／5		4／6	在学生 オリエンテーション	4／7	入学式	4／8	オリエンテーション	4／9	オリエンテーション	4／10		4／11		教科書Web販売（～４月下旬）
4／12	①	4／13	①	4／14	①	4／15	①	4／16	①	4／17		4／18		教育学科養護教諭コース３年次 養護実習：４/13～５/７
4／19	②	4／20	②	4／21	②	4／22	②	4／23	②	4／24		4／25		
4／26	③	4／27	③	4／28	③	4／29	昭和の日	4／30	7/22の振替休日	5／1		5／2		
5／3	憲法記念日	5／4	みどりの日	5／5	こどもの日	5／6	③	5／7	③	5／8		5／9		スポーツ教育学科・教育学科音楽コース・芸術学科４年次 教育実習Ⅰ・Ⅱ（中・高）　５月～10月
5／10	④	5／11	④	5／12	④	5／13	④	5／14	④	5／15		5／16		
5／17	⑤	5／18	⑤	5／19	⑤	5／20	⑤	5／21	⑤	5／22		5／23		こども学科２年次 教育実習：５/17～６/４
5／24	⑥	5／25	⑥	5／26	⑥	5／27	⑥	5／28	⑥	5／29		5／30		
5／31	⑦	6／1	⑦	6／2	⑦	6／3	⑦	6／4	⑦	6／5		6／6		
6／7	⑧	6／8	⑧	6／9	⑧	6／10	⑧	6／11	⑧	6／12		6／13		
6／14	⑨	6／15	⑨	6／16	⑨	6／17	⑨	6／18	⑨	6／19		6／20		
6／21	⑩	6／22	⑩	6／23	⑩	6／24	⑩	6／25	⑩	6／26		6／27		健康福祉学科（介護）２年次 介護基礎実習：６月下旬
6／28	⑪	6／29	⑪	6／30	⑪	7／1	⑪	7／2	⑪	7／3		7／4		教育学科養護教諭コース２年次 看護学臨床実習：７月～９月
7／5	⑫	7／6	⑫	7／7	⑫	7／8	⑫	7／9	⑫	7／10		7／11		
7／12	⑬	7／13	⑬	7／14	⑬	7／15	⑬	7／16	⑬	7／17		7／18		
7／19	⑭	7／20	⑭	7／21	⑭	7／22	⑭海の日	7／23	⑭スポーツの日	7／24		7／25		
7／26	⑮	7／27	⑮	7／28	⑮	7／29	⑮	7／30	⑮	7／31		8／1		こども学科２年次 保育実習Ⅰ・Ⅱ（保育所）：８月～９月
8／2	補講・試験日（月）	8／3	補講・試験日（火）	8／4	補講・試験日（水）	8／5	補講・試験日（木）	8／6	補講・試験日（金）	8／7		8／8	山の日	心理カウンセリング学科４年次 精神保健福祉援助実習：８月～９月
8／9	振替休日(山の日)	8／10		8／11		8／12		8／13		8／14		8／15		心理カウンセリング学科３年次 心理実習：８月～９月
8／16		8／17		8／18		8／19		8／20		8／21		8／22		教育学科４年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ： ８/17～８/30
8／23		8／24		8／25		8／26		8／27		8／28		8／29		教育学科３年次 教育実習Ⅰ(幼・小)：
8／30		8／31		9／1		9／2		9／3		9／4		9／5	創立記念日	幼稚園８/23～９/10 小学校８月中旬～９月中旬
9／6		9／7		9／8		9／9		9／10		9／11		9／12		健康福祉学科（介護）３年次 介護実習Ⅱ：８/17～９/24
9／13		9／14		9／15		9／16		9／17		9／18		9／19		健康福祉（他）３年次・健康福祉（介）４年次 相談援助実習：８/16～９/17
9／20	敬老の日	9／21		9／22	オリエンテーション	9／23	秋分の日	9／24	大学祭準備	9／25	大学祭	9／26		教科書Web販売（～10月中旬）
9／27	①	9／28	①	9／29	①	9／30	① 前学期学位記授与式	10／1	①	10／2		10／3		こども学科２年次 保育実習Ⅰ（施設）：９月～12月
10／4	②	10／5	②	10／6	②	10／7	②	10／8	②	10／9		10／10		
10／11	③	10／12	③	10／13	③	10／14	③	10／15	③	10／16		10／17		
10／18	④	10／19	④	10／20	④	10／21	④	10／22	④	10／23		10／24		
10／25	⑤	10／26	⑤	10／27	⑤	10／28	⑤	10／29	⑤	10／30		10／31		
11／1	⑥	11／2	⑥	11／3	文化の日	11／4	⑥	11／5	⑥	11／6		11／7		健康福祉学科（介護）４年次 訪問介護実習：11月上旬
11／8	⑦	11／9	⑦	11／10	⑥	11／11	⑦	11／12	⑦	11／13		11／14		
11／15	⑧	11／16	⑧	11／17	⑦	11／18	⑧	11／19	⑧	11／20		11／21		
11／22	⑨	11／23	⑨勤労感謝の日	11／24	⑧	11／25	⑨	11／26	⑨	11／27		11／28		
11／29	⑩	11／30	⑩	12／1	⑨	12／2	⑩	12／3	⑩	12／4		12／5		
12／6	⑪	12／7	⑪	12／8	⑩	12／9	⑪	12／10	⑪	12／11		12／12		
12／13	⑫	12／14	⑫	12／15	⑪	12／16	⑫	12／17	⑫	12／18		12／19		
12／20	⑬	12／21	⑬	12／22	⑫	12／23	⑬	12／24	⑬	12／25		12／26		
12／27		12／28		12／29		12／30		12／31		1／1	元日	1／2		
1／3		1／4		1／5		1／6		1／7	7/23の振替休日	1／8		1／9		
1／10	成人の日	1／11	11/23の振替休日	1／12	⑬	1／13	⑭	1／14	⑭	1／15		1／16		
1／17	⑭	1／18	⑭	1／19	⑭	1／20	⑮	1／21	⑮	1／22		1／23		
1／24	⑮	1／25	⑮	1／26	⑮	1／27	補講・試験日（木）	1／28	補講・試験日（金）	1／29		1／30		心理カウンセリング学科３年次 精神保健福祉援助実習：２月～３月
1／31	補講・試験日（月）	2／1	補講・試験日（火）	2／2	補講・試験日（水）	2／3		2／4		2／5		2／6		心理カウンセリング学科２年次 心理実習：２月～３月
2／7		2／8		2／9		2／10		2／11	建国記念の日	2／12		2／13		教育学科３年次 保育実習Ⅰ（保育所）：２/７～２/19
2／14		2／15		2／16		2／17		2／18		2／19		2／20		健康福祉学科（介護）２年次 介護実習Ⅰ：２/14～３/11
2／21		2／22		2／23	天皇誕生日	2／24		2／25		2／26		2／27		
2／28		3／1		3／2		3／3		3／4		3／5		3／6		教育学科３年次 保育実習Ⅰ（施設）：２/28～３/12
3／7		3／8		3／9		3／10		3／11		3／12		3／13		
3／14		3／15		3／16		3／17		3／18	学位記授与式	3／19		3／20		
3／21	春分の日	3／22		3／23		3／24		3／25		3／26		3／27		
3／28		3／29		3／30		3／31								

※　今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更となる場合があります。

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2021（令和 3 ）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。
授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

・授業のねらい
・到達目標
・授業計画
・準備学習の内容（事前・事後の学習）
・使用するテキスト（教科書）や、参考書
・成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
・質問への対応（連絡先など）
・その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（ 3 人から 6 人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返り	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実に起こる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

生涯スポーツ学部　全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
教養科目								
情報処理（中級）	演習	2		松澤　衛 小杉直美	○			1
情報処理（上級）	演習		2	松澤　衛	○			2
障害者スポーツ・パラリンピック概論	講義・演習	2		石川　大 荒井秀樹	○ ○			3
就業力養成科目								
キャリア演習Ⅰ	演習	①		キャリア支援センター長 永井秀岳 本村規子				4
キャリア演習Ⅱ	講義・演習		①	キャリア支援センター長				5
就業力特別講義Ⅱ	講義	1		小室晴陽 菊池隆夫	○ ○			6
インターンシップ	実習	← 2 →		キャリア支援センター長	○	集中講義		7

生涯スポーツ学部　スポーツ教育学科　発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
社会と生活に関する科目群								
高齢社会の街づくり	講義		2	佐藤克之		健康福祉学科専門科目	[ス][教][心]社会教育主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会教育主事_選必 [芸]社会教育主事_選必、 1級建築士_必修・2級建築士_選必	9
食生活学	講義・演習	2		山部秀子	○	健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	10
衣生活学	講義・演習	2		長谷川あい		健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	11
住生活学	講義・演習	2		佐藤克之		健康福祉学科専門科目	[健]介護福祉士_必修	12
青少年学習コーチング論	講義	2		佐々木邦子		教育文化学部共通科目	[ス][健]社会教育主事_選必 [教][芸][心] 社会教育主事_選必	13

《免許・資格欄表記》［ス］：スポーツ教育学科、［健］：健康福祉学科、［教］：教育学科、［芸］：芸術学科、［心］：心理カウンセリング学科
実務経験欄：実務経験のある教員等による授業科目に該当する科目

生涯スポーツ学部　健康福祉学科　発展科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	3年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
社会と生活に関する科目群								
社会教育概論	講義		2	谷川松芳	○	スポーツ教育学科専門科目	[ス]社会教育主事_必修、 レク・コーディネーター_必修 [健]社会教育主事_必修	14
青少年学習コーチング論	講義	2		佐々木邦子		教育文化学部共通科目	[ス][健]社会教育主事_選必 [教][芸][心]社会教育主事_選必	13

生涯スポーツ学部　学部共通科目

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	3年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
生涯学習展開論	講義		2	藤川和信	○		[ス][健]社会教育主事_必修	15
認知症予防	演習		2	小田史郎		一部集中講義		16
				小坂井留美				
スポーツ史	講義		2	金誠			[ス]中・高1種(保健体育)_選択	17
就業力特別演習Ⅰ	演習		1	阿部豊		公務員		18
				尾形良子		社会福祉士		19
				髙田真吾		健康運動指導士、 健康運動実践指導者		20
				菊地はるひ				
				花井篤子				
				瀧澤聡		特別支援		21
				古市孝義		介護福祉士		22
				吉田昌弘		AT		23
				渡部峻		教職(保健体育)		24
				是枝亮	○	エアロビックコーチ1		25

スポーツ教育学科　学科専門科目　コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
社会教育概論	講義		2	谷川松芳	○	発展科目	[ス]社会教育主事_必修、 レク·コーディネーター_必修 [健]社会教育主事_必修	27
体力測定評価演習	演習	2		上田知行		健康福祉学科同時展開 一部集中講義	[ス]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修、 JPSUスポーツトレーナー_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ)_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、 公認スポーツ指導者(Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ)_必修	28
				井出幸二郎				
				髙田真吾				
				石川凌				
				瀧澤一騎				
バイオメカニクス演習	演習	2		山本敬三				29
スポーツ内科学	講義		2	沖田孝一	○	健康福祉学科同時展開	[ス]健康運動指導士_必修、 JPSUスポーツトレーナー_必修、 認定トレーニング指導者_必修、 アスレティックトレーナー_必修、 レクリエーション·コーディネーター_選必	30
衛生学及び公衆衛生学	講義	2		佐々木浩子			[ス]中·高1種(保健体育)_必修	31
メンタルトレーニング演習	演習	2		吉田聡美	○		[ス]アスレティックトレーナー_必修	32
ジュニアスポーツ論	講義		2	大宮真一		健康福祉学科同時展開	[ス][健]公認スポーツ指導者(Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ)_必修、 ジュニアスポーツ指導員_必修	33
障がい者スポーツ論	講義		2	松井由紀夫		健康福祉学科同時展開	[ス]健康運動指導士_必修、 障がい者スポーツ指導員_必修 [健]障がい者スポーツ指導員_必修	34
野外教育指導演習	演習	2		坂谷充			[ス]レクリエーション·コーディネーター_必修、 キャンプディレクター_必修	35
				志村佳奈				
				安原政志				
生涯スポーツ(野球·ソフトボール)	実技	1		渡部峻	○	選択必修科目	[ス]中·高1種(保健体育)_必修、 JPSUスポーツトレーナー_選必	36
生涯スポーツ指導演習(サッカー)	演習	2		安部久貴	○		[ス]中·高1種(保健体育)_選択	37
生涯スポーツ指導演習(体つくり運動)	演習	2		増山尚美			[ス]中·高1種(保健体育)_必修、 ジュニアスポーツ指導員_必修	38
				作田文子	○			
生涯スポーツ指導演習(ダンス)	演習		2	増山尚美			[ス]中·高1種(保健体育)_必修	39
				長谷川由樹				
生涯スポーツ指導演習(武道)	演習		2	吉澤正伸			[ス]中·高1種(保健体育)_必修、 JPSUスポーツトレーナー_必修	40
				小山尋明				
生涯スポーツ指導演習(陸上競技)	演習	2		大宮真一			[ス]中·高1種(保健体育)_必修	41
				品田吉博				
				田川芳紀				
生涯スポーツ指導演習(バスケットボール)	演習	2		横山茜理			[ス]中·高1種(保健体育)_必修	42
				畝中智志				
生涯スポーツ指導演習(バレーボール)	演習		2	永谷稔			[ス]中·高1種(保健体育)_必修	43
				長尾明也				
生涯スポーツ指導演習(水泳·水中運動)	演習	2		花井篤子		健康福祉学科同時展開	[ス]健康運動実践指導者_必修、 健康運動指導士_必修 [健]健康運動実践指導者_必修	44

スポーツ教育学科　学科専門科目　コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	年次・単位数 3年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
専門演習Ⅰ	演習	②		担当教員		集中講義		45
専門演習Ⅱ	演習		②	担当教員		集中講義		46

スポーツ教育学科　学科専門科目　スポーツ教育コース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	年次・単位数 3年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
スポーツ教育演習A	演習		2	森　浩之				47
学校教育研究A	演習		2	西村貴之		集中講義		48
知的障害教育Ⅰ	講義	2		磯貝隆之	○	教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	49
肢体不自由教育Ⅰ	講義	2		松井由紀夫		教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	50
病弱教育	講義	2		中澤幸子	○	教育学科同時展開 集中講義	[ス][教]特支1種_必修	51
視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	講義		1	佐藤至英	○	教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	52
視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	講義		1	佐藤至英	○	教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	53
重複障害者の心理・生理・病理	講義	1		雁丸新一	○	教育学科同時展開 集中講義	[ス][教]特支1種_必修	54
重複障害者の教育課程及び指導法	講義	1		雁丸新一	○	教育学科同時展開 集中講義	[ス][教]特支1種_必修	55
特別支援教育実習事前指導	講義		1	松井由紀夫 瀧澤聡	○		[ス]特支1種_必修	56

スポーツ教育学科　学科専門科目　スポーツトレーナーコース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	年次・単位数 3年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
運動処方	講義	2		小田史郎		健康福祉学科同時展開	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、認定トレーニング指導者_選必 [健]健康運動実践指導者_必修	57
コンディショニング理論	講義	2		吉田真 吉田昌弘			[ス]JPSUスポーツトレーナー_必修、アスレティックトレーナー_必修	58
コンディショニング演習	演習		2	鎌倉一			[ス]アスレティックトレーナー_必修	59
アスレティックリハビリテーション演習Ⅰ	演習	2		吉田昌弘 池田祐真 戸田創			[ス]アスレティックトレーナー_必修	60
アスレティックリハビリテーション演習Ⅱ	演習		2	吉田昌弘 伊藤雄 河合誠			[ス]アスレティックトレーナー_必修	61

スポーツ教育学科　学科専門科目　競技スポーツコース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
スポーツの戦術・戦略論	講義		2	畝中智志				62
				竹内雅明				
アスリートを取り巻く環境	講義	2		永谷稔				63
競技スポーツコーチング演習Ⅰ	演習		2	畝中智志				64
				井上和佳奈				
				上田知行				
				菊地はるひ				
				小峯秋二				
				竹内雅明				
				永谷稔				
				廣田修平				
				横山茜理				
				渡部峻				

生涯スポーツ学部　スポーツ教育学科　教科及び教職に関する科目

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
保健体育科教育法Ⅲ	講義	②		杉岡品子			[ス]中・高1種(保健体育)_必修	65
保健体育科教育法Ⅳ	講義		②	森靖明			[ス]中1種(保健体育)_必修・高1種(保健体育)_選択	66
				小峯秋二				
教育経営学	講義	②		西村貴之			[ス]中・高1種(保健体育)_必修	67
教育課程論	講義	②		諏江康夫	○	教育学科(音)同時展開	[ス]中・高1種(保健体育)_必修 [教]中・高1種(音楽)_必修	68
道徳教育論	講義	②		高橋さおり	○		[ス]中1種(保健体育)_必修、 高1種(保健体育)_選択	69
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	講義		②	西出勉	○		[ス]中・高1種(保健体育)_必修	70
教育実習事前指導	講義		①	森靖明	○		[ス]中・高1種(保健体育)_必修	71
				小峯秋二				
				瀧澤聡	○			
				西村貴之				
				松井由紀夫	○			
				森浩之				

健康福祉学科　学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
スポーツ内科学	講義		2	沖田孝一	○	スポーツ教育学科同時展開	[ス]健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、認定トレーニング指導者_選必、アスレティックトレーナー_必修、レクリエーション・コーディネーター_必修	73
ジュニアスポーツ論	講義		2	大宮真一		スポーツ教育学科同時展開	[健][ス]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、ジュニアスポーツ指導員_必修	74
中高年スポーツ論	講義		2	上田知行		スポーツ教育学科同時展開	[ス]健康運動指導士_必修	75
障がい者スポーツ論	講義		2	松井由紀夫		スポーツ教育学科同時展開	[健]障がい者スポーツ指導員_必修 [ス]健康運動指導士_必修、障がい者スポーツ指導員_必修	76
生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	演習	2		花井篤子		スポーツ教育学科同時展開	[健]健康運動実践指導者_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修	77
運動処方	講義	2		小田史郎		スポーツ教育学科同時展開	[健]健康運動実践指導者_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、認定トレーニング指導者_選必	78
体力測定評価演習	演習	2		上田知行 井出幸二郎 髙田真吾 石川凌 瀧澤一騎		スポーツ教育学科同時展開 一部集中講義	[健]健康運動実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	79
ソーシャルワーク論Ⅳ	講義	2		黒澤直子			[健]社会福祉士_必修	80
地域福祉論Ⅰ	講義	2		尾形良子		心理カウンセリング学科同時展開	[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	81
地域福祉論Ⅱ	講義		2	尾形良子		心理カウンセリング学科同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	82
社会福祉運営管理論	講義		2	神部健史	○		[健]社会福祉士_必修	83
医療福祉論	講義		2	黒澤直子			[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	84
就労支援論	講義		1	橋本菊次郎	○		[健]社会福祉士_必修	85
権利擁護と成年後見制度	講義		2	森田弘之		心理カウンセリング学科同時展開	[健]社会福祉士_必修 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	86
司法福祉論	講義		1	二階堂恵	○		[健]社会福祉士_必修	87
相談援助演習Ⅲ	演習	2		久野真知子		介護福祉士養成課程以外	[健]社会福祉士_必修	88
相談援助演習Ⅳ	演習	2		久野真知子 高野和美		介護福祉士養成課程以外	[健]社会福祉士_必修	89
相談援助演習Ⅴ	演習		2	久野真知子 高野和美		介護福祉士養成課程以外	[健]社会福祉士_必修	90

健康福祉学科　学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
相談援助実習指導Ⅰ	演習		2	岩本　希		介護福祉士養成課程	[健]社会福祉士_必修	91
				久野　真知子				
相談援助実習指導Ⅱ	演習	←4→		岩本　希		介護福祉士養成課程以外	[健]社会福祉士_必修	92
				黒澤　直子				
				久野　真知子				
相談援助実習	実習	←6→		黒澤　直子		介護福祉士養成課程以外 学外実習：180時間以上実施 集中講義	[健]社会福祉士_必修	93
				岩本　希				
				久野　真知子				
高齢社会の街づくり	講義		2	佐藤　克之		発展科目	[健]介護福祉士_選必、社会教育主事_選必 [ス][教][心]社会教育主事_選必 [芸]社会教育主事_選必、 1級建築士_必修・2級建築士_選必	94
介護福祉と生活文化	講義		2	八巻　貴穂			[健]介護福祉士_選必	95
				佐藤　克之				
リハビリテーション論	講義		2	森竹　滉太		集中講義	[健]介護福祉士_必修、社会福祉主事_選必	96
				小玉　武志				
食生活学	講義・演習	2		山部　秀子	○	介護福祉士養成課程以外 発展科目		97
				山部　秀子	○	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	98
衣生活学	講義・演習	2		長谷川　あい		介護福祉士養成課程以外 発展科目		99
				長谷川　あい		介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	100
住生活学	講義・演習	2		佐藤　克之		介護福祉士養成課程以外 発展科目		101
				佐藤　克之		介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	102
障害のある人の理解	講義		2	山道　祐子	○		[健]介護福祉士_必修	103
専門演習Ⅰ	演習	②		担当教員		集中講義		104
専門演習Ⅱ	演習		②	担当教員		集中講義		105
介護技術演習Ⅳ	演習	1		笹木　笑子	○	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	106
介護技術演習Ⅴ	演習		1	梶　晴美		介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	107
				菅原　ひとみ	○			
				吉田　重子	○			
介護過程Ⅳ(知的・精神障害者、内部疾患者)	演習	1		山道　祐子	○	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	108
介護過程Ⅴ(在宅支援)	演習		1	佐藤　郁子		介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	109
介護実習指導Ⅱ	演習	←2→		古市　孝義	○	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	110
				梶　晴美	○			
				竹田　千春	○			
				八巻　貴穂	○			
				小川　好子	○			

健康福祉学科　学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 3年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
介護実習Ⅱ	実習	6		古市孝義 八巻貴穂 小川好子	○	介護福祉士養成課程 学外実習：6週間実施 集中講義	[健]介護福祉士_必修	111
医療的ケアⅠ	講義	2		梶晴美 竹内美幸	○ ○	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	112
医療的ケアⅡ	講義		2	竹内美幸 梶晴美	○ ○	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	113

全学共通科目

科目名	情報処理(中級)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛、小杉　直美				

授業の目的

ねらい	どのような社会分野でも情報処理の技術が、求められる時代になってきた。本学でも情報処理の基礎としての科目を用意しており、社会人生活で最低限必要な知識と技術を身につけることができる。「情報処理(中級)」では、基礎技術をベースとして、より高い社会の要求に対応できる人材育成を目的として、アプリケーションを自在に操るマクロ、情報の整理整頓を行うデータベースを中心に、コンピュータでのデータ処理の知識、技術を習得することを目的とする。
到達目標	(1)アプリケーションを操るマクロを理解できる。 (2)データの収集、整理、解析の方法が理解できる。 (3)データベースの構築の方法が理解できる。 (4)プログラムの初歩が理解出来る。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の授業の流れを説明し、身につけるべき知識、技術について説明する。(松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・B・L	第9回	【テーマ】表計算を使ったデータベース4 【計画内容】自分取材、収集したデータをデータベース化する方法について学ぶ。(松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第8回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第2回	【テーマ】マクロを使った簡単な表計算制御1 【計画内容】表計算アプリケーションを使用して、簡単な制御について学ぶ。(松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第1回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第10回	【テーマ】マクロを使ったデータベースソフト作成1 【計画内容】パソコンにおけるデータ処理について学ぶ。(松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第9回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第3回	【テーマ】マクロを使った簡単な表計算制御2 【計画内容】表計算アプリケーションを使用して、セルの制御、演算の方法を学ぶ。(松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第2回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第11回	【テーマ】マクロを使ったデータベースソフト作成2 【計画内容】データ入力処理について学ぶ。 (松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第10回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第4回	【テーマ】マクロを使った簡単な表計算制御3 【計画内容】表計算アプリケーションを使用して、条件文による分岐処理について学ぶ。(松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第3回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第12回	【テーマ】マクロを使ったデータベースソフト作成3 【計画内容】データ処理を学ぶ。(松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第11回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第5回	【テーマ】データベースとは？ 【計画内容】facebook、Twitter などのバックエンドで動いているデータベースについて学ぶ。 (松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第4回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第13回	【テーマ】マクロを使ったデータベースソフト作成4 【計画内容】データ出力処理について学ぶ。 (松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第12回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第6回	【テーマ】表計算を使ったデータベース1 【計画内容】表計算アプリケーションを使用した簡単なデータベース作成を学ぶ。(松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第5回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第14回	【テーマ】マクロを使ったデータベースソフト作成5 【計画内容】ボタンなどを利用してユーザーインターフェイスについて学ぶ。(松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第13回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第7回	【テーマ】表計算を使ったデータベース2 【計画内容】表計算アプリケーションを使用したデータベース制御について学ぶ。(松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第6回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第15回	【テーマ】まとめ・発表 【計画内容】他の履修者とデータベースを共有する。 (松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第14回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第8回	【テーマ】表計算を使ったデータベース3 【計画内容】表計算アプリケーションを使用したデータベースの様々な出力処理について学ぶ。 (松澤衛・小杉直美) 【授業時間外の学修内容】第7回に配付した資料を読んでおくこと。	B・L			

テキスト	プリントを使用する。
参考書	プリントを使用する。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		35%	15%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	第15回で、作成したマクロについて、授業内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	松澤衛 / 情報映像系事業経営
	科目との関連	松澤衛 / プログラム作成経験を活かし、マクロ作成を教授する。

質問への対応	質問等は、E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp までメールをください。 Microsoft Teams を利用した授業を行います。
資格	
その他	Excel が使えることを前提とした授業内容です。

科目名	情報処理(上級)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛				

授業の目的

ねらい	どのような分野でも仕事を行う上での必須アイテムがコンピュータである。 この科目は、コンピュータ、スマホに代表される携帯端末、ネットワーク、ユーザーインターフェースの仕組みを理解し、実際のプログラミングの方法を学ぶ。 アプリケーションを使うだけではない、より高度な情報処理技術を学ぶ。
到達目標	(1)コンピュータの仕組みを理解できる。 (2)ネットワークの仕組みを理解できる。 (3)コンピュータ、スマホのプログラミングが理解できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション：コンピュータはどのように動いているのか？ 【計画内容】この授業で何をやるのか他履修生と簡単なグループワークを行い、プログラミングや授業の意義について共有します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んで、自分なりに授業について考えてきてください。	A・L	第9回	【テーマ】スマホアプリの構造3 【計画内容】ユーザーインターフェースを使用した画面遷移について学びます。 【授業時間外の学修内容】第8回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第2回	【テーマ】コンピュータ言語の説明1 【計画内容】コンピュータでプログラムを行う上での言語の特徴とプログラムの基礎知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】第1回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第10回	【テーマ】オリジナルアプリ開発1 【計画内容】オリジナルアプリの構想をします。他の履修者と知識、情報を共有し、自分で作るものを決めます。 【授業時間外の学修内容】第9回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第3回	【テーマ】コンピュータ言語の説明2 【計画内容】簡単なプログラムを作成し、コンピュータでの動きを学びます。 【授業時間外の学修内容】第2回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第11回	【テーマ】オリジナルアプリ開発2 【計画内容】構想を形にしていきます。アプリの流れを考えます。 【授業時間外の学修内容】第10回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第4回	【テーマ】プログラムの文法1 【計画内容】定数と変数について学びます。 【授業時間外の学修内容】第3回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第12回	【テーマ】オリジナルアプリ開発3 【計画内容】プログラミングを行い実際にシミュレーターで動かします。 【授業時間外の学修内容】第11回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第5回	【テーマ】プログラムの文法2 【計画内容】繰り返し文について学びます。 【授業時間外の学修内容】第4回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第13回	【テーマ】オリジナルアプリ開発4 【計画内容】自分の構想とシミュレーターでの違いを把握し、構想に近づけます。 【授業時間外の学修内容】第12回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第6回	【テーマ】プログラムの文法3 【計画内容】条件文について学びます。 【授業時間外の学修内容】第5回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第14回	【テーマ】オリジナルアプリ開発5 【計画内容】プログラムを完成させます。 【授業時間外の学修内容】第13回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L
第7回	【テーマ】スマホアプリの構造1 【計画内容】iPhone と Android の違いについて学びます。 【授業時間外の学修内容】第6回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L	第15回	【テーマ】作品発表と好評 【計画内容】完成したアプリを発表し、他の履修者と共有します。 【授業時間外の学修内容】第14回で配付した資料を読んでおくこと。	B・F・L
第8回	【テーマ】スマホアプリの構造2 【計画内容】スマホの簡単なユーザーインターフェースを持ったアプリ開発を学びます。 【授業時間外の学修内容】第7回で配付した資料を読んでおくこと。	B・L			

テキスト	プリントを使用する
参考書	プリントを使用する

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	30%	25%	15%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	第15回で、作成したプログラムについて、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	情報映像系事業経営
	科目との関連	プログラム作成経験を活かし、アプリ開発を教授する。

質問への対応	担当：松澤までメールをしてください。E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp Microsoft Teams を使用して授業を行います。
資格	
その他	情報処理(中級)を履修取得しておくことが、望ましい。

科目名	障害者スポーツ･パラリンピック概論	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	石川　大、荒井　秀樹				

授業の目的

ねらい	2021東京オリンピック･パラリンピックの成功を支援するとともに､2030札幌冬季オリンピック･パラリンピックの招致を目指す取り組みを推進するために､障がいに対応した様々なスポーツの取り組みやパラリンピックの種目について知ることを目的とする。
到達目標	(1)スポーツの取り組みが障がいのある人の人生において大変重要な役割を果たしていることを理解する。 (2)障がいのある人がスポーツに取り組んでいる状況や環境などについて理解する。 (3)各障がいに応じた配慮などを理解し､障がい者スポーツの種目やルールを理解する。 (4)パラリンピックの種目について理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義のガイダンス～障がい者スポーツの理解～ 【計画内容】15回の講義展開を説明し､「障害」についてどのような状態なのかを理解し､スポーツとの関係を考える。 (石川大) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し､授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】パラスポ体験～ゴールボールの実際～ 【計画内容】全盲(目隠し)の状態で実際に「ゴールボール」を体験する。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	E
第2回	【テーマ】障がい者スポーツの現状､長野から平昌へ 【計画内容】障がい者が様々な障がい者スポーツに取り組んでいる状況について理解するとともに､パラリンピック概要について､長野大会での取り組みと平昌大会での取り組みを比較し検討する。(荒井秀樹) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】パラリンピックを支援する企業の取り組み 【計画内容】パラリンピックの選手やスポーツ種目に対する企業の取り組みの実態について理解する。(荒井秀樹) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A
第3回	【テーマ】パラリンピックとどう向き合うか 【計画内容】障がい者のスポーツの祭典であるパラリンピックの現状を理解し､障がい者だけでなく､国民としてどのように向き合うことが望ましいか考える。(荒井秀樹) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A	第11回	【テーマ】視覚障がい者のスポーツ～ブラインドサッカーのルールと普及活動～ 【計画内容】パラリンピックにおいて開催される種目である「ブラインドサッカー」について､ルールや国内での普及啓発の実態について理解する。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A
第4回	【テーマ】競技としてのパラスポーツとその環境 【計画内容】パラリンピックのスポーツ種目について､選手強化などの置かれている環境などその実態について理解する。 (荒井秀樹) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A	第12回	【テーマ】パラスポ体験～ブラインドサッカーの実際～ 【計画内容】全盲(目隠し)の状態で実際に「ブラインドサッカー」を体験する。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	E
第5回	【テーマ】パラリンピックの歴史と競技種目 【計画内容】障がい者スポーツの国際大会､国内大会の歴史について知るとともに､日本におけるパラリンピックへの取り組みについて理解する。障がい者スポーツの種目を知り､パラリンピック種目の障がい分類や競技ルールなどについて理解する。 (石川大) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A	第13回	【テーマ】2021東京大会･2030札幌大会に向けて 【計画内容】2021東京オリンピック･パラリンピックの成功を支援するとともに､2030札幌冬季オリンピック･パラリンピックの招致を目指す取り組みを推進するための意気込みや推進に向けた課題などについて意見交換を行う。(荒井秀樹) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A
第6回	【テーマ】肢体不自由者のスポーツ～ボッチャのルールと魅力及び普及～ 【計画内容】パラリンピックの種目である「ボッチャ」について､ルールや国内での普及啓発の実態について理解する。 (石川大) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A	第14回	【テーマ】パラスポ体験～視覚障がい者のマラソン伴走者の実際～ 【計画内容】視覚障害者の走り方や伴走者がいることを理解するとともに､全盲(目隠し)の状態で実際に「伴走者付きのランニング」を体験する。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A･E
第7回	【テーマ】パラスポ体験～ボッチャの実際～ 【計画内容】車椅子に乗った状態で実際に「ボッチャ」を体験する。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	E	第15回	【テーマ】パラリンピックに向けた障がい者スポーツの振り返りとまとめ 【計画内容】パリンピックの歴史や置かれている現状を理解するとともに､各種目などの実技を体験したことの振り返りやまとめを行う。(石川大) 【授業時間外の学修内容】前回配付した「まとめ」のプリントについて理解を深めておく。	A･K
第8回	【テーマ】視覚障がい者のスポーツ～ゴールボールのルールと普及活動～ 【計画内容】パラリンピックの種目である「ゴールボール」について､ルールや国内での普及啓発の実態について理解する。 (石川大) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A			

テキスト	プリントを使用する
参考書	プリントを使用する

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		30%	50%		20%	
補足		実際の体験	レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	荒井秀樹 / 元パラリンピックノルディックスキー日本代表監督　石川大 / 特別支援学校教諭 / 教頭 / 校長
	科目との関連	荒井秀樹 / パラノルディックスキー日本代表監督としての業務経験をもとに実務に即した授業を行う。　石川大 / 特別支援学校教諭･教頭･校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	Forms 等を利用して授業評価及び質問等について回答し､講評する。
資格	
その他	初回講義時に指示する。 実際に障がい者スポーツやパラリンピック競技の体験を通して障がいに配慮されたスポーツの楽しみ方について理解する。 競技運営の在り方等について評価する。 なお､体験･実技を中心とした講義内容の部分については､新型コロナの感染状況等によって体験･実技を中止する場合がある。

科目名	キャリア演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	キャリア支援センター長、永井　秀岳、本村　規子				

授業の目的	ねらい	本演習は、自らのキャリア構築のための実践的な対自己基礎力、対人基礎力、コミュニケーション基礎力の向上を目指す。対自己基礎力では、就職活動の自己アピール文を作るための自己分析を行い、自分の強みを正しく理解する。対人基礎力では、他者へ訴求できることを目指し、実践的な自己 PR 演習を行う。また就職活動に欠かせない履歴書の作成を通して、言語的コミュニケーション基礎力の向上を目指す。まとめとして、就職活動で成功するために自らの目標を設定し、実現のための具体的な行程表を作成する。
	到達目標	(1)自分の強みを正しく理解し、他者へ訴求できるようになる。 (2)受講生が見ている場面で、自己 PR できるようになる。 (3)履歴書を正しく記載することができるようになる。 (4)成功するために、自ら「目標」を設定し、「実現のための具体的な行程表」を作成する。

授業の計画	第1回	【テーマ】自分の強みを知る自己分析① 【計画内容】課題のワークシートをもとに具体的な自己 PR を作り上げる。 【授業時間外の学修内容】課題を完成させたうえで、講義に臨むこと。	A・H・K
	第2回	【テーマ】自分の強みを知る自己分析② 【計画内容】自己分析を行い、2分間のプレゼンテーションができるための自己 PR 文を完成させる。 【授業時間外の学修内容】この回で完成できない場合は自宅で完成させてくること。	A・H・K
	第3回	【テーマ】自己 PR 大会①　前半 【計画内容】一人ひとり全員の前で、2分間の自己 PR 発表を行う。 【授業時間外の学修内容】当日の発表者以外も練習を重ねて臨むこと。	A・H・K
	第4回	【テーマ】自己 PR 大会②　中盤 【計画内容】一人ひとり全員の前で、2分間の自己 PR 発表を行う。 【授業時間外の学修内容】当日の発表者以外も練習を重ねて臨むこと。	A・H・K
	第5回	【テーマ】自己 PR 大会③　後半 【計画内容】一人ひとり全員の前で、2分間の自己 PR 発表を行う。 【授業時間外の学修内容】当日の発表者以外も練習を重ねて臨むこと。	A・H・K
	第6回	【テーマ】履歴書を書いてみよう① 【計画内容】履歴書の基本を理解し、ルール通りに書くことを意識する。事前に配付した進路登録票も提出する。 【授業時間外の学修内容】事前配付のワークシートを記載しておくこと。進路登録票を完成させて臨むこと。	A・H・K
	第7回	【テーマ】履歴書を書いてみよう② 【計画内容】人事担当者に評価される履歴書を意識し、訴求する履歴書を完成させる。 【授業時間外の学修内容】前回の進み具合で、進度が遅い学生は自宅で内容を詰めた上で参加すること。	A・H・K
	第8回	【テーマ】まとめ：私が内定した理由を教えます 【計画内容】希望先に内定したと仮定。成功イメージから逆算して、やるべきことを自ら整理・設定する。 【授業時間外の学修内容】十分に準備・整理した上で、出席すること。準備の度合いも評価対象とする。	A・H・K

テキスト	プリント等を使用します。
参考書	適宜紹介します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			毎回		平時	

課題に関するフィードバックの方法	ポータルにて、行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義終了後、質問を随時受け付ける。
資格	
その他	日々、ニュースを見る、新聞を読むという社会人の基本は継続すること。

科目名	キャリア演習Ⅱ	授業形態	講義・演習	単位数	1
教員名	キャリア支援センター長				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、進路決定のための実践的な就職活動の基本について学ぶ。模擬面接、模擬グループディスカッション等の実践的な演習を通じて、自己のコミュニケーション能力を正しく把握し、さらなる自主努力の必要性を理解し、自発的行動への意識を喚起する。民間企業、福祉施設、教員、公務員など、志望分野は異なっていても、社会・職業への移行に必要な力・本質は同じであることを正しく理解する。また、ビジネスマナーを通じて、社会人としての立ち居振る舞いの修得を目指す。
	到達目標	(1)就職活動の基本を理解する。 (2)ビジネスマナーを通じて、社会人(大人)の立ち居振る舞いを修得する。 (3)現在の自分のコミュニケーション能力を正しく把握し、さらなる自主努力の必要性を理解する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】就職活動の基本 【計画内容】具体的なスケジュールの確認など就職活動の基本をおさえる。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A・H・K
	第2回	【テーマ】自己理解(1)　社会人基礎力測定(リテラシー:問題解決力、言語・非言語処理能力) 【計画内容】自分の基礎力の現状を客観的に把握するために、社会人基礎力診断 PROG(リテラシー)を受験する。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A・H・K
	第3回	【テーマ】自己理解(2)　社会人基礎力測定(コンピテンシー:対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力) 【計画内容】自分の基礎力の現状を客観的に把握するために、社会人基礎力診断 PROG(コンピテンシー)を受験する。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A・H・K
	第4回	【テーマ】ビジネスマナー(1) 【計画内容】ビジネスマナーがコミュニケーションの基本であることを理解する。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A・H・K
	第5回	【テーマ】ビジネスマナー(2) 【計画内容】コミュニケーションの基本であるビジネスマナーを実践する。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A・H・K
	第6回	【テーマ】グループディスカッション対策 【計画内容】グループディスカッションの概要、ポイントを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A・H・K
	第7回	【テーマ】自己理解(3)　社会人基礎力測定結果報告 【計画内容】社会人基礎力で測定した主観的結果と客観的結果を統合し、自己理解を深める。検査の結果をもとに、自分の行動目標を立てる。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A・H・K
	第8回	【テーマ】面接対策 【計画内容】面接の概要、ポイントを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『キャリアガイドブック』を読んで出席すること。	A・H・K

テキスト	プリントを使用する。
参考書	講義時に説明する。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			毎回		平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義終了後、質問を随時受け付けます。
資格	
その他	日々、ニュースを見る、新聞を読むという社会人の基本を継続すること。

科目名	就業力特別講義Ⅱ	授業形態	講義	単位数	1
教員名	小室　晴陽、菊池　隆夫				

授業の目的	ねらい	社会人は常に変化･成長を求められるため､｢はじめて｣の出来事を経験することも多い。新しい知識を学習し続けるのはもちろんのこと､今持つ知識だけでは対応しきれないことも多々ある。社会人として仕事をするために､その都度､自分の置かれた状況を考慮しながら､論理的に道筋を立てて考え､行動することが求められている。 そこで､本講義では社会人基礎力の一つである論理的思考力の醸成を図ることを授業のねらいとする。具体的には、SPI 非言語の頻出単元である｢推論｣｢分割｣｢割合｣｢図形｣｢確率｣の5項目を扱いながら､粘り強く筋道を立てて論理的に考える思考習慣を持つ人材となることを目指す。
	到達目標	(1)曖昧さを排除し､粘り強く論理的に考えることができる。 (2)状況を的確に把握し､与えられた状況から数式･数字を使って､適切に解釈することができる。 (3)決められた課題を毎回提出することができる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション･論理的思考とは　基礎計算力チェック 【計画内容】本講義の概要説明を行い､論理的思考とはどういうことかについて考えます。また､推論基礎問題･基礎計算力のチェックを行います。(小室晴陽) 【授業時間外の学修内容】計算力に自信のない学生はよく復習しておくこと。	A･B
	第2回	【テーマ】『推論』 【計画内容】根拠に基づいて判断する練習を行います。｢数字シミュレーション｣｢数式解釈｣｢条件整理｣を学びます。(小室晴陽) 【授業時間外の学修内容】SPI 非言語｢推論｣を学習しておくこと。	A･B
	第3回	【テーマ】『分割』 【計画内容】分けて考えてみよう。｢仕事算｣｢水槽算｣｢分割支払い｣を通じて分けて考える思考を学びます。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】SPI 非言語｢仕事算｣｢水槽算｣｢分割支払い｣を学習しておくこと。	A･B
	第4回	【テーマ】『割合』 【計画内容】割合のおさらいをします。｢損益算｣｢濃度算｣｢速度算｣等を用いて割合について考えます。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】SPI 非言語｢損益算｣｢濃度算｣｢速度算｣等を学習しておくこと。	A･B
	第5回	【テーマ】『図形』 【計画内容】角度･面積･展開図･空間図形の問題について。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】各種図形の面積や角度を求めるための公式について確認をしておくこと。	A･B
	第6回	【テーマ】『確率』 【計画内容】順列と組み合わせ､確率､余事象など。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】小中高までの教科書などを使って｢確率｣(順列･組合せ)を復習しておくこと。	A･B
	第7回	【テーマ】『確率･総合演習』 【計画内容】順列と組み合わせ､確率､余事象など。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】小中高までの教科書などを使って｢確率｣(確率･余事象)を復習しておくこと。	A･B
	第8回	【テーマ】復習解説及び総合的な問題を出題し理解状況を確認 【計画内容】これまでの講義内容の復習と理解状況の確認問題(小室晴陽･菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】本授業全体の総復習をしておくこと。類題を解いておくこと。	A･B

テキスト	自作の講義テキストを配付します。
参考書	プリントを使用し講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		30%	20%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	菊池隆夫 / 高等学校教諭　小室晴陽 / 職業能力開発大学校教員
	科目との関連	数学担当教諭及び工学系職業能力指導員の経験を活かして論理的思考や数学的アプローチによる問題解法を教授する。

質問への対応	講義時や講義の前後に質問を受け付けます。
資格	
その他	学んだ内容を振り返りながら､提出されたワークシート等に対してコメントを伝えます。

科目名	インターンシップ	授業形態	実習	単位数	2
教員名	キャリア支援センター長				
授業の目的	ねらい	インターンシップは、企業等での研修を通じて、就業力を育成することを目的としている。インターンシップは、①日々学んでいる専門性を実践の場で発揮する機会として、②自ら選択した職種の適性を判断する機会として、③進路とは異なる業種、職種を経験する機会として等、各自の目的に応じて活用することが可能であり、将来の進路選択の際に必要となるさまざまな知識の吸収や社会に通用する価値観の獲得、および社会人としての基礎力を培うことを目指す。			
	到達目標	(1)ビジネスマナーを身につける。 (2)自己の適性について理解を深める。 (3)適切な職業観を養う。 (4)行動力やコミュニケーション能力を身につける。 (5)各業界の取り組みを通じて、企業(団体含む)理解を深める。			
授業の計画	【計画内容】 【インターンシップ事前指導】 (1)4月の就職ガイダンスに出席し、自己の進路について考え、就職に向けて意識を高める。インターンシップの概要を理解する。 (2)インターンシップ説明会に出席(必須)し、インターンシップの意義、概要、流れを理解する。 (3)希望実習先の企業研究を行い、実習先の希望業種と希望職種について検討する。 (4)希望実習先の選定と志望理由書を作成し、期日までにキャリア支援センターにてインターンシップの申込みを行う。 (5)キャリア支援センターにて必要に応じて個人面談を受けながら、インターンシップ中の自己のテーマや目標を考え、実習先の学内選考を受ける。 (6)ビジネスマナー講座を受講(必須)し、社会人としての最低限のマナーを身につける。 【インターンシップ実習】 就労体験を通じて、自らの適性と仕事についての理解を深め、就業力を養う。 (1)仕事とはどういうものかを感じ取り、理解する。 (2)企業・組織を知り、社会のしくみを理解する。 (3)企業・組織の一員として、できることを明確にする。 (4)社会人としての価値観や基礎を身につける。 【インターンシップ事後指導】 (1)インターンシップ実習を振り返り、自己評価および報告書を作成し、期日までにキャリア支援センターに提出する。 (2)インターンシップ報告会のプレゼンテーションの準備をする。 (3)インターンシップ報告会で自分の実習体験を発表(必須)し、プレゼンテーションを学ぶ。 (4)指定テーマに基づきグループワークを行い、結果を発表する。その際、グループ内の役割課題に取り組む。 【授業時間外の学修内容】希望実習先の企業研究を行う。			A・D・F・H・K	
テキスト	必要に応じて随時資料を配付します				
参考書	必要に応じて随時資料を配付します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%	50%	20%	
	補足			報告書	実習先の評価	平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	キャリア支援センター窓口(7号棟1F)にて、随時質問対応します。 企業とのマッチング等の業務はキャリア支援センターが担当します。 インターンシップ説明会にて詳細は説明しますが、不安なこと、心配なことはキャリア支援センター職員に遠慮なくお尋ねください。
資格	
その他	インターンシップ希望者は、前学期のうちに実施される「インターンシップ説明会」に必ず出席のこと。日程は別途キャリア支援センターより明示します。希望者には申込書と志望理由書作成を課します(必要に応じて面談を実施する場合もあります)。学内選考を経て、インターンシップに参加となります。インターンシップ参加前のマナー講座は必修です。大学を通しての派遣になりますので、相応しい服装、髪型、礼儀を守ることを約束できることが前提です。なお、インターンシップにかかる交通費、食費等は自己負担となりますのでご了承ください。 ＜履修上の注意＞ 夏期休暇を利用して2週間程度で行うインターンシップ、もしくは数ヶ月にわたり組織の中で一つのプロジェクトを遂行するプロジェクト型インターンシップなど、インターンシップにも様々なスタイルがあります。受け入れ先企業との連絡・調整などを経て、インターンシップ体験となりますので、その都度キャリア支援センターの指示に従ってください。

発　展　科　目

科目名	高齢社会の街づくり	授業形態	講義	単位数	2

教員名	佐藤　克之

授業の目的	
ねらい	今日の福祉環境整備における国及び自治体の制度・政策について学ぶ。特に重要な公共的建築物の福祉環境整備調査項目、①駐車場・アプローチ・玄関出入り口・手すり・スロープ等、②トイレ・エレベーター・エスカレーター等、③自動販売機・コンセント・スイッチ・標示板等について、大学のキャンパス内で検証し、バリアフリー・ユニバーサルデザインについての考え方をグループにより調査・研究を行い、その成果をポスター・パワーポイントで発表する。また、住宅の整備項目についてはホームワークとして各自がレポートを作成し提出する。
到達目標	(1)福祉環境整備の国・自治体の制度・政策の理解。 (2)バリアフリーの理解。 (3)ユニバーサルデザインの理解。 (4)公共的建築物の整備項目及び住まいの整備項目の理解。 (5)グループ研究のあり方の理解。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション1 【計画内容】講義の紹介、15回の講義計画・テキスト・参考書・成績評価の方法について解説する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-3 【計画内容】発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、タイトル・文章の配置、撮影等、ポスター化を行う。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A
第2回	【テーマ】オリエンテーション2 【計画内容】北海道での福祉環境整備についてビデオ教材により学ぶ。その後グループ化を行う。 【授業時間外の学修内容】福祉環境整備について国土交通省のホームページから検索し、必要と考えるデータ及び URL「https://」を USB に保存、それぞれの内容について調べてくること。	A	第10回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-4 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査2のポスター・パワーポイント発表を行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に解説する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を述べる。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A
第3回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-1 【計画内容】大学キャンパス内で複数箇所を比較検証する。実地調査では、公共的建築物の福祉環境整備調査1の中から1項目を選定し、計測、撮影、図面化等、発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、実地調査をグループごとにチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A	第11回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-1 【計画内容】大学キャンパス内で複数箇所を比較検証する。実地調査では、公共的建築物の福祉環境整備調査3の中から1項目を選定し、計測、撮影、図面化等、発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、実地調査をグループごとにチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A
第4回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-2 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査1の中から1項目を選定した内容を補足するため、関連企業のホームページから資料の収集を行う。また、前回の追加調査及びタイトル・文章の作成、図面化、撮影の印刷等、グループでチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A	第12回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-2 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査3の中から1項目を選定した内容を補足するため、関連企業のホームページから資料の収集を行う。また、前回の追加調査及びタイトル・文章の作成、図面化、撮影の印刷等、グループでチームワークを考慮し実施する。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A
第5回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-3 【計画内容】発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、タイトル・文章の配置、撮影等、ポスター化を行う。 【授業時間外の学修内容】ポスター化を行うので文房具等を用意し、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A	第13回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-3 【計画内容】発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、タイトル・文章の配置、撮影等、ポスター化を行う。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する。	A
第6回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-4 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査1のポスター・パワーポイント発表を行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に解説する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を述べる。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A	第14回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-4 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査3のポスター・パワーポイント発表を行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に解説する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を述べる。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する。	A
第7回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-1 【計画内容】大学キャンパス内で複数箇所を比較検証する。実地調査では、公共的建築物の福祉環境整備調査2の中から1項目を選定し、計測、撮影、図面化等、発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、実地調査をグループごとにチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A	第15回	【テーマ】札幌円山キャンパスでの発表 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査結果についてのポスター・パワーポイント発表(追加)等を札幌円山キャンパスで行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に説明する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を含め述べる。また、ホームワークのレポートを提出する。 【授業時間外の学修内容】ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する。	A
第8回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-2 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査2の中から1項目を選定した内容を補足するため、関連企業のホームページから資料の収集を行う。また、前回の追加調査及びタイトル・文章の作成、図面化、撮影の印刷等、グループでチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A				

テキスト	佐藤克之、2008年、『人にやさしいまちづくり・住まいづくりフォトマニュアル』、ライフシステム研究所
参考書	適宜紹介する。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%	20%	20%	
補足			課題1・2・3	住宅レポート		

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明する。
資格	[ス][教][心]社会教育主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会教育主事_選必 [芸]社会教育主事_選必、1級建築士_必修・2級建築士_選必
その他	講義では、各グループでの調査を行い、結果についてポスター化をする。 毎回、リアクションペーパーへ記入する。データの保存のために各自 USB が必要。

科目名	食生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	山部　秀子				

授業の目的	
ねらい	食生活を営む上で必要な食事の基礎知識から、実際の福祉現場や実生活で実践できる食に関する技術について学びます。食事は生活の楽しみであると同時に健康に生きる上で重要な要素です。授業では、食品や調理などの食生活に関する基礎的な知識と技術について学び、実生活や他者への支援に役立たせることができる方法について習得します。さらに加齢とともに起こる身体的変化と食事の関連を探り、自立に向けた食生活支援技術を習得します。
到達目標	(1)日常的に利用する食品の栄養的な特徴や機能について理解する。 (2)基本的な調理方法について理解し、食生活で実践できる。 (3)高齢化とともに現れる身体的変化に合わせた食事について理解し、実践できる。 (4)現代の食生活の問題点について認識し、課題解決の方法を考えることができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】本講義のねらいと達成目標および授業の展開、評価基準について説明します。また、自らの食生活について振り返り、課題を見つけます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.2-p.5を熟読してきてください。	A	第9回	【テーマ】肉・魚介類の種類と特徴およびたんぱく質について 【計画内容】さまざまな肉類や魚介類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 肉類、魚介類の項を概観しておいてください。	A
第2回	【テーマ】現代の食生活の問題点と望ましい食生活 【計画内容】最新の国民健康栄養調査結果等から、現代の食生活の問題点を探ります。自らの食生活の課題の解決策について考えます。 【授業時間外の学修内容】自らの食生活の問題点や課題について考えて来てください。	A	第10回	【テーマ】いも類・豆類の種類と特徴について 【計画内容】いも類や豆類、また大豆の加工品の特徴や調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト いも類、豆類の項を概観しておいてください。	A
第3回	【テーマ】加齢に伴う身体的変化と、高齢者にとっての望ましい食事 【計画内容】生涯にわたっておいしく食事を食べるためのポイントについて学びます。加齢に伴って起こる変化について考え、おいしく食べる方法・おいしく提供する方法を考えましょう。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.8-p.9を熟読してきてください。	A	第11回	【テーマ】その他の食品と調味料の種類と特徴について 【計画内容】でんぷん類や油脂類、海藻類、調味料等調理を行う際に必要な食品について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 上記で学んでいない項について概観しておいてください。	A
第4回	【テーマ】食事の組み立て方① 【計画内容】食事バランスガイドについて学びその概念を理解します。年齢・性別・生活活動に応じて必要な栄養が変化することを理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.6-p.7を熟読してきてください。	A	第12回	【テーマ】食品衛生と食中毒 【計画内容】調理に必要な衛生管理の方法、様々な食品の保存方法、賞味期限や消費期限等について理解します。また食中毒に関する知識を深め、予防方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.360-p.361を熟読しておいてください。	A
第5回	【テーマ】食事の組み立て方② 【計画内容】食事バランスガイドを使い、自分の食生活を再構築します。また、最近の食情報について学ぶとともに高齢者の食事との違いを考えます。 【授業時間外の学修内容】新聞やインターネット等で話題になっている食に関する情報を調べてきてください。	A	第13回	【テーマ】食事と介護技法①嚥下について 【計画内容】高齢化に伴う飲み込みにくさ等の嚥下機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んでおいてください。	A
第6回	【テーマ】穀類の種類と特徴および炭水化物について 【計画内容】主食となる穀類の種類や調理の特徴について学び日常の食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 穀類の項 p.32-p.49を概観しておいてください。	A	第14回	【テーマ】食事と介護技法②介護食について 【計画内容】介護食について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んでおいてください。	A
第7回	【テーマ】野菜類・果実類の種類と特徴およびビタミン・ミネラルについて 【計画内容】古来から最新までの野菜類・果実類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 野菜類・果実類の項 p.88-p.157を概観しておいてください。	A	第15回	【テーマ】食生活のアセスメントとまとめ 【計画内容】自立した食生活を営むために必要な知識や技術について振り返り、本授業のねらいや目標が達成できたか、まとめの再確認をします。 【授業時間外の学修内容】授業中の自筆ノートを完成させておいてください。	A
第8回	【テーマ】牛乳、乳製品・卵類の種類と特徴について 【計画内容】牛乳や牛乳を原材料とする乳製品、卵類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 乳および乳製品、卵類の項 p.264-p.274を概観しておいてください。	A				

テキスト	2021年、『オールガイド食品成分表』、実教出版
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足			wordで作成する		事前学習をしておくこと	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	管理栄養士
	科目との関連	栄養や食品について理解し、バランスのとれた食事を考えることができる授業を目指します。

質問への対応	講義時に質問を受けます。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	課題は授業中に提示します。 自分で食事を作り、評価をする課題があります。

科目名	衣生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	長谷川　あい				

授業の目的	
ねらい	衣服を着装することは人間に与えられた行動であり、健康的な現代生活を営むうえで身体の一部としての機能を持っています。授業では衣生活についての基礎的知識を学び、より快適な衣生活への視点を養うとともに、実践できる衣に関する技術について学びます。
到達目標	(1)衣生活についての基礎知識(衣服素材・衣服管理・衣服と環境・衣服製作)を習得する。 (2)実践できる衣服製作に関する基礎的技術を習得する。 (3)高齢者や介護を必要とする人々の自立にむけた衣生活面での支援について考えます。 (4)現代社会における衣服の社会性および衣服の消費と廃棄について学びます。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと衣生活学について 【計画内容】授業内容を紹介し15回の授業展開を説明します。なぜ衣生活を学ぶのかを具体的に解説します。高齢者や介護を必要とする人々の衣生活支援についても考えます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを用意し、シラバスを一読する。	A	第9回	【テーマ】衣服製作基礎実習(3)実習作品の製作② 【計画内容】衣服製作のための基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)の習得と、応用として作品を製作します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから基本的縫製技術について正確に理解しておく。	D
第2回	【テーマ】健康的な衣生活とは－衣服の機能と着装心理／衣生活の設計－衣服の選択 【計画内容】「人間にとっての衣とは何か」装いの起源と衣服の役割を説明し、現代社会と衣服の機能について学びます。人間と人体(体型)、既製服の選択と購入、品質表示について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第1.2.3章を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】衣服製作基礎実習(4)実習作品の製作③ 【計画内容】基本的縫製技術の復習と、作品を完成し提出します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習し、時間内にできなかった作品を進めておくこと。	D
第3回	【テーマ】衣服の素材について 【計画内容】衣服を構成する素材と繊維の種類と形態、染色・加工法について学びます。介護のための衛生用品の種類と特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4.5章を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】高齢者の衣服と安全性～自立に向けた身支度の介護 【計画内容】高齢者の体型と動作に適応する衣服について学び、高齢者にとって安全で快適な衣生活を考えます。衣服圧、寝床環境についても学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章を読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】衣服素材基礎実験 【計画内容】衣服素材の天然繊維と化学繊維について実験を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付の担当者作成プリントを読んでおくこと。	C	第12回	【テーマ】障害者の衣服と安全性～自立に向けた身支度の介護 【計画内容】障害を持つ人々の障害と動作に適応する衣服について学び、個々の身体の状態に応じた安全で快適な衣生活を考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章を読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】衣服と健康－衣服環境と安全性 【計画内容】健康で快適な衣生活を目指して、人体の生理的メカニズムと衣服の役割について学びます。衣服形態と安全性についても考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4章を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】衣服の資源と消費 【計画内容】衣服の生産と流通、消費と廃棄、衣服のリサイクルについて学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第7.9章を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】衣服衛生と管理・保管～自立に向けた家事の介護 【計画内容】衣服の汚れと洗濯、衣服の日常的な手入れと保管・収納について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第6章を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】衣服と環境 -21世紀の衣生活と北方圏の衣文化について 【計画内容】高齢者と介護を必要とする人々の自立にむけた衣生活支援について考えます。地球環境と衣生活について、現代の衣生活と寒冷地で快適に過ごす衣生活について考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストと配付プリントを復習し、理解できているか確認すること。	A
第7回	【テーマ】衣服製作基礎実習(1)基礎縫い 【計画内容】衣服製作に必要な縫製器具の扱い方を学び、基本的縫製技術(基礎縫い)を習得します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから縫製器具について正確に理解しておく。	D	第15回	【テーマ】衣生活学と衣服製作基本技術のまとめと確認 【計画内容】振り返りと考えの共有をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントについて理解を深めておくこと。	A
第8回	【テーマ】衣服製作基礎実習(2)実習作品の製作① 【計画内容】衣服製作のための基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)の習得と、応用として作品を製作します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)について正確に理解しておく。	D			

テキスト	間瀬清美他、2015年、『新版　衣生活の化学』、アイ・ケイ　コーポレーション、9784874923290
参考書	プリント配付

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		10%	20%	20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	初回講義時に具体的に説明します。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	第16回に最終評価のための筆記試験を実施します。テキストは可能な限り準備して下さい。実験・実習の日程は変更になる可能性があります。実習ではマスク・巾着製作を予定しています。オンライン授業になった場合にも、実習キットを郵送の上、各自製作に取り組んでもらいます。

科目名	住生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	佐藤　克之				

授業の目的

ねらい	自立に向けた居住環境の整備(生活福祉空間づくり)についての生活支援技術を学ぶ。寒冷地での高齢者等の住まいなどの相談に役立つバリアフリー・ユニバーサルデザイン等の基礎的な知識を学び、関係職種と連携して図面及びスケッチなどで打ち合わせができる基礎的な能力を身につける。
到達目標	(1)自立に向けた居住環境の整備の理解。 (2)寒冷地での高齢者等の住まいなどの相談に役立つ基礎的な知識の理解。 (3)図面及びスケッチ等の基礎的な技術能力の理解。 (4)プレゼンテーション(作図・口頭発表)の理解。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション① 【計画内容】シラバスの内容について解説し、使用するテキストを紹介し各自が調べたバリアフリーの用語についてディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】バリアフリーの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第9回	【テーマ】人にやさしいまちづくり・リフォームヘルパー制度、等(栗山町の実践) 【計画内容】福祉のまち、栗山町で推進されてきた人にやさしいまちづくりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】居住環境整備について栗山町のホームページを検索する。	A
第2回	【テーマ】オリエンテーション② 【計画内容】再度、シラバスの内容について解説し、各自が調べたユニバーサルデザインの用語についてディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】ユニバーサルデザインの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第10回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画① 【計画内容】各自が家族と住んでいる住宅を図面及びスケッチ等で表現する。 【授業時間外の学修内容】各自が家族と住んでいる住宅の資料を入手する。	A
第3回	【テーマ】居住環境整備(生活福祉空間づくり)の意義と目的及び簡単な間取りの描き方 【計画内容】テキストを使用して、北国の生活福祉空間づくりとバリアフリーについて解説する。簡単な間取りの書き方・製図記号を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活福祉空間づくりの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第11回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画② 【計画内容】改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A
第4回	【テーマ】人にやさしいすまい・高齢者配慮住宅 【計画内容】人にやさしいすまいの配慮について、実際に札幌市内に建設された高齢者配慮住宅・モデル住宅、等から設計のポイント、基準寸法、各室の設計、設備計画について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第12回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画③ 【計画内容】改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A
第5回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース① 【計画内容】高齢者配慮住宅の1階平面図、1/100の図面をトレース(写す)する。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の1階平面図、1/100の図面を読み取る。	A	第13回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画・中間発表会 【計画内容】中間発表として各自が改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を作成しプレゼンテーション(作図・口頭発表)をポルト内のモデル住宅見学を含め北方圏学術研究センターで行う。 【授業時間外の学修内容】各自、中間発表の練習を行う。	A
第6回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース② 【計画内容】高齢者配慮住宅の2階平面図、1/100の図面をトレース(写す)する。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の2階平面図、1/100の図面を読み取る。	A	第14回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画④ 【計画内容】各自が中間発表で提案した内容について追加・訂正を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A
第7回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース③ 【計画内容】高齢者配慮住宅の1・2階平面図、1/100の図面を完成させる。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の1・2階平面図、1/100の図面を読み取る。	A	第15回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画・最終発表会 【計画内容】最終発表として各自が改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を作成しプレゼンテーション(作図・口頭発表)を行う。 【授業時間外の学修内容】各自、最終発表の練習を行う。	A
第8回	【テーマ】ユニバーサルデザインの住宅設計指針・モデル住宅、等(帯広市の実践) 【計画内容】実際に帯広市が推進したユニバーサルデザインのすまいの考え方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】居住環境整備について帯広市のホームページを検索する。	A			

テキスト	佐藤克之、2008年、『人にやさしいまちづくり・住まいづくりフォトマニュアル』、ライフシステム研究所
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　技術・家庭編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　家庭編』

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容： 科目との関連：
質問への対応	初回講義時に具体的に説明する。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	授業では、住宅の平面図・スケッチ等を書くので、三角定規、0.3シャープペン、色鉛筆、消しゴムを必要とする。

科目名	青少年学習コーチング論	授業形態	講義	単位数	2

教員名	佐々木　邦子	
授業の目的	ねらい	青少年の学習活動は学校教育を中心とするが、地域における生涯学習活動の一環として捉えることも重要な視点である。特に昨今は、青少年の健全な育成のため、学校教育と地域社会の連携に注目が集まっている。本講義では、学習や仕事に対する青少年の心理を探るために、青少年を取り巻く環境を把握し、青少年に対する教育の効果を考察する。
	到達目標	(1)家庭教育、学校教育、社会教育が青少年の心理や生活に与える影響を理解する。 (2)青少年の行動や心理を次の3つの視点(少年犯罪、成人年齢、就業)を中心に考察し、理解する。 (3)青少年に対する支援の必要性と具体を理解する。 (4)学習課題について、レジュメ作成によるプレゼンテーションで表現力を身につける。 (5)諸外国の若者の状況を知る。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義の進行についてのガイダンス 【計画内容】講義の目標と進め方を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】少年犯罪について1 【計画内容】少年犯罪の基本的な考え方として、少年法の精神を学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】歴史的にみる青少年 【計画内容】青年心理学を中心に、日本ばかりではなく西洋の状況も踏まえて青少年に関する捉え方の歴史的変遷を学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	A	第10回	【テーマ】少年犯罪について2 【計画内容】過去の少年犯罪の事例が少年法の厳罰化の基になった点を学習し、厳罰化が少年犯罪の抑止力になるかどうかを考察する。 【授業時間外の学修内容】発表のためのレジュメ作成	F
	第3回	【テーマ】日本における社会の変遷が青少年に及ぼした影響 【計画内容】青少年を取り巻く社会環境の変化を学習する。特に、高度経済成長による生活水準の向上や進学率の増加が若者の生活や意識に影響を及ぼした点を探る。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	A	第11回	【テーマ】少年犯罪について3 【計画内容】少年犯罪を未然に防ぐための教育の必要性と支援を考察する。その材料として、少年犯罪に関する新聞記事、文献による少年刑務所の例を使用する。 【授業時間外の学修内容】発表のためのレジュメ作成	F
	第4回	【テーマ】歴史的にみる現代の青少年 【計画内容】戦後を10年ごとに区切り、その時代の若者の特徴点を考察する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	A	第12回	【テーマ】成人年齢の引き下げ1 【計画内容】我が国で成人年齢が引き下げられた過程を、諸外国と比較し学習する。 【授業時間外の学修内容】事前配付のプリントを必ず読んでくること。	A
	第5回	【テーマ】若者の就業について1 【計画内容】1990年代から2000年代にかけての青少年の生活をみる。若者労働市場の現状を確認して、若者が社会的にどのようにとらえられているのかを確認する。 【授業時間外の学修内容】事前に提示されたデータなどを読んでおく	A	第13回	【テーマ】成人年齢の引き下げ2 【計画内容】選挙権年齢の引き下げに伴う高等学校での指導について考察する。 【授業時間外の学修内容】発表のためのレジュメ作成	F
	第6回	【テーマ】若者の就業について2 【計画内容】若年労働市場が芳しくなかった理由として「社会に課題がある」「若者自身に課題がある」、この2点から考察をする。 【授業時間外の学修内容】発表レジュメの作成	F	第14回	【テーマ】成人年齢の引き下げ3 【計画内容】成人年齢の引き下げに関するまとめとして、学校教育、社会教育で実施する主権者教育、消費者教育をとりあげる。 【授業時間外の学修内容】発表のためのレジュメ作成	F
	第7回	【テーマ】若者の就業について3 【計画内容】若者の就業に関して、学校教育、社会教育、家庭教育の側面からの支援を検討する。 【授業時間外の学修内容】前回までの学習の復習	B	第15回	【テーマ】今までの総まとめとして課題を実施する。 【計画内容】この講義全般で青少年をいかに支援するのか学習をしてきた。学生、自らの将来に学校教員、社会教育主事を想定して成人年齢に対する愛情をもって支援に当たる精神を身につけられるようにする。 【授業時間外の学修内容】これまでの復習をした上で、使用プリントを参照する。	A
	第8回	【テーマ】中間的なまとめとして論点提示によりグループワーク 【計画内容】これまで学習したことを小括し、今後の学習に生かす。 【授業時間外の学修内容】事前に配付プリントに目を通しておくこと。	B			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		30%		10%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題の取り上げ方やレジュメの構成・表記などについて講評する。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	[ス][健]社会教育主事_選必 [教][芸][心] 社会教育主事_選必
その他	課題の発見、レジュメのまとめ、発表の方法、グループワークなど、総合的な力の養成をねらいとするため、その趣旨を理解し積極的に討議に参加する意思をもっていただける人に履修をしていただきたい。

科目名	社会教育概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	谷川　松芳				

授業の目的

ねらい	本講は社会教育主事の資格を取得するための必修科目で、社会教育の本質を学び、社会教育主事（社会教育士）として必要な知識や技能を習得する。 さらに、生涯学習社会における社会教育の位置づけと役割などを学び、将来、社会教育行政や社会教育施設などで活かされる社会教育の専門的知識や技能を習得する。
到達目標	(1)社会教育の本質を理解する。 (2)社会教育主事としての役割を理解する。 (3)生涯学習社会における社会教育の役割を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション・社会教育の意義と目的について 【計画内容】講義の内容、15回の授業計画・成績評価の方法について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】社会教育における学習形態について 【計画内容】社会教育の学習形態及び方法の開発と成果の評価などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自身が今まで体験してきた文化・スポーツ活動などを振り返りまとめておくこと。	A・G
第2回	【テーマ】社会教育の誕生と社会教育法について 【計画内容】社会教育法が誕生した背景と社会教育法が制定された経緯を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法を一読し、疑問点をまとめる。	A・G	第10回	【テーマ】社会教育における専門的職員について 【計画内容】社会教育主事及び図書館司書、学芸員の果たす役割とその専門性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】図書館の要覧を閲覧し図書館の概要について調べておくこと。	A・G
第3回	【テーマ】生涯学習社会と社会教育の関係性について 【計画内容】生涯学習社会のあり方を考え、社会教育との関係性を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】講義1、講義2の授業で学習した内容と疑問点をまとめる。	A・G	第11回	【テーマ】社会教育委員及び社会教育関係団体について 【計画内容】社会教育委員の果たすべき役割と現状・課題について学びます。社会教育関係団体の意義及び目的について、また社会教育関係団体と行政との関わりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】出身中学校における PTA の概要について調べておくこと。	A・G
第4回	【テーマ】生涯学習と社会教育の関係性について 【計画内容】生涯学習と社会教育の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自身の今までの習いごとや文化・スポーツ活動から学んだことをまとめておくこと。	A・G	第12回	【テーマ】社会教育施設の役割について 【計画内容】社会教育施設としての公民館、図書館、博物館、体育館等の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法（第5章）の公民館について熟読しておくこと。	A・G
第5回	【テーマ】社会教育実践から学ぶ意義について 【計画内容】地域住民によるさまざまな社会教育実践活動から、社会教育の意義や目的などを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】地域社会で行われている、さまざまな活動を調べておくこと。	A・G	第13回	【テーマ】学校教育と社会教育の連携について 【計画内容】学社連携・融合の意義及び内容について学びます。また社会教育と学校教育との関わりを通して現状・課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学校と地域の連携事業について調べておくこと。	A・G
第6回	【テーマ】教育基本法及び社会教育法の概要について 【計画内容】教育基本法及び社会教育法の制定と変遷を学び、教育基本法及び社会教育法で目指す方向性や内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教育基本法及び社会教育法を熟読しておくこと。	A・G	第14回	【テーマ】地方自治体におけるまちづくりと社会教育活動の関係について 【計画内容】住民による社会教育実践活動とまちづくりの関係性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】出身地におけるまちづくりについて調べておくこと。	A・G
第7回	【テーマ】社会教育行政の役割について 【計画内容】社会教育行政の果たす役割と現状・課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法を熟読し疑問点をまとめる。	A・G	第15回	【テーマ】生涯学習社会を実現するための社会教育の役割について 【計画内容】これまでの社会教育概論のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】これまで配付した資料をまとめておくこと。	A・G
第8回	【テーマ】社会教育における学習内容について 【計画内容】社会教育の学習内容と分類について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】出身地の教育委員会の社会教育講座や各種教室などを調べておくこと。	A・G			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	60%		40%			
補足	レポート					

課題に関するフィードバックの方法	講義時に配付し講評する

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	社会教育主事
	科目との関連	社会教育主事の経験を活かし、社会教育理論と社会教育実践方策を教授する

質問への対応	講義の前後で行う。
資格	[ス]社会教育主事_必修、レク・コーディネーター_必修 [健]社会教育主事_必修
その他	・第16回に最終評価のためのレポート試験を行う。 ・社会教育主事（任用資格）及び社会教育士の取得に意欲のある学生を求む。 ・「生涯学習論」の単位を修得済みのこと。

学部共通科目

科目名	生涯学習展開論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	藤川　和信				

授業の目的		
	ねらい	生涯学習とは、人々が生涯にわたって行われる様々な学びの総称です。近年、だれでもが、いつでも、どこでも学ぶことができ、学んだことが適切に評価される社会の実現が強く求められています。そのために本講義では、R．J．ハヴィガーストの発達課題を中心に学習し、人々の成長に応じた学習課題について学びます。
	到達目標	(1)人々の学びの本質を理解する。 (2)人々の発達に必要な課題を理解する。 (3)様々な学びから自己実現が図られることを理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション「生涯学習と人間の発達課題」 【計画内容】講義内容について説明します。人間の成長に伴う発達課題と生涯学習の関連性について学びます。 【授業時間外の学修内容】生涯学習について事前に調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】R．J．ハヴィガーストの「青年期」における発達課題の演習 【計画内容】「青年期」における発達課題について学びます。自己の中学生、高校生時代の発達課題についてレポートを作成します。 【授業時間外の学修内容】自己の中学生、高校生時代の体験的学習をまとめておくこと。	A・G
	第2回	【テーマ】生涯学習の目的 【計画内容】生涯学習の目的を理解するとともに、ポール・ラングランの生涯教育と人間の発達課題及び学習課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】ポール・ラングランの生涯教育を熟読しておくこと。	A	第10回	【テーマ】R．J．ハヴィガーストの「成人期」における発達課題 【計画内容】「成人期」における発達課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】地域の大人たちの学習活動についてまとめておくこと。	A
	第3回	【テーマ】生涯学習の意義と理念 【計画内容】生涯学習と社会教育の関係、生涯学習を推進する視点などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】生涯学習と社会教育、生涯学習と学校教育の関係について調べておくこと。	A	第11回	【テーマ】R．J．ハヴィガーストの「青年期」と「成人期」における職業に関する課題 【計画内容】「青年期」及び「成人期」における職業に関する諸課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】自己の将来的職業観をまとめておくこと。	A・H
	第4回	【テーマ】R．J．ハヴィガーストの教育理論（発達課題と教育） 【計画内容】R．J．ハヴィガーストの人間の発達課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付された発達課題一覧資料を熟読しておくこと。	A	第12回	【テーマ】「成人期」における職業選択の課題 【計画内容】「成人期」における発達課題と職業選択の課題について学びます。職業選択に関するレポートを作成します。 【授業時間外の学修内容】自己の将来的職業選択を考えておくこと。	A・G
	第5回	【テーマ】R．J．ハヴィガーストの「幼児期」における発達課題 【計画内容】「幼児期」における発達課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付された発達課題一覧資料の幼児期における発達課題を調べておくこと。	A	第13回	【テーマ】R．J．ハヴィガーストの「中年期」における発達課題 【計画内容】「中年期」における発達課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】自分の父母の諸活動及び学習活動を調べておくこと。	A
	第6回	【テーマ】R．J．ハヴィガーストの「児童期」における発達課題 【計画内容】「児童期」における発達課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付された発達課題一覧資料の児童期における発達課題を調べておくこと。	A	第14回	【テーマ】R．J．ハヴィガーストの「老年期」における発達課題 【計画内容】「老年期」における発達課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】地域の高齢者たちの学習活動などを観察しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】「児童期」における発達課題の演習 【計画内容】「児童期」における発達課題について演習を通して学びます。自己の児童期に関するレポートを作成します。 【授業時間外の学修内容】自己の「児童期」の体験をまとめておくこと。	A・G	第15回	【テーマ】生涯学習展開論のまとめと振り返り 【計画内容】R．J．ハヴィガーストの生涯各期の発達課題についてまとめます。 【授業時間外の学修内容】R．J．ハヴィガーストの生涯各期の発達課題をまとめておくこと。	A
	第8回	【テーマ】R．J．ハヴィガーストの「青年期」における発達課題 【計画内容】「青年期」における発達課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付された発達課題一覧資料の青年期における発達課題を調べておくこと。	A			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足			レポート		出欠等	

課題に関するフィードバックの方法	レポートを返却する時に、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	社会教育主事
		科目との関連	道内市町村の生涯学習推進への支援に関する実務経験をもとに指導を行う。

質問への対応	講義時に受け付けます。
資格	[ス][健]社会教育主事_必修
その他	毎時間の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。 第16回に最終評価のための確認テストを行います。

科目名	認知症予防			授業形態	演習	単位数	2
教員名	小田　史郎、小坂井　留美						
授業の目的	ねらい	社会福祉士や介護福祉士、健康づくり支援者、公務員を目指す学生が、認知症の正しい理解に基づき、認知症予防に関する取り組みを積極的に考え、企画・実施・評価することができるようになることをねらいとする。					
	到達目標	(1)認知症の病態について理解する。 (2)認知症の予防の考え方について理解する。 (3)認知機能の維持、向上に有効と考えられる活動について理解する。 (4)認知機能の評価方法について理解する。 (5)認知症予防の具体的なプログラムを考案・実践することができるようになる。					

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の展開予定について説明する。認知症予防を学ぶ意義について理解する。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】認知症予防についてのまとめ 【計画内容】認知症予防についてのまとめを作成する。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】配付された資料を読んでまとめておく。	G
第2回	【テーマ】認知症総論とアルツハイマー病 【計画内容】専門医に講義いただき、認知症の病態について正しく理解する。(小田史郎・外部講師) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G	第10回	【テーマ】認知機能の評価方法① 【計画内容】認知機能の評価方法(タッチパネル式の機器を用いた方法)について学ぶ。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を読んでおく。	B・G
第3回	【テーマ】レビー小体型認知症と前頭側頭型認知症 【計画内容】専門医に講義いただき、認知症の病態について正しく理解する。(小田史郎・外部講師) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G	第11回	【テーマ】認知機能の評価方法② 【計画内容】認知機能の評価方法(タッチパネル式の機器を用いた方法)について学ぶ。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を読んでおく。	B・G
第4回	【テーマ】血管性認知症 【計画内容】専門医に講義いただき、認知症の病態について正しく理解する。(小田史郎・外部講師) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G	第12回	【テーマ】認知症予防プログラムの企画① 【計画内容】認知症予防プログラムの企画を立てる。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】プログラムの企画をレポートにまとめる。	B・G
第5回	【テーマ】その他の認知症 【計画内容】専門医に講義いただき、認知症の病態について正しく理解する。(小田史郎、外部講師) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G	第13回	【テーマ】認知症予防プログラムの企画② 【計画内容】認知症予防プログラムの企画を立てる。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】プログラムの企画をレポートにまとめる。	B・G
第6回	【テーマ】認知症予防の概念、認知症予防の最前線 【計画内容】認知症予防の専門家に講義いただき、認知症予防の考え方や最前線で行われていることについて理解する。(小田史郎・外部講師) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G	第14回	【テーマ】認知症予防プログラムの企画③ 【計画内容】認知症予防プログラムの企画を立てる。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】プログラムの企画をレポートにまとめる。	B・G
第7回	【テーマ】認知症と生活習慣とのかかわり 【計画内容】認知症予防の専門家に講義いただき、認知症と生活習慣とのかかわりや予防効果のあるアクティビティについて理解する。(小田史郎・外部講師) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A・G	第15回	【テーマ】認知症予防プログラムの発表・まとめ 【計画内容】認知症予防プログラムの企画を発表し、まとめる。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】発表原稿をまとめ、終了後にまとめる。	F
第8回	【テーマ】認知症の病態についてのまとめ 【計画内容】認知症の病態についてのまとめを作成する。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】配付された資料を読んでまとめておく。	G			

テキスト	講義内で提示します
参考書	講義内で提示します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題については講義時に講評を行う。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	スポーツ史	授業形態	講義	単位数	2
教員名	金　誠				

授業の目的	
ねらい	スポーツの歴史とはなんだろうか？さまざまな競技の歴史を知ることも重要だが、スポーツそのものが社会や国家と切り離せない関係にあることの認識は不可欠である。そのため本講義ではオリンピックを軸にスポーツが社会においてどのような位置づけにあり、またなぜそうなってきたのかについて考える。講義内ではなるべく多くの資料を提示することにより、理解を深めていけるようにしたい。
到達目標	(1)スポーツの成り立ちや変遷に関する基礎的な知識を身に付ける。 (2)スポーツを文化・社会科学的見地から考察できるようになる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容・単位認定についての説明、スポーツの歴史を学ぶことの意義について。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】黒人アスリート、抗議の表彰台が意味するものは？ 【計画内容】スポーツと人種差別問題について。 【授業時間外の学修内容】アメリカの人種差別の歴史について調べておく。	A
第2回	【テーマ】スポーツ史とは？ 【計画内容】スポーツの概念、スポーツの多様性について。 【授業時間外の学修内容】「スポーツ」ということばの語源について調べておく。	A	第10回	【テーマ】体操競技はどのように変化してきたのか？ 【計画内容】体育・体操の変遷について。 【授業時間外の学修内容】日本の体育の歴史について調べておく。	A
第3回	【テーマ】オリンピックはなぜ始まったのか？ 【計画内容】オリンピックムーブメントについて。 【授業時間外の学修内容】クーベルタンがどんな人物だったのかを調べておく。	A	第11回	【テーマ】オリンピックの変遷③ 【計画内容】近代オリンピックのロサンゼルス～アトランタ大会について。 【授業時間外の学修内容】スポーツの商業化について調べておく。	A
第4回	【テーマ】オリンピックのルーツは？ 【計画内容】古代のスポーツ文化について。 【授業時間外の学修内容】古代ギリシア・古代ローマの歴史や文化について調べておく。	A	第12回	【テーマ】「柔道」と「JUDO」の違いは？ 【計画内容】日本武道の世界化とその問題について。 【授業時間外の学修内容】日本武道の歴史について調べておく。	A
第5回	【テーマ】オリンピックの変遷① 【計画内容】近代オリンピックのアテネ～ローマ大会について学習。 【授業時間外の学修内容】近代オリンピックの草創期について調べておく。	A	第13回	【テーマ】水泳競技のルールはなぜ変わる？ 【計画内容】スポーツルール・戦術の変遷について。 【授業時間外の学修内容】スポーツルールの機能について考察しておく。	A
第6回	【テーマ】背面跳びはどのようにして生まれたのか？ 【計画内容】スポーツ技術の変遷について。 【授業時間外の学修内容】スポーツの技術史とは何かを考察しておく。	A	第14回	【テーマ】ドーピングは誰が悪い？ 【計画内容】ドーピング問題とアンチ・ドーピングについて。 【授業時間外の学修内容】ドーピングについて調べておく。	A
第7回	【テーマ】聖火リレーはなぜ始まったのか？ 【計画内容】スポーツと政治、スポーツとナショナリズムの関係。 【授業時間外の学修内容】ナチスやヒトラー、第二次世界大戦のことについて調べておく。	A	第15回	【テーマ】スポーツの歴史から見えてくる社会(まとめ) 【計画内容】スポーツの歴史からスポーツ振興の在り方について考察。 【授業時間外の学修内容】講義内容の総復習。	A
第8回	【テーマ】オリンピックの変遷② 【計画内容】近代オリンピックの東京～モスクワ大会について。 【授業時間外の学修内容】東京オリンピックや札幌オリンピックについて調べておく。	A			

テキスト	プリント等を適宜配付します
参考書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』・文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編』坂上他、2018年、『スポーツの世界史』、一色出版

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		30%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	問い合わせに応じて評価を照会する。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時に対応します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_選択
その他	講義の邪魔になる行為をする人は退室してもらいます。きちんとした態度で講義に臨むことを期待します。

科目名	就業力特別演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	阿部　豊				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、志望する公務員（一般行政・教育行政・警察行政・警察官等）という職業について考え、公務員として働くことの意義について学習する。さらに地方公務員法など、関連する法令等について学び、公務員試験に対する理解を深める。
	到達目標	(1)公務員という職業について理解を深める。 (2)公務員に関連する法令等について理解を深める。 (3)公務員になるために必要な資質や能力について理解を深める。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】公務員という職業について理解する(1) 【計画内容】公務員の使命、職種と職務内容について学習する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、15回の授業計画について理解しておくこと。	A	第9回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(7) 【計画内容】「小論文試験」の対策として、テーマ(論題)に基づき文章を書くためのノウハウについて学習する。 【授業時間外の学修内容】第8回授業で配付する資料(文章の作成手順)を読んでておくこと。	A・B
	第2回	【テーマ】公務員という職業について理解する(2) 【計画内容】地方公務員法など関連の法令等にふれながら、公務員の採用方法や服務、研修などについて学習する。 【授業時間外の学修内容】第1回授業で配付する資料(法令等)を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(8) 【計画内容】「小論文試験」の対策として、北海道及び道内市町村の課題について理解し、それらの解決方策について学習する。 【授業時間外の学修内容】第9回授業で配付する資料に基づき、北海道の課題について考えておくこと。	A・B
	第3回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(1) 【計画内容】「教養試験」(一般知識分野・一般知能分野)の目的と内容、「適性試験」の目的と内容、「面接試験」の目的と内容、「論文試験」の目的と内容について学習する。 【授業時間外の学修内容】第2回授業で配付する資料(試験の概要)を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(9) 【計画内容】「小論文試験」の対策として、北海道及び道内市町村の課題を明らかにし、それらの解決方策(政策)について、1,000字～1,200字で小論文を作成する。(1回目) 【授業時間外の学修内容】第10回授業で学習した課題と解決方策(政策)についてまとめておくこと。	G
	第4回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(2) 【計画内容】北海道職員採用試験、北海道警察警察官採用試験、市町村職員採用試験の日程と試験科目について理解し、エントリーシートの記入方法などについて学習する。 【授業時間外の学修内容】第3回授業で配付する資料(記入式)を作成しておくこと。	A・B	第12回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(10) 【計画内容】「小論文試験」の対策として、北海道及び道内市町村の課題を明らかにし、それらの解決方策(政策)について、1,000字～1,200字で小論文を作成する。(2回目) 【授業時間外の学修内容】第11回授業で作成した小論文を見直し、加除修正しておくこと。	G
	第5回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(3) 【計画内容】「教養試験」(社会科学分野・人文科学分野)の模擬試験を体験し、出題頻度の高い試験問題について学習する。 【授業時間外の学修内容】第4回授業で配付する資料(模擬問題)で事前学習をしておくこと。	A・B	第13回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(11) 【計画内容】「小論文試験」の対策として、北海道及び道内市町村の課題を明らかにし、それらの解決方策(政策)について、1,000字～1,200字で小論文を作成する。(3回目) 【授業時間外の学修内容】第12回授業で作成した小論文を見直し、加除修正しておくこと。	G
	第6回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(4) 【計画内容】「教養試験」(自然科学分野)の模擬試験を体験し、出題頻度の高い試験問題について学習する。 【授業時間外の学修内容】第5回授業で配付する資料(模擬問題)で事前学習をしておくこと。	A・B	第14回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(12) 【計画内容】「小論文試験」の対策として、北海道及び道内市町村の課題を明らかにし、それらの解決方策(政策)について、1,000字～1,200字で小論文を作成する。(4回目) 【授業時間外の学修内容】第13回授業で作成した小論文を見直し、加除修正しておくこと。	G
	第7回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(5) 【計画内容】「文章理解」の模擬試験を体験し、出題頻度の高い試験問題について学習する。 【授業時間外の学修内容】第6回授業で配付する資料(模擬問題)で事前学習をしておくこと。	A・B	第15回	【テーマ】演習のまとめ 【計画内容】第1回から第14回までの学習をふりかえり、今後の自主的な学習が効果的に行えるよう、「学習計画」を作成する。 【授業時間外の学修内容】第14回までの学習をふりかえり、質問事項等をまとめておくこと。	A・B
	第8回	【テーマ】公務員採用試験について理解する(6) 【計画内容】「判断推理」「数的推理」「資料解釈」の模擬試験を体験し、出題頻度の高い試験問題について学習する。 【授業時間外の学修内容】第7回授業で配付する資料(模擬問題)で事前学習をしておくこと。	A・B			

テキスト	プリントを使用する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			小論文等			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時、講義後、その他可能な機会で直接対応します。また、Teams のチャットでも対応します。
資格	
その他	地方公務員（北海道職員・市町村職員・警察官）志望の学生は、是非受講してください。

科目名	就業力特別演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	尾形　良子				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。社会福祉士を目指す自己の進路を見据えて、志望する職業と関連する免許・資格について学び、当該分野で働くことの意味を考える。
	到達目標	(1)社会福祉士としての進路を検討するために必要な知識を修得する。 (2)実際に社会で働く社会福祉士の話を直接聞くことによりモデル形成を図る。 (3)社会福祉士国家試験の概要を理解する。 (4)自らの勉強方法やこれまでの実績を振り返り、今後の受験勉強の基盤を作り始める。 (5)受験勉強レベルの授業を受講し、受験勉強を経験的にかつ対象化して理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】社会福祉士から学ぶ②医療機関 【計画内容】相談援助実習では経験できない領域の二つ目として、医療機関のソーシャルワーカーの話を聞きます。モデル形成および進路の検討、そして受験勉強を理解する機会ともなります。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A
	第2回	【テーマ】社会福祉士国家試験とは 【計画内容】国家試験概要を説明し、試験対策の準備を始めます。 【授業時間外の学修内容】自分なりに国家試験について調べてくること。	A	第10回	【テーマ】社会福祉士から学ぶ③まとめ 【計画内容】2人の社会福祉士の話を聞いたうえで、モデル形成の効果と進路についての検討を全員で実施します。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	B
	第3回	【テーマ】これまでの受験勉強の経験を振り返る 【計画内容】これまでに経験してきた受験勉強の内容や方法、達成度や効果等についてまず自分で確認シートを記入して振り返り、グループワークでその理解を深化させる。 【授業時間外の学修内容】関連資料を通読してくること。	H	第11回	【テーマ】福祉実践実習報告会を聞く 【計画内容】社会福祉士養成課程4年目に行う実践実習の報告会に参加し、1学年先輩の実習の取り組みから進路検討のヒントを得ます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A
	第4回	【テーマ】受験レベルの授業を体験し復習する① 【計画内容】「問題文の読み方」のコツを学習します。予備校授業を体験し受験勉強レベルの学習を意識化するために、クラス全体で大学の授業との違いを出し合い認識を促します。 【授業時間外の学修内容】資料を熟読してくること。	B	第12回	【テーマ】本学の卒業生から国家試験対策学習の方法を学ぶ 【計画内容】身近なモデルとなり得る本学の卒業生を二人招き、学生生活、4年次の就職活動、現在の社会福祉士としての仕事や受験勉強について詳細に語ってもらいます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A
	第5回	【テーマ】受験レベルの授業を体験し復習する② 【計画内容】「選択肢の検討～答えを導き出す」ためのコツを学習します。また実際のテキストと資料で「自習」してみます。そして何をどのように勉強することが受験勉強なのかを振り返ります。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	B	第13回	【テーマ】これからの国試対策について 【計画内容】国家試験のための合宿のオリエンテーションを実施します。 【授業時間外の学修内容】資料を精読してくること。	A
	第6回	【テーマ】受験レベルの授業を体験し復習する③ 【計画内容】受験勉強をする際の「ノートの作り方」の基礎を学習します。また前回検討した内容を盛り込んで実際のテキストと資料で「自習」してみます。その成果を確認します。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	B	第14回	【テーマ】国試合宿 【計画内容】1泊2日の国試合宿で受験レベルの授業を受けた上で自分の受験スキルを実際に点検してみます。またグループ学習の方法を理解し、4年次に学生同士で実施できるように準備します。なお、春休みの宿題を提示し、4年生に続く学習計画を理解していただきます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A・B・H
	第7回	【テーマ】模試の復習 【計画内容】模試の受験経験から学ぶべきことを意識化してみます。その上で問題文の読み方や選択肢の検討など振り返ってみます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	L
	第8回	【テーマ】社会福祉士から学ぶ①社会福祉協議会 【計画内容】資格を得て社会で活躍している社会福祉士の業務の実際を聞くことにより、モデル形成の機会とし受験勉強の動機づけとします。また、社会福祉協議会の業務を聞くことにより、自らの進路を検討する機会ともなります。受験勉強の方法についても学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A			

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					60%	40%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	社会福祉士国家資格の受験資格のみ必要な学生は履修できません。あくまで実際に4年次に受験し、合格することを目的とした学生のみ受講を許します。

科目名	就業力特別演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	髙田　真吾、菊地　はるひ、花井　篤子				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、志望する職業と関連する免許・資格について学び、当該分野で働くことの意味を考える。具体的な免許・資格は、介護福祉士、社会福祉士、アスレティックトレーナー、健康運動指導士、健康運動実践指導者、保健体育科教諭(特別支援学校を含む)、エアロビック指導員である。このうち本科目は健康運動実践指導者の資格取得に向け学習を進める。
	到達目標	(1)健康運動実践指導者に必要な知識を修得する。 (2)健康運動指導士に必要な知識を修得する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【授業時間外の学修内容】健康運動実践指導者のテキストや健康・体力づくり事業財団 HP にて実践指導者の意義を考えてくること。 全体説明：髙田真吾(水中運動：花井篤子、陸上運動：菊地はるひ)	A・E	第9回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】健康づくりと運動プログラム(2) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。 (水中運動：花井篤子、陸上運動：菊地はるひ)	A・E
	第2回	【テーマ】資格の基礎的内容の理解 【計画内容】健康づくり施策 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A・E	第10回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】健康づくり運動の実際(1) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。 (水中運動：花井篤子、陸上運動：菊地はるひ)	A・E
	第3回	【テーマ】資格の基礎的内容の理解 【計画内容】体力の測定と評価 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A・E	第11回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】健康づくり運動の実際(2) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。 (水中運動：花井篤子、陸上運動：菊地はるひ)	A・E
	第4回	【テーマ】資格の基礎的内容の理解 【計画内容】運動生理学(1) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A・E	第12回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】健康づくり運動の実際(3) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。 (水中運動：花井篤子、陸上運動：菊地はるひ)	A・E
	第5回	【テーマ】資格の基礎的内容の理解 【計画内容】運動生理学(2) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A・E	第13回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】運動指導の心理学 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A・E
	第6回	【テーマ】資格の基礎的内容の理解 【計画内容】機能解剖とバイオメカニクス 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A・E	第14回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】運動障害と予防・応急処置 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A・E
	第7回	【テーマ】資格の基礎的内容の理解 【計画内容】栄養摂取と運動 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。	A・E	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。 全体まとめ：髙田真吾(水中運動：花井篤子、陸上運動：菊地はるひ)	A・E
	第8回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】健康づくりと運動プログラム(1) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくること。 (水中運動：花井篤子、陸上運動：菊地はるひ)	A・E			

テキスト	講義時に説明する
参考書	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動実践指導者用テキスト』、南江堂

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%				50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	就業力特別演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	瀧澤　聡				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、志望する職業と関連する免許・資格について学び、当該分野で働くことの意味を考える。具体的な免許・資格は、特別支援学校教員である。
	到達目標	(1)特別支援学校教員として働くための背景(諸制度・諸課題・現状等)の知識を修得する。 (2)特別支援学校教員に必要な障がいの特性理解を深める。 (3)特別支援学校教員に必要な指導の実践的知識を修得する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】聴覚障害児教育 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A
	第2回	【テーマ】資格の基礎的内容の理解 【計画内容】特別支援教育の課題 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A	第10回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】視覚障害児教育 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A
	第3回	【テーマ】資格の基礎的内容の理解 【計画内容】特別支援教育の歴史 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A	第11回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】重度・重複障害児教育 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A
	第4回	【テーマ】資格の基礎的内容の理解 【計画内容】特別支援教育の制度 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A	第12回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】発達障害児教育 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A
	第5回	【テーマ】資格の基礎的内容の理解 【計画内容】特別支援教育の4つの場 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A	第13回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】親支援と寄宿舎教育 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A
	第6回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】知的障害児教育 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A	第14回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】インクルーシブ教育システム 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A
	第7回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】肢体不自由児教育 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】資格の実践的内容の理解 【計画内容】病弱児教育 【授業時間外の学修内容】配付プリントを精読してくること。	A			

テキスト	プリントを使用する
参考書	プリントを使用する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%				50%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回の講義で具体的に説明する。
資格	
その他	

科目名	就業力特別演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	古市　孝義				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、介護福祉士国家資格取得のために介護福祉士養成課程で学ぶ知識の予習・復習・確認を行います。それらを通して、国家試験受験に向けた学習習慣と学習方法を身につけることをねらいとします。
	到達目標	(1)介護福祉士国家試験に向けて学習習慣と学習方法を身につける。 (2)介護福祉士国家試験科目の予習・復習を行うことで理解を深める。 (3)模擬試験を通して、介護福祉士国家試験に合格する力をつける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業ガイダンスと介護福祉士国家資格の概要説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開および受講の心得を説明します。介護福祉士国家資格の概要について解説します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】人間の尊厳と自立・介護の基本 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】「人間の尊厳と自立・介護の基本」について予習・復習をしてくること。	A・B
	第2回	【テーマ】模試1(前期に実施)の振り返りと国家試験合格に向けての学習方法 【計画内容】模試1の解説をします。併せて、これまでの受験勉強・試験勉強の方法を振り返り、効果的な学習方法について確認します。 【授業時間外の学修内容】模試1の解答・解説を熟読してくること。	A・B・L	第10回	【テーマ】生活支援技術・介護過程 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】「生活支援技術・介護過程」について予習・復習をしてくること。	A・B
	第3回	【テーマ】社会の理解① 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】「社会の理解」について予習・復習をしてくること。	A・B	第11回	【テーマ】認知症の理解 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】「認知症の理解」について予習・復習をしてくること。	A・B
	第4回	【テーマ】社会の理解② 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】「社会の理解」について予習・復習をしてくること。	A・B	第12回	【テーマ】医療的ケア・総合問題 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】「医療的ケア」について予習・復習をしてくること。	A・B
	第5回	【テーマ】発達と老化の理解 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】「発達と老化の理解」について予習・復習をしてくること。	A・B	第13回	【テーマ】介護福祉士国家試験　模試2　① 【計画内容】範囲科目の模擬問題を解き、解答方法および学習内容の定着度を確認します。 【授業時間外の学修内容】範囲科目の復習をしておくこと。	B・H
	第6回	【テーマ】こころとからだのしくみ① 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】「こころとからだのしくみ」について予習・復習をしてくること。	A・B	第14回	【テーマ】介護福祉士国家試験　模試2　② 【計画内容】範囲科目の模擬問題を解き、解答方法および学習内容の定着度を確認します。 【授業時間外の学修内容】範囲科目の復習をしておくこと。	B・H
	第7回	【テーマ】こころとからだのしくみ② 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】「こころとからだのしくみ」について予習・復習をしてくること。	A・B	第15回	【テーマ】模試2の振り返りと4年次への準備 【計画内容】模試2の解説をします。また、これまでの講義の振り返りを踏まえて、4年次の学習方法について確認します。 【授業時間外の学修内容】模試2の解答・解説を熟読してくること。自身の学習方法について見直すこと。	A・L
	第8回	【テーマ】障害の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】「障害の理解」について予習・復習をしてくること。	A・B			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					50%	50%
	補足						ノート作りなど

課題に関するフィードバックの方法	自己学習ノートの提出を適宜求め、指導・助言をして学習習慣の定着を目指します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	介護福祉士国家試験受験準備のための科目です。予習・復習など積極的な自己学習が必要です。 授業とは別日程で、国家試験と同じ形態での模擬試験を前後期を通じて3回程度実施します。

科目名	就業力特別演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	吉田　昌弘				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、アスレティックトレーナーの免許・資格について学び、当該分野で働くことの意味を考える。
	到達目標	(1)アスレティックトレーナー(AT)の職域について理解する。 (2)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得に必要な知識を修得する。 (3)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得に必要な実践力を修得する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ATに必要な救急処置の知識 【計画内容】ATに必要な救急処置について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト8巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H
	第2回	【テーマ】ATの役割 【計画内容】ATの役割、資格取得の意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト1巻の関連するページを精読してくる	A・F・H	第10回	【テーマ】ATに必要なスポーツ栄養の知識 【計画内容】ATに必要なスポーツ栄養について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト9巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H
	第3回	【テーマ】ATに必要な解剖の知識 【計画内容】ATに必要な機能解剖学について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト2巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第11回	【テーマ】ATに必要なスポーツバイオメカニクスの知識 【計画内容】ATに必要なスポーツバイオメカニクスについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび参考書の関連するページを精読してくること。	A・F・H
	第4回	【テーマ】ATに必要なスポーツ外傷・障害の知識 【計画内容】ATに必要なスポーツ外傷・障害について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト3巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第12回	【テーマ】プレゼンテーション1 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションの資料作成を行う。 【授業時間外の学修内容】第11回までの内容を復習すること。	H・K
	第5回	【テーマ】ATに必要なスポーツ内科の知識 【計画内容】ATに必要なスポーツ内科について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト4巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第13回	【テーマ】プレゼンテーション2 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションの資料作成を行う。 【授業時間外の学修内容】第11回までの内容を復習すること。	H・K
	第6回	【テーマ】ATに必要な評価・測定の知識 【計画内容】ATに必要な評価・測定について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト5巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第14回	【テーマ】プレゼンテーション3 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】作成したプレゼンテーション資料を熟読すること。	H・K
	第7回	【テーマ】ATに必要なコンディショニングの知識 【計画内容】ATに必要なコンディショニングについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト6巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】ATに必要なアスレティックリハビリテーションの知識 【計画内容】ATに必要なアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト7巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H			

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	就業力特別演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	渡部　峻				

授業の目的	
ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて保健体育科教員に関連する知識や考え方について学び、深める。主に体育実技、体育理論、保健分野について理解する。本講義では。保健体育科教員を強く志望する学生を対象とする。(中学校・高等学校・特別支援学校)
到達目標	(1)体育実技に関するルール・技術・指導方法を理解・習得する。 (2)体育理論・保健分野についての基礎的・基本的知識を習得する。 (3)教員採用選考検査の出題傾向を理解する。 (4)教員採用選考検査の1次(筆記)合格に向けた学習方法を理解・習得する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス、教員採用検査の出題形式の説明 【計画内容】講義のねらいと到達目標、全15回の講義展開及び受講のルール等について説明する。過去の教員採用選考検査のデータを示す。過去問題を実施して、出題形式の理解。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】武道 【計画内容】武道の礼儀作法、ルール、技術、指導方法について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「武道」の部分を精読してくること。	A
第2回	【テーマ】体つくり運動 【計画内容】体つくり運動について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「体つくり運動」の部分を精読してくること。	A	第10回	【テーマ】ダンス 【計画内容】ダンスのルール、技術、指導方法について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「ダンス」の部分を精読してくること。	A
第3回	【テーマ】器械運動 【計画内容】器械運動のルール、技術、指導方法について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「器械運動」の部分を精読してくること。	A	第11回	【テーマ】冬季スポーツ 【計画内容】冬季スポーツのルール、技術、指導方法について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「冬季スポーツ」の部分を精読してくること。	A
第4回	【テーマ】陸上競技 【計画内容】陸上競技のルール、技術、指導方法について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「陸上競技」の部分を精読してくること。	A	第12回	【テーマ】体力測定と体育理論 【計画内容】体力の測定・評価、体育理論について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「体育理論」の部分を精読してくること。	A
第5回	【テーマ】水泳 【計画内容】水泳のルール、技術、指導方法について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「水泳」の部分を精読してくること。	A	第13回	【テーマ】保健 【計画内容】健康で安全に生活するための実践的な知識について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「保健」の部分を精読してくること。	A
第6回	【テーマ】球技(ネット型) 【計画内容】球技(ネット型)のルール、技術、指導方法について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「球技(ネット型)」の部分を精読してくること。	A	第14回	【テーマ】まとめと振り返り1 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返り。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習しておくこと。	A
第7回	【テーマ】球技(ゴール型) 【計画内容】球技(ゴール型)のルール、技術、指導方法について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「球技(ゴール型)」の部分を精読してくること。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り2 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返り。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】球技(ベースボール型) 【計画内容】球技(ベースボール型)のルール、技術、指導方法について。 【授業時間外の学修内容】中学校学習指導要領解説保健体育編の「球技(ベースボール型)」の部分を精読してくること。	A			

テキスト	各回ごとにプリントを配付する。
参考書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説　保健体育編』、文科省(東山書房) 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　保健体育編』、文科省(東山書房)

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足			毎回の課題			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	中学校教諭専修免許状「保健体育」・高等学校教諭専修免許状「保健体育」保有
	科目との関連	専修免許と1次採用試験合格経験を活かし、採用試験突破のための学習方法を教授する。

質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。E-mail：watashun@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	保健体育教員を志望する学生(教員採用試験を受験する)は受講することをおすすめします。学科の対策講座など他の保健体育科関連の講義と組み合わせて受講するとさらに効果的です。

科目名	就業力特別演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	是枝　亮				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置し、日本体育協会公認エアロビック指導員、日本エアロビック連盟認定エアロビックリーダーの資格取得を目指す。生涯スポーツとしてのエアロビックを対象や目的に応じてプログラムを提供し、人々の健康や生きがいに貢献できる指導をすることの意味を考える。
	到達目標	(1)エアロビックコーチ1に必要な見本となる実技能力を修得する。 (2)エアロビックコーチ1に必要なプログラム作成能力を修得する。 (3)エアロビックコーチ1に必要な言語的指導・資格指導を修得する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、「生涯スポーツ指導演習(エアロビック)」の内容を復習してくること。	A	第9回	【テーマ】エアロビック指導の基礎理論と指導方法の修得(4) 【計画内容】指導者の位置、向きを工夫した指導について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読し、指導に用いる指導隊形について熟考してくること。	B・N・G
	第2回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と基本技術の修得(1) エアロビックの基礎理論と基本動作の理解(1) 【計画内容】エアロビックの起源と歴史について学ぶとともにエアロビック技能教程の内容を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読し、技能検定4級 A,B ブロックの課題動作を理解してくること。	B	第10回	【テーマ】エアロビック指導の基礎理論と指導方法の修得(5) 【計画内容】エアロビックのプログラム作成方法について学び、課題動作を指導するためのプログラムを作成する。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読し、無音での動きの説明について内容をまとめてくること。	B・N・G
	第3回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と基本技術の修得(2) 【計画内容】エアロビックの運動特性について学ぶとともにエアロビック技能検定4級の課題動作を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読し、技能検定4級 C、D ブロックの課題動作を理解してくること。	B・G	第11回	【テーマ】エアロビック指導の基礎理論と指導方法の修得(6) 【計画内容】エアロビックのプログラム作成方法について学び、課題動作を指導するためのプログラムを作成する。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読し、音楽を用いたスムーズに展開するための指導プログラムについて学習してくること。	B・N・G
	第4回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と基本動作の修得(3) 【計画内容】エアロビックの技術の基礎理論を学び、エアロビック技能検定4級の課題動作を明確に動くための技術を身につける。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読し、前回配付したプリントで技能検定4級のねらい、技術のポイントを再確認してくること。	B・G	第12回	【テーマ】エアロビック指導の基礎理論と指導方法の修得(7) 【計画内容】集団指導の留意点を理解し、指導隊形を工夫してプログラムを指導する方法を学ぶ 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読するとともに、前回撮影した指導動画を見て自身の課題を明らかにしてくること。	B・N・G
	第5回	【テーマ】エアロビックの基礎理論と基本動作の修得(4) 【計画内容】エアロビックの技術の基礎理論を学び、エアロビック技能検定4級の課題動作で用いられる動きの質を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読するとともに、前回撮影した4級の動画を見て自身の課題を明らかにしてくること。	B・G	第13回	【テーマ】エアロビック指導の基礎理論と指導方法の修得(8) 【計画内容】指導者に必要なコミュニケーション能力について学び、コミュニケーション・スキルを身につける。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読するとともに、前回撮影した指導動画を見て自身の課題を明らかにしてくること。	B・N・G
	第6回	【テーマ】エアロビック指導の基礎理論と指導方法の修得(1) 【計画内容】言語的指導、視覚指導の留意点と指導技術を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読し、「生涯スポーツ指導演習(エアロビック)」で行なった指導技術について復習してくること。	B・G	第14回	【テーマ】エアロビック指導の基礎理論と指導方法の修得(9) 【計画内容】エアロビック指導に必要な安全上の留意点について学び、安全性を配慮した指導方法を身につける。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読するとともに、前回撮影した指導動画を見て自身の課題を明らかにしてくること。	B・N・G
	第7回	【テーマ】エアロビック指導の基礎理論と指導方法の修得(2) 【計画内容】エアロビック技能検定5級の動きを理解し、指導の留意点を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読し、指導の課題動作である5級 D ブロックの内容について理解してくること。	B・N・G	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】エアロビック技能検定4級、指導実技、理論のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習し、前回の授業で配付した模擬試験問題を行なっておくこと。	B・N・F・L
	第8回	【テーマ】エアロビック指導の基礎理論と指導方法の修得(3) 【計画内容】明確な動きで的確に動きを伝える技術を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読し、課題動作を用いた指導の目的、目標について熟考してくること。	B・N・G			

テキスト	1995年、『エアロビック指導教本』、(公社)日本エアロビック連盟
参考書	2012年、『エアロビック技能検定ガイド』、(公社)日本エアロビック連盟

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	20%	60%			20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	模擬試験問題については、授業内で正解を伝え、テキストを用いて補足説明を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	総合型地域スポーツクラブでのエアロビック指導、日本スポーツ協会公認エアロビックコーチ4
		科目との関連	指導経験、資格を活かし、明確な動きをベースとした指導方法を教授する

質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	日本エアロビック連盟認定エアロビックリーダー、日本スポーツ協会公認エアロビックコーチ1の資格取得を希望する学生は必ず受講すること。

スポーツ教育学科
学 科 専 門 科 目

科目名	社会教育概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	谷川　松芳				

授業の目的		
	ねらい	本講は社会教育主事の資格を取得するための必修科目で、社会教育の本質を学び、社会教育主事(社会教育士)として必要な知識や技能を習得する。 さらに、生涯学習社会における社会教育の位置づけと役割などを学び、将来、社会教育行政や社会教育施設などで活かされる社会教育の専門的知識や技能を習得する。
	到達目標	(1)社会教育の本質を理解する。 (2)社会教育主事としての役割を理解する。 (3)生涯学習社会における社会教育の役割を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション･社会教育の意義と目的について 【計画内容】講義の内容、15回の授業計画･成績評価の方法について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A･G	第9回	【テーマ】社会教育における学習形態について 【計画内容】社会教育の学習形態及び方法の開発と成果の評価などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自身が今まで体験してきた文化･スポーツ活動などを振り返りまとめておくこと。	A･G
	第2回	【テーマ】社会教育の誕生と社会教育法について 【計画内容】社会教育法が誕生した背景と社会教育法が制定された経緯を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法を一読し、疑問点をまとめる。	A･G	第10回	【テーマ】社会教育における専門的職員について 【計画内容】社会教育主事及び図書館司書、学芸員の果たす役割とその専門性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】図書館の要覧を閲覧し図書館の概要について調べておくこと。	A･G
	第3回	【テーマ】生涯学習社会と社会教育の関係性について 【計画内容】生涯学習社会のあり方を考え、社会教育との関係性を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】講義1、講義2の授業で学習した内容と疑問点をまとめる。	A･G	第11回	【テーマ】社会教育委員及び社会教育関係団体について 【計画内容】社会教育委員の果たすべき役割と現状･課題について学びます。社会教育関係団体の意義及び目的について、また社会教育関係団体と行政との関わりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】出身中学校における PTA の概要について調べておくこと。	A･G
	第4回	【テーマ】生涯学習と社会教育の関係性について 【計画内容】生涯学習と社会教育の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自身の今までの習いごとや文化･スポーツ活動から学んだことをまとめておくこと。	A･G	第12回	【テーマ】社会教育施設の役割について 【計画内容】社会教育施設としての公民館、図書館、博物館、体育館等の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法(第5章)の公民館について熟読しておくこと。	A･G
	第5回	【テーマ】社会教育実践から学ぶ意義について 【計画内容】地域住民によるさまざまな社会教育実践活動から、社会教育の意義や目的などを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】地域社会で行われている、さまざまな活動を調べておくこと。	A･G	第13回	【テーマ】学校教育と社会教育の連携について 【計画内容】学社連携･融合の意義及び内容について学びます。また社会教育と学校教育との関わりを通して現状･課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学校と地域の連携事業について調べておくこと。	A･G
	第6回	【テーマ】教育基本法及び社会教育法の概要について 【計画内容】教育基本法及び社会教育法の制定と変遷を学び、教育基本法及び社会教育法で目指す方向性や内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教育基本法及び社会教育法を熟読しておくこと。	A･G	第14回	【テーマ】地方自治体におけるまちづくりと社会教育活動の関係について 【計画内容】住民による社会教育実践活動とまちづくりの関係性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】出身地におけるまちづくりについて調べておくこと。	A･G
	第7回	【テーマ】社会教育行政の役割について 【計画内容】社会教育行政の果たす役割と現状･課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法を熟読し疑問点をまとめる。	A･G	第15回	【テーマ】生涯学習社会を実現するための社会教育の役割について 【計画内容】これまでの社会教育概論のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】これまで配付した資料をまとめておくこと。	A･G
	第8回	【テーマ】社会教育における学習内容について 【計画内容】社会教育の学習内容と分類について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】出身地の教育委員会の社会教育講座や各種教室などを調べておくこと。	A･G			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		40%			
	補足	レポート					

課題に関するフィードバックの方法	講義時に配付し講評する

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	社会教育主事
		科目との関連	社会教育主事の経験を活かし、社会教育理論と社会教育実践方策を教授する

質問への対応	講義の前後で行う。
資格	[ス]社会教育主事_必修、レク･コーディネーター_必修 [健]社会教育主事_必修
その他	･第16回に最終評価のためのレポート試験を行う。 ･社会教育主事(任用資格)及び社会教育士の取得に意欲のある学生を求む。 ･「生涯学習論」の単位を修得済みのこと。

科目名	体力測定評価演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	上田　知行、井出　幸二郎、髙田　真吾、石川　凌、瀧澤　一騎				

授業の目的		
	ねらい	運動指導を実施する際に、個々の体力の状況を的確に評価することは非常に重要な意義を持っている。本授業では、①スポーツ選手の競技成績に関わる専門的体力、幅広い年齢層に対するフィールドテストによる一般的体力の把握、「文部科学省新体力テスト」や形態測定の測定とその評価、②高齢者に対する介護予防を目的とした体力測定とその評価について学ぶ。それぞれの基本的な技術を身につけ、正しく安全管理に留意して実施できる指導者を目指す。
	到達目標	(1)体力測定における計画および運営を組み立てて実施していく。 (2)体力測定の結果を処理し、分析・評価までの一連の流れが理解できる。 (3)種々の測定において用具の使用および機器類の操作方法を学び、測定に活用できる。 (4)個人および集団に対して測定を実施し、その結果を分析し、フィードバックできる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】演習の展開方法、準備する物、評価方法について説明する。 (上田知行・井出幸二郎・髙田真吾・瀧澤一騎・石川凌) 【授業時間外の学修内容】「体力測定評価」で学んだ内容を復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】③文部科学省：新体力テスト：小学生、青少年、成人向け 【計画内容】③小学生、青少年、成人向けの体力測定と評価方法について学ぶ。(瀧澤一騎) 【授業時間外の学修内容】③配付したプリントをまとめ、整理しておくこと。	B
	第2回	【テーマ】①筋機能に関する測定方法および評価について(1) 【計画内容】①最大筋力について測定および評価法について学ぶ。(髙田真吾) 【授業時間外の学修内容】①配付するプリントに示す課題に取り組み、まとめておくこと。	B	第10回	【テーマ】③文部科学省：新体力テスト：青少年、成人、高齢者向け 【計画内容】③青少年、成人、高齢者向けの体力測定と評価方法について学ぶ。(瀧澤一騎) 【授業時間外の学修内容】③配付したプリントをまとめ、整理しておくこと。	B
	第3回	【テーマ】①呼吸循環機能に関する測定方法および評価について 【計画内容】①呼吸代謝測定装置と心拍計による酸素摂取量の測定および推定方法、評価方法について学ぶ。(髙田真吾) 【授業時間外の学修内容】①配付するプリントに示す課題に取り組み、まとめておくこと。	B	第11回	【テーマ】④評価方法について 【計画内容】④これまで実施した測定データをまとめ、評価する。(髙田真吾・瀧澤一騎・石川凌) 【授業時間外の学修内容】④配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	B
	第4回	【テーマ】①神経機能・関節機能に関する測定方法および評価について 【計画内容】①呼吸代謝測定装置と心拍計による酸素摂取量の測定および推定方法、評価方法について学ぶ。(髙田真吾) 【授業時間外の学修内容】①配付するプリントに示す課題に取り組み、まとめておくこと。	B	第12回	【テーマ】⑤介護予防に関連する体力測定法とその評価(1) 【計画内容】⑤高齢者の身体的特徴と体力測定法について学ぶ。(上田知行・井出幸二郎・髙田慎吾) 【授業時間外の学修内容】④配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	M
	第5回	【テーマ】②フィールドテストの意義と実践について(1) 【計画内容】②フィールドテストの意義と測定方法について学び、実践を通して各種運動種目に適したテスト内容について考える。(石川凌) 【授業時間外の学修内容】②配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	B	第13回	【テーマ】⑤介護予防に関連する体力測定法とその評価(2) 【計画内容】⑤虚弱高齢者向けの介護予防に関する体力測定や留意事項について学ぶ。(上田知行・井出幸二郎・髙田慎吾) 【授業時間外の学修内容】④配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	M
	第6回	【テーマ】②フィールドテストの意義と実践について(2) 【計画内容】②各種運動種目におけるアスリートを対象としたフィールドテストの内容について学び、実践する。 (石川凌) 【授業時間外の学修内容】②配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	B	第14回	【テーマ】⑥形態測定法と体力測定法の実践(1) 【計画内容】⑥地域で実施する体力測定会を安全に実施する。(上田知行・井出幸二郎・髙田慎吾) 【授業時間外の学修内容】④配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	M
	第7回	【テーマ】②フィールドテストの意義と実践について(3) 【計画内容】②各種運動種目におけるアスリートを対象としたフィールドテストの内容について学び、実践する。 (石川凌) 【授業時間外の学修内容】②配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	B	第15回	【テーマ】⑥形態測定法と体力測定法の実践(2) 【計画内容】⑥地域で実施する体力測定会を安全に実施する。(上田知行・井出幸二郎・髙田慎吾) 【授業時間外の学修内容】④配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	M
	第8回	【テーマ】③形態計測について：身体組成も含む 【計画内容】③形態計測によってからだの健康度および体力の機能面について推測ができる。(瀧澤一騎) 【授業時間外の学修内容】③形態計測に関係する文献を収集し、まとめておくこと。	B			

テキスト	プリントを使用する
参考書	首都大学東京体力標準値研究会編、2007年、『新・日本人の体力標準値』、不昧堂出版 健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂 健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動実践指導者養成用テキスト』、南江堂

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法		
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。	
資格	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	
その他	「体力測定評価」の単位取得者が履修できます。北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。	

科目名	バイオメカニクス演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	山本　敬三				

授業の目的

ねらい	スポーツおよび身体動作を客観的に分析する手法の一つに3次元動作分析法があげられます。この授業では、3次元動作分析装置によって計測されたモーションデータを用いて、身体運動を数値データに置き換えて分析する方法を学びます。演習形式で行い、PC を用いて動作分析の基礎を学びます。
到達目標	(1)数値データの扱い方について理解できる。 (2)データをグラフ化することで視覚化する手法を理解できる。 (3)動作をバイオメカニクス的に分析することができる。 (4)分析結果を分かりやすくプレゼンテーションすることができる。 (5)グループワークによって、仲間と協力して分析・プレゼン資料の作成ができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】オリエンテーション、データの配付、動作分析用ソフトウェア Visual3D の使い方。 【授業時間外の学修内容】姿勢と動作の力学について調べてくること。	A	第9回	【テーマ】動作分析3 【計画内容】模範プレゼン(歩きはじめ動作)で、資料の作り方や展開方法を学ぶ。計測した課題動作について各班で分析する。 【授業時間外の学修内容】テキスト「基礎バイオメカニクス」の第11章を予習しておくこと。	A・B
第2回	【テーマ】ソフトウェアの使用方法 【計画内容】動作分析用ソフトウェア Visual3D の使い方、プレゼン用ソフトウェア PowerPoint の使い方。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を予習しておくこと。	A・B	第10回	【テーマ】分析結果のプレゼンテーション 【計画内容】各班で動作分析結果のプレゼンを行う。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を予習しておくこと。	A・B
第3回	【テーマ】椅子からの立ち上がり動作の分析1 【計画内容】椅子からの立ち上がり動作のデータを使って、重心と支持基底面、安定性の関係について学ぶ。PowerPoint を使って、プレゼン資料を作成する。 【授業時間外の学修内容】テキスト「基礎バイオメカニクス」の第10章を予習しておくこと。	A・B	第11回	【テーマ】課題動作の計測2 【計画内容】3次元動作分析装置を用いて、課題動作の計測を行う。 【授業時間外の学修内容】光学式3次元動作分析装置について予習しておくこと。	A・B
第4回	【テーマ】椅子からの立ち上がり動作の分析2 【計画内容】椅子からの立ち上がり動作のデータを使って、体幹前傾と股関節モーメントの関係について学ぶ。PowerPoint を使って、プレゼン資料を作成する。 【授業時間外の学修内容】テキスト「基礎バイオメカニクス」の第10章を予習しておくこと。	A・B	第12回	【テーマ】動作分析4 【計画内容】計測した課題動作について各班で分析する。グループ毎に動作テーマを決め、動作分析を行う。プレゼンテーション資料を作成する。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を予習しておくこと。	A・B
第5回	【テーマ】椅子からの立ち上がり動作の分析3 【計画内容】椅子からの立ち上がり動作のデータを使って、バイオメカニクス的ロジックについて学ぶ。PowerPoint を使って、プレゼン資料を作成する。 【授業時間外の学修内容】テキスト「基礎バイオメカニクス」の第10章を予習しておくこと。	A・B	第13回	【テーマ】動作分析5 【計画内容】計測した課題動作について各班で分析する。グループ毎に動作テーマを決め、動作分析を行う。プレゼンテーション資料を作成する。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を予習しておくこと。	A・B
第6回	【テーマ】課題動作の計測1 【計画内容】3次元動作分析装置を用いて、課題動作の計測を行う。 【授業時間外の学修内容】光学式3次元動作分析装置について予習しておくこと。	A・B	第14回	【テーマ】動作分析6 【計画内容】計測した課題動作について各班で分析する。グループ毎に動作テーマを決め、動作分析を行う。プレゼンテーション資料を作成する。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を予習しておくこと。	A・B
第7回	【テーマ】動作分析1 【計画内容】関節モーメントについて講義する。計測した課題動作について各班で分析する。 【授業時間外の学修内容】テキストの第7、8章を予習しておくこと。	A・B	第15回	【テーマ】最終プレゼンテーション 【計画内容】グループ毎に分析した動作についてプレゼンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの内容を復習しておくこと。	A・B・F
第8回	【テーマ】動作分析2 【計画内容】模範プレゼン(歩行動作)で、資料の作り方や展開方法を学ぶ。計測した課題動作について各班で分析する。 【授業時間外の学修内容】テキスト「基礎バイオメカニクス」の第12、13章を予習しておくこと。	A・B			

テキスト	山本澄子ほか、2010年、『基礎バイオメカニクス第2版』、医歯薬出版株式会社 勝平純司・山本敬三・江原義弘、2020年、『姿勢と運動の力学がやさしく分かる本』、ナツメ社
参考書	江原義弘ほか、2002年、『歩き始めのバイオメカニクス』、医歯薬出版株式会社、9784263215326

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%	40%	20%	
補足			レポート	プレゼンテーション		

課題に関するフィードバックの方法		
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明をします	
資格		
その他	2年次の科目「スポーツ・バイオメカニクス」を受講していることが望ましい。 PC の操作に慣れている方が望ましい。 PC の台数に制限があるため、受講者多数の場合は、上記科目の成績によって選抜させていただきます。	

科目名	スポーツ内科学	授業形態	講義	単位数	2

教員名	沖田　孝一

授業の目的	
ねらい	わが国では、機械化および食生活の変化から生活習慣病が増加し、また一方で、高齢化が加速している。国民一人一人が、自立性と健康を保つためには、運動・スポーツによる生活習慣病の予防、身体機能および健康の維持・増進が必要である。運動・スポーツは、安全にかつ適切に行われなければならず、指導に携わる職種者は、必要な知識を身に付け、発展させなければならない。本講義では、健康・スポーツ指導者、競技者に必要なスポーツ内科学の基本と最新の知見を学ぶ。講義は常にトピックを提供しながら進める。講義には PC、動画、プリントなどを用いる。
到達目標	(1)内科的スポーツ障害の予防・改善など運動・スポーツ指導者に必須の知識を得る。 (2)個々が運動・スポーツ活動や指導を生涯続けていく上で自分の得意競技、方向性に合ったテーマを持ち、探究していく姿勢を身に付けていく。

授業の計画						
第1回	【テーマ】総論：スポーツ医学・内科学とは？ 【計画内容】スポーツ内科学総論：本講義で学ぶ概要(1-15回)を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】スポーツと栄養・食事・飲料 【計画内容】競技者の栄養摂取における問題点、食事の取り方、水分補給の必要性と方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
第2回	【テーマ】運動・スポーツと健康・長寿 【計画内容】Why exercise and sport? スポーツで健康になれるのか、スポーツ選手は長生きか？ー運動と健康の疫学について知る。 【授業時間外の学修内容】運動がどうして健康につながるのか各自調べ、考えておくこと。	A	第10回	【テーマ】トレーニング科学 - 運動器系 【計画内容】骨格筋トレーニングの形態学的および生理学的効果を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
第3回	【テーマ】内科的障害と予防1：運動・スポーツにおける急性疾患 【計画内容】運動によって急性に起こる突然死、不整脈、喘息、アナフィラキシーなどについて知る。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】トレーニング効果 - 呼吸と循環系 【計画内容】呼吸・循環器系トレーニングの形態学的および生理学的効果を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
第4回	【テーマ】内科的障害と予防2：運動・スポーツにおける慢性疾患 【計画内容】運動によって慢性的に起こるスポーツ貧血、オーバートレーニングなどを理解する。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A	第12回	【テーマ】トレーニングの応用1(近代的トレーニング) 【計画内容】今や一流競技者では一般化されつつある低酸素・高地トレーニングなどを知る。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
第5回	【テーマ】スポーツ心臓 【計画内容】特に持久系競技者にみられるスポーツ心臓の定義、生理学的意義について理解する。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】トレーニングの応用2(最先端のトレーニング) 【計画内容】血流制限を併用した虚血トレーニング、両側トレーニングなどを知る。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
第6回	【テーマ】環境とスポーツ内科学 【計画内容】低圧環境および降圧環境における気圧障害、暑熱障害など理解し、対策を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】ドーピングについて 【計画内容】ドーピングの意味・現状、検査の方法、禁止薬剤などを知る。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
第7回	【テーマ】メディカルチェックと運動負荷試験 【計画内容】スポーツを安全に行うために必要なメディカルチェックと運動負荷試験の実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】服薬者の運動プログラム作成上の注意 【計画内容】服薬者のための運動処方について知る。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】運動・スポーツに関連する疾患 【計画内容】消化器疾患、腎障害、感染症などスポーツに関連して問題となる疾患と対処方法を理解する。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A			

テキスト	講義時に説明します
参考書	安部孝・琉子友男、2005年、『これからの健康とスポーツの科学』、講談社サイエンティフィク

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		30%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	適宜、全体的正答率と評価結果と模範解答を紹介する。また正答率が低かった内容について、詳しく解説する。

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	医師・医学博士、総合内科専門医、循環器専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本医師会認定健康スポーツ医
	科目との関連	基礎的な内容、最先端の内容に加えて、内科・循環器内科専門医およびスポーツ医として、実務してきた経験を活かした授業内容も教授する。

質問への対応	随時対応あるいはメール対応します。E-Mail:okitak@hokusho-u.ac.jp
資格	[ス]健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、認定トレーニング指導者_必修、アスレティックトレーナー_必修、レクリエーション・コーディネーター_選必
その他	学問は聞き流すものでない。積極的に考え、講義に参加する姿勢が大切である。小グループでの討論およびディベートも行う。

科目名	衛生学及び公衆衛生学	授業形態	講義	単位数	2

教員名	佐々木　浩子

授業の目的		
	ねらい	本講義の目的は、医療・保健・福祉の連携の重要性が増す中、特に教育の現場において必要な環境衛生・公衆衛生学の意義と基本的知識について学ぶとともに、集団と個人の健康に関する事項について認識を深めることを目標とする。また、それらから、生涯を通した健康づくりについて考察することを目標としている。さらに、統計資料から読み取ることができる現代の保健・健康課題や，生活環境が及ぼす健康影響について認識を深めることに重点をおいている。
	到達目標	(1)健康に関する現代的課題について理解する。 (2)その課題の解決へ向けた方策について理解する。 (3)生涯を通した健康づくりについて考察できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】全体オリエンテーション 衛生・公衆衛生序論、健康の定義 【計画内容】15回の流れについて説明します。衛生・公衆衛生学序論として、健康とはどういうことかを考えます。また、健康づくりの施策について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】感染症の対策と法規 【計画内容】感染症の法律と個別の感染症対策に関して、現状とその予防について学び、アクティブ・ラーニングを通して理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H・K・L
	第2回	【テーマ】健康指標，保健統計 【計画内容】健康レベルの測定には、地域の衛生状態や様々な環境整備などの項目が関係しています。それら健康レベルの測定について学びます。また、保健統計から乳幼児および学童期の死因についても考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・K・L	第10回	【テーマ】感染症予防 【計画内容】個別の感染症に関して、現状とその予防について学び、アクティブ・ラーニングを通して理解を深めます。とりあげる感染症はその時点での重要な感染症を対象とします。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H・K・L
	第3回	【テーマ】人口統計 【計画内容】人口静態統計、人口動態統計を元に、年次推移や様々な指標が算出されています。それら統計から読み取れることを考えます。特に、出生率の動向から少子化について考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・K・L	第11回	【テーマ】生活習慣病と健康1 【計画内容】現在の日本人の死因の上位になっている悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の現状と予防について、統計資料から考察します。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H・K・L
	第4回	【テーマ】疫学の基礎 【計画内容】疫学の基礎として、疫学の目的や方法について学びます。疫学の方法としての、記述疫学、分析疫学について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・K・L	第12回	【テーマ】生活習慣病と健康2 【計画内容】メタボリックシンドロームを含む、代謝性疾患などを中心に現状とその予防について、統計資料から考察します。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H・K・L
	第5回	【テーマ】環境と健康1 【計画内容】室内空気環境を衛生的に保つ意義と学校環境衛生について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・K・L	第13回	【テーマ】食生活と健康 【計画内容】食習慣や食品衛生と健康について学びます。特に、近年増加している冬場に多い食中毒について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H・K・L
	第6回	【テーマ】環境と健康2 【計画内容】室内環境を良好に保つ意義と学校環境衛生について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・K・L	第14回	【テーマ】職業生活と健康 【計画内容】職業生活と健康について学びます。外因死や近年問題となっている長時間労働、うつ、アルコール摂取という問題を考えます。場合によっては討論を行います。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H・K・L
	第7回	【テーマ】環境と健康3 【計画内容】生活環境を中心に、環境と健康との関係について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・K・L	第15回	【テーマ】まとめ・現代的健康課題の考察 【計画内容】講義のまとめと振り返りを行います。健康に関わる現代的課題について考察します。 【授業時間外の学修内容】まとめのプリントについて理解を深めておくこと。必要な資料を準備しておく。	A・B・K・L
	第8回	【テーマ】感染症と健康 【計画内容】感染症発症には3つの要因が関わっています。感染症発症の要因である、病原体、感染経路、宿主の感受性について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・K・L			

テキスト	鈴木庄亮・久道茂編集、2020年、『シンプル衛生公衆衛生学＜年度版＞』、南江堂
参考書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1560-3 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1568-9 文部科学省、2018年、『学校環境衛生管理マニュアル』、日本学校保健会、978-4-903076-21-8

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		20%		10%	20%
	補足	Webの可能性あり		レポート、ワーク		参加意欲、ワーク	考察、ワーク、振り返り

課題に関するフィードバックの方法	課題等は授業内にて返却します。毎回の確認用紙等については，学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修
その他	まとめとして確認テストを行います。 教職の必修科目のため、講義内容も資格取得を目指した内容となっており、一定水準以上の到達レベルを目指しています。しかし、対象者の進度やその時点での社会的な話題によって内容の変更の可能性があります。 テキストに記載されている図表を使用するため、テキスト購入は必須です。テキストは年度版になっていますので，毎年更新されています。またレポート等の課題はテキストより出題する予定です。 テキスト及び参考書については，出版社の都合により改訂される場合があります。 各テーマはそのときの社会的な状況によって入れ替わることがあります。 受講にあたっては、教員を目指す学生として相応しい受講態度を望みます。

科目名	メンタルトレーニング演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	吉田　聡美				

授業の目的	
ねらい	スポーツ心理学におけるメンタルトレーニングについて理解を深め、基本的なメンタルトレーニングを実施できる知識・技術を身につけることを目的とする。また、この授業では実際にメンタルトレーニングを実施し、その内容・結果・考察を行い、スポーツ選手がどのような問題を抱え競技しているのかその対処法を学ぶ。
到達目標	(1)メンタルトレーニングの基本的な内容を理解し、実践できる。 (2)メンタルトレーニングの実施結果をまとめ、分析・考察することができる。 (3)スポーツ場面の心理的問題点に対して、心理的スキルに焦点を当て対処法を考えることができる。 (4)アスレティックトレーナーに必要な心理的問題を理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス:メンタルトレーニングとは 【計画内容】授業の実施方法、評価方法などについて紹介し、15回の授業展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】ワークブック第1章とシラバスの内容を熟知しておくこと。	A・B	第9回	【テーマ】積極的思考・セルフトークの活用方法 【計画内容】積極的思考やセルフトークを活用することの効果や利用方法を学び、自分にあった活用方法を検討する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト、ワークブック第8章を読んでおくこと。	A・B
第2回	【テーマ】心理的スキルと自己分析 【計画内容】メンタルトレーニングに必要な心理スキルを学び、実際に心理テストを利用して自分の心理的特性を把握する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト、ワークブック第2章を読んで確認しておくこと。	A・B	第10回	【テーマ】メンタルトレーニングを実施するための具体的な内容を設定 【計画内容】心理テスト、自己分析、これまで学習した心理的スキルを利用して、自分のメンタルを強化するための内容を設定する。 【授業時間外の学修内容】これまで学習した第1章から第9章まで読んでおくこと。	A・B
第3回	【テーマ】心の問題と動機づけの理論 【計画内容】心理的な問題(バーンアウトなど)に直面した時の対処法の検討及び認知、情動、欲求の側面から動機づけ理論について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト、ワークブック第3章を読んでおくこと。	A・B	第11回	【テーマ】メンタルトレーニング実施計画の作成 【計画内容】実際に実施するメンタルトレーニングのスキル内容、時間・日程・内容などの詳細な計画を作成する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト第14章「メンタルサポートの実際」を読んでおくこと。	A・B
第4回	【テーマ】目標設定の種類と方法 【計画内容】目標設定の原理・原則、目標設定の種類とその方法を学び、効果的な目標設定方法とはどのようなものか理解し、実際に目標設定を体験する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト、ワークブック第4章を読み、自分の目標を表現できるようにしておくこと。	A・B	第12回	【テーマ】メンタルトレーニングの実施①コミュニケーションスキル 【計画内容】実施したメンタルトレーニング経過の記録を伝える、わかりやすく表現するためのコミュニケーションについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ワークブック第12章の「コミュニケーションについて」を読んでおくこと。	A・B
第5回	【テーマ】心のコンディショニングの必要性 【計画内容】心理的スキルについて確認し、心のコンディショニングの調整方法、ピークパフォーマンスの状態と特徴、感情の状態を把握するためのモデリング技法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト、ワークブック第9章を読み、心のコンディショニングについて理解を深めておくこと。	A・B	第13回	【テーマ】メンタルトレーニングの実施②心理的スキルの実施中間報告 【計画内容】実際に実施した心理的スキルの導入の方法および実施状況の分析、報告を行い、効果的な方法を検討する。 【授業時間外の学修内容】実施した心理的スキルの内容及び実施状況をまとめて報告できるようにしておくこと。	A・B
第6回	【テーマ】競技別覚醒水準とパフォーマンスの関係 【計画内容】各競技の最適な覚醒状態について学び、やる気が高まりすぎた時のリラクセーションの方法、気持ちを高め、やる気を高めるサイキングアップの方法について学び、実際に体験する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト、ワークブック第5章を読んでおくこと。	A・B	第14回	【テーマ】メンタルトレーニングの実際:心理的スキルの応用 【計画内容】実際にメンタルトレーニングを実施した内容の振り返りと理解度を確認し、自分にあった方法を見つけさらに深める。実施した内容の効果を確認する。 【授業時間外の学修内容】これまで学習した内容について理解を深め、試してみた過程を報告できるようにしておくこと。	A・B
第7回	【テーマ】集中力の高め方 【計画内容】注意の性質について学び、集中できない要因や集中力を高める技法を示しながらメンタルトレーニングを実施する上で、必要な知識を学び自分にあった方法を検討する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト、ワークブック第6章を読んでおくこと。	A・B	第15回	【テーマ】メンタルトレーニング実施の最終報告 【計画内容】メンタルトレーニングを実施した報告書を提出及びこれまでの自分の学習を振り返り、目標の達成度、取り組み内容についての評価を行う。 【授業時間外の学修内容】これまで実施した内容の確認及び実施した内容をまとめて提出できるようにしておくこと。	A・B
第8回	【テーマ】イメージトレーニングの活用方法 【計画内容】目的に合わせたイメージトレーニング方法及びセルフイメージなどを学び、効果的なイメージトレーニングの活用について検討する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキスト第7章及びワークブックを読んでおくこと。	A・B			

テキスト	吉田聡美、2019年、『資格に役立つスポーツ心理学・コーチングワークブック』、中西出版 蓑内豊・竹田唯史・吉田聡美、2020年、『基礎から学ぶスポーツ心理学 』、中西出版
参考書	日本スポーツ心理学会、2016年、『スポーツメンタルトレーニング教本』、大修館書店

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		40%		20%	
補足	ワークブックから出題		レポート		質問・課題	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	アスレティックトレーナー　体育教諭	
	科目との関連	アスレティックトレーナーや体育教諭として、心理的課題に直面した人の対応	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:ssyyy@juno.ocn.ne.jp
資格	[ス]アスレティックトレーナー_必修
その他	自らスポーツメンタルトレーニングを実施できる受講生対象です。 シラバスの順番は前後することがあります。講義で説明いたします。休講の場合は補講日で実施します。

科目名	ジュニアスポーツ論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	大宮　真一				

授業の目的	
ねらい	我が国の子どもの体力はピーク時と比較して依然低い傾向にあります。子ども達が健やかに成長する上で運動･スポーツとの関わりは極めて重要です。本授業では、基礎理論を基に安全で有効な運動･スポーツが実施できるジュニアスポーツ指導を目指し、指導者の視点で子どもと運動･スポーツについて考え、理解を深めます。
到達目標	(1)子どもを取り巻く問題やその背景について理解できる。 (2)子どもの発育発達が理解できる。 (3)ジュニアスポーツ指導上の留意事項を理解できる。 (4)ジュニア期の競技スポーツについて理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の目的、計画、評価等について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ジュニア期に多いケガや病気 【計画内容】発育発達期に多い怪我や病気を学び、安全で有効なジュニアスポーツ指導を考える。 【授業時間外の学修内容】子どもの頃の体験をまとめておくこと。	A
第2回	【テーマ】子どもを取り巻く問題とその背景 【計画内容】我が国の子どもを取り巻く問題とその背景を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】参考資料などを読んでおく。	A	第10回	【テーマ】コーディネーション能力とは 【計画内容】コーディネーション能力について学び、この能力が身につく運動について考える。 【授業時間外の学修内容】子どもの頃体験した遊びをまとめておくこと。	A
第3回	【テーマ】生涯発達とジュニアスポーツ 【計画内容】生涯スポーツの視点からジュニア期の望ましい運動経験を考える。 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておく。	A	第11回	【テーマ】ジュニア期の指導プログラム 【計画内容】一貫指導の重要性や発育発達に応じた指導について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】スポーツ体験をまとめておく。	A･J
第4回	【テーマ】幼児期の発育発達 【計画内容】誕生から幼児期までの発達を学び、運動の必要性を考える。 【授業時間外の学修内容】参考書などを読んでおく。	A	第12回	【テーマ】発育発達期のトレーニングプログラム 【計画内容】我が国のジュニアスポーツの実態を学ぶ。少年団活動やタレント発掘事業の事例を調べる。 【授業時間外の学修内容】ジュニアスポーツの事例をまとめておく。	A･J
第5回	【テーマ】幼児期の運動指導 【計画内容】幼児期の運動の重要性を理解し、指導法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の学習を復習しておく。	A	第13回	【テーマ】ジュニアスポーツの指導① 【計画内容】スポーツモラル、フェアプレーについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】スポーツモラルに関わる事例を調べておく。	A
第6回	【テーマ】子どもの運動指導現場の実際 【計画内容】運動指導現場での子どもの動きを確認する。運動パターンを分類する。 【授業時間外の学修内容】前回の学習を復習しておく。	A･G	第14回	【テーマ】ジュニアスポーツの指導② 【計画内容】望ましいジュニアスポーツ指導者について考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習をまとめておくこと。	A
第7回	【テーマ】ジュニア期の身体的発達特徴とスポーツ指導 【計画内容】発育発達期の身体的発達の特徴を学び、発達課題とスポーツ活動について考える。 【授業時間外の学修内容】前回の学習を復習しておく。	A	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】これまでの講義で学んだことを振り返って、今後の指導に活かすことができるよう整理する。 【授業時間外の学修内容】配付資料をまとめておくこと。	G･L
第8回	【テーマ】ジュニア期の心理的発達特徴とスポーツ指導 【計画内容】発育発達期の心理的発達の特徴を学び、発達課題とスポーツ活動について考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を復習しておく。	A			

テキスト	講義で説明します
参考書	2018年、『日本スポーツ協会公認ジュニアスポーツ指導員養成テキスト』、日本体育協会 浅見俊雄･福永哲夫、2015年、『子どもの遊び･運動･スポーツ』、市村出版 幼少年体育指導士会、2018年、『幼少年のための運動遊び･体育指導』、杏林書院

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			55%		45%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	E-Mail:omiya@hokusho-u.ac.jp
資格	[ス][健]公認スポーツ指導者(Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ)_必修、ジュニアスポーツ指導員_必修
その他	

科目名	障がい者スポーツ論	授業形態	講義	単位数	2

教員名	松井　由紀夫

授業の目的		
	ねらい	スポーツの取り組みは、余暇生活の充実といった視点からも、障がいのある人の生活において大変重要な役割を果たしている。本講義では、ICF（国際生活機能分類）による国際的な障がいの考え方を明らかにした上で、様々な障がいの病理と特徴について学ぶ。その上で、障がいに対応した様々なスポーツの取り組みとパラリンピックやそのほかの障がい者スポーツの種目について知ることを目的とする。また、障がい者スポーツ指導員（初級）の知識と理解を深める。
	到達目標	(1)様々な障がいの基本的事項について理解する。 (2)障がいのある人の生活の充実のためにスポーツが果たす役割について理解する。 (3)各障がいに応じた配慮事項について理解し、様々な障がい者スポーツの種目やルールについて知る。 (4)パラリンピックの種目について理解する。 (5)障がい者スポーツ指導員（初級）の内容についての理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス～障がい者スポーツの意義と理念～ 【計画内容】15回の講義展開を説明し、いわゆる「障がい」とはどのような状態を指すのか考える。障がい者スポーツ指導員（初級）について説明し理解と確認を行う。障がい者スポーツについて受講学生がどの程度知識があるか確認と調査を行う。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。障がい者スポーツについて調べておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】障がい者スポーツの歴史 【計画内容】障がい者スポーツの国際大会、国内大会の歴史について知る。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K
	第2回	【テーマ】「障がい」とはーICF の理念ー 【計画内容】ICF（国際生活機能分類）に基づく障がいの考え方について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容の要点を整理すること。	A・K	第10回	【テーマ】障がい者スポーツで使われる装具等について 【計画内容】障がい者スポーツで使われる義肢や装具の構造について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義について予習しておく。	A・K
	第3回	【テーマ】障がいとはー肢体不自由、脳性麻痺ー 【計画内容】肢体不自由の定義を知り、その中でも多くを占める脳性麻痺について理解する。合わせて肢体不自由の運動能力の特徴やトレーニングの方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K	第11回	【テーマ】障がい者スポーツに関するレポート作成 【計画内容】障がい者スポーツに関した課題に基づき、レポート作成を行う。 【授業時間外の学修内容】情報検索システムを用いてレポートの作成の仕方について学んでおく。	G
	第4回	【テーマ】障がいとはー視覚障がいー 【計画内容】視覚障がいの心理や生理、病理について知り、支援方法について理解する。合わせて視覚障がい者の運動能力の特徴やトレーニングの方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K	第12回	【テーマ】車椅子の構造と種類 【計画内容】様々な障がい者スポーツで使用される車椅子の種類について知り、その構造を理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K
	第5回	【テーマ】障がいとはー聴覚障がいー 【計画内容】聴覚障がいの心理や生理、病理について知り、聴覚障がいのある人とのコミュニケーションについて理解する。合わせて聴覚障がい者の運動能力の特徴やトレーニングの方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K	第13回	【テーマ】提出されたレポートの発表と確認問題の実施 【計画内容】提出されたレポートについて各自グループで発表を行い、代表者が全体に発表する。今までの内容について振り返り、講義内容の定着を調べるため、まとめの問題を行う。 【授業時間外の学修内容】今までの講義内容を整理、確認し、復習しておく。	F・L
	第6回	【テーマ】障がいとはー知的障がい、精神障がい、内部障がいー 【計画内容】知的障がい、精神障がい、内部障がい心理や生理、病理について知り、支援の方法について理解する。合わせてこうした障がいのある人の運動能力の特徴やトレーニング方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K	第14回	【テーマ】重度障がい者とスポーツ 【計画内容】電動車椅子サッカーなどの重度障がい者が行っているスポーツを知り、重度障がい者にとってのスポーツの意義について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K
	第7回	【テーマ】障がい者にとっての運動の意義と効果について 【計画内容】障がい者にとっての運動の意義と効果についてアダプテッドスポーツを知ることを通して理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K	第15回	【テーマ】特別支援学校におけるスポーツの取り組みや安全管理について 【計画内容】特別支援学校で行っているスポーツについて知り、個に応じた配慮の重要性と、重度障がい者にとってのスポーツの意義について理解する。 【授業時間外の学修内容】特別支援学校の対象となる生徒の実態について調べておくこと。	A・K
	第8回	【テーマ】障がい受容のプロセスについて 【計画内容】事故による脊椎損傷等の中途障がいについて知り、受容のプロセスをアスリート達の体験談から理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K			

テキスト	プリントを使用する。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に評価や授業内容について具体的に説明します。
資格	[ス]健康運動指導士_必修、障がい者スポーツ指導員_必修 [健]障がい者スポーツ指導員_必修
その他	出席・受講態度と発表・課題ワークおよび講義内容の定着度の検査結果を重視します。

科目名	野外教育指導演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	坂谷　充、志村　佳奈、安原　政志				

授業の目的		
	ねらい	本演習は、組織教育キャンプの企画・運営・評価を体験学習し、野外教育指導者としての知識と技術を深めることを目的に開講します。 実習前の講義では、履修条件に挙げた諸科目を通して学んだ基礎的な理論や技術をもとに実習の一部を企画します。実習中は、本学2年次対象の開講科目である「野外教育実習」のスタッフとしてかかわり、指導者としての役割について学びを深めます。実習後は、実習の評価会運営や報告書作成を通して評価法を学びます。
	到達目標	(1)野外教育指導者に求められる基礎的な知識や技術を身につける (2)野外教育プログラムの企画、運営(指導・安全管理など)、評価ができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業のねらい、展開方法について説明します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A	第9回	【テーマ】野外生活技術の指導法 【計画内容】環境に配慮した野外生活技術の指導法を学びます。(坂谷充) 【授業時間外の学修内容】前回の授業で示した文献・資料等を読んでおくこと。	E・H・M・N
	第2回	【テーマ】組織キャンプの理論と実際 【計画内容】組織キャンプの基礎的な理論や歴史、社会における役割等について再確認し、指導者としての心構えを学びます。(坂谷充) 【授業時間外の学修内容】前回の授業で示した文献・資料等を読んでおくこと。	A・G	第10回	【テーマ】イニシアティブゲームの指導法 【計画内容】「野外教育実習」で行うイニシアティブゲームの指導法を学びます。(安原政志) 【授業時間外の学修内容】前回の授業で示した文献・資料等を読んでおくこと。	B・H・M・N
	第3回	【テーマ】キャンプマネジメント 【計画内容】組織キャンプにおけるマネジメントの考え方やスタッフの役割について学びます。(坂谷充) 【授業時間外の学修内容】前回の授業で示した文献・資料等を読んでおくこと。	A・G	第11回	【テーマ】組織キャンプの準備2 【計画内容】食糧計画、装備計画の立案・準備等の実践を通じてキャンプマネジメントについて学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】計画に必要な情報を収集し、資料を準備しておくこと。	B・H
	第4回	【テーマ】組織キャンプにおける安全管理 【計画内容】指導者に求められる安全管理の考え方や視点等についてワークショップを通じて学びます。(坂谷充) 【授業時間外の学修内容】前回の授業で示した文献・資料等を読んでおくこと。	B・G・H・N	第12回	【テーマ】「野外教育実習」の指導1(国立日高青少年自然の家) 【計画内容】「野外教育実習」のスタッフとして運営にかかわり、指導者としての知識と技術を深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】野外教育指導者に求められる知識と技術について復習しておくこと。	B・H・M
	第5回	【テーマ】組織キャンプの計画 【計画内容】「野外教育実習」の計画に携わり、環境に配慮し、教育効果の高いプログラムを計画する方法について学びます。(坂谷充) 【授業時間外の学修内容】前回の授業で示した文献・資料等を読んでおくこと。	B・H・M・N	第13回	【テーマ】「野外教育実習」の指導2(国立日高青少年自然の家) 【計画内容】カウンセラーとして「振り返り」を実際に指導し、ファシリテーション技術を深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「振り返り」の指導方法について復習しておくこと。	B・H・M
	第6回	【テーマ】プログラムの立案 【計画内容】「野外教育実習」で実施するプログラムを立案し、企画力を身につけます。(安原政志) 【授業時間外の学修内容】前回の授業で示した文献・資料等を読んでおくこと。	B・H・M・N	第14回	【テーマ】「野外教育実習」の指導3(国立日高青少年自然の家) 【計画内容】食糧・装備スタッフの役割を実際に体験し、キャンプマネジメントについて学びを深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】キャンプマネジメントについて復習しておくこと。	B・H・M
	第7回	【テーマ】組織キャンプの準備1 【計画内容】「野外教育実習」の健康調査等の準備をとおして安全管理の重要性を学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の授業で示した文献・資料等を読んでおくこと。	B・H	第15回	【テーマ】組織キャンプの評価 【計画内容】「野外教育実習」の報告書作成を通して評価法を学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「野外教育実習」の成果等を整理し、まとめておくこと。	B・G・H・L
	第8回	【テーマ】フィールド調査と指導技術のトレーニング(国立日高青少年自然の家) 【計画内容】「野外教育実習」の実地踏査を通じて、アクティビティ指導のトレーニングや安全管理の実践を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の授業で示した文献・資料等を読んでおくこと。	D・H・M・N			

テキスト	公益社団法人日本キャンプ協会、2019年、『キャンプ指導者入門　第5版』、公益社団法人日本キャンプ協会、9784904008157 公益社団法人日本キャンプ協会、2018年、『キャンプディレクター必携』、公益社団法人日本キャンプ協会、9784904008133
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
	補足			レポート		実習およびその準備	

課題に関するフィードバックの方法	授業の中で、随時フィードバックを実施します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	質問、欠席届などは sakatani@hokusho-u.ac.jp まで。なお大学のアドレスからメールを送付すること。 またはオフィスアワー(4月中に発表)を活用してください。 詳細は初回講義時に説明します。
資格	[ス]レクリエーション・コーディネーター_必修、キャンプディレクター_必修
その他	受講条件:必須条件として「野外教育論」「野外教育実習」の単位を取得していること。 また「雪上活動実習」「レクリエーション実技」の単位を取得していることが望ましい。 指導者を目指すものとしての自覚と責任を持って受講してください。

科目名	生涯スポーツ(野球・ソフトボール)	授業形態	実技	単位数	1

教員名	渡部　峻

授業の目的		
	ねらい	野球・ソフトボールの歴史、ルール、技術構造、練習方法を学習してその知識の習得を目的とする。さらに、初心者から中級者まで幅広く指導できるようにベースボール型球技の基本技術を身につける。
	到達目標	(1)初心者への指導方法を理解する。 (2)楽しく安全なベースボール型球技の試合運営方法を学ぶ。 (3)ソフトボール独特の投球方法「ウィンドミル投法」の技術を習得する。 (4)初心者に対して具体的なルールの説明ができるようにする。 (5)競技場の管理についての知識を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業内容を説明し、15回の授業展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	E	第9回	【テーマ】基本技術7:①ウィンドミル短期習得練習　②走塁の基本技術 【計画内容】ウィンドミル投法の完成を目指して、正規の投球間で投球練習をおこなう。攻撃時の走塁についての基本技術を学習する。 【授業時間外の学修内容】前回まで学習した基本技術を確認しておく。	E
	第2回	【テーマ】野球・ソフトボールの歴史、競技場、ルールについて理解する。 【計画内容】競技場の正しいラインの引き方、各ベースの設置方法、ポジションによって異なるグラブについて、バットの選び方等を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】図書館等にある野球・ソフトボール関連の書籍の歴史、競技場、用具についての部分に目を通しておく。	E	第10回	【テーマ】応用練習1:①ウィンドミル投法　②スローピッチのソフトボールの簡易ゲーム 【計画内容】ウィンドミル投法の練習を実施する。初心者向きのスローピッチソフトボールの試合をおこなう。ファーストピッチソフトボールとの違いを理解し、安全で誰もができるソフトボールの試合の進め方を学習する。 【授業時間外の学修内容】前回まで学習した基本技術を確認しておく。	E
	第3回	【テーマ】基本技術1:①キャッチボール　②ベッパーゲームの技術 【計画内容】キャッチボールの基本であるボールの握り方、送球技術、捕球技術を学ぶ。さらに、バットスイングの基本であるグリップ、構え、ミートポイントについて学習する。 【授業時間外の学修内容】図書館等にある野球・ソフトボール関連の書籍の送球技術、捕球技術、打撃技術についての部分に目を通しておく。	E	第11回	【テーマ】応用練習2:①ウィンドミル投法　②ベッパーゲームの技術取得状況を確認する。 【計画内容】ウィンドミル投法の技術取得状況を確認する。また、ベッパーゲームについても習得できていない技術を明確にする。 【授業時間外の学修内容】前回まで学習した内容を確認しておく。	E
	第4回	【テーマ】基本技術:2:①捕球から送球までスムーズに行うための技術　②左右に打ち分けるためのバットコントロール技術 【計画内容】正確な送球をするための基本技術および捕球技術を学習する。(軸脚の使い方、体重移動、捕球姿勢等)打撃では緩いボールを正確にバットで捉え、左右に打ち分ける技術を学習する。 【授業時間外の学修内容】グラブの選び方、使い方およびバットの握り方を復習しておく。	E	第12回	【テーマ】スローピッチソフトボールのゲーム① 【計画内容】これまで学習・習得した技術を用いて実際のゲームを実施して、試合の流れを理解する。 【授業時間外の学修内容】前回まで学習した内容とルールについて復習しておく。	E
	第5回	【テーマ】基本技術3:①フライの捕球　②正確なベッパーゲーム 【計画内容】フライの捕球技術の習得に向けた学習をする。 打撃では狙った方向に打ち返せる技術を習得する練習をする。 【授業時間外の学修内容】前回の捕球技術の基本を復習しておく。	E	第13回	【テーマ】スローピッチソフトボールのゲーム② 【計画内容】これまで学習・習得した技術を用いて実際のゲームを実施して、試合の流れを確認するとともに戦術についても理解する。 【授業時間外の学修内容】前回まで学習した内容とルールについて復習しておく。また、戦術について予習しておく。	E
	第6回	【テーマ】基本技術4:①ソフトボール特有の投法「ウィンドミル」の基本技術　②チームディフェンス(投内連携) 【計画内容】ウィンドミルの基本技術習得のため、投球動作の理論を理解し、シャドーピッチングから段階的に学習する。守備ではそれぞれのポジションごとの動きを理解する。 【授業時間外の学修内容】図書館等にあるソフトボール関連の書籍でウィンドミルについてのおおよそ理解しておく。	E	第14回	【テーマ】ウィンドミルを用いた通常のソフトボールのゲームの実施① 【計画内容】取得したウィンドミル投法を用いて実際のゲームをおこなう。 【授業時間外の学修内容】ウィンドミル投法を練習しておく。	E
	第7回	【テーマ】基本技術5:①ウィンドミル短期習得練習　②投内連携の復習と内外連携 【計画内容】前回のシャドーピッチングでしっかりフォームを習得したのち、ボールを使って個人で東急練習をおこなう。守備では投内連携の復習後、外野も交えて内外連携のフォーメーションを確認する。 【授業時間外の学修内容】前回まで学習した基本技術を確認しておく。	E	第15回	【テーマ】ウィンドミルを用いた通常のソフトボールのゲームの実施② 【計画内容】ウィンドミル投法ができているかの実技試験をおこなう。その後、取得したウィンドミル投法を用いて実際のゲームをおこなう。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容を振り返り理解しておく。	E
	第8回	【テーマ】基本技術6:①ウィンドミル短期習得練習　②実践的な打撃練習 【計画内容】1対1でウィンドミル投法でキャッチボールを実施する。 打撃練習ではティースタンドを用いて強く、遠くに打つための体の使い方を学習する。 【授業時間外の学修内容】前回まで学習した基本技術を確認しておく。	E			

テキスト	プリント等を使用する。
参考書	プリント等を使用する。 文部科学省、『中学校学習指導要領解説保健体育編』、文部科学省(東山書房) 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説保健体育編』、文部科学省(東山書房)

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		10%	30%		60%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	硬式野球部監督・研究者(専門:野球、バイオメカニクス)
		科目との関連	野球の指導者の経験と研究者の経験を活かし、初心者に対しても指導できる技術を教授する。

質問への対応	毎回の講義時に対応します。または、watashun@hokusho-u.ac.jp にメールで問い合わせてください。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必
その他	上下ともにスポーツウェアおよび帽子(熱中症対策)を着用のこと。スウェットやスポーツに適さない服装では受講不可。シューズも同様で、サンダルや運動に適さない場合は受講不可。野球やソフトボール経験者においては自身の用具の使用も認める。

科目名	生涯スポーツ指導演習(サッカー)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	安部　久貴				

授業の目的	
ねらい	サッカーの技術を身につけるとともに、ルールを理解した上で教育現場で計画的に授業を展開するために必要な指導力を養うことを目的とする。授業では、実技の実践のみならず、グループでの模擬授業の立案・実践・振り返りを通じて、コミュニケーションスキル等の社会的スキルを高めることも目的とする。
到達目標	(1)体育の授業や初心者レベルの指導で模範ができるような基礎技術を身につける (2)教育現場で授業を計画的に実施するための指導力を身につける。 (3)基本的な競技規則を理解する。 (4)実技の実践、指導の立案・実践・振り返りを通して社会的スキルを養う。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ゲーム(8vs8) 【計画内容】8対8のゲームの中で効果的に個人技術とグループ戦術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】ゲームでの攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E
第2回	【テーマ】個人技術(ドリブル) 【計画内容】脚でボールを運ぶ技術について学びます。 【授業時間外の学修内容】ドリブルの仕方について自分で調べておくこと。	E	第10回	【テーマ】ゲーム(11vs11) 【計画内容】11対11のゲームの中で効果的に個人技術とグループ戦術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】ゲームでの攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E
第3回	【テーマ】個人技術(インサイドキック) 【計画内容】足部内側でボールを打つ技術について学びます。 【授業時間外の学修内容】インサイドキックの仕方について自分で調べておくこと。	E	第11回	【テーマ】模擬授業実践① 【計画内容】グループごとにテーマを割り当てて模擬授業を実践する。 【授業時間外の学修内容】事前に指導案を作成すること。	B
第4回	【テーマ】個人技術(インステップキック) 【計画内容】足部正面で強くボールを打つ技術について学びます。 【授業時間外の学修内容】インステップキックの仕方について自分で調べておくこと。	E	第12回	【テーマ】模擬授業実践② 【計画内容】グループごとにテーマを割り当てて模擬授業を実践する。 【授業時間外の学修内容】事前に指導案を作成すること。	B
第5回	【テーマ】グループ戦術(2vs2) 【計画内容】2対2という状況の中で効果的に個人技術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】2対2という状況下での攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E	第13回	【テーマ】模擬授業実践③ 【計画内容】グループごとにテーマを割り当てて模擬授業を実践する。 【授業時間外の学修内容】事前に指導案を作成すること。	B
第6回	【テーマ】グループ戦術(3vs3) 【計画内容】3対3という状況の中で効果的に個人技術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】3対3という状況下での攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E	第14回	【テーマ】模擬授業実践④ 【計画内容】グループごとにテーマを割り当てて模擬授業を実践する。 【授業時間外の学修内容】事前に指導案を作成すること。	B
第7回	【テーマ】グループ戦術(4vs4) 【計画内容】4対4という状況の中で効果的に個人技術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】4対4という状況下での攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】学習した技術や戦術等の要点を整理した上で、模擬授業の振り返り及び総括を行う。 【授業時間外の学修内容】各自で模擬授業の振り返りを行っておくこと。	A・E
第8回	【テーマ】ゲーム(6vs6) 【計画内容】6対6のゲームの中で効果的に個人技術とグループ戦術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】ゲームでの攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E			

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		40%	30%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	北海道教育大学岩見沢校サッカー部監督、日本サッカー協会A級コーチライセンス(ジェネラル)
	科目との関連	これまでのサッカーの指導経験を活かして、実技および指導法について教授する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_選択
その他	教職課程を履修する学生が望ましい。

科目名	生涯スポーツ指導演習(体つくり運動)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	増山　尚美、作田　文子				

授業の目的

ねらい	1.「体つくり運動」が導入された背景と、ねらい及び内容について理解する。 2.「体つくり運動」を通して自分の心身の状態に気づいたり、仲間と協力して体を動かす楽しさを体験する必要性を理解する。 3. 生涯スポーツの観点から教材開発や運動プログラムの作成を行い、指導者としての資質を高める。
到達目標	(1)体つくり運動の目的と背景、ねらいについて説明できる。 (2)体ほぐしの運動を通して自分や他者の心身の状態に気付くとともに、調整の仕方を習得し、仲間と協力して活動する必要性を理解する。 (3)目的や発達段階など対象者に合わせて運動を構成し、実生活に生かす運動の計画を立てることができる。 (4)学習指導案を作成し、指導できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション～体つくり運動の背景と位置づけ 【計画内容】講義の進め方と評価方法を知る。体つくり運動の背景と位置づけについて理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料に目を通しておく。アンケートへの回答	B	第9回	【テーマ】指導と評価 【計画内容】指導計画の作成、学習評価、努力を要する生徒への手立てについて理解する(全教員) 【授業時間外の学修内容】教科書と資料に目を通しておく。確認問題への解答。	B・H
第2回	【テーマ】体つくり運動のねらいと内容 【計画内容】体つくり運動のねらいと内容について理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教科書と資料に目を通しておく。確認問題への解答	B	第10回	【テーマ】指導案の作成と指導の実践事例 【計画内容】指導案の作成方法について理解する。指導の実際について流れとポイントをつかむ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料と模擬指導の参考動画を視聴しておく。指導案を作成する。確認問題への解答。	B
第3回	【テーマ】体ほぐしの運動の行い方の例 【計画内容】体ほぐしの運動の行い方を理解する。プログラムを体験し、対象者に合わせた指導方法について理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教科書と資料に目を通しておく。確認問題への解答。	B・E・K	第11回	【テーマ】実践編　小学校での展開の仕方 【計画内容】目的とねらい、位置づけ、学習指導案の作成と教材づくりについて理解する。体ほぐしの運動の気付きについて実際の運動を通して理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教科書と資料に目を通しておく。確認問題への解答。	B・E
第4回	【テーマ】体の動きを高める運動の行い方の例①　体の柔らかさを高める運動 【計画内容】体の柔らかさを高める運動の行い方を理解する。ストレッチングの種類と特徴、柔軟性のレベルに合わせたストレッチングの方法を学ぶ。対象者に合わせた指導方法について理解する。動きを体験する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教科書と資料に目を通しておく。確認問題への解答。	B・E	第12回	【テーマ】実践編　中学校での展開の仕方 【計画内容】目的とねらい、位置づけ、学習指導案の作成と教材づくり、評価の方法について理解する。自分の体の状態を知る検査方法やスポーツテスト等の活用について理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教科書と資料に目を通しておく。確認問題への解答。	B・H
第5回	【テーマ】体の動きを高める運動の行い方の例②　巧みな動きを高める運動 【計画内容】神経系の発達を促し巧みさを高める運動を体験するとともに、対象者に合わせた指導方法について理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教科書と資料に目を通しておく。確認問題への解答。	B・E	第13回	【テーマ】実践編　高等学校での展開の仕方 【計画内容】目的とねらい、位置づけ、学習指導案の作成と教材づくり、評価の観点について理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案の内容を確認し、確実に指導できるよう準備しておく。確認問題への解答。	B
第6回	【テーマ】体の動きを高める運動の行い方③　力強さを高める運動 【計画内容】力強さを高める運動の行い方について理解する。プログラムを体験し、対象者に合わせた指導方法について理解する。運動強度等の設定について学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教科書と資料に目を通しておく。確認問題への解答。	B・E	第14回	【テーマ】模擬指導① 【計画内容】教材の発表及び指導と振り返り。各自が作成した指導案に基づき模擬指導を行う。相互評価する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導の参考動画を視聴する。各自が作成した指導案に基づき指導の練習をする。	B・F
第7回	【テーマ】体の動きを高める運動の行い方④　動きを持続する能力を高める運動 【計画内容】心肺機能を高める動きを持続する能力を高める運動の行い方について理解する。プログラムを体験し、対象者に合わせた指導方法について理解する。運動強度等の設定について学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教科書と資料に目を通しておく。確認問題への解答。	B・E・K	第15回	【テーマ】模擬指導②　まとめ 【計画内容】教材の発表及び指導と振り返り。各自が作成した指導案に基づき模擬指導を行う。各自の指導においてねらいを達成できたか確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導の動画を提出する。フィードバックを読み、各自で指導内容と指導技術について振り返りを行う。	B・F
第8回	【テーマ】実生活に生かす運動の計画 【計画内容】生徒のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための運動の計画の立て方を学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教科書と資料に目を通しておく。確認問題への解答。	B			

テキスト	2013年、『体つくり運動 - 授業の考え方と進め方 - 改訂版』、東洋館出版社 文部科学省、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 保健体育編』
参考書	適宜紹介します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	20%	35%	30%		15%	
補足	15回	模擬指導と指導案	毎時の課題提出			

課題に関するフィードバックの方法	課題返却時にコメントを記載

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	作田文子 /NPO 法人として運動教室運営及び指導
	科目との関連	作田文子 / 教室運営、指導経験を活かし、運動指導を教授する

質問への対応	teams のチャット、メール等で対応する
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、ジュニアスポーツ指導員_必修
その他	

科目名	生涯スポーツ指導演習(ダンス)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	増山　尚美、長谷川　由樹				

授業の目的

ねらい	中学校・高等学校「保健体育」の授業で扱う「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」の技能を高めるとともに、指導方法を学ぶ。またダンスは生涯にわたって楽しむことができる運動である。人とのコミュニケーションを促進し、表現することを通して心の健康にもつながる。この授業では、多様な舞踊文化の一端に触れ、踊る楽しさを体験するとともに、作品を創造する方法についても触れる。
到達目標	(1)ダンスの基本的なリズムや動きを習得する。 (2)ダンスの歴史や特性、美的要素を理解する。 (3)ダンスにおける時間、空間、ダイナミクスの関係を理解し、自ら小作品を構成したり自由に踊ることができる。 (4)創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスの指導案を作成し、指導ができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション、フォークダンス 【計画内容】授業の展開方法について説明する。学習指導要領の解説を行う。学校体育における「ダンス」の内容とねらい、単元計画、指導案の作成について理解する。 フォークダンスの基本的技能を習得する。ダンスを通して仲間と交流する楽しさを体験する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】中学校、高等学校学習指導要領を確認しておく。	B	第9回	【テーマ】創作ダンス 【計画内容】「群(集団)の動き」をテーマに空間構成と作品構成について学ぶ。指導案と創作・演出シート作成の方法を理解する。(増山尚美) 【授業時間外の学修内容】前回までの復習を行っておく。テキストを読んでおく。	B・H・K
第2回	【テーマ】現代的なリズムのダンス 【計画内容】リズム・ゲームを用いた導入の方法について学ぶ。ヒップホップのダウンとアップのリズムを習得する。リズムの特徴をとらえ、体幹部の動きを意識して踊り続けることができるようにする。(長谷川由樹) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容と、学習指導要領、テキストを読んでおく。	B・F	第10回	【テーマ】創作ダンス 【計画内容】「物をつかう」をテーマに物の質感を表現したり、何かに見立てて踊ったりする。創作ダンスの指導法として動きを引き出す言葉がけや、リズム太鼓を用いたアクセントの変化のさせ方を学ぶ。指導案に基づき指導と評価を行う。(増山尚美) 【授業時間外の学修内容】創作ダンスの指導案を作成してくる。	B・H
第3回	【テーマ】現代的なリズムのダンス 【計画内容】腕の振りのバリエーションを習得する。リズムにのりながら、腕の動きを加え、変化を付けて踊る。「フォロー・ザ・リーダー」2人一組や1人対全員で、交代に指導と模倣を行う。(長谷川由樹) 【授業時間外の学修内容】前回までの復習を行っておく。テキストを読んでおく。	B・F	第11回	【テーマ】創作ダンス 発表と鑑賞の仕方、評価の観点 【計画内容】既習のテーマの中から好きなテーマを選択し、同じテーマを選んだグループで「はじめ－なか－おわり」のひとまとまりの動きにして発表する。観賞のしかたと評価の方法を学び、他のグループの良かったところを評価したり、観点に沿ってアドバイスできるようにする。(増山尚美) 【授業時間外の学修内容】創作・演出シートを作成してくる。	B・F・H・K
第4回	【テーマ】現代的なリズムのダンス 【計画内容】足じゃんけんのグー・チョキ・パーを使って踊る。足の動きを自分で組み合わせたり工夫したりしてリズムにのって踊ることができるようにする。ダンス・バトルで交流する方法を学ぶ。フォローザリーダーやワンエイトバトルの2人組を通して相手のフィードバックを行う。(長谷川由樹) 【授業時間外の学修内容】前回までの復習を行っておく。テキストを読んでおく。	B・F・H	第12回	【テーマ】ダンスの歴史と特性 【計画内容】ダンスの歴史とジャンル、特性を理解する。単元計画と指導案の作成、評価について学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】テキストと、学習指導要領を読んでおく。	B・H
第5回	【テーマ】現代的なリズムのダンス 【計画内容】リズムの取り方について深く学ぶ。リズムの表裏を意識して、アクセントを生かしたダイナミックな動きに挑戦する。フォーメーションやフロアパターンの効果を生かして、グループでダンスを創る。記録カードを活用して発表のグルーピングを行う。(長谷川由樹) 【授業時間外の学修内容】前回までの復習を行っておく。テキストを読んでおく。	B・F	第13回	【テーマ】フォークダンス 【計画内容】基本的なステップとフォーメーションの用語を理解するとともに、ステップやパートナーチェンジの方法、基本的技能を習得する。フォークダンスを通して仲間と交流する楽しさを体験する。指導法について学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】中学校、高等学校で扱うフォークダンスや地域の民謡踊りなどを調べておく。	B・H
第6回	【テーマ】現代的なリズムのダンス　発表と交流の仕方　評価の観点 【計画内容】4×8のグループのパートと2×8の即興でのソロパートを組み合わせてチームごとに短い作品にまとめて発表する。サークルでのセッションやダンス・バトルなどの交流の仕方を学ぶ。(長谷川由樹) 【授業時間外の学修内容】前回までの復習を行っておく。テキストを読んでおく。	B・F・H・K	第14回	【テーマ】指導と評価1 【計画内容】3つの内容から一つを選び模擬授業の指導案を作成し、指導を行う。観点に沿って評価する方法を理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成し、役割分担と授業の準備をする	B・F・H
第7回	【テーマ】創作ダンス 【計画内容】「身近な生活や日常動作」をテーマに、スピードの変化と緩急を生かした動きの誇張(デフォルメ)を用いて表現する。即興による動きの探求。(増山尚美) 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおく。	B・H	第15回	【テーマ】指導と評価2 【計画内容】3つの内容から一つを選び模擬授業の指導案を作成し、指導を行う。観点に沿って評価する方法を理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成し、役割分担と授業の準備をする	B・F・H
第8回	【テーマ】創作ダンス 【計画内容】「対極の動きの連続」をテーマに高さやコントラストを強調したメリハリのある動きの連続で、即興的に踊る。動きからイメージを膨らませ、ひと流れの動きへ発展させる方法について理解する。(増山尚美) 【授業時間外の学修内容】前回までの復習を行っておく。テキストを読んでおく。	B・H			

テキスト	文部科学省、『中学校学習指導要領 保健体育編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領 保健体育編』 全国ダンス・表現運動授業研究会、2011年、『明日からトライ！ダンスの授業』、大修館書店、9784469267228
参考書	文部科学省、2013年、『学校体育実技指導資料第9集 表現運動系及びダンス指導の手引』、東洋館出版社、9784491029771 日本フォークダンス連盟、1990年、『学校フォークダンス指導の手引き』、大修館書店、4469261793 公益社団法人日本女子体育連盟編集、2019年、『女子体育 vol.61-8・9』、(公社)日本女子体育連盟

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		20%	20%	20%	20%	20%
補足		模擬指導 (第14回・第15回)	指導案 (第10回・第12回)	作品発表 (第6回・第11回)		記録ノート

課題に関するフィードバックの方法	teams,forms

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	teams のチャット機能を使用します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修
その他	

科目名	生涯スポーツ指導演習(武道)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	吉澤　正伸、小山　尋明				

授業の目的		
	ねらい	本授業では、我が国固有の文化である武道の中から柔道について学びます。柔道の基本的な礼法や態度、知識、技術、審判法、試合運営等について理解を深めるとともに、将来の体育教員を目指す者に対し、学校体育において柔道を指導するに当たっての指導方法や留意事項を修得することを目標とします。
	到達目標	(1)相手の動きに応じた基本動作から、得意技や連絡・変化技を用いて、相手を投げたり抑えたりなどの攻防ができるようにする。 (2)相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動を大切にすることや、役割を積極的に引き受けたり責任を果たすことができるようにする。 (3)伝統的な考え方、技の名称、体力の高め方、試合の仕方などを理解し、課題に応じた運動を継続することができるようにする。 (4)学校体育の指導に当たって、安全に配慮するとともに、基本的な柔道の指導ができるようにする。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業のねらいや指導内容の説明、及び我が国固有の文化としての柔道について理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】投げ技(内股)・固め技の連絡変化 【計画内容】様々な投げ技を自由に使えるようにする。また、抑え技の連絡変化ができるようにする。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B
	第2回	【テーマ】礼法・姿勢・組み方・受身(後方・側方) 【計画内容】相手を尊重し、伝統的な礼法を身につける。また、柔道の基本的な動作や安全のための受身の重要性を理解する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B	第10回	【テーマ】投げ技(巴投げ)・固め技(送り襟絞め) 【計画内容】投げ技のうち捨て身技(巴投げ)を練習する。また、固め技のうち絞め技(送り襟絞め)を練習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B
	第3回	【テーマ】礼法・体さばき・崩し・受身(前・前方回転)・投げ技(膝車) 【計画内容】基本的な投げ技を練習しながら安全に練習するための受身を身に付ける。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B	第11回	【テーマ】投げ技の連絡変化・固め技(腕挫十字固) 【計画内容】得意な二つの投げ技を連続してかける練習をする。また、固め技のうち関節技(腕挫十字固)を練習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B
	第4回	【テーマ】投げ技(大腰・背負い投げ)・かかり練習・約束練習・固め技(袈裟固め) 【計画内容】技を身に付けるためのかかり練習(打ち込み)と、さらに上達するための約束練習(投げ込み)。また、抑え技の基本を練習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B	第12回	【テーマ】投げ技の自由練習・固め技の自由練習 【計画内容】これまで学んだ技を自由に駆使するとともに、安全に配慮して自由練習(乱取り)を行う。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B・H
	第5回	【テーマ】投げ技(大内刈・小内刈)・固め技(肩固め) 【計画内容】投げ技の種類(手技・足技・腰技)を理解し、抑え技を練習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B	第13回	【テーマ】投げ技の自由練習・固め技の自由練習・審判規定解説 【計画内容】自由練習(乱取り)とともに、審判規定(ルール)を理解し、審判法を身に付ける。 【授業時間外の学修内容】これまでの配付プリントを整理し課題を確認する。	B・H
	第6回	【テーマ】投げ技(体落とし)・固め技(縦四方固め) 【計画内容】投げ技の種類によって体さばきの工夫が大切なことを理解する。また、抑え技を練習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B	第14回	【テーマ】簡易試合・審判法 【計画内容】技の習得の程度に応じた簡易ルールを設定するなど、安全に配慮した簡易試合を行う。また、相互に審判を行う。 【授業時間外の学修内容】最終レポートの作成準備をする。	B・G
	第7回	【テーマ】投げ技(払い腰)・抑え技(横四方固め) 【計画内容】様々な投げ技から各自にあった得意技を身に付ける。また、抑え技を練習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B	第15回	【テーマ】まとめ・到達度確認 【計画内容】礼法、姿勢、体さばき、受身、投げ技、固め技等の到達度を確認する。 【授業時間外の学修内容】最終レポートを作成する。	B・G
	第8回	【テーマ】投げ技(大外刈り)・固め技(上四方固め・崩上四方固め) 【計画内容】投げ技の防ぎ方や返し技を理解する。また、抑え技を練習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを活用すること。	B			

テキスト	随時プリントを配付します
参考書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説 保健体育編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		50%	20%		30%	
補足		指導内容の理解度	レポート		受講時の取組状況	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	授業前後で対応します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修
その他	各自柔道着持参のこと。

科目名	生涯スポーツ指導演習(陸上競技)	授業形態	演習	単位数	2

教員名	大宮　真一、品田　吉博、田川　芳紀

授業の目的		
	ねらい	学習指導要領に示されている体育で取り扱う陸上競技の内容は、中学校では「短距離走・リレー、長距離走又はハードル走、走り幅跳び又は走り高跳び」、高等学校では「競走、跳躍、投てき」となっている。この授業では、これらの競技種目の特性や規則を理解し、基本的な技術を習得したうえで、それらを学校体育の中で中学生や高校生にどのように指導すべきかを修得することを目標とする。また、健康づくりのためのウォーキングを効果的に指導する方法を習得することも目標とする。各種目において、特性・技術・練習方法・指導法・競技規則などを学び、グループ別に模擬授業を展開する。
	到達目標	(1)陸上競技各種目の指導方法について理解する。 (2)陸上競技各種目の指導案を作成できる。 (3)陸上競技各種目の模擬授業を実施し評価できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。本講義における指導案の書き方を教授します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】跳躍競技種目(走り幅跳び・三段跳び)(1) 【計画内容】跳躍競技種目の技術と指導方法を演習・実技を通して学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】跳躍競技種目の概要とルールを調べること。	E
	第2回	【テーマ】陸上競技における指導案の作成の仕方 【計画内容】陸上競技の指導案の作成の仕方について、講義を通して学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】中学・高校保健体育の学習指導要領の陸上競技の領域について熟読しておくこと。	A・K	第10回	【テーマ】跳躍競技種目(走り幅跳び・三段跳び)(2) 【計画内容】跳躍競技種目を指導するための指導案を、ペアまたはグループで単元内の1コマを想定して作成します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】跳躍競技種目を指導する際に必要な練習方法を調べレポートを作成すること。	B・H・K
	第3回	【テーマ】走競技種目Ⅰ(短距離走・ハードル競走)(1) 【計画内容】走競技種目の技術と指導方法を演習・実技を通して学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】走競技種目の概要とルールを調べること。	E	第11回	【テーマ】跳躍競技種目(走り幅跳び・三段跳び)(3) 【計画内容】作成した指導案に基づき、跳躍競技種目の模擬授業を行います。ペアまたはグループ内で役割分担をして教師役を実施します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】作成した指導案について理解を深めておくこと。	E・H・L・N
	第4回	【テーマ】走競技種目Ⅰ(短距離走・ハードル競走)(2) 【計画内容】走競技種目を指導するための指導案を、ペアまたはグループで単元内の1コマを想定して作成します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】走競技種目を指導する際に必要な練習方法を調べレポートを作成すること。	B・H・K	第12回	【テーマ】走競技種目Ⅱ(リレー競走)(1) 【計画内容】リレー競技種目の技術と指導方法を演習・実技を通して学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】リレー競技種目の概要とルールを調べること。	E
	第5回	【テーマ】走競技種目Ⅰ(短距離走・ハードル競走)(3) 【計画内容】作成した指導案に基づき、走競技種目の模擬授業を行います。ペアまたはグループ内で役割分担をして教師役を実施します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】作成した指導案について理解を深めておくこと。	E・H・L・N	第13回	【テーマ】走競技種目Ⅱ(リレー競走)(2) 【計画内容】リレー競走を指導するための指導案を、ペアまたはグループで単元内の1コマを想定して作成します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】リレー競走を指導する際に必要な練習方法を調べレポートを作成すること。	B・H・K
	第6回	【テーマ】投てき競技種目(砲丸投げ・円盤投げ・やり投げ)(1) 【計画内容】投てき競技種目の技術と指導方法を演習・実技を通して学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】投てき競技種目の概要とルールを調べること。	E	第14回	【テーマ】走競技種目Ⅱ(リレー競走)(3) 【計画内容】作成した指導案に基づき、リレー競走の模擬授業を行います。ペアまたはグループ内で役割分担をして教師役を実施します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】作成した指導案について理解を深めておくこと。	E・H・L・N
	第7回	【テーマ】投てき競技種目(砲丸投げ・円盤投げ・やり投げ)(2) 【計画内容】投てき競技種目を指導するための指導案を、ペアまたはグループで単元内の1コマを想定して作成します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】投てき競技種目を指導する際に必要な練習方法を調べレポートを作成すること。	B・H・K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】陸上競技の模擬授業を振り返り、学校体育での指導観点をまとめます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの授業を振り返っておくこと。	A
	第8回	【テーマ】投てき競技種目(砲丸投げ・円盤投げ・やり投げ)(3) 【計画内容】作成した指導案に基づき、投てき競技種目の模擬授業を行います。ペアまたはグループ内で役割分担をして教師役を実施します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】作成した指導案について理解を深めておくこと。	E・H・L・N			

テキスト	プリントを配付します
参考書	日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 基礎から身につく陸上競技初級編』、大修館書店 日本陸上競技連盟、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 レベルアップの陸上競技上級編』 文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領 保健体育編』/『高等学校学習指導要領 保健体育編』 文部科学省、2019年、『高等学校学習指導要領 保健体育編』/『高等学校学習指導要領 保健体育編』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			45%		30%	25%
	補足			レポート・指導案		平時	最終指導案

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修
その他	「生涯スポーツ(陸上競技)」を習得している者が履修できます。競技種目の順序は、グループ編成により異なります。

科目名	生涯スポーツ指導演習(バスケットボール)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	横山　茜理、畝中　智志				

授業の目的

ねらい	この授業は、教育現場でバスケットボールの授業を適切に行うための指導力と、ルールや運営方法などを学ぶことを念頭において行われる。また指導を行う上で必要になるバスケットボールの基礎技術の習得を目指す。実際に指導案を作成し、模擬授業と反省会を行う。指導内容ごとにグループに分かれ、模擬授業ではグループで役割分担をする。
到達目標	(1)バスケットボールの指導案を適切な日本語で書く力を身につける。 (2)指導案に書いた内容を実際の授業で計画通りに行う指導力を高める。 (3)バスケットボールのルールと審判法を理解する。 (4)バスケットボールの基礎技術を習得する。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】指導案の書き方に関する説明を行い、グループ分けを行う。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】マンツーマン·ディフェンス 【計画内容】マンツーマン·ディフェンスに関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E
第2回	【テーマ】ボールハンドリング·コーディネーション 【計画内容】ボールに慣れる活動に関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】指導案を作成する。	B·E	第10回	【テーマ】チームオフェンス 【計画内容】チームオフェンスに関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E
第3回	【テーマ】ドリブルの基礎技術 【計画内容】ドリブル技術に関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E	第11回	【テーマ】3×3の指導 【計画内容】3×3を題材にした模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E
第4回	【テーマ】パスの基礎技術 【計画内容】パス技術に関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E	第12回	【テーマ】試合の運営1 【計画内容】ルールの説明と試合運営に関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E
第5回	【テーマ】シュート技術1 【計画内容】ゴール下シュートとレイアップシュートに関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E	第13回	【テーマ】試合の運営2 【計画内容】審判法の説明と試合運営に関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E
第6回	【テーマ】シュート技術2 【計画内容】セットシュートに関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E	第14回	【テーマ】試合の運営3 【計画内容】学生主体の試合運営に関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E
第7回	【テーマ】1対1の攻防とリバウンド技術 【計画内容】1対1の攻防に関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの授業内容を踏まえ、バスケットボールの基礎技術と指導力について確認する。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E
第8回	【テーマ】速攻とアウトナンバー(数的に有利な状況での攻撃) 【計画内容】速攻とアウトナンバーに関する模擬授業。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をする。	B·E			

テキスト	適宜、関連する資料を配付します。
参考書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領 保健体育編』/『高等学校学習指導要領 保健体育編』、東山書房 日本バスケットボール協会、2020年、『2018～バスケットボール競技規則』、セキ株式会社 日本バスケットボール協会、2014年、『バスケットボール指導教本上巻＜改訂版＞』、大修館書店 日本バスケットボール協会、2016年、『バスケットボール指導教本下巻＜改訂版＞』、大修館書店

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		20%	50%	20%	10%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

経験内容	
科目との関連	

質問への対応	授業前後の時間に質問に対応します。
資格	[ス]中·高1種(保健体育)_必修
その他	「生涯スポーツ(バスケットボール)」の単位を取得した学生を受け入れます。教職履修者向けに授業展開をしますが、授業の趣旨を理解しているのであれば教職を履修していない学生も受け入れます。

科目名	生涯スポーツ指導演習(バレーボール)	授業形態	演習	単位数	2

教員名		永谷　稔、長尾　明也
授業の目的	ねらい	バレーボールの基礎技術を確認し、応用技術について理解を深め、より実践的に展開する。自らの競技能力だけでなく、学習者および参加者の技術を向上させる指導知識と技量を身につける。そして、バレーボールのもつ本来の楽しさや深さを経験させられる知識と実践力を身につける。また、生涯にわたってバレーボールを通じた健康で豊かなライフステージを主体的に創り上げていくことができるような力を身につけたい。
	到達目標	(1)指導するための知識や技術を身につけること。 (2)実際に指導実践ができること。 (3)バレーボールの指導案が作成できること。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション1 【計画内容】本演習の内容を紹介をし、15回の展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を熟読しておくこと。バレーボールの特性を理解しておくこと。	A・E	第9回	【テーマ】ルールと審判法 【計画内容】ルールの確認と審判の実践。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A・B・E
	第2回	【テーマ】オリエンテーション2 【計画内容】指導実践グループの編成、指導案作りについて。 【授業時間外の学修内容】本授業の内容を理解し、配付資料を読んでおくこと。	A・J	第10回	【テーマ】模擬授業1 【計画内容】指導案実践として模擬授業。 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書などを活用し、指導案を作成し、授業実践のイメージをしておくこと。	B・H・J・K
	第3回	【テーマ】オーバーハンドパススキルとアンダーハンドパススキル 【計画内容】指導方法と実践練習。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A・B・E	第11回	【テーマ】模擬授業2 【計画内容】指導案実践として模擬授業。 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書などを活用し、指導案を作成し、授業実践のイメージをしておくこと。	B・H・J・K
	第4回	【テーマ】スパイク・トススキル 【計画内容】指導方法と実践練習。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A・B・E	第12回	【テーマ】模擬授業3 【計画内容】指導案実践として模擬授業。 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書などを活用し、指導案を作成し、授業実践のイメージをしておくこと。	B・H・J・K
	第5回	【テーマ】サーブ・レシーブスキル 【計画内容】指導方法と実践練習。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A・B・E	第13回	【テーマ】模擬授業4 【計画内容】指導案実践として模擬授業。 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書などを活用し、指導案を作成し、授業実践のイメージをしておくこと。	B・H・J・K
	第6回	【テーマ】フォーメーション 【計画内容】守備および攻撃フォーメーションの指導方法と実践練習。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A・B・E	第14回	【テーマ】模擬授業5 【計画内容】指導案実践として模擬授業。 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書などを活用し、指導案を作成し、授業実践のイメージをしておくこと。	B・H・J・K
	第7回	【テーマ】ゲーム形式複合練習 【計画内容】ゲーム形式で複合的な流れのある練習方法とその実践。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A・B・E	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの内容を振り返り、まとめを行う。 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書、作成した指導案、授業実践をあらかじめ復習しておくこと。	A・B・E・K
	第8回	【テーマ】ゲーム運営と試合方法 【計画内容】ゲーム運営および試合方法について実践。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A・B・E			

テキスト	資料及びプリントを配付します
参考書	日本バレーボール協会・日本バレーボール学会、2017年、『コーチングバレーボール(基礎編)』、大修館書店、4469268119 文部科学省、『中学校学習指導要領 保健体育編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領 保健体育編』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法		
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回に具体的に説明します。	
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修	
その他	指導案を作成し、グループごとに指導実践を実施します。 原則、「生涯スポーツ(バレーボール)」の単位が修得済みであり、教職や指導者を目指す学生が対象となります。	

科目名	生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	授業形態	演習	単位数	2

教員名	花井　篤子

授業の目的		
	ねらい	水中運動は、水の特性である水温・浮力・水圧・抵抗など陸上環境と違う環境の中で運動を行うため、年齢を問わず健康づくりに有益な効果をもたらす運動として多くの人に親しまれている。また水泳においては技能の獲得が必要であり、安全管理を十分に行った高度な指導技術が求められる。本授業では、こうした水の特性を理解し、水泳・水中運動の指導に必要な知識と指導法を身につけることを目的とする。
	到達目標	(1)水の特性と水泳・水中運動がもたらす生理的特性を十分に理解できる。 (2)水泳指導の基本的スキルを身につける。 (3)水中運動の指導方法を身につける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。水の特性について理解しておくこと。	A	第9回	【テーマ】水泳指導の実際(背泳ぎ) 【計画内容】背泳ぎを指導するために必要な技術を身につける。実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】背泳ぎの技術について理解をしておくこと。	E・H・G
	第2回	【テーマ】水の特性と効果 【計画内容】水の特性と水泳・水中運動が身体にもたらす影響について学び、講義内容のふり返りをし、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第10回	【テーマ】水泳指導法(平泳ぎ・バタフライ) 【計画内容】水泳指導法(平泳ぎ・バタフライ)を学び、実技における指導のポイント等を確認する。レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】水泳指導法(平泳ぎ・バタフライ)を予習しておくこと。	E・H・G
	第3回	【テーマ】水中安全管理 【計画内容】水中安全管理について学び、講義内容のふり返りをし、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】水中安全管理について予習をしておくこと。	A・G・L	第11回	【テーマ】水泳指導の実際(平泳ぎ) 【計画内容】平泳ぎを指導するために必要な技術を身につける。実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】平泳ぎの技術について理解をしておくこと。	E・H・G
	第4回	【テーマ】水泳・水中運動における初心者指導 【計画内容】水泳・水中運動における初心者指導について解説を行う。 【授業時間外の学修内容】水の特性と初心者の心理について理解をしておくこと。	A・G・L	第12回	【テーマ】水泳指導の実際(バタフライ) 【計画内容】バタフライを指導するために必要な技術を身につける。実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】バタフライの技術について理解をしておくこと。	E・H・G
	第5回	【テーマ】水中運動プログラム指導の実際(1) 【計画内容】虚弱者や初心者への水中運動の指導を安全に行うために必要な技術を身につける。水中ウォーキングや水中ストレッチングなどの実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】水の特性と身体の影響について理解をしておくこと。	E・H・G・L	第13回	【テーマ】四泳法の指導法のまとめ 【計画内容】水泳指導のまとめをグループワークを行い、実技指導をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】四泳法の指導法を復習しておくこと。	E・H・G・L
	第6回	【テーマ】水中運動プログラム指導の実際(2) 【計画内容】水中運動プログラム(水中レジスタンストレーニング、有酸素運動、水中リラクセーション等)の指導を安全に行うために必要な技術を身につける。実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】水中運動プログラムの内容と目的について予習をする。	E・H・G・L	第14回	【テーマ】水中安全管理・スキンダイビング 【計画内容】水中安全管理とスキンダイビングの方法について学び、レポートを作成してふり返る。 【授業時間外の学修内容】水中安全管理とスキンダイビングの方法を予習しておくこと。	E・H・G・L
	第7回	【テーマ】水泳指導法(クロール・背泳ぎ) 【計画内容】水泳指導法(クロール・背泳ぎ)を学び、実技における指導のポイント等を確認する。レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】クロールと背泳ぎの技術について理解をしておくこと。	E・H・G	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】水泳・水中運動の指導についてまとめと振り返りを行い、レポートのプレゼンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】演習ノートを整理しておくこと。	F・G・H・L
	第8回	【テーマ】水泳指導の実際(クロール) 【計画内容】クロールを指導するために必要な技術を身につける。実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】クロールの技術について理解をしておくこと。	E・H・G			

テキスト	2016年、『新版 生涯スポーツと運動の科学』、市村出版 プリント、演習ノートを配付します
参考書	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂 健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動実践指導者養成用テキスト』、南江堂

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%	40%	10%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修 [健]健康運動実践指導者_必修
その他	「生涯スポーツ(水泳・水中運動)」を修得した者が履修できます。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。

科目名	専門演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	「専門演習Ⅰ」の目的は、生涯スポーツおよびスポーツ教育分野へのより高い関心、問題意識を持つことが1点目です。そして2つ目の目的は、教員・学生双方の協力によって積極的なゼミナールを運営することです。 1年次から学習してきた生涯スポーツならびに健康科学および生涯学習に関連する専門分野をより深めていきます。このため、自らが一層きわめたいと考える専門領域の中から本学科教員1名を選択し、その研究室等においてゼミナール形式で授業を展開していきます。				
	到達目標	(1)少人数のゼミナール形式による運営に慣れること。 (2)選択した学問領域に関して専門的内容が理解できる。				
授業の計画		【計画内容】 第1回　オリエンテーション 第2・3回　個別ゼミによる研究活動の基礎 第4・5回　個別ゼミによる研究活動の基礎 第6・7回　個別ゼミによる研究活動の基礎 第8-15回　個別ゼミによる研究活動の基礎 【準備学習の内容】 担当教員の専門に関わる分野の科目を復習しておくこと。 これまでに学習した内容のふりかえり。(各ゼミにおいて説明がなされる。) 【授業時間外の学修内容】 専門領域の学問・課題を行うこと			A・B・E	
テキスト	ゼミの時に指示をします				
参考書	ゼミの時に指示をします				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			平時		平時	

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	ゼミごとで初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	専門演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	担当教員

授業の目的		
	ねらい	「専門演習Ⅱ」の目的の1点目は、3年次前学期開講の「専門演習Ⅰ」以上に学生各人の問題意識を高めることです。さらに2点目のねらいとしては、その課題を発展させて次年度の「卒業研究」へと発展させることです。 「専門演習Ⅰ」を履修後、生涯スポーツならびにスポーツ教育に関連する専門分野をより深めていきます。このため自らが、一層きわめたいと考える専門領域の中から本学科教員1名を選択し、その研究室等においてゼミナール形式によって授業を展開していきます
	到達目標	(1)専門の学問領域への関心をより深めること。 (2)上記の課題を4年次に開講される「専門演習Ⅲ」「卒業研究」へと発展させること。

授業の計画	A・B・E

【計画内容】
第1回　後学期オリエンテーション
第2・3回　個別ゼミによる研究活動
第4・5回　個別ゼミによる研究活動
第6・7回　個別ゼミによる研究活動
第8-13回　個別ゼミによる研究活動
第14回　まとめおよび次年度ゼミに関わるオリエンテーション等
第15回　4年次卒業研究発表会参加

【準備学習の内容】
(授業の振り返り)各自のレポート作成
(その他)個別ゼミにおいて説明

【授業時間外の学修内容】専門領域の学問・課題を行うこと

テキスト	ゼミの時に指示をします
参考書	ゼミの時に指示をします

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			平時		平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	ゼミごとで初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	スポーツ教育演習A	授業形態	演習	単位数	2
教員名	森　浩之				

授業の目的	
ねらい	本講義では、学校体育の各種運動領域におけるルールや技術等の基礎的知識を習得し、指導実践に活かすことができることをねらいとする。また、各種運動種目における優れた指導実践についても学び、学習者に応じた適切な指導ができる能力を培う。そして、理論としての体育理論及び保健における基礎的知識についても習得し、授業展開に必要な能力を養う。
到達目標	(1)保健体育教師に求められる資質・能力について理解することができる。 (2)各種運動領域における基礎的知識を習得することができる。 (3)体育実技における優れた指導実践の方法論についての認識を深めることができる。 (4)体育理論及び保健における理論的知識を習得することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】15回の授業展開及びスポーツ指導の意義を学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】F 武道 【計画内容】柔道、剣道に関する基礎的知識及び指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説』F 武道を熟読しておくこと。	A
第2回	【テーマ】A 体つくり運動 【計画内容】体ほぐし運動と体力を高める運動の基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説』A 体つくり運動を熟読しておくこと。	A	第10回	【テーマ】G ダンス 【計画内容】ダンスに関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説』G ダンスを熟読しておくこと。	A
第3回	【テーマ】B 器械運動 【計画内容】マット運動・鉄棒運動・跳び箱運動・平均台運動の基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説』B 器械運動を熟読しておくこと。	A	第11回	【テーマ】冬季スポーツ 【計画内容】スキー、スケートに関する基礎的知識及び実技指導方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】『中学校体育実技』「スキー及びスケート」を熟読しておくこと。	A
第4回	【テーマ】C 陸上競技 【計画内容】陸上競技の各種目に関する基礎的知識及び指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説』C 陸上運動を熟読しておくこと。	A	第12回	【テーマ】H 体育理論 【計画内容】体育理論に関する基礎的知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】『学習指導要領解説』H 体育理論を熟読しておくこと。	A
第5回	【テーマ】D 水泳 【計画内容】水泳における各泳法に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説』D 水泳を熟読しておくこと。	A	第13回	【テーマ】保健① 【計画内容】保健に関する基礎的知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】『学習指導要領解説』「保健分野」を熟読しておくこと。	A
第6回	【テーマ】E 球技「ネット型」 【計画内容】ネット型球技に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説』E 球技「ネット型」を熟読しておくこと。	A	第14回	【テーマ】保健② 【計画内容】保健に関する基礎的知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】『学習指導要領解説』「保健分野」を熟読しておくこと。	A
第7回	【テーマ】E 球技「ゴール型」 【計画内容】ゴール型球技に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説』E 球技「ゴール型」を熟読しておくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまで学んできた体育分野及び保健分野に関する基礎的知識について振り返り、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容を復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】E 球技「ベースボール型」 【計画内容】ベースボール型球技に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説』E 球技「ベースボール型」を熟読しておくこと。	A			

テキスト	プリント等を使用します
参考書	文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房 文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房 関岡康雄・佐伯年誌雄・永島惇正、2014年、『中学校体育実技』、学研

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%				40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	教職を目指す学生の受講を歓迎します。

科目名	学校教育研究A	授業形態	演習	単位数	2
教員名	西村　貴之				

授業の目的		
	ねらい	この授業は、学校や子ども・若者の育ちに関する現代的な課題を教育学的に考えることを通して、将来教員を含む子ども・若者の発達援助職に就く者の資質能力向上を目指すことをねらいとします。
	到達目標	(1)学校や子ども・若者の育ちに関する事象から現代的な課題を社会構造的にとらえる認識をもつことができる。 (2)教育的課題を原理的に考察することができる。 (3)教育的課題を解決していくための実践を構想することができる。 (4)人権についての理解を深めることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業のねらいや展開について説明したのち、学生が今日の学校や子ども・若者の育ちに関して気になる事象を話してもらい共有する。 【授業時間外の学修内容】自分自身が考えてみたい教育的事象をニュースや新聞等から調べて説明できるようにする。	A・F	第9回	【テーマ】マイノリティの子ども・若者が抱える困難を考える⑥「少数民族と教育」 【計画内容】グループワークの成果発表を指定されたグループごとに発表を行い、質疑応答を行います。(第7・8・9回目の3回にわたって実施) 【授業時間外の学修内容】グループごとのプレゼンテーションを通して議論できるように準備してくる。	F
	第2回	【テーマ】人権とは何か① 【計画内容】人権とは何かについて、学生の理解の程度を確認しながら、歴史的な解説を行います。 【授業時間外の学修内容】人権について調べて発表できるようにする。	A・F	第10回	【テーマ】マイノリティの子ども・若者が抱える困難を考える⑦「少数民族と教育」 【計画内容】プレゼンテーションの論点整理を行い、第3回目の講義と関連させながら、アイヌ民族の子ども・若者の抱える教育的課題を人権という観点からとらえ直します。 【授業時間外の学修内容】第3回目の講義内容を復習しておく。	A・I
	第3回	【テーマ】人権とは何か② 【計画内容】人権とは何かについて、国連人権規約や日本国憲法などの法規を解説したうえで、世界や日本で子ども・若者を取り巻く社会状況においてどのような人権侵害の実態があるのか考えます。 【授業時間外の学修内容】どのような人権侵害が行われているのか調べて発表できるようにする。	A・F	第11回	【テーマ】アイヌ民族の文化継承に関する実践を学ぶ 【計画内容】ゲストスピーカーによるアイヌ民族の文化継承に関する子ども・若者に対する学校教育および社会教育の実践の話を聞いたのち自分たちのグループワークを踏まえたディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】グループワークの成果を踏まえた質問を用意する。	A・I
	第4回	【テーマ】マイノリティの子ども・若者が抱える困難を考える①「少数民族と教育」 【計画内容】アイヌ民族を中心に少数民族と教育というテーマで、今年度はグループワークを実施します。 【授業時間外の学修内容】アイヌ民族について共有すべき文献を CINII で検索して情報を提供する。	H	第12回	【テーマ】多文化共生社会を考える 【計画内容】アイヌ民族として日本でどのように暮らしてきたのかをアイヌ民族のゲストスピーカーのライフヒストリーを聞きながら、多文化共生とはどうあるべきかを考える。自分たちのグループワークを踏まえたディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】グループワークを踏まえた質問を用意する。	A・I
	第5回	【テーマ】マイノリティの子ども・若者が抱える困難を考える②「少数民族と教育」 【計画内容】グループに分かれて文献研究を行います。 【授業時間外の学修内容】グループワークが活発に行われるように各自準備をしてくる。	H	第13回	【テーマ】マイノリティの子ども・若者が抱える困難を考える⑧「少数民族と教育」 【計画内容】二人のゲストスピーカーの講演を踏まえた自分たちのグループのアウトプットをブラッシュアップして、人権という観点でグループレポート執筆作業の準備を行う。 【授業時間外の学修内容】ゲストスピーカーの講演で重要な点を書き出してくる。	H
	第6回	【テーマ】マイノリティの子ども・若者が抱える困難を考える③「少数民族と教育」 【計画内容】グループワークの成果発表のための準備を行います。 【授業時間外の学修内容】成果発表を完成させるために各自分担された活動を進めてくる。	H	第14回	【テーマ】マイノリティの子ども・若者が抱える困難を考える⑨「少数民族と教育」 【計画内容】グループレポートの執筆作業を行う。 【授業時間外の学修内容】ファシリテーターの指示に従いながら各自担当執筆部分の準備を進める。	H
	第7回	【テーマ】マイノリティの子ども・若者が抱える困難を考える④「少数民族と教育」 【計画内容】グループワークの成果発表を指定されたグループごとに発表を行い、質疑応答を行います。(第7・8・9回目の3回にわたって実施) 【授業時間外の学修内容】グループごとのプレゼンテーションを通して議論できるように準備してくる。	F	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】グループレポートの合評会を通して、人権についてどのように考え、理解できたかについて各自のフィードバックを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習してくること。	F・A
	第8回	【テーマ】マイノリティの子ども・若者が抱える困難を考える⑤「少数民族と教育」 【計画内容】グループワークの成果発表を指定されたグループごとに発表を行い、質疑応答を行います。(第7・8・9回目の3回にわたって実施) 【授業時間外の学修内容】グループごとのプレゼンテーションを通して議論できるように準備してくる。	F			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足					グループワークへの参加状況も評価に含みます	

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	オフィスアワーと teams による質問を受け付けます。詳しくは初回講義時に説明します。		
資格			
その他	教職を含む子ども・若者の発達援助職を志望する学生が対象です。与えられたことしか学ばぬ受動的な姿勢ではなく、主体的にグループワークを含む本講義での学びに参加すること。		

科目名	知的障害教育Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	磯貝　隆之				

授業の目的	
ねらい	本講義では、知的障害の障害特性や制度上の位置づけ等を学ぶとともに、知的障害教育で展開される指導内容と指導方法について理解を深める、また、知的障害特別支援学校における個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成、学習指導における指導略案の作成を通し、知的障害教育に対する具体的イメージを持つことを目的とする。
到達目標	(1)知的障害教育の教育課程を理解する。 (2)知的障害教育における各指導の指導略案を書くことができる。 (3)知的障害教育の教育計画と評価について理解を深める。

授業の計画						
第1回	【テーマ】障害児教育の歴史と知的障害教育の意義① 【計画内容】障害児教育の歴史を概観するとともに、特別支援教育という観点から知的障害教育の意義を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】アベロンの野生児やヘレンケラー等の障害児教育に関わる主な歴史について確認しておく。	A	第9回	【テーマ】日常生活の指導と遊びの指導② 【計画内容】日常生活の指導と遊びの指導の略案の作成と発表などを行う。 【授業時間外の学修内容】日常生活又は遊びの指導略案の作成のイメージを作っておく。	A・K
第2回	【テーマ】障害児教育の歴史と知的障害教育の意義② 【計画内容】知的障害教育がどのように発展し、現在どのような意義に基づいて展開されているか学ぶ。 【授業時間外の学修内容】知的障害教育がどのように行われてるかについて確認しておく。	A	第10回	【テーマ】知的障害児の教科別の指導① 【計画内容】教科別の指導の具体的内容と方法等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】知的障害児の教科別指導と通常の教科指導の違いを確認する。	A・K
第3回	【テーマ】知的障害教育の特徴と教育課程 【計画内容】知的障害教育を進めるための教育課程の編成や指導内容、指導形態などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】特別支援学校学習指導要領及び各解説書(平成29年　文部科学省)をダウンロードし準備しておく。	A	第11回	【テーマ】知的障害児の教科別の指導② 【計画内容】教科別の指導略案の作成と発表などを行う。 【授業時間外の学修内容】教科別の指導略案作成のイメージを作っておく。	A・K
第4回	【テーマ】生活単元学習① 【計画内容】生活単元学習の具体例を知り、その目的と方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科・領域を合わせた主な指導について確認しておく。	A・K	第12回	【テーマ】知的障害教育の自立活動 【計画内容】自立活動の目的と指導領域及び指導形態等について学び指導略案を作成し発表する。 【授業時間外の学修内容】自立活動についての概要を確認しておく。	A・K
第5回	【テーマ】生活単元学習② 【計画内容】生活単元学習の指導略案の作成と発表などを行う。 【授業時間外の学修内容】生活単元学習の指導略案作成のイメージを作っておく。	A・K	第13回	【テーマ】個別の指導計画 【計画内容】個別の指導計画における主な記載内容等について学び、計画の立案を行う。 【授業時間外の学修内容】北海道教育委員会の「個別の指導計画」フォームをダウンロードして、内容を確認しておく。	A・K
第6回	【テーマ】作業学習① 【計画内容】作業学習の具体例を知り、その目的と方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】知的障害教育の主な作業学習の種類を確認しておく。	A・K	第14回	【テーマ】個別の教育支援計画 【計画内容】個別の教育支援計画における主な記載内容等について学び、計画の立案を行う。 【授業時間外の学修内容】北海道教育委員会の「個別の教育支援計画」フォームをダウンロードして、内容を確認しておく。	A・K
第7回	【テーマ】作業学習② 【計画内容】作業学習の指導略案の作成と発表などを行う。 【授業時間外の学修内容】作業学習の指導略案作成のイメージを作っておく。	A・K	第15回	【テーマ】指導の評価 【計画内容】指導の評価の方法等について事例を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】知的障害児教育における学習、生活、行動等の評価方法について、整理しておく。	A
第8回	【テーマ】日常生活の指導と遊びの指導① 【計画内容】日常生活の指導と遊びの指導の目的と方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日常生活の主な指導内容について確認しておく。	A・K			

テキスト	初回講義時に説明いたします。
参考書	文部科学省、2017年・2018年、『特別支援学校学習指導要領　学習指導要領解説』 文部科学省、2013年、『教育支援資料』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			80%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	特別支援学校教諭、教頭、校長、教育委員会指導主事
	科目との関連	特別支援学校教諭等としての実務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス][教]特支1種_必修
その他	

科目名	肢体不自由教育Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	松井　由紀夫

授業の目的		
	ねらい	肢体不自由特別支援学校に在籍する様々な児童生徒の実態に応じた教育課程の編成や、各教科の指導の工夫、自立活動の具体的指導内容や情報機器等の活用について学ぶことを通して肢体不自由の障害特性に応じた指導上の配慮事項への理解を深めることを目的とする。また肢体不自由教育において、ICF の理念を生かした授業つくりを進めるために、個別の教育支援計画と個別の指導計画を関連付けて作成する方法や自立活動について理解する。
	到達目標	(1)肢体不自由特別支援学校の教育課程について理解する。 (2)肢体不自由教育の自立活動について理解する。 (3)個別の教育支援計画作成のための視点について理解する。 (4)個別の指導計画作成のための視点について理解する。 (5)個別の指導計画を生かした授業の在り方について理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション－講義の内容理解と肢体不自由教育における現状－ 【計画内容】15回の講義を紹介し内容を理解するとともに、肢体不自由教育における現状について理解する。肢体不自由児や肢体不自由教育について、受講学生がどの程度理解があるか調査をする。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。肢体不自由児や肢体不自由教育について調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】肢体不自由教育におけるいわゆる「合わせた指導」の実際について 【計画内容】いわゆる教科等を合わせた指導やその配慮事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編」(2018)を熟読しておくこと。	A・K
	第2回	【テーマ】肢体不自由教育の歴史と肢体不自由特別支援学校について 【計画内容】肢体不自由教育の歴史的流れや肢体不自由特別支援学校ついて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】肢体不自由教育の歴史と肢体不自由特別支援学校について調べておくこと。	A・K	第10回	【テーマ】肢体不自由教育における「自立活動を主とした指導」の実際について 【計画内容】自立活動を主とした指導の配慮事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編」(2018)を熟読しておくこと。	A・K
	第3回	【テーマ】肢体不自由者の機能訓練や二次変形の防止、補装具等の種類について 【計画内容】肢体不自由者の一般的な機能訓練や変形を予防するための補装具の種類について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】姿勢と二次変形の関係性について調べておくこと。	A・K	第11回	【テーマ】肢体不自由教育における情報機器活用について 【計画内容】肢体不自由教育における情報機器を活用した授業においての配慮事項等を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】肢体不自由教育における情報機器活用についてはどのようなものがあるのか予習しておくこと。	A・K
	第4回	【テーマ】車椅子の種類と機能について 【計画内容】障害の特性に応じた車椅子の種類やその機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】車椅子の種類や名称について予習しておくこと。	A・K	第12回	【テーマ】肢体不自由教育における個別の教育支援計画の作成について① 【計画内容】個別の教育支援計画作成のための実態把握の方法とそれを生かしたフェイスシートの作成の視点を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】北海道の「個別の教育支援計画」のモデル案について予習しておくこと。	A・K
	第5回	【テーマ】肢体不自由特別支援学校における教育課程の編成について 【計画内容】実際に行われている肢体不自由特別支援学校の教育課程の編成方法を知る。肢体不自由特別支援学校の教育課程の特徴について調べて発表を行う。 【授業時間外の学修内容】「特別支援学校教育要領・小学部・中学部学習指導要領」(2018)を熟読していおくこと。	A・K	第13回	【テーマ】肢体不自由教育における個別の教育支援計画の作成について② 【計画内容】目標の設定の視点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・K
	第6回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導内容と配慮事項について 【計画内容】自立活動の指導内容と配慮事項について具体的に理解する。 【授業時間外の学修内容】「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編」(2018)を熟読しておくこと。	A・K	第14回	【テーマ】肢体不自由教育に関するレポート課題の説明と肢体不自由教育の講義のまとめと確認について 【計画内容】課題レポートについての説明と今までの講義の定着度を検査し振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】今までの講義内容を復習しておくこと。	A・K
	第7回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導の実際(身体の動き)について 【計画内容】身体の動きに関する自立活動のアプローチについて知る。 【授業時間外の学修内容】「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編」(2018)を熟読しておくこと。	A・K	第15回	【テーマ】肢体不自由教育特別支援学校におけるキャリア教育と進路指導及び他職種との連携の在り方について 【計画内容】職業的自立を含むキャリア教育の在り方と他職種との連携、支援会議開催の意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教育以外に他職種にはどんな分野があるか調べておくこと。	A・K
	第8回	【テーマ】肢体不自由教育における各教科別の指導の工夫について 【計画内容】肢体不自由児の認知特性に配慮した教科指導の工夫について理解する。 【授業時間外の学修内容】「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編」(2018)を熟読しておくこと。	A・K			

テキスト	プリントを使用する。
参考書	文部科学省、2018年、『特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領』、海文堂出版 文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　総則編』、開隆堂出版 文部科学省、2018年、『特別支援学校学習指導要領・学習指導要領解説　自立活動編』、開隆堂出版

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に評価や授業内容について具体的に説明します。
資格	[ス][教]特支1種_必修
その他	出席・受講態度と発表・課題ワークおよび講義内容の定着度の検査結果を重視します。

科目名	病弱教育	授業形態	講義	単位数	2
教員名	中澤　幸子				

授業の目的	
ねらい	本授業の目的は、病弱教育の定義、意義、現状、課題などを理解し、病気の子どもに関わるときに必要な支援や指導法についての学びを通して、特別支援学校教員(病弱教育)に求められる資質や責任等について理解し、特別支援教育者としての自覚や意欲を養うことにあります。そのために、病弱教育の対象である幼児児童生徒や教育の場の特徴、現状等を通して、病気の子どもにとっての教育の意義を学びます。また，実際の教育・支援の様子、心理特性や病気の状況に配慮した教育内容や支援方法、医療や福祉との連携についても学修し、病気の子どもを支える環境のあり方、教師に求められる専門性について自分なりの考えをまとめることができるようにすることをねらいとしています。
到達目標	(1)病弱教育の概要が説明できる。 (2)病弱児の教育的ニーズを知る。 (3)病弱教育対象児を指導する際に必要な配慮事項を理解する。 (4)病弱児の指導・支援方法の基本的な考え方がわかる。 (5)病弱教育に求められる専門性について、自分なりの考えをまとめ、説明することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション / 「病気」とは 【計画内容】病気の捉え方、概念について整理し、理解を図ります。 【授業時間外の学修内容】自分の病気の経験を思い起したり、病気の体験記等を読んでおく。	A・L	第9回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項① ～悪性新生物、神経筋疾患、呼吸器疾患～ 【計画内容】悪性新生物、神経筋疾患、呼吸器疾患の疾患を抱えた子どもの概要を学び、指導事例を通して配慮事項について理解を図ります。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A・L
第2回	【テーマ】病気の子どもの教育 【計画内容】病弱教育の歴史、意義等について学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A・L	第10回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項② ～骨・関節系疾患、内分泌疾患、アレルギー疾患～ 【計画内容】骨・関節系疾患、内分泌疾患、アレルギー疾患の疾患を抱えた子どもの概要を学び、指導事例を通して配慮事項について理解を図ります。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A・L
第3回	【テーマ】病気の子どもの多様な学び場と支援 【計画内容】学校教育法で位置づけられている特別支援教育及び病弱教育のシステムについて学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A・L	第11回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項③ ～腎疾患、循環器系疾患、てんかん～ 【計画内容】腎疾患、循環器系疾患、てんかんの疾患を抱えた子どもの概要を学び、指導事例を通して配慮事項について理解を図ります。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A・L
第4回	【テーマ】学習指導要領を踏まえた指導① 特別支援学校学習指導要領の概要 【計画内容】特別支援学校に関する学習指導要領の変遷と新学習指導要領の改訂の概要について学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分、特別支援学校学習指導要領を読んでおく。	A・L	第12回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項④ ～心身症及び精神疾患等～ 【計画内容】心身症及び精神疾患等を抱えた子どもの概要を学び、指導事例を通して配慮事項について理解を図ります。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A・L
第5回	【テーマ】学習指導要領を踏まえた指導② 病気の状態に応じた指導の工夫と合理的配慮 【計画内容】学習指導要領を踏まえて、病気の子どもへの指導の際の工夫点や合理的配慮の考え方について学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分、特別支援学校学習指導要領を読み、合理的配慮の概要を学習しておく。	A・L	第13回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項⑤ ～重症心身障害、医療的ケアが必要な子ども～ 【計画内容】重症心身障害、医療的ケアが必要な子どもの概要を学び、指導事例を通して配慮事項について理解を図ります。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A・L
第6回	【テーマ】各校における指導事例① 特別支援学校 【計画内容】特別支援学校(病弱)の授業内容、工夫、配慮事項等について学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分、特別支援学校学習指導要領を読んでおく。	A・L	第14回	【テーマ】病気等の必要に応じた配慮事項⑥ ～ターミナル期にある子ども～ 【計画内容】ターミナル期にある子どもの概要を学び、事例を通して実際の支援方法について考えます。 【授業時間外の学修内容】闘病記などを読んでおく。	A・L
第7回	【テーマ】各校における指導事例② 小・中学校等 【計画内容】小・中学校における病弱・身体虚弱児の授業内容、工夫、配慮事項等について学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。	A・L	第15回	【テーマ】病弱教育における専門性とは / まとめ 【計画内容】病弱教育に関わる教員に求められる専門性について学び、考えます。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業について振り返り、理解を深めておく。	A・L
第8回	【テーマ】各校における指導事例③ 特別支援学校等におけるセンター的機能 【計画内容】特別支援学校(病弱)のセンター的機能の内容、役割等について、実際の指導事例を通して理解を図ります。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当部分を読んでおく。特別支援学校のセンター的機能について学習しておく。	A・L			

テキスト	全国特別支援学校病弱教育校長会、2020年、『病気の子どものための教育必携』、ジアース新教育社、978-4-86371-520-2
参考書	文部科学省、2018年、『特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領』、海文堂出版、9784303124243 杉野学(編)、2019年、『特別支援教育概論』、大学図書出版、9784909655080 その他、必要に応じて講義時にお伝えします。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%			30%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	特別支援学校教諭、医療機関心理業務
		科目との関連	特別支援学校(病弱)教諭の経験を活かし、病気の子どもの理解、指導・支援方法の考え方を教授する。

質問への対応	講義時間中及びその前後の休み時間に、随時、受け付けます。
資格	[ス][教]特支1種_必修
その他	

科目名	視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	授業形態	講義	単位数	1

教員名	佐藤　至英

授業の目的		
	ねらい	視覚・聴覚障害の原因や心理的特性、心理的影響について学ぶ。特に心理的特性では、見え方、聴こえ方による認知発達や言語発達について、理解を深める。また生理・病理においては、網膜の働きや映像の及ぼす認知特性、聴覚器官の構造と機能、聴覚検査法について、基礎的・基本的な事項を学ぶ。さらに、社会参加・自立に至る過程の心理的な課題についても、理解を深める。
	到達目標	(1)視覚・聴覚障がい(児)者の障害特性や心理的影響について理解できる。 (2)視覚・聴覚障がい(児)者の基礎的な病理や生理について理解できる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】視覚障害の原因や特性 【計画内容】視覚障害の様々な原因について理解を深め、障害による見え方の特性について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A・L
	第2回	【テーマ】視覚障害者の心理的特性 【計画内容】全盲、弱視の状況に応じた心理的影響について学び、更に全盲になった時期による心理的影響についても考える。 【授業時間外の学修内容】視覚障害者にむけての支援について考えておくこと。	A・L
	第3回	【テーマ】視覚障害者の生理・病理 【計画内容】どのような病状があるかについての理解を深め、そのときの生理状態についても学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・L
	第4回	【テーマ】視覚障害者の自立・社会参加・課題 【計画内容】視覚障害者の自立や社会参加のために工夫されていることを学び、困難さや課題について考える。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・L
	第5回	【テーマ】聴覚障害の原因や特性 【計画内容】聴覚障害の様々な原因について理解を深め、障害による見え方の特性について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・L
	第6回	【テーマ】聴覚障害者の心理的特性 【計画内容】聴力損失の程度に応じた心理的影響及び言語発達、認知発達、学力、社会性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・L
	第7回	【テーマ】聴覚障害者の生理・病理 【計画内容】聴覚器官のメカニズム、外耳・中耳・内耳の構造と機能、聴覚検査法、外耳・中耳・内耳の病態と聞こえ方の特性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A・L
	第8回	【テーマ】聴覚障害者の自立・社会参加・課題 【計画内容】聴覚障害者の自立や社会参加のために工夫されていることを学び、困難さや課題について考える。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	G・L

テキスト	文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領解説　総則編』、教育出版、9784316300160
参考書	全国盲学校長会、2000年、『視覚障害教育入門 Q & A』、ジアース教育新社、9784921124045 吉岡博英・四日市章・立入哉、1996年、『聴覚障害教育情報ガイド』、コレール社、4876371792

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			最終		平時	

課題に関するフィードバックの方法	ポータルにて、行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	心理教育相談員
		科目との関連	心理教育相談にて、臨床にかかわってきた経験をもとに、授業展開を行います。

質問への対応	Teams ならびに Forms にて質問を受け付けます。
資格	[ス][教]特支1種_必修
その他	Teams をチェックするようにしてください。 学習活動 【授業前】障害とは何かを事前に考える。 【授業中】できないこと、できることは何か。各障害の定義、特性を理解する。何が支援かを考える。 【授業後】何が課題なのかを理解する。課題解決のために何ができるかを考える。

科目名	視覚･聴覚障害者の教育課程及び指導法	授業形態	講義	単位数	1
教員名	佐藤　至英				
授業の目的	ねらい	視覚･聴覚障がい(児)者教育の自立活動や教科指導における配慮事項などについて学ぶ。特に見え方、聴こえ方による認知発達や言語発達の特性、感覚器官の機能特性に基づいた指導法について、理解を深める。さらに進路指導における社会参加･自立に至る課題についても学ぶ。			
	到達目標	(1)視覚障害の盲･弱視･重複障害に応じた教育の方法やその専門性が理解できる。 (2)聴覚障害の聾･難聴･重複障害に応じた教育の方法やその専門性が理解できる。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】視覚障害教育の内容① 【計画内容】視覚障害を移動、文字、情報障害からの理解を深め、教育課程の編成や配慮事項、指導の基礎･基本について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A･L
	第2回	【テーマ】視覚障害教育の内容② 【計画内容】点字の成り立ちと構成、点字の読み･書きの実際、点字指導の基礎、点字触察の基礎について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A･L
	第3回	【テーマ】視覚障害教育の自立活動① 【計画内容】空間把握と歩行の困難さを理解し、全盲の疑似体験を通して白杖の使い方や支援者のサポート方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A･L
	第4回	【テーマ】視覚障害教育の自立活動② 【計画内容】弱視児童･生徒への指導内容や指導方法を学ぶとともに、視覚障害を伴う重度･重複障害者への指導内容や指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A･L
	第5回	【テーマ】聴覚障害教育の歴史 【計画内容】聴覚障害教育の西洋や日本における歴史に触れながら、現代における課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A･L
	第6回	【テーマ】聴覚障害教育の教育内容 【計画内容】聴覚障害教育の目的について理解を深め、教育課程の編成や配慮事項、指導上の基礎･基本について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A･L
	第7回	【テーマ】聴覚障害教育の自立活動① 【計画内容】補聴器による聴覚活用、発音発語指導、言語指導について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A･L
	第8回	【テーマ】聴覚障害教育の自立活動② 【計画内容】コミュニケーションの手段や指導法について理解を深め、実際に指文字や手話を体験する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	H･L

テキスト	文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領解説　総則編』、教育出版、9784316300160
参考書	全国盲学校長会、2000年、『視覚障害教育入門 Q & A』、ジアース教育新社、9784921124045 吉岡博英･四日市章･立入哉、1996年、『聴覚障害教育情報ガイド』、コレール社、4876371792

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			最終		平時	

課題に関するフィードバックの方法	ポータルにて、行います。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	心理教育相談員
		科目との関連	心理教育相談にて、臨床にかかわってきた経験をもとに、授業展開を行います。

質問への対応	Teams ならびに Forms にて質問を受け付けます。
資格	[ス][教]特支1種_必修
その他	Teams をチェックするようにしてください。 毎回、小レポートを課す。毎回の気づいたこと、わかったこと、考えたことをノートに書き留めておくこと。実践の場でどのような指導が考えられるか、その根拠は何か、具体的な指導法を考えること。 学習活動 【授業前】障害とは何かを事前に考える。 【授業中】できないこと、できることは何か。各障害の定義、特性を理解する。何が支援かを考える。 【授業後】何が課題なのかを理解する。課題解決のために何ができるかを考える。

科目名	重複障害者の心理･生理･病理	授業形態	講義	単位数	1

教員名	雁丸　新一

授業の目的		
	ねらい	特別支援学校においては、障害の重度･重複化、多様化に伴い、一人ひとりに応じたきめ細かな指導及び支援が求められています。本講義では、聴覚障害を伴う重複障害児者を中心とし、重複障害の心理、生理、病理について講義します。また、重複障害の理解を深めるために、事例についても紹介します。なお、授業計画の内容や順序等は必要に応じて変更する場合もあります。
	到達目標	(1)重複障害の心理･生理･病理について理解する。 (2)聴覚障害を伴う重複障害児者について理解する。 (3)重度･重複障害の心理とその支援について理解する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】重複障害の概念 【計画内容】重複障害(重度･重複障害を含む)の概念について講義します。 【授業時間外の学修内容】重複障害の概念について予習すること。	A
	第2回	【テーマ】重複障害の心理･生理･病理① 【計画内容】重複障害の心理･生理･病理について講義します。 【授業時間外の学修内容】重複障害の心理･生理･病理について予習すること。	A
	第3回	【テーマ】重複障害の心理･生理･病理②:聴覚障害を伴う重複障害児者 【計画内容】聴覚障害を伴う重複障害の心理･生理･病理について講義します。 【授業時間外の学修内容】聴覚障害を伴う重複障害の心理･生理･病理について予習すること。	A
	第4回	【テーマ】重複障害のある幼児児童生徒の発達評価 【計画内容】重複障害のある幼児児童生徒の発達評価について講義します。 【授業時間外の学修内容】重複障害のある幼児児童生徒の発達評価について予習すること。	A
	第5回	【テーマ】重複障害児者のコミュニケーション 【計画内容】重複障害児者のコミュニケーションについて講義します。 【授業時間外の学修内容】重複障害児者のコミュニケーションについて予習すること。	A
	第6回	【テーマ】重複障害のある幼児児童生徒の事例検討① 【計画内容】重複障害のある幼児児童生徒の事例について検討します。 【授業時間外の学修内容】重複障害のある幼児児童生徒の事例について予習すること。	A･H
	第7回	【テーマ】重複障害のある幼児児童生徒の事例検討②:聴覚障害を伴う重複障害のある幼児児童生徒 【計画内容】聴覚障害を伴う重複障害のある幼児児童生徒の事例について検討します。 【授業時間外の学修内容】聴覚障害を伴う重複障害のある幼児児童生徒の事例について予習すること。	A･H
	第8回	【テーマ】まとめ 【計画内容】授業のまとめと課題を提示します。 【授業時間外の学修内容】第7回までの授業内容について復習すること。	A･H

テキスト	講義時に説明します。
参考書	宮本信也･竹田一則編、2007年、『障害理解のための医学･生理学』、明石書店、9784750325460 長崎勤･前川久男編、2008年、『障害理解のための心理学』明石書店、9784750327730 太田信夫監･柿澤敏文編、2019年、『障害者心理学』北大路書房、9784762829840 文部科学省、『特別支援学校教育要領･学習指導要領』 その他の参考書については、必要に応じて、講義時に提示します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	特別支援学校教諭
		科目との関連	特別支援学校における経験等に基づいて、基本的視点について講義します。

質問への対応	講義時に説明します。
資格	[ス][教]特支1種_必修
その他	

科目名	重複障害者の教育課程及び指導法	授業形態	講義	単位数	1
教員名	雁丸　新一				

授業の目的	ねらい	特別支援学校においては、障害の重度・重複化、多様化に伴い、一人ひとりに応じたきめ細かな指導及び支援が求められています。本講義では、聴覚障害を伴う重複障害児を中心とし、重複障害のある児童生徒の教育課程と指導法について講義します。また、教育課程と指導法の理解を深めるために、特別支援学校における実践や取り組みについても紹介します。なお、授業計画の内容や順序等は必要に応じて変更する場合もあります。
	到達目標	(1)重複障害のある児童生徒について理解する。 (2)重複障害のある児童生徒の教育課程について理解する。 (3)重複障害のある児童生徒の指導法について理解する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】重複障害教育の現状と課題 【計画内容】重複障害教育の現状と課題について講義します。 【授業時間外の学修内容】重複障害児教育について予習すること。	A
	第2回	【テーマ】重複障害のある児童生徒の医療的ケア 【計画内容】重複障害のある児童生徒の医療的ケアについて講義します。 【授業時間外の学修内容】重複障害のある児童生徒の医療的ケアについて予習すること。	A
	第3回	【テーマ】重複障害のある児童生徒の実態把握と個別の教育支援計画 【計画内容】重複障害のある児童生徒の実態把握と個別の教育支援計画について講義します。 【授業時間外の学修内容】重複障害のある児童生徒の実態把握と個別の教育支援計画について予習すること。	A
	第4回	【テーマ】重複障害のある児童生徒の教育課程 【計画内容】重複障害のある児童生徒の教育課程について講義します。 【授業時間外の学修内容】重複障害のある児童生徒の教育課程について予習すること。	A
	第5回	【テーマ】重複障害のある児童生徒の指導法 【計画内容】重複障害のある児童生徒の指導法について講義します。 【授業時間外の学修内容】重複障害のある児童生徒の指導法について予習すること。	A
	第6回	【テーマ】重複障害のある児童生徒の事例検討① 【計画内容】重複障害のある児童生徒の事例について検討します。 【授業時間外の学修内容】重複障害のある児童生徒の事例について予習すること。	A・H
	第7回	【テーマ】重複障害のある児童生徒の事例検討②：聴覚障害を伴う重複障害のある児童生徒 【計画内容】聴覚障害を伴う重複障害のある児童生徒の事例について検討します。 【授業時間外の学修内容】聴覚障害を伴う重複障害のある児童生徒の事例について予習すること。	A・H
	第8回	【テーマ】まとめ 【計画内容】授業のまとめと課題を提示します。 【授業時間外の学修内容】第7回までの授業内容について復習すること。	A・H

テキスト	講義時に説明します。
参考書	中村満紀男・前川久男・四日市章編、2012年、『理解と支援の特別支援教育(2訂版)』、コレール社、9784876377138 障がいの重い子どもの事例研究刊行会、2018年、『障がいの重い子どもと係わり合う教育　実践事例から読みとく特別支援教育Ⅰ』、明石書店、9784750347356 障がいの重い子どもの事例研究刊行会、2018年、『障がいの重い子どもと係わり合う教育　実践事例から読みとく特別支援教育Ⅱ』、明石書店、9784750347509 文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』 その他の参考書については、必要に応じて、講義時に提示します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	特別支援学校教諭
		科目との関連	特別支援学校における経験等に基づいて、基本的視点について講義します。

質問への対応	講義時に説明します。
資格	[ス][教]特支1種_必修
その他	

科目名	特別支援教育実習事前指導	授業形態	講義	単位数	1
教員名	松井　由紀夫、瀧澤　聡				

授業の目的	
ねらい	特別支援学校の教育実習にあたっての心構えや学校の組織、通常の学校と異なる留意事項等について学習する。次にそれぞれが実習を行う学校種別ごとに分かれて学習指導案について再度学習するとともに、実際に学習指導案を作成する。そしてその指導案に基づいた模擬授業を行う。模擬授業後の反省会において授業評価を行う。
到達目標	(1)特別支援学校で授業を行う際の児童生徒への指導上の配慮や留意事項について理解する。 (2)特別支援学校の学習指導案が書ける。 (3)障害のある児童生徒を対象とした模擬授業を行うことができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】特別支援学校における教育実習の心構えと特別支援学校の学校経営 【計画内容】15回の授業計画を紹介し、実習に向けた心構えを確認する。合わせて特別支援学校の学校経営について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておく。また、テキスト『教育実習の手引き』で教育実習の目的や内容、注意事項等について確認しておくこと。	A	第9回	【テーマ】模擬授業(3) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめ、次回担当する模擬授業に向けた準備と整理をしておく。	B・E
第2回	【テーマ】特別支援学校における学習指導案の書き方(1) 【計画内容】特別支援学校で作成される学習指導案の内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト『教育実習の手引き』の該当箇所を熟読し、授業で習得したいことを整理しておく。	A・B	第10回	【テーマ】模擬授業(4) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめ、次回担当する模擬授業に向けた準備と整理をしておく。	B・E
第3回	【テーマ】特別支援学校における学習指導案の書き方(2) 【計画内容】次年度の実習校の校種毎にグループに分かれ、校種に応じた学習指導案作成の配慮事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義資料の内容について復習し、授業で習得したいことを整理しておく。	A・B	第11回	【テーマ】特別支援教育実習報告会 【計画内容】今年度特別支援教育実習に行った学生の実習の成果と課題の報告を聴き、次年度の実習に向けた準備事項について整理と確認をする。 【授業時間外の学修内容】4年次生は教職センターに提出した実習報告書の内容を整理し直し、自身の特別支援教育実習の成果と課題についてまとめておくこと。3年次生は、『教育実習の手引き』の特別支援教育実習の関連項目について熟読し、授業で習得したいことを整理しておく。	F
第4回	【テーマ】特別支援学校における学習指導案の書き方(3) 【計画内容】次年度の実習校の校種毎にグループに分かれ、校種に応じた学習指導案作成の配慮事項について学び、作成した学習指導案の添削指導を受ける。 【授業時間外の学修内容】指導教員の指示に従い、学習指導案を作成し、授業で習得したいことを整理しておく。	A・B	第12回	【テーマ】模擬授業(5) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめる。また、次回担当する模擬授業に向けた準備と整理をしておく。	B・E
第5回	【テーマ】学習指導案の提出及び模擬授業計画の立案 【計画内容】各自が作成した学習指導案を提出し、グループごとの模擬授業の日程や授業内容について検討する。 【授業時間外の学修内容】指導教員の指示に従い、学習指導案を作成して添削指導を受け、授業で習得したいことを整理しておく。	H	第13回	【テーマ】模擬授業(6) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめる。また、次回担当する模擬授業に向けた準備と整理をしておく。	B・E
第6回	【テーマ】模擬授業準備 【計画内容】グループごとに模擬授業のティーム・ティーチングの役割分担や教材教具の作成等の準備を行う。 【授業時間外の学修内容】事前にグループごとの役割分担や模擬授業に向けた作業計画について話し合い、授業で習得したいことを整理しておく。	H	第14回	【テーマ】模擬授業(7) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめる。また、次回担当する模擬授業に向けた準備と整理をしておく。	B・E
第7回	【テーマ】模擬授業(1) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、自分が担当する模擬授業に向けた準備を行い、授業で習得したいことを整理しておく。	B・E	第15回	【テーマ】模擬授業(8) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備と整理を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめ、授業で習得したいことを整理しておく。	B・E
第8回	【テーマ】模擬授業(2) 【計画内容】作成した学習指導案に基づいて担当グループが模擬授業を行う。授業者以外の学生は児童生徒役、参観・評価者として模擬授業に参加する。模擬授業後には授業反省会を行う。 【授業時間外の学修内容】授業担当者は学習指導案を作成し、教材研究や授業リハーサル等の準備を入念に行う。授業者以外の学生は、前回の模擬授業の反省点をまとめ、次回担当する模擬授業に向けた準備と整理をしておく。	B・E			

テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、2017年、『教育実習の手引き』
参考書	プリント資料を配付します。 文部科学省、2018年、『特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領』、海文堂

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		25%	30%		30%	15%
	補足		模擬授業 (授業者、児童生徒役)	模擬授業・学習指導案		学習への意欲	模擬授業評価

課題に関するフィードバックの方法	各自が指導案を作成し、その指導案をもとに、教材作成及びティームティーチングによる指導を工夫した模擬授業を実施する。模擬授業の反省会を通して指導の在り方や障害への配慮等に関する授業評価を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	松井由紀夫 / 特別支援学校教諭、教頭、校長
		科目との関連	松井由紀夫 / 特別支援学校教諭、教頭、校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]特支1種_必修
その他	3年生前学期までに開講されている特別支援教育に関する科目全てを履修していることが望ましい。(編入生を除く) 講義は、担当教員ごとにグループに分かれて実施する。 ※遅刻、欠席は認めない。遅刻、欠席があった場合は履修放棄とみなすので注意すること。ただし、病欠の場合は、担当教員に直ちに連絡するとともに、必ず病院受診のコピーと欠席届を提出すること。学校感染症の場合は、診断書の写し及び保健センターの証明印をもらうこと。

科目名	運動処方	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小田　史郎				

授業の目的	ねらい	本講義では、健康維持・増進のための運動指導を専門的に行うことを考えている学生が、運動処方の基礎理論を身につけることを目的とする。健康づくりのための運動は競技スポーツと異なり、安全かつ効果的に行われることが必要である。特に身体的な問題を抱える実施者においては十分な安全管理が必要となる。本講義ではこうした安全かつ効果的な運動プログラムを作成、実践するための基礎理論を学んだ上で、有疾患患者の運動処方へと発展させる。
	到達目標	(1)運動処方に関する基礎知識を身につける。 (2)個人に合わせた安全かつ効果的な運動プログラムを立案できるようになる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】運動条件と反応・運動強度 【計画内容】健康づくり運動の基礎となるトレーニングの原理・原則、運動様式別の運動条件と効果について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動に関する文献から、健康づくり運動の原理・原則について予習する。	A・G	第9回	【テーマ】筋力増強を目的とした運動処方 【計画内容】筋力増強のための運動プログラムの基本原則と作成方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動のプログラム作成について予習しておく。	A・G
	第2回	【テーマ】メディカルチェック・ヘルスチェック 【計画内容】メディカルチェック、ヘルスチェックの目的及び内容、実施上の留意点や限界について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】運動処方に関する文献から、メディカルチェックの部分を予習する。	A・G	第10回	【テーマ】ストレッチ運動やレクリエーション運動のプログラム 【計画内容】ストレッチング運動、レクリエーション運動の基本原則とプログラムの作成方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動のプログラム作成について予習しておく。	A・G
	第3回	【テーマ】検診結果の読み方(1) 【計画内容】健康診断によってどのようなことがわかるのかについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】運動処方に関する文献から、検診の部分を予習しておく。	A・G	第11回	【テーマ】加齢に伴う体力の低下と運動 【計画内容】加齢に伴う体力の低下と運動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】加齢に伴う体力の低下と運動に関する文献を読む。	A・G
	第4回	【テーマ】検診結果、安静時心電図の読み方(2) 【計画内容】検診結果および安静時心電図の読み方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】運動処方に関する文献から、検診の部分を予習しておく。	A・G	第12回	【テーマ】リスクを抱えた方に対する運動処方 【計画内容】高血圧や糖尿病などのリスクを抱えた方に対して運動プログラムを作成する際の注意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活習慣病を抱える人ではどのような配慮が必要かに関する文献を読む。	A・G
	第5回	【テーマ】運動負荷試験 【計画内容】運動負荷試験の目的や実施方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】運動処方に関する文献から、運動負荷試験の部分を予習する。	A・G	第13回	【テーマ】青少年期の成長発育と運動 【計画内容】青少年期の成長発育と運動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】青少年期の成長発育と運動に関する文献を読む。	A・G
	第6回	【テーマ】心肺系向上を目的とした運動処方 【計画内容】運動種目とその選択方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動のプログラム作成について予習しておく。	A・G	第14回	【テーマ】女性の体力・運動能力の特徴と運動 【計画内容】女性の体力・運動能力の特徴と運動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】女性の体力・運動能力の特徴と運動に関する文献を読む。	A・G
	第7回	【テーマ】心肺系向上を目的とした運動処方 【計画内容】運動強度の指標について学ぶ(酸素摂取量、メッツ、心拍数)。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動のプログラム作成について予習しておく。	A・G	第15回	【テーマ】環境に応じた運動処方 【計画内容】高温環境時の運動処方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】環境に応じた運動処方に関する文献を読む。	A・G
	第8回	【テーマ】心肺系向上を目的とした運動処方 【計画内容】主観的運動強度と運動時間、運動頻度について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動のプログラム作成について予習しておく。	A・G			

テキスト	プリントを使用します
参考書	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		50%			
補足	第16回に実施					

課題に関するフィードバックの方法	試験終了後に内容についての解説を行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時に対応します。
資格	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、認定トレーニング指導者_選必 [健]健康運動実践指導者_必修
その他	「運動生理学」が基礎科目となるため、これを履修しているものとして講義を進めます。 毎回の小レポートと最終試験の結果から総合的に評価します。

科目名	コンディショニング理論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	吉田　真、吉田　昌弘				

授業の目的	ねらい	コンディショニングとは、ピークパフォーマンスの発揮に必要なすべての要因をある目的に向かって望ましい状況に整えることである。コンディショニングの要素である身体的因子、環境的因子、心因的因子を踏まえて、パフォーマンスの向上と傷害予防のために、いかにしてコンディショニングを把握し管理するかについて解説する。また、コンディショニングを実践する上で必要な各種方法の理論的背景について理解を深めることを目的とする。
	到達目標	(1)コンディショニングの目的および要素について理解できる。 (2)競技力向上および傷害予防を目的としたコンディショニングの方法が理解できる。 (3)コンディション評価の理論的背景を理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。また、コンディショニングの概論について学びます。(吉田真) 【授業時間外の学修内容】「コンディション」・「コンディショニング」という用語の定義について調べてくること。	A	第9回	【テーマ】外傷受傷から競技復帰までの取り組み 【計画内容】プログラミング、運動アプローチ、心理的サポートについて学びます。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷受傷から競技復帰までの取り組み」を読んでおくこと。	A・K
	第2回	【テーマ】スポーツ傷害予防のためのコンディショニング1 【計画内容】スポーツ傷害予防の意義、外傷と障害の分類、傷害発生のメカニズムについて学びます。(吉田真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「スポーツ傷害予防のためのコンディショニング」を読んでおくこと。	A・K	第10回	【テーマ】ウォーミングアップとクーリングダウンの方法 【計画内容】ウォーミングアップとクーリングダウンの方法と実際について学びます。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】配付プリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K
	第3回	【テーマ】スポーツ傷害予防のためのコンディショニング2 【計画内容】スポーツ傷害予防のための動作観察と傷害予防の実際について学びます。(吉田真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「スポーツ傷害予防のためのコンディショニング」を読んでおくこと。	A・K	第11回	【テーマ】フィットネスチェックの方法 【計画内容】フィットネスチェックの方法と実際について学びます。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】配付プリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K
	第4回	【テーマ】パフォーマンス向上のためのコンディショニング1 【計画内容】パフォーマンス向上とトレーニングの原則、トレーニング計画、テストのフィードバックについて学びます。(吉田真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「パフォーマンス向上のためのコンディショニング」を読んでおくこと。	A・K	第12回	【テーマ】フィールドテストの方法 【計画内容】フィールドテストの方法と実際について学びます。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】配付プリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K
	第5回	【テーマ】パフォーマンス向上のためのコンディショニング2 【計画内容】柔軟性トレーニング、レジスタンストレーニング、バランストレーニング、スタビリティトレーニングについて学びます。(吉田真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「パフォーマンス向上のためのコンディショニング」を読んでおくこと。	A・K	第13回	【テーマ】コンディショニングのプログラム立案1 【計画内容】これまでの講義内容をもとに、競技特性を踏まえたコンディショニングのプログラムをグループワークにて立案します。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習しておくこと。	H
	第6回	【テーマ】パフォーマンス向上のためのコンディショニング3 【計画内容】エンデュランストレーニング、スピード・アジリティトレーニングについて学びます。(吉田真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「パフォーマンス向上のためのコンディショニング」を読んでおくこと。	A・K	第14回	【テーマ】コンディショニングのプログラム立案2 【計画内容】これまでの講義内容をもとに、競技特性を踏まえたコンディショニングのプログラムをグループワークにて立案します。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習しておくこと。	H
	第7回	【テーマ】成長期および女性アスリートのコンディショニング 【計画内容】成長期および女性アスリートのコンディショニングについて学びます。(吉田真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「コンディショニングにおけるその他の情報」を読んでおくこと。	A・K	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、本講義の到達度を確認します。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】第1回 - 第14回までの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。	H
	第8回	【テーマ】オーバートレーニング、睡眠、環境への対策 【計画内容】オーバートレーニング、睡眠、環境への対策について学びます。(吉田真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「コンディショニングにおけるその他の情報」を読んでおくこと。	A・K			

テキスト	広瀬統一・泉重樹・上松大輔・笠原政志、2019年、『アスレティックトレーニング学』、文光堂、9784830651915
参考書	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2016年、『公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング』、公益財団法人日本スポーツ協会 Tudor O. Bompa・尾縣貢・青山清英、2006年、『競技力向上のトレーニング戦略』、大修館書店、9784469266153 西園秀嗣・加賀谷善教、2015年、『ケガをさせないエクササイズの科学 トレーニングから運動療法まで』、大修館書店、9784469267761

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%				40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	Teams の科目チームやチャットを通して、フィードバックします。	
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	オフィスアワーの時間帯に953研究室・925研究室にて対応します。	
資格	[ス]JPSUスポーツトレーナー_必修、アスレティックトレーナー_必修	
その他	「スポーツ解剖学」「スポーツ外傷・障害の評価理論」「トレーニング理論・演習」「体力測定評価」を履修済みであることが望ましい。	

科目名	コンディショニング演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	鎌倉　一				

授業の目的		
	ねらい	本科目では、「コンディショニング理論」で学んだ理論的背景を基に、競技者のコンディションを把握するために必要な測定・評価から目的に応じたコンディショニングのプログラム立案および指導を演習形式で実践することを目的とする。演習では、コンディショニングの目的である傷害予防とパフォーマンス向上のそれぞれの視点からプログラムを立案する。また各種競技特性に応じたコンディショニングを把握するために、冬季競技、記録系競技、球技系競技、採点競技系、格技系の特徴についての理解を深める。
	到達目標	(1)競技力向上および傷害予防を目的としたコンディショニング方法を指導できる。 (2)疲労回復、ウォーミングアップおよびクーリングダウンの方法を指導できる。 (3)目的に応じたコンディショニングのプログラム立案およびその指導ができる。 (4)競技特性に応じたコンディショニングの方法を理解し指導できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】競技種目特性とコンディショニング概論 【計画内容】競技種目特性とは何かを学び、競技特性を考慮したコンディショニングの必要性を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技種目とコンディショニング」を読んでおくこと。	A・B
	第2回	【テーマ】コンディショニングトレーニングの実際 【計画内容】コンディショニングトレーニングの計画を立案し、方法の指導を実践します。指導方法についてグループワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト「コンディショニングの方法と実際 競技力向上を目的としたコンディショニングの方法と実際のコンディショニングトレーニングに関する項」を読んでおくこと。	A・B	第10回	【テーマ】冬季競技におけるコンディショニングの実際 【計画内容】冬季競技に必要なコンディショニングを計画し、方法を実践します。指導方法についてグループワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技種目とコンディショニング 冬季競技」を読んでおくこと。	A・B
	第3回	【テーマ】スプリントとエンデュランストレーニングの実際 【計画内容】スプリントとエンデュランストレーニングの計画を立案し、方法の指導を実践します。指導方法についてグループワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト「コンディショニングの方法と実際 競技力向上を目的としたコンディショニングの方法と実際のスプリントとエンデュランストレーニングに関する項」を読んでおくこと。	A・B	第11回	【テーマ】記録系競技におけるコンディショニングの実際 【計画内容】記録系競技に必要なコンディショニングを計画し、方法を実践します。指導方法についてグループワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技種目とコンディショニング 記録系競技」を読んでおくこと。	A・B
	第4回	【テーマ】サーキットトレーニングの実際 【計画内容】サーキットトレーニングの計画を立案し、方法の指導を実践します。指導方法についてグループワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト「コンディショニングの方法と実際 競技力向上を目的としたコンディショニングの方法と実際のサーキットトレーニングに関する項」を読んでおくこと。	A・B	第12回	【テーマ】球技系競技におけるコンディショニングの実際 【計画内容】球技系競技に必要なコンディショニングを計画し、方法を実践します。指導方法についてグループワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技種目とコンディショニング 球技系競技」を読んでおくこと。	A・B
	第5回	【テーマ】ウォーミングアップとクーリングダウンの実際 【計画内容】ウォーミングアップとクーリングダウンの計画を立案し、方法の指導を実践します。指導方法についてグループワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト「コンディショニングの方法と実際 ウォーミングアップとクーリングダウンの方法と実際」を読んでおくこと。	A・B	第13回	【テーマ】採点系競技におけるコンディショニングの実際 【計画内容】採点系競技に必要なコンディショニングを計画し、方法を実践します。指導方法についてグループワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技種目とコンディショニング 採点系競技」を読んでおくこと。	A・B
	第6回	【テーマ】フィットネスチェックの実際 【計画内容】フィットネスチェックを計画し、方法を実践します。指導方法についてグループワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト「コンディショニングの方法と実際 フィットネスチェック」を読んでおくこと。	A・B	第14回	【テーマ】格技系におけるコンディショニングの実際 【計画内容】格技系に必要なコンディショニングを計画し、方法を実践します。指導方法についてグループワークを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技種目とコンディショニング 格技系」を読んでおくこと。	A・B
	第7回	【テーマ】フィールドテストの実際 【計画内容】フィールドテストを計画し、計測を実践します。 【授業時間外の学修内容】テキスト「コンディショニングの方法と実際 フィールドテスト」を読んでおくこと。	A・B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】第14回までの授業を振り返り、本科目の到達度を確認します。 【授業時間外の学修内容】前回までの授業内容を復習しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】身体(組成)測定・柔軟性テストの実際 【計画内容】身体(組成)測定、柔軟性テストを計画し、計測を実践します。 【授業時間外の学修内容】テキスト「コンディショニングの方法と実際 身体(組成)測定、柔軟性テスト」を読んでおくこと。	A・B			

テキスト	広瀬統一、2019年、『アスレティックトレーニング学』、文光堂、4830651911
参考書	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2016年、『公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング』、公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会、2011年、『予防とコンディショニング(公認アスレティックトレーナー専門科目テキストワークブック)』、文光堂 Tudor O.Bompa・尾縣貢・青山清英、2006年、『競技力向上のトレーニング戦略』、大修館書店、9784469266153

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		60%			40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]アスレティックトレーナー_必修
その他	「コンディショニング理論」を履修済みのこと。第16回に最終評価として実技試験を実施します。

科目名	アスレティックリハビリテーション演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	吉田　昌弘、池田　祐真、戸田　創				

授業の目的

ねらい	本科目では「アスレティックリハビリテーション理論」で修得した知識を基盤に、スポーツ外傷・障害の代表的な症例を想定して、運動療法や物理療法と補装具の使用に関する目的や禁忌事項について理解を深める。また、機能評価に基づくアスレティックリハビリテーションを実践する上で必須となる医学的情報の収集、機能評価と問題点の抽出を的確に行い、外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラミングと実践について演習形式で展開する。
到達目標	(1)アスレティックリハビリテーションの実施にあたり、代表的な疾患の病態を理解でき、医師から得ておくべき医学的情報を知ることができる。 (2)各疾患のアスレティックリハビリテーションに必要な情報収集および機能評価ができる。 (3)アスレティックリハビリテーションのプログラミングができる。 (4)アスレティックリハビリテーションにおける身体的リスクを考慮し、安全で効率の良い方法が指導できる。 (5)スポーツ復帰の目安を明確にして、対象者に説明することができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション・総論 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】足関節捻挫へのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】足関節捻挫が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(戸田創) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－下肢－足関節捻挫」を読んでおくこと。	A・B
第2回	【テーマ】頸椎捻挫へのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】頸椎捻挫が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(戸田創) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－体幹－腰部疾患へのアスレティックリハビリテーション」を読んでおくこと。	A・B	第10回	【テーマ】膝靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション1 【計画内容】膝内側側副靭帯損傷が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(池田祐真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－下肢－膝内側側副靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション」を読んでおくこと。	A・B
第3回	【テーマ】腰部疾患へのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】腰部疾患が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(戸田創) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－体幹－腰部疾患へのアスレティックリハビリテーション」を読んでおくこと。	A・B	第11回	【テーマ】膝靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション2 【計画内容】膝前十字靭帯損傷が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(池田祐真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－下肢－膝前十字靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション」を読んでおくこと。	A・B
第4回	【テーマ】肩関節前方脱臼へのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】肩関節前方脱臼が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(戸田創) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－上肢－肩関節前方脱臼のへアスレティックリハビリテーション」を読んでおくこと。	A・B	第12回	【テーマ】肉離れへのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】肉離れが発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(池田祐真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－肢－大腿屈筋肉離れへのアスレティックリハビリテーション」を読んでおくこと。	A・B
第5回	【テーマ】投球障害肩へのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】投球障害肩が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(戸田創) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－上肢－投球障害肩へのアスレティックリハビリテーション」を読んでおくこと。	A・B	第13回	【テーマ】下腿へのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】下腿のスポーツ外傷・障害が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(池田祐真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－下肢－下腿－下腿のスポーツ外傷・障害へのアスレティックリハビリテーションに関する項」を読んでおくこと。	A・B
第6回	【テーマ】外傷性肘損傷へのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】外傷性肘損傷が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(戸田創) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－上肢－外傷性肘損傷へのアスレティックリハビリテーション」を読んでおくこと。	A・B	第14回	【テーマ】足部へのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】足部のスポーツ外傷・障害が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(池田祐真) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－下肢－足部のスポーツ外傷・障害へのアスレティックリハビリテーションに関する項」を読んでおくこと。	A・B
第7回	【テーマ】非外傷性肘損傷へのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】非外傷性肘損傷が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(戸田創) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－上肢－上腕骨内側・外側上顆炎・非外傷性肘内側側副靭帯損傷」を読んでおくこと。	A・B	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】授業を振り返り、アスレティックリハビリテーションのプログラミングについてグループワークを行います。また、本科目の到達度を確認します。(池田祐真) 【授業時間外の学修内容】前回までの授業内容を復習しておくこと。	A・B
第8回	【テーマ】手関節捻挫へのアスレティックリハビリテーション 【計画内容】手関節捻挫が発生した場合を想定し、アスレティックトレーナーの立場から必要な医学的情報を収集し、検査・測定およびアスレティックリハビリテーションのプログラミングを実践します。(戸田創) 【授業時間外の学修内容】テキスト「外傷ごとのリスク管理に基づいたリハビリテーションプログラムと実践－上肢－手関節捻挫」を読んでおくこと。	A・B			

テキスト	陶山哲夫・赤坂清和、2018年、『スポーツ理学療法学 動作に基づく外傷・障害の理解と評価・治療の進め方』改訂第2版、メジカルビュー社、9784758319331
参考書	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2016年、『公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト7 アスレティックリハビリテーション』、公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会、2011年、『アスレティックリハビリテーション(公認アスレティックトレーナー専門科目テキストワークブック)』、文光堂 広瀬統一、2019年、『アスレティックトレーニング学』、文光堂、4830651911

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	20%	60%			20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

経験内容	
科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]アスレティックトレーナー_必修
その他	「アスレティックリハビリテーション理論」「スポーツ外傷・障害の評価理論」を履修済みのこと。 第16回に最終評価として試験を実施します。

科目名	アスレティックリハビリテーション演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	吉田　昌弘、伊藤　雄、河合　誠				

授業の目的

ねらい	本科目では、「アスレティックリハビリテーション演習Ⅰ」で修得した知識と技能を基盤に、スポーツ外傷・障害の代表的な症例を想定して、医学的情報の収集、機能評価と問題点の抽出、アスレティックリハビリテーションの目標設定とプログラミングを実際に立案する。立案はグループで行い、最終的には競技種目特性を考慮してカンファレンス形式による発表および質疑応答を行うこととする。
到達目標	(1)アスレティックリハビリテーションの実施にあたり、医師から得ておくべき医学的情報について収集することができる。 (2)各疾患のアスレティックリハビリテーションに必要な機能評価ができる。 (3)アスレティックリハビリテーションのプログラミングができる。 (4)アスレティックリハビリテーションにおける身体的リスクを考慮し、安全で効率の良い方法が指導できる。 (5)各競技種目に応じたスポーツ復帰の目安を明確にして、対象者に説明することができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション・総論 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ハンドボールにおけるアスリハのプログラミング 【計画内容】ハンドボールにおける代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(河合誠) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性のハンドボールに関する項」を読んでおくこと。	A・B
第2回	【テーマ】アスリハにおける競技種目特性：動作からみた競技特性 【計画内容】動作からみた競技種目の特性と代表的な外傷発生機転について学びます。(河合誠) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム アスレティックリハビリテーションにおける競技種目特性」を読んでおくこと。	A・B	第10回	【テーマ】サッカーにおけるアスリハのプログラミング 【計画内容】サッカーにおける代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(伊藤雄) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性の野球に関する項」を読んでおくこと。	A・B
第3回	【テーマ】アスリハにおける競技種目特性：体力からみた競技種目特性 【計画内容】体力特性を踏まえたトレーニングや患部外トレーニングの処方について学びます。(河合誠) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム アスレティックリハビリテーションにおける競技種目特性」を読んでおくこと。	A・B	第11回	【テーマ】ラグビー、格闘技におけるアスリハのプログラミング 【計画内容】ラグビー、格闘技における代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(伊藤雄) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性のラグビー、格闘技に関する項」を読んでおくこと。	A・B
第4回	【テーマ】陸上競技におけるアスリハのプログラミング 【計画内容】陸上競技における代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(河合誠) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性の陸上競技に関する項」を読んでおくこと。	A・B	第12回	【テーマ】体操におけるアスリハのプログラミング 【計画内容】体操における代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(伊藤雄) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性の体操に関する項」を読んでおくこと。	A・B
第5回	【テーマ】水泳におけるアスリハのプログラミング 【計画内容】水泳における代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(河合誠) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性の水泳に関する項」を読んでおくこと。	A・B	第13回	【テーマ】スキー競技におけるアスリハのプログラミング 【計画内容】スキー競技における代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(伊藤雄) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性のスキー競技に関する項」を読んでおくこと。	A・B
第6回	【テーマ】野球におけるアスリハのプログラミング 【計画内容】野球における代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(河合誠) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性のサッカーに関する項」を読んでおくこと。	A・B	第14回	【テーマ】スケート競技におけるアスリハのプログラミング 【計画内容】スケート競技における代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(伊藤雄) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性のスケート競技に関する項」を読んでおくこと。	A・B
第7回	【テーマ】バスケットボールにおけるアスリハのプログラミング 【計画内容】バスケットボールにおける代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(河合誠) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性のバスケットボールに関する項」を読んでおくこと。	A・B	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】授業を振り返り、本科目の到達度を確認します。(伊藤雄) 【授業時間外の学修内容】前回までの授業内容を復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】バレーボールにおけるアスリハのプログラミング 【計画内容】バレーボールにおける代表的な外傷を想定し、評価およびアスレティックリハビリテーションプログラムの立案を行い、カンファレンスにて発表を行います。(河合誠) 【授業時間外の学修内容】テキスト「競技特性に基づいたリハビリテーションプログラム 競技種目における動作特性と体力特性のバレーボールに関する項」を読んでおくこと。	A・B			

テキスト	陶山哲夫・赤坂清和、2018年、『スポーツ理学療法学 動作に基づく外傷・障害の理解と評価・治療の進め方』改訂第2版、メジカルビュー社、9784758319331
参考書	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2016年、『公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト7 アスレティックリハビリテーション』、公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会、2011年、『アスレティックリハビリテーション(公認アスレティックトレーナー専門科目テキストワークブック)』、文光堂 広瀬統一、2019年、『アスレティックトレーニング学』、文光堂、4830651911

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	20%	60%			20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

経験内容	
科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]アスレティックトレーナー_必修
その他	「アスレティックリハビリテーション理論」「スポーツ外傷・障害の評価理論」「アスレティックリハビリテーション演習Ⅰ」を履修済みのこと。 第16回に最終評価として試験を実施します。

科目名	スポーツの戦術・戦略論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	畝中　智志、竹内　雅明				

授業の目的		
	ねらい	スポーツの試合は、その種目に関わらず多くの要素から成り立っている。 指導者が戦術・戦略に関する知識を十分に備えていても、選手一人一人がそれを理解していなければ良い結果を得ることは困難である。指導者だけではなく競技者にとっても重要なスポーツの戦術・戦略についての基礎理論を身に付けることを目的とする。
	到達目標	(1)戦術・戦略の基礎知識を習得する。 (2)戦術・戦略プランの立案方法を習得する。 (3)戦術・戦略プランについて立案、発表を行い、問題点について指摘ができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】戦術・戦略の概要について学ぶ。 (畝中智志・竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】戦術・戦略プランの立案① 【計画内容】自身の競技経験や実際の試合場面などをもとに、戦術・戦略プランを立案するためのテーマを決定する。(畝中智志・竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前週の講義内容を復習しておく。	A・B
	第2回	【テーマ】戦術・戦略の基礎 【計画内容】戦術・戦略・作戦といった用語について、スポーツの世界ではどのようにとらえるべきかを考える。(畝中智志) 【授業時間外の学修内容】戦術・戦略の語源をあらかじめ調べておく。	A	第10回	【テーマ】戦術・戦略プランの立案② 【計画内容】テーマに沿った戦術・戦略プランの発表のために準備を行う。(畝中智志・竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前週のテーマ決定を基に発表内容を考える。	A・B
	第3回	【テーマ】戦術・戦略の歴史と意義 【計画内容】スポーツにおける過去の戦術・戦略を振り返りながら、競技の目指すべき方向を考える。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】過去のスポーツにおける戦術について調べておく。	A	第11回	【テーマ】戦術・戦略プランの発表① 【計画内容】立案した戦術・戦略プランの発表を行い、議論する。(畝中智志・竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前週までの講義内容を復習し、発表の準備をしておく。	A・F
	第4回	【テーマ】戦術・戦略行動を行うための前提条件 【計画内容】戦術・戦略プランの実行に関わる各要因について考える。(畝中智志) 【授業時間外の学修内容】自身の経験から、どのようにして対戦相手の情報収集及び活用方法を行ったか整理しておく。	A	第12回	【テーマ】戦術・戦略プランの発表② 【計画内容】立案した戦術・戦略プランの発表を行い、議論する。(畝中智志・竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前週までの講義内容を復習し、発表の準備をしておく。	A・F
	第5回	【テーマ】戦術・戦略のトレーニング 【計画内容】戦術・戦略を高めるための方法について考える。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】自身の経験から、どのようにして戦術・戦略を高めてきたかを整理しておく。	A	第13回	【テーマ】戦術・戦略プランの発表③ 【計画内容】立案した戦術・戦略プランの発表を行い、議論する。(畝中智志・竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前週までの講義内容を復習し、発表の準備をしておく。	A・F
	第6回	【テーマ】集団競技における戦術・戦略 【計画内容】トップクラスに位置する集団競技の監督・選手の戦術・戦略の例を基に、戦術達成力の重要性を学ぶ。(畝中智志) 【授業時間外の学修内容】週までの内容を復習しておく。	A	第14回	【テーマ】戦術・戦略プランの発表④ 【計画内容】立案した戦術・戦略プランの発表を行い、議論する。(畝中智志・竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前週までの講義内容を復習し、発表の準備をしておく。	A・F
	第7回	【テーマ】個人競技における戦術・戦略 【計画内容】トップクラスに位置する個人競技の監督・選手の戦術・戦略の例を基に、戦術達成力の重要性を学ぶ。(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】前週の戦術事例の内容を復習しておく。	A	第15回	【テーマ】戦術・戦略についてのまとめと振り返り 【計画内容】戦術・戦略について発表課題を基に振り返る。(畝中智志・竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、理解度を確認する。	A
	第8回	【テーマ】戦術・戦略プラン立案のための前提条件 【計画内容】戦術・戦略プランの立案に関わる各要因について考える。(畝中智志) 【授業時間外の学修内容】前週までの内容を復習しておく。	A			

テキスト	講義時に説明する
参考書	ヤーン・ケルン、1998年、『スポーツの戦術入門』、大修館、4469263915

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	授業担当者で採点、評価の後、講評を行う。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	発表課題について、受講生同士による議論を含め講義内でフィードバックを行う。

科目名	アスリートを取り巻く環境	授業形態	講義	単位数	2
教員名	永谷　稔				

授業の目的

ねらい	本講義では、現在アスリートを取り巻く環境として、トップアスリートからプロや実業団、大学や高校中学、それぞれにおける現状や課題・問題点を理解する。アスリートや指導者として、どのような環境が望ましいことなのか、また限られた環境のなかでいかに成果をあげていくのか、理解を深めたい。さらに、今後の自らの競技環境の変化や指導者として後進の育成につなげられることを期待したい。
到達目標	(1)トップアスリートからプロや実業団などを取り巻く環境の現状を理解する。 (2)トップアスリートからプロや実業団などを取り巻く環境の問題や課題を理解する。 (3)アスリートや指導者として取り巻く環境のなかでの実行力を身につける。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の内容についてガイダンスする。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】新たな取り組みや先進事例 【計画内容】日本をはじめ世界における、アスリートを取り巻く環境の新たな取り組みや先進事例について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】シラバスの熟読と自らの競技に関する環境について理解しておく。	A・H・J・K
第2回	【テーマ】トップアスリートを取り巻く環境 【計画内容】オリンピック出場や全日本トップレベルのアスリートを取り巻く環境について、競技種目ごとに整理する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの熟読と自らの競技に関する環境について理解しておく。	A	第10回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望① 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。	F・J・K
第3回	【テーマ】プロスポーツを取り巻く環境 【計画内容】プロ野球、Jリーグに代表されるプロスポーツアスリートを取り巻く環境について、所属リーグ・団体・組織状況について理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの熟読と自らの競技に関する環境について理解しておく。	A・H・J・K	第11回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望② 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。	F・J・K
第4回	【テーマ】実業団スポーツを取り巻く環境 【計画内容】実業団スポーツを取り巻く環境について、所属企業・組織状況について理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの熟読と自らの競技に関する環境について理解しておく。	A・H・J・K	第12回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望③ 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。	F・J・K
第5回	【テーマ】大学・高校・中学におけるスポーツを取り巻く環境 【計画内容】大学・高校・中学におけるスポーツを取り巻く環境について、公立と私立、強豪校と一般校などの事例から理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの熟読と自らの競技に関する環境について理解しておく。	A・H・J・K	第13回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望④ 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。	F・J・K
第6回	【テーマ】日本のスポーツ環境の変遷 【計画内容】これまでの日本のスポーツ環境の変遷について、主に明治期以降、戦前と戦後から理解を深める。 【授業時間外の学修内容】シラバスの熟読と、問題・課題について意見をもつ。	A・H・J・K	第14回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望⑤ 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。	F・J・K
第7回	【テーマ】世界のスポーツ環境の変遷 【計画内容】世界のスポーツ環境の変遷について、主にアメリカ、イギリス、ドイツ、中国の事例から理解を深める。 【授業時間外の学修内容】シラバスの熟読と、問題・課題について意見をもつ。	A・H・J・K	第15回	【テーマ】これまでのふりかえり 【計画内容】これまでの学習内容のふりかえりを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容の復習をしておく。	A・G・K
第8回	【テーマ】トップアスリートとキャリア 【計画内容】トップアスリートとキャリアについて、これまでの状況と現在そして今後の展開事例について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】シラバスの熟読と、問題・課題について意見をもつ。	A・H・J・K			

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワー：952研究室まで
資格	
その他	

科目名	競技スポーツコーチング演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	畝中　智志、井上　和佳奈、上田　知行、菊地　はるひ、小峯　秋二、竹内　雅明、永谷　稔、廣田　修平、横山　茜理、渡部　峻				

授業の目的		
	ねらい	競技種目(野球･陸上競技･エアロビック･バドミントン･バレーボール･ソフトテニス･体操競技･バスケットボール)の発展過程、競技特性を理解し、競技力向上のために必要な知識と実践力を身に付ける。また、実技能力だけではなく、伝える力、指導する力を養成するために指導方法の基礎を学ぶ。
	到達目標	(1)競技力向上のために必要な専門的な技術、技能を身に付ける。 (2)技術指導を行うための基礎理論を理解し、専門知識を身に付ける。 (3)コーチングに必要な指導方法を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】競技スポーツの特性 【計画内容】選択した競技スポーツの種目特性、概要について理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	B	第9回	【テーマ】技術トレーニングの実際(2) 【計画内容】選択した競技種目の技術を向上させるためのトレーニングについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･H･J
	第2回	【テーマ】競技スポーツの発生と歴史 【計画内容】選択した競技種目についてその発生と歴史を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B	第10回	【テーマ】技術トレーニングの実際(3) 【計画内容】選択した競技種目の技術を向上させるためのトレーニングについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･H･J
	第3回	【テーマ】競技スポーツの発展 【計画内容】選択した競技種目についてその発展過程を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B	第11回	【テーマ】技術トレーニングの実際(4) 【計画内容】選択した競技種目の技術を向上させるためのトレーニングについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･H･J
	第4回	【テーマ】競技スポーツの競技規則の変遷 【計画内容】選択した競技種目についてルールの変遷を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･H･J	第12回	【テーマ】競技スポーツ指導の基礎(1) 【計画内容】選択した競技種目の指導方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･F･H
	第5回	【テーマ】競技スポーツの技術特性 【計画内容】選択した競技種目の技術特性を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･H･J	第13回	【テーマ】競技スポーツ指導の基礎(2) 【計画内容】選択した競技種目の指導方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･F･H
	第6回	【テーマ】競技スポーツの戦術特性 【計画内容】選択した競技種目の戦術特性を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･H･J	第14回	【テーマ】競技スポーツ指導の基礎(3) 【計画内容】選択した競技種目の指導方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･F･H
	第7回	【テーマ】競技スポーツの体力特性 【計画内容】選択した競技種目の体力特性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･H･J	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】選択した競技種目の特性を理解した指導方法について考察する。 【授業時間外の学修内容】前回までの授業内容を十分に復習し、理解を深めておくこと。	B･F･G･L
	第8回	【テーマ】技術トレーニングの実際(1) 【計画内容】選択した競技種目の技術を向上させるためのトレーニングについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B･H･J			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		40%	40%		20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	
その他	本学において、野球･陸上競技･エアロビック･バドミントン･バレーボール･ソフトテニス･体操競技･バスケットボールを専門種目として日々意欲的に取り組んでいる学生を対象とする。

教科及び
教職に関する科目

科目名	保健体育科教育法Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	杉岡　品子				

授業の目的		
	ねらい	保健体育科の目標を実現するために、中学校「保健分野」、高等学校「科目保健」の学習指導を計画的、系統的に、しかも効率的に進める方法を理解する。そして、具体的な授業場面を想定した指導計画の立案・作成を実践的に追求し、より良い授業にするための改善の視点を身につける。
	到達目標	(1)保健体育科の目標、中学校「保健分野」・高等学校「科目保健」の目標及び内容、並びに全体構造を理解できる。 (2)生涯にわたり健康な生活を実践できる保健授業の学習指導方法が理解できる。 (3)生徒の個に応じた指導の充実を目指す学習指導法が理解できる。 (4)学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した指導計画の立案・作成をすることができる。 (5)模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につける。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の目的、目標、展開内容、評価方法などについて説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】模擬授業(1) 【計画内容】模擬授業(現代社会と健康)を展開し、評価・課題等の整理をする。 【授業時間外の学修内容】学習指導案の準備をしておくこと。	B・G・K
第2回	【テーマ】中学校・高等学校「保健体育科」教育課程の編成 【計画内容】中学校、高等学校の教育課程について、理解を深める。 【授業時間外の学修内容】中学校、高等学校の教育課程について予習をしておくこと。	A	第10回	【テーマ】模擬授業(2) 【計画内容】模擬授業(現代社会と健康)を展開し、評価・課題等の整理をする。 【授業時間外の学修内容】学習指導案の準備をしておくこと。	B・G・K
第3回	【テーマ】「保健体育科」教科目標、中学校「保健分野」・高等学校「教科保健」の目標 【計画内容】「保健体育科」の教科目標、中学校「保健分野」・高等学校「教科保健」の目標について、理解を深める。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A	第11回	【テーマ】模擬授業(3) 【計画内容】模擬授業(生涯を通じる健康)を展開し、評価・課題等の整理をする。 【授業時間外の学修内容】学習指導案の準備をしておくこと。	B・G・K
第4回	【テーマ】中学校「保健分野」・高等学校「教科保健」の年間指導計画・単元計画 【計画内容】学校行事、他教科との関わり及び地域、学校事情等を考慮した配当時間等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A	第12回	【テーマ】模擬授業(4) 【計画内容】模擬授業を展開(生涯を通じる健康)し、評価・課題等の整理をする。 【授業時間外の学修内容】学習指導案の準備をしておくこと。	B・G・K
第5回	【テーマ】中学校「保健分野」・高等学校「教科保健」の学習指導案(1) 【計画内容】学習指導案作成時に留意すべき事項を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A	第13回	【テーマ】模擬授業(5) 【計画内容】模擬授業(社会生活と健康)を展開し、評価・課題等の整理をする。 【授業時間外の学修内容】学習指導案の準備をしておくこと。	B・G・K
第6回	【テーマ】中学校「保健分野」・高等学校「教科保健」の学習指導案(2) 【計画内容】学習指導案の作成について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A	第14回	【テーマ】模擬授業(6) 【計画内容】模擬授業(社会生活と健康)を展開し、評価・課題等の整理をする。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	B・G・K
第7回	【テーマ】保健授業における学習の進め方(1) 【計画内容】50分間で展開できる内容・ポイント等を研究する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A・H	第15回	【テーマ】振り返りとまとめ 【計画内容】これまでの講義を振り返り、まとめと確認を行う。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだ内容を復習しておくこと。	A・L
第8回	【テーマ】保健授業における学習の進め方(2) 【計画内容】授業展開時の教材、教具、機材の活用等を研究する。 【授業時間外の学修内容】グループによる学習指導案の検討、協議、研究をする。	A・H			

テキスト	文部科学省、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 保健体育編』 文部科学省、『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【高等学校 保健体育】』 国立教育政策研究所教育課程研究センター、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校　保健体育』
参考書	高橋建夫ほか、『体育教育学入門』、大修館

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足			指導案・模擬授業		小レポート取組	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修
その他	16回に評価のための試験を実施します。 教職課程を履修する学生が対象になります。「保健体育科教育法Ⅰ およびⅡ」を履修済みであることが望ましい。

科目名	保健体育科教育法Ⅳ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	森　靖明、小峯　秋二				

授業の目的

ねらい	中学校の「体育」分野、高等学校の科目「体育」の指導案作成、模擬授業の実施を通して、保健体育科教員としての授業実践能力を高めます。
到達目標	(1)保健体育科の各領域の特性や指導方法を理解している。 (2)体育実技の各分野における競技ルールを理解し、説明できる。 (3)保健体育科教諭として授業の進め方について理解し、適切な授業運営ができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】15回の講義展開および保健体育科の授業の進め方の基本について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(個人)① 【計画内容】各自で領域や種目を選んで指導案を作成して模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、指導案作成能力、授業運営能力を高めるとともに、指導内容及び指導方法の工夫・改善を図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H
第2回	【テーマ】授業づくり 【計画内容】体育の授業づくりの手順や指導内容や指導方法の工夫・改善の必要性について学びます。 【授業時間外の学修内容】体育の授業づくりについて学習指導要領や解説、参考文献を読んで理解を深めておくこと。	A・B・H	第10回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(個人)② 【計画内容】各自で領域や種目を選んで指導案を作成して模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、指導案作成能力、授業運営能力を高めるとともに、指導内容及び指導方法の工夫・改善を図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H
第3回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(グループワーク)① 【計画内容】グループで協力して模擬授業の指導案を作成するとともに模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、授業実践力のブラッシュアップを図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H	第11回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(個人)③ 【計画内容】各自で領域や種目を選んで指導案を作成して模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、指導案作成能力、授業運営能力を高めるとともに、指導内容及び指導方法の工夫・改善を図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H
第4回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(グループワーク)② 【計画内容】グループで協力して模擬授業の指導案を作成するとともに模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、授業実践力のブラッシュアップを図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H	第12回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(個人)④ 【計画内容】各自で領域や種目を選んで指導案を作成して模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、指導案作成能力、授業運営能力を高めるとともに、指導内容及び指導方法の工夫・改善を図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H
第5回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(グループワーク)③ 【計画内容】グループで協力して模擬授業の指導案を作成するとともに模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、授業実践力のブラッシュアップを図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H	第13回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(個人)⑤ 【計画内容】各自で領域や種目を選んで指導案を作成して模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、指導案作成能力、授業運営能力を高めるとともに、指導内容及び指導方法の工夫・改善を図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H
第6回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(グループワーク)④ 【計画内容】グループで協力して模擬授業の指導案を作成するとともに模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、授業実践力のブラッシュアップを図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H	第14回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(個人)⑥ 【計画内容】各自で領域や種目を選んで指導案を作成して模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、指導案作成能力、授業運営能力を高めるとともに、指導内容及び指導方法の工夫・改善を図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H
第7回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(グループワーク)⑤ 【計画内容】グループで協力して模擬授業の指導案を作成するとともに模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、授業実践力のブラッシュアップを図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの授業づくりの取組について振り返り、保健体育科教諭として必要な資質・能力について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業づくりの取組について各自整理しておくこと。	A・L
第8回	【テーマ】指導案作成及び模擬授業(グループワーク)⑥ 【計画内容】グループで協力して模擬授業の指導案を作成するとともに模擬授業を実践し、お互いに批評することにより、授業実践力のブラッシュアップを図ります。 【授業時間外の学修内容】授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B・H			

テキスト	プリント等を使用します。
参考書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説　保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1558-0 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1567-2

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		40%	40%		20%	
補足		模擬授業	指導案、レポート		学習に主体的に取り組む姿勢	

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	高等学校教諭、教育委員会指導主事
		科目との関連	教員及び指導主事の経験を生かし、保健体育科教員に求められる資質・能力を育成する。
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。		
資格	[ス]中1種(保健体育)_必修・高1種(保健体育)_選択		
その他	保健体育科教員を志望する学生は受講することが望ましい。		

科目名	教育経営学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	西村　貴之				

授業の目的	
ねらい	今時代の社会は子どもたちにとって様々に生きにくい状況を生み出しており、子どもたちの中には多様な生き難さを抱えている者が少なくありません。このような中、改めて、学校の意義が問われています。本授業では、公教育としての学校の意義や役割ならびに課題について、教育制度ならびに教育経営という観点から学習していきます。
到達目標	(1)教育改革や学校教育をめぐる政治社会状況を理解できる。 (2)公教育制度について基本的な理解ができる。 (3)学校教育のあり方について教育経営的観点で理解ができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】講義のねらい、展開、評価と受講生への期待について説明します。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A	第9回	【テーマ】教育行政と教育課題 【計画内容】なかなか解決にいたらない不登校問題などの教育課題について教育行政学的に検討します。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A
第2回	【テーマ】義務教育制度を学ぶ 【計画内容】日本国憲法の原理と公教育制度との関係について解説をします。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A	第10回	【テーマ】学校安全① 【計画内容】学校や教員に求められる学校安全についての基本的な知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A
第3回	【テーマ】権利としての義務教育を考える 【計画内容】義務教育とは何かについて、2回目の講義内容を踏まえて教育学的に検討します。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A	第11回	【テーマ】学校安全② 【計画内容】学校事故と法的責任との関連で学校安全について考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A
第4回	【テーマ】教育行政と教育委員会① 【計画内容】公教育制度の条件整備を行う教育行政について、現行の教育基本法との関連で解説します。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A	第12回	【テーマ】公教育と社会との関連① 【計画内容】公教育が政治・経済・社会状況の影響をどのように受けているのか。新自由主義経済思想をとりあげて検討します。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A
第5回	【テーマ】教育行政と教育委員会② 【計画内容】教育行政や教育委員会について具体的な役割を中心に解説します。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A	第13回	【テーマ】公教育と社会との関連② 【計画内容】学校経営が新自由主義の影響をどのように受けているのか検討します。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A
第6回	【テーマ】教育財政 【計画内容】公教育制度を財政面から考えます。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A	第14回	【テーマ】多職種連携・協働による学校経営 【計画内容】複雑化多様化している教育課題の解決のために、チームとしての学校というかたちで専門職間の連携・協働による学校経営が目指されている点を学びます。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A
第7回	【テーマ】教育課程行政①　学習指導要領 【計画内容】教育課程行政に関して、学習指導要領との関連で解説します。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A	第15回	【テーマ】教育経営学のまとめ 【計画内容】講義全体の振り返りを行い知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容を見直して授業に臨むこと	A
第8回	【テーマ】教育課程行政②　教科書検定・教科書採択 【計画内容】教育課程行政に関して、教科書検定・教科書採択との関連で解説します。 【授業時間外の学修内容】指定された学習課題に取り組むこと	A			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説　総則編』、東山書房、9784827815801 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　総則編』、東洋館出版社、9784491036397

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	80%				20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	適宜講義中に解説を行う

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワーと Teams による質問を受け付けます。詳しくは初回講義時に説明します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修
その他	講義時に配付する論文などの資料には辞書などを活用しながら必ず読み込むこと。講義内容を自分の言葉で整理したノート作成をするなどして、講義で取り上げられた制度や専門用語等については、毎回復習して理解できるようにしてください。

科目名	教育課程論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	諏江　康夫				

授業の目的

ねらい	・中学校及び高等学校学習指導要領の総則を手がかりに、学習指導要領や教育課程の役割・機能・意義などを理解する。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を通して、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた教育課程編成や指導計画の作成方法を身につける。 ・学習指導要領改訂の背景を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」やカリキュラム・マネジメントの重要性・意義について理解を深める。
到達目標	(1)学習指導要領や教育課程の役割、機能、意義を理解する。 (2)教育課程編成の基本原理などを理解するとともに、教科等横断的な視点から教育課程や指導計画を編成・例示することができる。 (3)教科等横断的な視点や学校段階間の接続を踏まえ、カリキュラム・マネジメントの重要性・意義を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業のねらい、展開、評価、参考文献などについて説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・高等学校(2) 【計画内容】教育課程編成において、中学校と異なる基本事項があることを理解するとともに、学校や生徒の多様な実態等に対応する教育課程編成の具体的方策を相互に検討する。 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校の学習指導要領・総則のポイントを整理しておく。	A・K・H
第2回	【テーマ】学習指導要領改訂の変遷と社会的背景 【計画内容】学習指導要領改訂の歴史を概観し、それぞれの内容や社会的背景などについて学ぶとともに、カリキュラム・マネジメントなど、今回の改訂のポイントを理解する。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第1章、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A・K	第10回	【テーマ】教育課程の編成・高等学校(1) 【計画内容】これまでの学びをもとに、協同学習を通して高等学校の教育課程を編成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の下書きを作成する。	A・K・D
第3回	【テーマ】学習指導要領、教育課程の意義と役割 【計画内容】学習指導要領の性格や位置付け、教育課程編成の目的などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第2章、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A・K	第11回	【テーマ】教育課程の編成・高等学校(2) 【計画内容】編成(例示)した教育課程について、「教科等横断的な視点が十分か」「学校段階間の接続」などを相互に検討し、改善を図る。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の修正版を作成する。	A・K・H
第4回	【テーマ】教育課程の役割・機能と育成すべき資質・能力 【計画内容】教育課程が社会に果たす役割や機能、教育課程の実施を通して育成すべき資質・能力などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第1節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A・K	第12回	【テーマ】各教科・科目の年間指導計画の作成(1) 【計画内容】任意の教科・科目について、年間指導計画を作成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】任意の教科・科目の学習指導要領を読み、改訂のポイントなどを調べておく。	A・K・H
第5回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・中学校 【計画内容】中学校における教育課程編成の基本的事項や留意事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第2節を予習しておく。	A・K	第13回	【テーマ】各教科・科目の年間指導計画の作成(2) 【計画内容】作成(例示)した年間指導計画を相互に検討し、望ましい年間指導計画に近づける。 【授業時間外の学修内容】作成した年間指導計画を見直し、説明のポイントなどを整理しておく。	A・K・H
第6回	【テーマ】教育課程の編成・中学校(1) 【計画内容】これまでの学びをもとに、協同学習を通して中学校の教育課程を編成(例示)する。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の下書きを作成する。	A・K・D	第14回	【テーマ】教育課程の実施と学習評価 【計画内容】カリキュラム・マネジメント、授業改善、学習評価の充実、生徒の発達支援等について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第3～4節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。	A・K
第7回	【テーマ】教育課程の編成・中学校(2) 【計画内容】編成(例示)した中学校の教育課程について、「教科等横断的な視点が十分か」「学校段階間の接続」などを相互に検討し、改善を図る。 【授業時間外の学修内容】配付する資料に教育課程表の修正版を作成する。	A・K・H	第15回	【テーマ】教育課程の改善と学校運営 【計画内容】教育課程の評価と改善、家庭・地域・学校間の連携、道徳教育との関連などについて学ぶとともに、これまでの学習を総括する。 【授業時間外の学修内容】『中学校学習指導要領解説 総則編』の第3章第5～6節、『高等学校学習指導要領(総則)』を予習しておく。これまでの資料などを整理しておく。	A・K・L
第8回	【テーマ】教育課程編成の基本原理・高等学校(1) 【計画内容】高等学校における教育課程編成の基本的事項や留意事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『高等学校学習指導要領』の総則を予習しておく。	A・K			

テキスト	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説　総則編』、東山書房、9784827815801 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　総則編』、東洋館出版社、9784491036397
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			レポート		提出物や発言など	

課題に関するフィードバックの方法	提出物やレポートについて、その都度、解説・講評し、学習の深化を図ります。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	高等学校教諭，教育委員会指導主事
	科目との関連	教職実務の経験を活かし，教育課程編成や実践的指導の力量を育成する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修 [教]中・高1種(音楽)_必修
その他	取得希望の教員免許教科の『学習指導要領解説』が必要となります。講義の際に具体的に説明します。

科目名	道徳教育論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	高橋　さおり				

授業の目的		
	ねらい	道徳教育は、教育の根本精神をふまえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動です。本講義では、道徳の意義や原理等をふまえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育およびその要となる道徳科の目標や内容、指導方法を理解し、実践的な指導力を身に付けることを目指します。
	到達目標	(1)道徳の意義や原理等をふまえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解することができる。 (2)学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育および道徳科の指導の在り方について理解することができる。 (3)道徳科の学習指導案を作成することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業内容や到達目標、評価方法などについて説明します。授業の全体を概観します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】道徳教育および道徳科の指導方法 【計画内容】道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A・K
	第2回	【テーマ】道徳とは何か 【計画内容】道徳的概念について学び、道徳の本質について考察します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A・K	第10回	【テーマ】道徳教育および道徳科の教材 【計画内容】道徳科の特質を生かした指導方法と教材の在り方について考察します。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A・K
	第3回	【テーマ】道徳性の発達 【計画内容】ピアジェやコールバーグを中心に、道徳性発達理論について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A・K・L	第11回	【テーマ】学習指導案の作成 【計画内容】道徳科の学習指導案を作成します。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A・K
	第4回	【テーマ】道徳教育の歴史(1) 【計画内容】「修身科」と道徳教育、教育勅語と戦後道徳について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A・K	第12回	【テーマ】学習指導案の検討 【計画内容】作成した学習指導案の交流と検討をおこないます。 【授業時間外の学修内容】作成した学習指導案の見直しをしておくこと。	K・H
	第5回	【テーマ】道徳教育の歴史(2) 【計画内容】学習指導要領の変遷や改訂の要点について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A・K・L	第13回	【テーマ】模擬授業 【計画内容】検討した学習指導案をもとに模擬授業を実施します。 【授業時間外の学修内容】模擬授業の準備をすること。	F
	第6回	【テーマ】道徳教育の現代的課題 【計画内容】いじめや情報モラル等、現代における道徳教育の課題について考察します。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A・H・K	第14回	【テーマ】模擬授業の検討と評価について 【計画内容】模擬授業の検討をおこない、道徳科の特性を踏まえた評価の在り方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A・K
	第7回	【テーマ】道徳教育および道徳科の目標 【計画内容】学習指導要領における道徳教育および道徳科の目標について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A・K	第15回	【テーマ】学習のふり返り 【計画内容】授業のふり返りを行い、道徳教育の意義についてまとめを行います。 【授業時間外の学修内容】授業全体の復習をしておくこと。	A・K・L
	第8回	【テーマ】道徳教育および道徳科の内容 【計画内容】学習指導要領における道徳教育および道徳科の内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A・K・L			

テキスト	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』、教育出版、9784316300849
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	小レポート等については、授業中間時および最終回に講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	中学校・高等学校講師
		科目との関連	中学校や高等学校での勤務経験に基づく授業を展開する。

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[ス]中1種(保健体育)_必修、高1種(保健体育)_選択
その他	

科目名	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	西出　勉

授業の目的		
	ねらい	本講義では、様々な教育活動を効果的に展開するための教育方法などについて学びます。中学校学習指導要領等について理解し、授業の指導計画の作成や教材研究(ICT の効果的な活用を含む)、学習評価、教師の具体的なかかわり方等について、学習指導案の作成等を通して実践的に学んでいきます。
	到達目標	(1)中学校学習指導要領等の内容について理解することができる。 (2)指導計画の作成や教材研究(ICT の効果的な活用を含む)、学習評価について理解することができる。 (3)授業の進め方や教師のかかわり方について理解することができる。 (4)学習評価の考え方について理解することができる。 (5)学習指導案の作成等を行い、振り返ることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】授業の進め方や教育方法に関する基本的な考え方について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】授業の進め方③～教授組織と学習組織 【計画内容】様々な授業形態やその効果的な活用について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】問題解決的な学習 【計画内容】ヘルバルトやデューイの教授理論を通して、問題解決的な学習に関する基本的な考え方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開①【指導計画の作成】 【計画内容】指導計画(学習指導案)の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】カリキュラム開発(概念と構造) 【計画内容】カリキュラム開発に関する基本的な概念と構造について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開②【指導計画の作成】 【計画内容】指導計画(学習指導案)の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】学習指導要領① 【計画内容】中学校学習指導要領における改訂の考え方等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開③ 【計画内容】教育評価に関する基本的な考え方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】学習指導要領② 【計画内容】「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開④ 【計画内容】学習評価に関する基本的な考え方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】学習指導要領③ 【計画内容】中学校学習指導要領における「保健体育」に関する内容や指導等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】学習指導と教育活動の展開⑤ 【計画内容】作成した指導計画をもとに、評価の計画を立案します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】授業の進め方①～発問や板書等 【計画内容】授業における発問や板書等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】教育方法に関する考え方や具体的な実践について、保健体育の教諭の立場から振り返り、まとめます。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを振り返り、内容を再確認すること。	A
	第8回	【テーマ】授業の進め方②～ICT の効果的な活用 【計画内容】教育メディアの特性とその効果的な活用について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A			

テキスト	講義時に説明する。
参考書	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領(平成29年告示)』、東洋館出版

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	レポートの内容を振り返り、講義内容との関連について説明します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに、実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修
その他	

科目名	教育実習事前指導	授業形態	講義	単位数	1
教員名	森　靖明、小峯　秋二、瀧澤　聡、西村　貴之、松井　由紀夫、森　浩之				

授業の目的		
	ねらい	中学校または高等学校における教育実習(「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」)を円滑かつ効果的に行うために必要な基礎的･基本的事項の修得を目指します。 教育実習は、「学生として学ぶ」立場から「教師として教える」立場になることの自覚と責任を具体的に学び、実習に向けて準備すること、心掛けること、身に付ける必要があることについて学びます。
	到達目標	(1)教職課程の履修方法を理解している。 (2)教師の多岐にわたる職務の内容を理解するとともに、教育実習に真摯に臨む姿勢を身に付けている。 (3)教師に必要な資質･能力を身に付け適切に学級経営、授業運営をすることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス、学習指導案と教育実習生調査書の作成、教員としてのさまざまな職務 【計画内容】講義のねらいと到達目標、全15回の講義展開について説明する。また、学習指導案や教育実習生調査書の作成方法について学ぶとともに、生徒指導や学級経営など、教員としてのさまざまな職務内容について理解を深め、教育実習に向けての心構えについて確認します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバス及び教育実習の手引きを熟読しておくこと。	A	第9回	【テーマ】模擬授業第2クール③ 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H
	第2回	【テーマ】教職履修カルテ、授業づくり 【計画内容】教職履修カルテの記載を通して自らの履修･修得状況を確認するとともに、教員として求められる資質･能力について理解する。また、授業づくりの基本について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教育実習の手引きを熟読しておくこと。	A･H	第10回	【テーマ】模擬授業第2クール④ 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H
	第3回	【テーマ】模擬授業第1クール① 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H	第11回	【テーマ】模擬授業第3クール① 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H
	第4回	【テーマ】模擬授業第1クール② 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H	第12回	【テーマ】模擬授業第3クール② 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H
	第5回	【テーマ】模擬授業第1クール③ 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H	第13回	【テーマ】模擬授業第3クール③ 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H
	第6回	【テーマ】模擬授業第1クール④ 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H	第14回	【テーマ】模擬授業第3クール④ 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H
	第7回	【テーマ】模擬授業第2クール① 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H	第15回	【テーマ】教育実習報告会 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「教育実習の手引き」の先輩から後輩へのメッセージを熟読しておくこと。	A･H･G
	第8回	【テーマ】模擬授業第2クール② 【計画内容】教育実習に向けてグループごとに模擬授業を行い、生徒への教材の提示方法、発問の具体、指示や指導の内容、教材の作成や活用方法などについてお互いに批評するとともに担当教員から指導を受け、授業実践力を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案を作成するとともに、授業評価シートを活用し、授業の課題を見付け、改善方策を検討すること。	B･H			

テキスト	北翔大学･北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』
参考書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説　保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1558-0 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1567-2

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		40%	40%		20%	
補足		模擬授業	指導案		学習に主体的に取り組む姿勢	

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	森靖明／高等学校教諭、教育委員会指導主事　瀧澤聡／小学校教諭　松井由紀夫／特別支援学校教諭
		科目との関連	教員及び指導主事の経験を生かし、教員に求められる資質･能力を育成する。
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。		
資格	[ス]中･高1種(保健体育)_必修		
その他	受講は、次年度に「教育実習」を行う学生に限ります。教育実習に行くために必要な科目はすべて履修し、3年前学期までの科目については単位を修得済み、3年後学期の科目については修得見込みであることが必要となります。		

健康福祉学科
学科専門科目

科目名	スポーツ内科学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	沖田　孝一				

授業の目的		
	ねらい	わが国では、機械化および食生活の変化から生活習慣病が増加し、また一方で、高齢化が加速している。国民一人一人が、自立性と健康を保つためには、運動・スポーツによる生活習慣病の予防、身体機能および健康の維持・増進が必要である。運動・スポーツは、安全にかつ適切に行われなければならず、指導に携わる職種者は、必要な知識を身に付け、発展させなければならない。本講義では、健康・スポーツ指導者、競技者に必要なスポーツ内科学の基本と最新の知見を学ぶ。講義は常にトピックを提供しながら進める。講義には PC、動画、プリントなどを用いる。
	到達目標	(1)内科的スポーツ障害の予防・改善など運動・スポーツ指導者に必須の知識を得る。 (2)個々が運動・スポーツ活動や指導を生涯続けていく上で自分の得意競技、方向性に合ったテーマを持ち、探究していく姿勢を身に付けていく。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】総論：スポーツ医学・内科学とは？ 【計画内容】スポーツ内科学総論：本講義で学ぶ概要(1-15回)を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】スポーツと栄養・食事・飲料 【計画内容】競技者の栄養摂取における問題点、食事の取り方、水分補給の必要性と方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】運動・スポーツと健康・長寿 【計画内容】Why exercise and sport? スポーツで健康になれるのか、スポーツ選手は長生きか？—運動と健康の疫学について知る。 【授業時間外の学修内容】運動がどうして健康につながるのか各自調べ、考えておくこと。	A	第10回	【テーマ】トレーニング科学 – 運動器系 【計画内容】骨格筋トレーニングの形態学的および生理学的効果を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】内科的障害と予防1：運動・スポーツにおける急性疾患 【計画内容】運動によって急性に起こる突然死、不整脈、喘息、アナフィラキシーなどについて知る。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】トレーニング効果 – 呼吸と循環系 【計画内容】呼吸・循環器系トレーニングの形態学的および生理学的効果を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】内科的障害と予防2：運動・スポーツにおける慢性疾患 【計画内容】運動によって慢性的に起こるスポーツ貧血、オーバートレーニングなどを理解する。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A	第12回	【テーマ】トレーニングの応用1(近代的トレーニング) 【計画内容】今や一流競技者では一般化されつつある低酸素・高地トレーニングなどを知る。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】スポーツ心臓 【計画内容】特に持久系競技者にみられるスポーツ心臓の定義、生理学的意義について理解する。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】トレーニングの応用2(最先端のトレーニング) 【計画内容】血流制限を併用した虚血トレーニング、両側トレーニングなどを知る。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
	第6回	【テーマ】環境とスポーツ内科学 【計画内容】低圧環境および降圧環境における気圧障害、暑熱障害など理解し、対策を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】ドーピングについて 【計画内容】ドーピングの意味・現状、検査の方法、禁止薬剤などを知る。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】メディカルチェックと運動負荷試験 【計画内容】スポーツを安全に行うために必要なメディカルチェックと運動負荷試験の実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】服薬者の運動プログラム作成上の注意 【計画内容】服薬者のための運動処方について知る。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】運動・スポーツに関連する疾患 【計画内容】消化器疾患、腎障害、感染症などスポーツに関連して問題となる疾患と対処方法を理解する。 【授業時間外の学修内容】前講義の復習を行い、また図書館の書籍や参考書籍で予習しておくこと。	A			

テキスト	講義時に説明します
参考書	安部孝・琉子友男、2005年、『これからの健康とスポーツの科学』、講談社サイエンティフィク

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		30%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	適宜、全体的正答率と評価結果と模範解答を紹介する。また正答率が低かった内容について、詳しく解説する。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	医師・医学博士、総合内科専門医、循環器専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本医師会認定健康スポーツ医
		科目との関連	基礎的な内容、最先端の内容に加えて、内科・循環器内科専門医およびスポーツ医として、実務してきた経験を活かした授業内容も教授する。

質問への対応	随時対応あるいはメール対応します。E-Mail:okitak@hokusho-u.ac.jp
資格	[ス]健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、認定トレーニング指導者_選必、アスレティックトレーナー_必修、レクリエーション・コーディネーター_必修
その他	学問は聞き流すものでない。積極的に考え、講義に参加する姿勢が大切である。小グループでの討論およびディベートも行う。

科目名	ジュニアスポーツ論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	大宮　真一				

授業の目的	
ねらい	我が国の子どもの体力はピーク時と比較して依然低い傾向にあります。子ども達が健やかに成長する上で運動･スポーツとの関わりは極めて重要です。本授業では、基礎理論を基に安全で有効な運動･スポーツが実施できるジュニアスポーツ指導を目指し、指導者の視点で子どもと運動･スポーツについて考え、理解を深めます。
到達目標	(1)子どもを取り巻く問題やその背景について理解できる。 (2)子どもの発育発達が理解できる。 (3)ジュニアスポーツ指導上の留意事項を理解できる。 (4)ジュニア期の競技スポーツについて理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の目的、計画、評価等について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ジュニア期に多いケガや病気 【計画内容】発育発達期に多い怪我や病気を学び、安全で有効なジュニアスポーツ指導を考える。 【授業時間外の学修内容】子どもの頃の体験をまとめておくこと。	A
第2回	【テーマ】子どもを取り巻く問題とその背景 【計画内容】我が国の子どもを取り巻く問題とその背景を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】参考資料などを読んでおく。	A	第10回	【テーマ】コーディネーション能力とは 【計画内容】コーディネーション能力について学び、この能力が身につく運動について考える。 【授業時間外の学修内容】子どもの頃体験した遊びをまとめておくこと。	A
第3回	【テーマ】生涯発達とジュニアスポーツ 【計画内容】生涯スポーツの視点からジュニア期の望ましい運動経験を考える。 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておく。	A	第11回	【テーマ】ジュニア期の指導プログラム 【計画内容】一貫指導の重要性や発育発達に応じた指導について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】スポーツ体験をまとめておく。	A･J
第4回	【テーマ】幼児期の発育発達 【計画内容】誕生から幼児期までの発達を学び、運動の必要性を考える。 【授業時間外の学修内容】参考書などを読んでおく。	A	第12回	【テーマ】発育発達期のトレーニングプログラム 【計画内容】我が国のジュニアスポーツの実態を学ぶ。少年団活動やタレント発掘事業の事例を調べる。 【授業時間外の学修内容】ジュニアスポーツの事例をまとめておく。	A･J
第5回	【テーマ】幼児期の運動指導 【計画内容】幼児期の運動の重要性を理解し、指導法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の学習を復習しておく。	A	第13回	【テーマ】ジュニアスポーツの指導① 【計画内容】スポーツモラル、フェアプレーについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】スポーツモラルに関わる事例を調べておく。	A
第6回	【テーマ】子どもの運動指導現場の実際 【計画内容】運動指導現場での子どもの動きを確認する。運動パターンを分類する。 【授業時間外の学修内容】前回の学習を復習しておく。	A･G	第14回	【テーマ】ジュニアスポーツの指導② 【計画内容】望ましいジュニアスポーツ指導者について考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習をまとめておくこと。	A
第7回	【テーマ】ジュニア期の身体的発達特徴とスポーツ指導 【計画内容】発育発達期の身体的発達の特徴を学び、発達課題とスポーツ活動について考える。 【授業時間外の学修内容】前回の学習を復習しておく。	A	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】これまでの講義で学んだことを振り返って、今後の指導に活かすことができるよう整理する。 【授業時間外の学修内容】配付資料をまとめておくこと。	G･L
第8回	【テーマ】ジュニア期の心理的発達特徴とスポーツ指導 【計画内容】発育発達期の心理的発達の特徴を学び、発達課題とスポーツ活動について考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を復習しておく。	A			

テキスト	講義で説明します
参考書	2018年、『日本スポーツ協会公認ジュニアスポーツ指導員養成テキスト』、日本体育協会 浅見俊雄･福永哲夫、2015年、『子どもの遊び･運動･スポーツ』、市村出版 幼少年体育指導士会、2018年、『幼少年のための運動遊び･体育指導』、杏林書院

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			55%		45%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	E-Mail:omiya@hokusho-u.ac.jp
資格	[健][ス]公認スポーツ指導者(Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ)_必修、ジュニアスポーツ指導員_必修
その他	

科目名	中高年スポーツ論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	上田　知行				

授業の目的		
	ねらい	健康づくりのための運動が必要となる対象の多くは中高年層であり、個々人のライフサイクルを見据え「健やかに老いる」ための方法を計画し提案を行えることが中高年層への運動指導者として望まれる。その為には国内の健康づくりの取り組みや施策を把握し、さらに身体的な特徴や健康管理について知識を有する必要がある。本講義は、健康運動の指導者となるために必要な知識や技術の一部を習得することを目的とする。
	到達目標	(1)中高年の身体特性について理解できる。 (2)健康づくりのための運動に必要な所要量や施策が理解できる。 (3)運動指導に必要なアプローチ方法について理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】中高年層を取りまくスポーツについてまとめておくこと。	A	第9回	【テーマ】運動行動変容(1) 【計画内容】運動行動変容の理論について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A·H
	第2回	【テーマ】介護予防概論 【計画内容】介護予防の考え方やその推進、実践への方策について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】運動行動変容(2) 【計画内容】運動行動変容の実際と効果について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A·H
	第3回	【テーマ】介護予防と運動 【計画内容】高齢者の加齢に伴う身体機能および体力の低下、介護予防のために必要な運動について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A·H	第11回	【テーマ】運動行動変容(3) 【計画内容】運動行動変容の実際と効果について演習を行います。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A·B·L
	第4回	【テーマ】介護予防についての振り返り 【計画内容】介護予防についてのまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習しておくこと。	A·H·L	第12回	【テーマ】運動行動変容についての振り返り 【計画内容】運動行動変容についてのまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習しておくこと。	A·H·L
	第5回	【テーマ】身体活動指針·身体活動基準(1) 【計画内容】新しい身体活動指針と身体活動基準策定の経緯について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A·H	第13回	【テーマ】健康づくり施策 【計画内容】日本における現在の健康づくりの施策について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A·H
	第6回	【テーマ】身体活動指針·身体活動基準(2) 【計画内容】新しい身体活動指針と身体活動基準の具体的な指針や基準について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A·H	第14回	【テーマ】中高年者に対する健康運動プログラム 【計画内容】中高年者に対する健康運動プログラムの作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A·B·H
	第7回	【テーマ】メタボリックシンドローム 【計画内容】メタボリックシンドロームの概念とその解消のための運動の用量について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A·H	第15回	【テーマ】まとめと確認·期末課題の発表 【計画内容】これまでの振り返りと期末課題について発表します。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習しておくこと。	A·H·L
	第8回	【テーマ】身体活動指針と身体活動基準·メタボリックシンドロームについての振り返り 【計画内容】身体活動指針と身体活動基準、メタボリックシンドロームについてのまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習しておくこと。	A·H·L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	健康·体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	45%		20%		35%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]健康運動指導士_必修
その他	「運動処方演習」を履修する者は、必ず履修してください。

科目名	障がい者スポーツ論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	松井　由紀夫				

授業の目的		
	ねらい	スポーツの取り組みは、余暇生活の充実といった視点からも、障がいのある人の生活において大変重要な役割を果たしている。本講義では、ICF（国際生活機能分類）による国際的な障がいの考え方を明らかにした上で、様々な障がいの病理と特徴について学ぶ。その上で、障がいに対応した様々なスポーツの取り組みとパラリンピックやそのほかの障がい者スポーツの種目について知ることを目的とする。また、障がい者スポーツ指導員（初級）の知識と理解を深める。
	到達目標	(1)様々な障がいの基本的事項について理解する。 (2)障がいのある人の生活の充実のためにスポーツが果たす役割について理解する。 (3)各障がいに応じた配慮事項について理解し、様々な障がい者スポーツの種目やルールについて知る。 (4)パラリンピックの種目について理解する。 (5)障がい者スポーツ指導員（初級）の内容についての理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス～障がい者スポーツの意義と理念～ 【計画内容】15回の講義展開を説明し、いわゆる「障がい」とはどのような状態を指すのか考える。障がい者スポーツ指導員（初級）について説明し理解と確認を行う。障がい者スポーツについて受講学生がどの程度知識があるか確認と調査を行う。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。障がい者スポーツについて調べておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】障がい者スポーツの歴史 【計画内容】障がい者スポーツの国際大会、国内大会の歴史について知る。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K
	第2回	【テーマ】「障がい」とはーICF の理念ー 【計画内容】ICF（国際生活機能分類）に基づく障がいの考え方について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容の要点を整理すること。	A・K	第10回	【テーマ】障がい者スポーツで使われる装具等について 【計画内容】障がい者スポーツで使われる義肢や装具の構造について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義について予習しておく。	A・K
	第3回	【テーマ】障がいとはー肢体不自由、脳性麻痺ー 【計画内容】肢体不自由の定義を知り、その中でも多くを占める脳性麻痺について理解する。合わせて肢体不自由の運動能力の特徴やトレーニングの方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K	第11回	【テーマ】障がい者スポーツに関するレポート作成 【計画内容】障がい者スポーツに関した課題に基づき、レポート作成を行う。 【授業時間外の学修内容】情報検索システムを用いてレポートの作成の仕方について学んでおく。	G
	第4回	【テーマ】障がいとはー視覚障がいー 【計画内容】視覚障がいの心理や生理、病理について知り、支援方法について理解する。合わせて視覚障がい者の運動能力の特徴やトレーニングの方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K	第12回	【テーマ】車椅子の構造と種類 【計画内容】様々な障がい者スポーツで使用される車椅子の種類について知り、その構造を理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K
	第5回	【テーマ】障がいとはー聴覚障がいー 【計画内容】聴覚障がいの心理や生理、病理について知り、聴覚障がいのある人とのコミュニケーションについて理解する。合わせて聴覚障がい者の運動能力の特徴やトレーニングの方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K	第13回	【テーマ】提出されたレポートの発表と確認問題の実施 【計画内容】提出されたレポートについて各自グループで発表を行い、代表者が全体に発表する。今までの内容について振り返り、講義内容の定着を調べるため、まとめの問題を行う。 【授業時間外の学修内容】今までの講義内容を整理、確認し、復習しておく。	F・L
	第6回	【テーマ】障がいとはー知的障がい、精神障がい、内部障がいー 【計画内容】知的障がい、精神障がい、内部障がい心理や生理、病理について知り、支援の方法について理解する。合わせてこうした障がいのある人の運動能力の特徴やトレーニング方法について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K	第14回	【テーマ】重度障がい者とスポーツ 【計画内容】電動車椅子サッカーなどの重度障がい者が行っているスポーツを知り、重度障がい者にとってのスポーツの意義について理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K
	第7回	【テーマ】障がい者にとっての運動の意義と効果について 【計画内容】障がい者にとっての運動の意義と効果についてアダプテッドスポーツを知ることを通して理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K	第15回	【テーマ】特別支援学校におけるスポーツの取り組みや安全管理について 【計画内容】特別支援学校で行っているスポーツについて知り、個に応じた配慮の重要性と、重度障がい者にとってのスポーツの意義について理解する。 【授業時間外の学修内容】特別支援学校の対象となる生徒の実態について調べておくこと。	A・K
	第8回	【テーマ】障がい受容のプロセスについて 【計画内容】事故による脊椎損傷等の中途障がいについて知り、受容のプロセスをアスリート達の体験談から理解する。 【授業時間外の学修内容】次回の講義範囲について予習しておく。	A・K			

テキスト	プリントを使用する。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に評価や授業内容について具体的に説明します。
資格	[健]障がい者スポーツ指導員_必修 [ス]健康運動指導士_必修、障がい者スポーツ指導員_必修
その他	出席・受講態度と発表・課題ワークおよび講義内容の定着度の検査結果を重視します。

科目名	生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	授業形態	演習	単位数	2

教員名	花井　篤子

授業の目的		
	ねらい	水中運動は、水の特性である水温・浮力・水圧・抵抗など陸上環境と違う環境の中で運動を行うため、年齢を問わず健康づくりに有益な効果をもたらす運動として多くの人に親しまれている。また水泳においては技能の獲得が必要であり、安全管理を十分に行った高度な指導技術が求められる。本授業では、こうした水の特性を理解し、水泳・水中運動の指導に必要な知識と指導法を身につけることを目的とする。
	到達目標	(1)水の特性と水泳・水中運動がもたらす生理的特性を十分に理解できる。 (2)水泳指導の基本的スキルを身につける。 (3)水中運動の指導方法を身につける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。水の特性について理解しておくこと。	A	第9回	【テーマ】水泳指導の実際(背泳ぎ) 【計画内容】背泳ぎを指導するために必要な技術を身につける。実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】背泳ぎの技術について理解をしておくこと。	E・H・G
	第2回	【テーマ】水の特性と効果 【計画内容】水の特性と水泳・水中運動が身体にもたらす影響について学び、講義内容のふり返りをし、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第10回	【テーマ】水泳指導法(平泳ぎ・バタフライ) 【計画内容】水泳指導法(平泳ぎ・バタフライ)を学び、実技における指導のポイント等を確認する。レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】水泳指導法(平泳ぎ・バタフライ)を予習しておくこと。	E・H・G
	第3回	【テーマ】水中安全管理 【計画内容】水中安全管理について学び、講義内容のふり返りをし、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】水中安全管理について予習をしておくこと。	A・G・L	第11回	【テーマ】水泳指導の実際(平泳ぎ) 【計画内容】平泳ぎを指導するために必要な技術を身につける。実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】平泳ぎの技術について理解をしておくこと。	E・H・G
	第4回	【テーマ】水泳・水中運動における初心者指導 【計画内容】水泳・水中運動における初心者指導について解説を行う。 【授業時間外の学修内容】水の特性と初心者の心理について理解をしておくこと。	A・G・L	第12回	【テーマ】水泳指導の実際(バタフライ) 【計画内容】バタフライを指導するために必要な技術を身につける。実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】バタフライの技術について理解をしておくこと。	E・H・G
	第5回	【テーマ】水中運動プログラム指導の実際(1) 【計画内容】虚弱者や初心者への水中運動の指導を安全に行うために必要な技術を身につける。水中ウォーキングや水中ストレッチングなどの実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】水の特性と身体の影響について理解をしておくこと。	E・H・G・L	第13回	【テーマ】四泳法の指導法のまとめ 【計画内容】水泳指導のまとめをグループワークを行い、実技指導をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】四泳法の指導法を復習しておくこと。	E・H・G・L
	第6回	【テーマ】水中運動プログラム指導の実際(2) 【計画内容】水中運動プログラム(水中レジスタンストレーニング、有酸素運動、水中リラクセーション等)の指導を安全に行うために必要な技術を身につける。実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】水中運動プログラムの内容と目的について予習をする。	E・H・G・L	第14回	【テーマ】水中安全管理・スキンダイビング 【計画内容】水中安全管理とスキンダイビングの方法について学び、レポートを作成してふり返る。 【授業時間外の学修内容】水中安全管理とスキンダイビングの方法を予習しておくこと。	E・H・G・L
	第7回	【テーマ】水泳指導法(クロール・背泳ぎ) 【計画内容】水泳指導法(クロール・背泳ぎ)を学び、実技における指導のポイント等を確認する。レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】クロールと背泳ぎの技術について理解をしておくこと。	E・H・G	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】水泳・水中運動の指導についてまとめと振り返りを行い、レポートのプレゼンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】演習ノートを整理しておくこと。	F・G・H・L
	第8回	【テーマ】水泳指導の実際(クロール) 【計画内容】クロールを指導するために必要な技術を身につける。実技をふり返り、レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】クロールの技術について理解をしておくこと。	E・H・G			

テキスト	2016年、『新版 生涯スポーツと運動の科学』、市村出版 プリント、演習ノートを配付します
参考書	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂 健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動実践指導者養成用テキスト』、南江堂

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%	40%	10%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]健康運動実践指導者_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修
その他	「生涯スポーツ(水泳・水中運動)」を修得した者が履修できます。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。

科目名	運動処方	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小田　史郎				

授業の目的		
	ねらい	本講義では、健康維持・増進のための運動指導を専門的に行うことを考えている学生が、運動処方の基礎理論を身につけることを目的とする。健康づくりのための運動は競技スポーツと異なり、安全かつ効果的に行われることが必要である。特に身体的な問題を抱える実施者においては十分な安全管理が必要となる。本講義ではこうした安全かつ効果的な運動プログラムを作成、実践するための基礎理論を学んだ上で、有疾患患者の運動処方へと発展させる。
	到達目標	(1)運動処方に関する基礎知識を身につける。 (2)個人に合わせた安全かつ効果的な運動プログラムを立案できるようになる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】運動条件と反応・運動強度 【計画内容】健康づくり運動の基礎となるトレーニングの原理・原則、運動様式別の運動条件と効果について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動に関する文献から、健康づくり運動の原理・原則について予習する。	A・G	第9回	【テーマ】筋力増強を目的とした運動処方 【計画内容】筋力増強のための運動プログラムの基本原則と作成方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動のプログラム作成について予習しておく。	A・G
	第2回	【テーマ】メディカルチェック・ヘルスチェック 【計画内容】メディカルチェック、ヘルスチェックの目的及び内容、実施上の留意点や限界について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】運動処方に関する文献から、メディカルチェックの部分を予習する。	A・G	第10回	【テーマ】ストレッチ運動やレクリエーション運動のプログラム 【計画内容】ストレッチング運動、レクリエーション運動の基本原則とプログラムの作成方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動のプログラム作成について予習しておく。	A・G
	第3回	【テーマ】検診結果の読み方(1) 【計画内容】健康診断によってどのようなことがわかるのかについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】運動処方に関する文献から、検診の部分を予習しておく。	A・G	第11回	【テーマ】加齢に伴う体力の低下と運動 【計画内容】加齢に伴う体力の低下と運動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】加齢に伴う体力の低下と運動に関する文献を読む。	A・G
	第4回	【テーマ】検診結果、安静時心電図の読み方(2) 【計画内容】検診結果および安静時心電図の読み方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】運動処方に関する文献から、検診の部分を予習しておく。	A・G	第12回	【テーマ】リスクを抱えた方に対する運動処方 【計画内容】高血圧や糖尿病などのリスクを抱えた方に対して運動プログラムを作成する際の注意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活習慣病を抱える人ではどのような配慮が必要かに関する文献を読む。	A・G
	第5回	【テーマ】運動負荷試験 【計画内容】運動負荷試験の目的や実施方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】運動処方に関する文献から、運動負荷試験の部分を予習する。	A・G	第13回	【テーマ】青少年期の成長発育と運動 【計画内容】青少年期の成長発育と運動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】青少年期の成長発育と運動に関する文献を読む。	A・G
	第6回	【テーマ】心肺系向上を目的とした運動処方 【計画内容】運動種目とその選択方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動のプログラム作成について予習しておく。	A・G	第14回	【テーマ】女性の体力・運動能力の特徴と運動 【計画内容】女性の体力・運動能力の特徴と運動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】女性の体力・運動能力の特徴と運動に関する文献を読む。	A・G
	第7回	【テーマ】心肺系向上を目的とした運動処方 【計画内容】運動強度の指標について学ぶ(酸素摂取量、メッツ、心拍数)。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動のプログラム作成について予習しておく。	A・G	第15回	【テーマ】環境に応じた運動処方 【計画内容】高温環境時の運動処方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】環境に応じた運動処方に関する文献を読む。	A・G
	第8回	【テーマ】心肺系向上を目的とした運動処方 【計画内容】主観的運動強度と運動時間、運動頻度について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康づくり運動のプログラム作成について予習しておく。	A・G			

テキスト	プリントを使用します
参考書	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		50%			
	補足	第16回に実施					

課題に関するフィードバックの方法	試験終了後に内容についての解説を行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時に対応します。
資格	[健]健康運動実践指導者_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、認定トレーニング指導者_選必
その他	「運動生理学」が基礎科目となるため、これを履修しているものとして講義を進めます。 毎回の小レポートと最終試験の結果から総合的に評価します。

科目名	体力測定評価演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	上田　知行、井出　幸二郎、髙田　真吾、石川　凌、瀧澤　一騎				

授業の目的		
	ねらい	運動指導を実施する際に、個々の体力の状況を的確に評価することは非常に重要な意義を持っている。本授業では、①スポーツ選手の競技成績に関わる専門的体力、幅広い年齢層に対するフィールドテストによる一般的体力の把握、「文部科学省新体力テスト」や形態測定の測定とその評価、②高齢者に対する介護予防を目的とした体力測定とその評価について学ぶ。それぞれの基本的な技術を身につけ、正しく安全管理に留意して実施できる指導者を目指す。
	到達目標	(1)体力測定における計画および運営を組み立てて実施していく。 (2)体力測定の結果を処理し、分析・評価までの一連の流れが理解できる。 (3)種々の測定において用具の使用および機器類の操作方法を学び、測定に活用できる。 (4)個人および集団に対して測定を実施し、その結果を分析し、フィードバックできる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】演習の展開方法、準備する物、評価方法について説明する。 (上田知行・井出幸二郎・髙田真吾・瀧澤一騎・石川凌) 【授業時間外の学修内容】「体力測定評価」で学んだ内容を復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】③文部科学省：新体力テスト：小学生、青少年、成人向け 【計画内容】③小学生、青少年、成人向けの体力測定と評価方法について学ぶ。(瀧澤一騎) 【授業時間外の学修内容】③配付したプリントをまとめ、整理しておくこと。	B
	第2回	【テーマ】①筋機能に関する測定方法および評価について(1) 【計画内容】①最大筋力について測定および評価法について学ぶ。(髙田真吾) 【授業時間外の学修内容】①配付するプリントに示す課題に取り組み、まとめておくこと。	B	第10回	【テーマ】③文部科学省：新体力テスト：青少年、成人、高齢者向け 【計画内容】③青少年、成人、高齢者向けの体力測定と評価方法について学ぶ。(瀧澤一騎) 【授業時間外の学修内容】③配付したプリントをまとめ、整理しておくこと。	B
	第3回	【テーマ】①呼吸循環機能に関する測定方法および評価について 【計画内容】①呼吸代謝測定装置と心拍計による酸素摂取量の測定および推定方法、評価方法について学ぶ。(髙田真吾) 【授業時間外の学修内容】①配付するプリントに示す課題に取り組み、まとめておくこと。	B	第11回	【テーマ】④評価方法について 【計画内容】④これまで実施した測定データをまとめ、評価する。(髙田真吾・瀧澤一騎・石川凌) 【授業時間外の学修内容】④配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	B
	第4回	【テーマ】①神経機能・関節機能に関する測定方法および評価について 【計画内容】①呼吸代謝測定装置と心拍計による酸素摂取量の測定および推定方法、評価方法について学ぶ。(髙田真吾) 【授業時間外の学修内容】①配付するプリントに示す課題に取り組み、まとめておくこと。	B	第12回	【テーマ】⑤介護予防に関連する体力測定法とその評価(1) 【計画内容】⑤高齢者の身体的特徴と体力測定法について学ぶ。(上田知行・井出幸二郎・髙田慎吾) 【授業時間外の学修内容】④配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	M
	第5回	【テーマ】②フィールドテストの意義と実践について(1) 【計画内容】②フィールドテストの意義と測定方法について学び、実践を通して各種運動種目に適したテスト内容について考える。(石川凌) 【授業時間外の学修内容】②配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	B	第13回	【テーマ】⑤介護予防に関連する体力測定法とその評価(2) 【計画内容】⑤虚弱高齢者向けの介護予防に関する体力測定や留意事項について学ぶ。(上田知行・井出幸二郎・髙田慎吾) 【授業時間外の学修内容】④配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	M
	第6回	【テーマ】②フィールドテストの意義と実践について(2) 【計画内容】②各種運動種目におけるアスリートを対象としたフィールドテストの内容について学び、実践する。 (石川凌) 【授業時間外の学修内容】②配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	B	第14回	【テーマ】⑥形態測定法と体力測定法の実践(1) 【計画内容】⑥地域で実施する体力測定会を安全に実施する。(上田知行・井出幸二郎・髙田慎吾) 【授業時間外の学修内容】④配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	M
	第7回	【テーマ】②フィールドテストの意義と実践について(3) 【計画内容】②各種運動種目におけるアスリートを対象としたフィールドテストの内容について学び、実践する。 (石川凌) 【授業時間外の学修内容】②配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	B	第15回	【テーマ】⑥形態測定法と体力測定法の実践(2) 【計画内容】⑥地域で実施する体力測定会を安全に実施する。(上田知行・井出幸二郎・髙田慎吾) 【授業時間外の学修内容】④配付するプリントによる課題を整理し、まとめておくこと。	M
	第8回	【テーマ】③形態計測について：身体組成も含む 【計画内容】③形態計測によってからだの健康度および体力の機能面について推測ができる。(瀧澤一騎) 【授業時間外の学修内容】③形態計測に関係する文献を収集し、まとめておくこと。	B			

テキスト	プリントを使用する
参考書	首都大学東京体力標準値研究会編、2007年、『新・日本人の体力標準値』、不昧堂出版 健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂 健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動実践指導者養成用テキスト』、南江堂

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]健康運動実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修
その他	「体力測定評価」の単位取得者が履修できます。北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。

科目名	ソーシャルワーク論Ⅳ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	黒澤　直子				

授業の目的	
ねらい	相談援助の対象となるのは、さまざまな状況の中におかれている人です。事例分析を行うことを通して、対象者を取り巻く状況を理解し、あわせて相談援助を進めていくうえで求められる知識、技術について学びます。また、相談援助活動を展開していく過程の中で欠かすことのできないスーパービジョンやコンサルテーションの実際について、さらに、個人情報の保護についても学びを深めます。
到達目標	(1)相談援助における事例分析の意義や方法について理解できる。 (2)スーパービジョンやコンサルテーションの意義と目的、方法と留意点について理解できる。 (3)相談援助過程における個人情報保護の意義と留意点について理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】事例分析を行うことの意義と目的について確認をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】スーパービジョンについて1 【計画内容】スーパービジョンについて、その意義と目的、歴史的変遷について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K
第2回	【テーマ】事例研究・事例分析の方法と留意点1 【計画内容】事例研究を行うにあたって留意する点、手順と方法について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K	第10回	【テーマ】スーパービジョンについて2 【計画内容】スーパービジョンについて、その方法と形態、留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K
第3回	【テーマ】事例研究・事例分析の方法と留意点2 【計画内容】事例分析を行うにあたっての着目点や留意点、手順と方法について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K	第11回	【テーマ】コンサルテーションについて1 【計画内容】コンサルテーションについて、その意義と目的、形態について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K
第4回	【テーマ】事例分析1 【計画内容】事例を取り上げ、着目点に沿って分析、評価します。この回は「児童虐待」事例を取り上げます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K	第12回	【テーマ】コンサルテーションについて2 【計画内容】コンサルテーションについて、ワーカーとの関係性、スーパービジョンとの関連性について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K
第5回	【テーマ】事例分析2 【計画内容】事例を取り上げ、着目点に沿って分析、評価します。この回は「高齢者虐待」事例を取り上げます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K	第13回	【テーマ】相談援助における個人情報の保護1 【計画内容】個人情報保護法の成立過程、意義と留意点について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K
第6回	【テーマ】事例分析3 【計画内容】事例を取り上げ、着目点に沿って分析、評価します。この回は「家庭内暴力」事例を取り上げます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K	第14回	【テーマ】相談援助における個人情報の保護2 【計画内容】個人情報保護法の実際の運用について、事例等を用いて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K
第7回	【テーマ】事例分析4 【計画内容】事例を取り上げ、着目点に沿って分析、評価します。この回は「低所得」事例を取り上げます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】相談援助の実際についてまとめを行います。 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容について理解を深めてください。	A・K
第8回	【テーマ】事例分析5 【計画内容】事例を取り上げ、着目点に沿って分析、評価します。この回は「権利擁護」事例を取り上げます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K			

テキスト	プリントを配付します
参考書	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『相談援助の理論と方法Ⅱ 第3版』、中央法規、9784805851043

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時に説明します。
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	

科目名	地域福祉論Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	尾形　良子				

授業の目的		
	ねらい	これからの地域福祉において地域の福祉課題の把握や社会資源の調整･開発、ネットワークの形成を図るなど、地域福祉の増進に働きかける役割等を適切に果たすことが求められるようになった。 そこで「地域福祉論Ⅰ」はまず地域福祉の基本的な考え方、新しい社会福祉システムとしての地域福祉の考え方や地域福祉の理念、地域福祉を担う主体の形成および公私協働の実際を学習する。
	到達目標	(1)地域福祉の意味が分かる。 (2)地域福祉に関わる概念が理解できる。 (3)地域福祉に関わるキーワードと自分の生活が結びつくようになる。 (4)地域福祉の実際と課題を把握する。 (5)地域福祉の概要を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション、新しい社会福祉システムとしての地域福祉 【計画内容】「地域福祉論Ⅰ」のオリエンテーションを行い、授業を始めるにあたり現在の「地域福祉」の位置を確認する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A･L	第9回	【テーマ】地域福祉における生活課題･地域課題と福祉教育 【計画内容】福祉教育の概要を学び、福祉教育が地域福祉にどう機能するかを考える機会とする。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K
	第2回	【テーマ】地域福祉の発展過程 【計画内容】地域福祉の源流とされる過去の実践から現在の地域福祉のあり方まで、歴史について学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K	第10回	【テーマ】地方分権化と地域福祉計画① 【計画内容】地方分権と地域福祉の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K
	第3回	【テーマ】福祉コミュニティ 【計画内容】福祉コミュニティの概念について学び、このキーワードを活用する意義を考える。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K	第11回	【テーマ】地方分権化と地域福祉計画② 【計画内容】地域福祉計画の概要を解説する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K
	第4回	【テーマ】地域福祉理論 【計画内容】現在の地域福祉の考え方の源流はどこで、どのように発展してきたのか。現在の枠組みを理解するために理論の展開を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K	第12回	【テーマ】社会福祉協議会① 【計画内容】地域福祉を推進する中心的存在である社会福祉協議会の概要やキーワードについて学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K
	第5回	【テーマ】地域福祉の理念、地域自立生活支援 【計画内容】地域福祉が目指すものは何かを説明する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K	第13回	【テーマ】社会福祉協議会② 【計画内容】実際の社会福祉協議会の業務やあり方を理解する機会とする。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K
	第6回	【テーマ】地域と福祉圏域 【計画内容】地域とは「どこ」のことか。「地域」と考えられる場所や単位を体験の中からあげつつ、福祉圏域という考え方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K	第14回	【テーマ】地域福祉における行政と民間 【計画内容】地域福祉の中の行政組織と民間組織の概要や役割を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K
	第7回	【テーマ】地域福祉における連携 【計画内容】地域福祉を行う上で必要な連携の在り方について解説する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K	第15回	【テーマ】前学期のまとめ 【計画内容】地域福祉の概要をまとめる。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K
	第8回	【テーマ】地域福祉の主体形成 【計画内容】地域福祉を担う主体である住民の主体化について学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の資料を復習しておくこと。	A･K			

テキスト	井村圭壮、2019年、『地域福祉の原理と方法第3版』、学文社、978-4-7620-2874-8
参考書	適宜紹介します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必
その他	

科目名	地域福祉論Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	尾形　良子

授業の目的		
	ねらい	「地域福祉論Ⅰ」の内容を踏まえながら、地域福祉の実践主体である社会福祉法人やボランティア団体、専門職の役割と実際を学ぶ。また地域福祉を実施するための地域におけるネットワーク、社会資源の活用整・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、サービスの評価方法など、地域福祉の推進方法について理解する。
	到達目標	(1)コミュニティワークやコミュニティソーシャルワークといった地域福祉の方法を理解する。 (2)地域福祉の具体的な方法を学ぶことによって、実践する能力を形成する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】社会福祉法人および特定非営利法人、ボランティアおよび福祉コミュニティビジネスと企業の社会貢献の役割と実際 【計画内容】地域福祉を担う機関の概要やボランティア、特定非営利法人、NPOの概要を学習する。またNPOなどが担うコミュニティビジネスや企業の活動についても視野を広げていく。 【授業時間外の学修内容】「地域福祉論Ⅰ」での学習をふりかえってくる。	A・K・L	第9回	【テーマ】ソーシャルサポートネットワーク 【計画内容】コミュニティソーシャルワーク等でも活用できるソーシャルサポートネットワーク概念について確認し、経験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L
	第2回	【テーマ】民生委員・児童委員・保護司 【計画内容】特殊なボランティアといわれる民生委員や更生保護の領域で活躍する保護司の概要を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L	第10回	【テーマ】社会資源の活用・調整・開発 【計画内容】支援において利用する社会資源の内容とコーディネートの仕方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L
	第3回	【テーマ】住民による地域福祉活動の実際 【計画内容】ボランティア活動の例を紹介し、具体的な活動内容や地域福祉の中の役割を理解する機会とする。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L	第11回	【テーマ】ソーシャルアクション 【計画内容】地域におけるソーシャルアクションの実際を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L
	第4回	【テーマ】地域福祉の方法～コミュニティワーク① 【計画内容】コミュニティワークの概要および発展、そしてコミュニティワークの展開過程を一つの問題を通して体験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L	第12回	【テーマ】福祉ニーズの把握の方法 【計画内容】質的な福祉ニーズおよび量的な福祉ニーズの把握の方法を学び、ニーズ把握の基礎を作る。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L
	第5回	【テーマ】地域福祉の方法～コミュニティワーク② 【計画内容】コミュニティワークの概要および発展、そしてコミュニティワークの展開過程を一つの問題を通して体験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L	第13回	【テーマ】地域トータルケアシステム 【計画内容】地域トータルケアシステムの概要を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L
	第6回	【テーマ】地域福祉の方法～コミュニティソーシャルワーク① 【計画内容】個別の支援から地域における社会資源の開発まで総合的に捉える地域福祉の方法の概要を学び、具体的な問題を通して考える。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L	第14回	【テーマ】福祉サービス評価 【計画内容】福祉サービス評価が必要とされる背景や評価の内容、方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L
	第7回	【テーマ】地域福祉の方法～コミュニティソーシャルワーク② 【計画内容】個別の支援から地域における社会資源の開発まで総合的に捉える地域福祉の方法の概要を学び、具体的な問題を通して考える。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】まとめを実施する。 【授業時間外の学修内容】前回までの資料で復習しておく。	A・K・L
	第8回	【テーマ】住民参加と方法 【計画内容】住民参加の意義や地域福祉計画策定への参加など、主体的に地域に関わっていく際の考え方や方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の資料で復習しておく。	A・K・L			

テキスト	井村圭壮、2019年、『地域福祉の原理と方法第3版』、学文社、978-4-7620-2874-8
参考書	適宜紹介します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必
その他	

科目名	社会福祉運営管理論	授業形態	講義	単位数	2

教員名	神部　健史	
授業の目的	ねらい	社会福祉基礎構造改革以降「措置から契約へ」と社会福祉サービスも利用契約制度へとパラダイムシフトするとともにサービス利用が利用者の権利として明確に位置付けられるようになった。さらに規制緩和は民間参入も容易となり、利用者の権利擁護のための倫理や価値もこれまで以上に求められます。社会福祉士がサービス提供組織におけるシンクタンクとしてリーダーシップを発揮しながらより良いサービスを提供できるように組織をマネジメントできるための基礎知識を学んでいきます。
	到達目標	(1)社会福祉における経営の理念と哲学を理解する (2)ソーシャルワーカーとして求められる組織の基礎知識を理解する (3)社会福祉サービスに関するマネジメントの知識と技術を学ぶ

授業の計画						
第1回	【テーマ】社会福祉と経営 【計画内容】社会福祉実践に求められる価値、倫理と社会福祉実践を担うものが経営を学ぶ意味を考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの目次に目を通し、学ぶ内容の概要を確認してください。	A・H	第9回	【テーマ】福祉サービスの管理、運営方法(サービス管理③) 【計画内容】社会福祉サービス提供におけるリスクマネジメントの理論と方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H
第2回	【テーマ】福祉サービスにおける組織と運営 【計画内容】多様化する福祉ニーズに対応すべく社会福祉システムが大きく変化する中で、福祉サービスを提供する組織、経営管理の基礎を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H	第10回	【テーマ】福祉サービスの管理、運営方法(サービス管理④) 【計画内容】社会福祉サービス提供における運営管理上の課題と解決方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H
第3回	【テーマ】福祉サービスにかかわる組織、団体 【計画内容】社会福祉法人制度改革と社会福祉法改正にともなう社会福祉法人の役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H	第11回	【テーマ】福祉サービスの管理、運営方法(人事管理と労務管理①) 【計画内容】社会福祉サービスを提供するうえで求められる人事、労務管理の基礎知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H
第4回	【テーマ】福祉サービスの組織と経営の基礎理論① 【計画内容】社会福祉サービスを提供するうえで求められる地域ニーズの把握と事業展開する上で求められる戦略、事業計画、評価の方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H	第12回	【テーマ】福祉サービスの管理、運営方法(人事管理と労務管理②) 【計画内容】社会福祉事業における人財育成の考え方を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H
第5回	【テーマ】福祉サービスの組織と経営の基礎理論② 【計画内容】社会福祉サービスを提供するうえで求められる組織の理論、経営の考え方、方法の基礎について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H	第13回	【テーマ】福祉サービスの管理、運営方法(人事管理と労務管理③) 【計画内容】ソーシャルワーカとして利用者の確保やベッド管理等を通じた財務管理ありかたの基礎知識を学びます 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H
第6回	【テーマ】福祉サービスの組織と経営の基礎理論③ 【計画内容】社会福祉サービスを提供するうえで求められるチームの理論と、リーダーシップ、フォロアーシップのありかたについて学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H	第14回	【テーマ】福祉サービスの管理、運営方法(情報管理) 【計画内容】IT 化が進む中でのソーシャルワーカーとしての個人情報保護、情報開示等の情報管理の方法の基礎的知識と実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H
第7回	【テーマ】福祉サービスの管理、運営方法(サービス管理①) 【計画内容】社会福祉サービスを提供するうえで求められるサービス管理の知識、技術の基礎を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H	第15回	【テーマ】社会福祉専門職に求められるマネジメント 【計画内容】講義全体を振り返りながら、社会福祉専門職(社会福祉士)として求められるマネジメント能力について考えていきます。 【授業時間外の学修内容】事前に課題を提示します。	A・H
第8回	【テーマ】福祉サービスの管理、運営方法(サービス管理②) 【計画内容】社会福祉サービスの質に対する評価のありかたと方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおいてください。	A・H				

テキスト	新・社会福祉士養成講座、2019年、『福祉サービスの組織と経営』、中央法規出版
参考書	プリントを使用する

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%				50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	講義内で行います。	
実務経験と授業の関連	該当	経験内容：福祉施設管理者、ソーシャルワーカー 科目との関連：管理者、ソーシャルワーカーとしての実務経験を事例等で活用しながら講義等を行います
質問への対応	初回、講義時に説明します。	
資格	[健]社会福祉士_必修	
その他	16回時に評価試験を行います。評価は試験6割以上とします。 4回以上の欠席(遅刻15分以上)は単位認定を行いません	

科目名	医療福祉論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	黒澤　直子				

授業の目的	
ねらい	保健医療分野におけるソーシャルワークについて、その理念、価値、視点を学ぶ。保健医療の歴史的背景や制度・政策動向、社会環境の変化を理解することを通して、疾病や障害を負うことによって生じる生活の諸問題について学び、他の福祉分野との関連についても理解を深める。
到達目標	(1)相談援助過程で必要となる医療保険制度や保健医療サービスについて理解できる。 (2)保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の内容を紹介し、15回の講義展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】保健医療分野における制度・政策・サービス② 【計画内容】各種手帳制度、年金、介護保険などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
第2回	【テーマ】保健医療分野のソーシャルワークの基本概念 【計画内容】保健医療分野におけるソーシャルワークの特徴や基本的な概念について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】保健医療分野における多職種連携 【計画内容】専門職種との連携、協働の実際について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H
第3回	【テーマ】保健医療分野におけるソーシャルワークの歴史① 【計画内容】諸外国の保健医療分野でどのようなソーシャルワークが行われてきたのかを理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第11回	【テーマ】保健医療分野における地域との連携 【計画内容】地域ケアの実践について求められる連携のあり方について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A・G・H
第4回	【テーマ】保健医療分野におけるソーシャルワークの歴史② 【計画内容】日本において、保健医療分野のソーシャルワークがどのように行われてきたのかを理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第12回	【テーマ】保健医療サービスの展開① 【計画内容】急性期医療からリハビリテーション、慢性期に至るまでに求められる保健医療サービスについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A・H・J
第5回	【テーマ】保健医療サービスの実際①保健医療機関の理解 【計画内容】保健医療サービスが提供されている機関の種類や機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第13回	【テーマ】保健医療サービスの展開② 【計画内容】終末期医療に求められる保健医療サービスについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A・H・J
第6回	【テーマ】保健医療サービスの実際②ソーシャルワークの理解 【計画内容】保健医療分野におけるソーシャルワーカーの専門性と職務内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第14回	【テーマ】保健医療サービスの展開③ 【計画内容】慢性疾患や障害を抱えながら生活をしていく際に求められる保健医療サービスについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A・H・J
第7回	【テーマ】保健医療サービスの実際③職種の理解 【計画内容】医療サービスに携わるさまざまな専門職種について、その職務内容等について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】保健医療分野におけるソーシャルワークの課題と展望についてまとめを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでに配付したプリントを復習しておくこと。	A・L
第8回	【テーマ】保健医療分野における制度・政策・サービス① 【計画内容】医療保険制度、診療報酬制度、医療法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A			

テキスト	毎時プリントを配付します
参考書	社会福祉士養成講座編集委員会、2014年、『新・社会福祉士養成講座17「保健医療サービス」第4版』、中央法規、9784805839355

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	60%		20%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題については講義のなかで内容の検討を行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必
その他	

科目名	就労支援論	授業形態	講義	単位数	1
教員名	橋本　菊次郎				
授業の目的	ねらい	障害者、生活保護世帯、母子世帯等に対して就労による自立は喫緊の課題と位置づけられ、制度の改正、創設の動きは活発である。こうした就労支援の動きの中で相談援助活動をどう展開していくか、ということが社会福祉士に求められている。本科目では、就労すること意義を十分理解したうえで、就労支援に関わる制度・施策、各領域別の就労支援の実際と課題を理解することを目的とする。			
	到達目標	(1)就労支援に関わる制度・施策を理解する。 (2)就労支援に関わる組織、団体および専門職について理解する。 (3)就労支援分野との連携について理解する。 (4)各領域別の就労支援の展開方法を学ぶ。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション　働くことの意義・労働法規の概要 【計画内容】講義内容と展開方法について説明する。 「働くことの意義」を考える。 労働法規の概要について説明し、課題を提示する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・G・K
	第2回	【テーマ】労働法規の概要と雇用・就労の動向 【計画内容】課題(「労働法規の概要」)の解説と近年のわが国のライフスタイルの変化と労働市場の動向について学ぶ。 雇用・就労を推進するための労働法規、労働施策等について最近の雇用・就労問題との関係で理解する。 【授業時間外の学修内容】労働(災害を含む)に関する、ニュース、新聞を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】障害者と就労支援 【計画内容】障害者の就労の現状と課題について理解する。レポートを作成し、評価の対象とする。 【授業時間外の学修内容】障害者総合支援法の就労支援制度について復習しておくこと。	A・G
	第4回	【テーマ】障害者雇用施策の概要 【計画内容】障害者の就労の現状と課題と活用できる施策の概要を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第3回のレジュメを復習しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】障害者就労支援の実際 【計画内容】障害者就労支援の実際について、先駆的取組から必要な支援の在り方について学ぶ。 障害者就労支援に関するＤＶＤを視聴し、レポートを作成する(評価対象)。 【授業時間外の学修内容】第3回、第4回の講義内容を復習しておくこと。	A・G
	第6回	【テーマ】低所得者の就労支援の現状 【計画内容】生活保護、母子家庭世帯などの就労の現状を把握し、必要な支援の概要を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活困窮者自立支援制度について復習しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】就労支援にかかわる専門職・組織・団体の役割と連携と実際 【計画内容】生活保護、障害者雇用などの各領域において配置されている専門職の役割と実際に活動内容について学び、事例から労働・教育・福祉などの就労支援にかかわる機関がどのように連携して、就労に結びつく活動をしているかを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだ各領域の就労支援制度について復習しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】まとめ 【計画内容】働くことの意義と就労支援のあり方などについて振り返りを行い、履修した内容を再確認する。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	L

テキスト	毎回レジュメを配付します
参考書	社団法人日本社会福祉士会編集、2010年、『ソーシャルワーク視点に基づく就労支援実践ハンドブック』、中央法規出版、9784805837641 社会福祉士養成講座編集委員会、2016年、『就労支援サービス第4版(新・社会福祉士養成講座18)』、中央法規出版、9784805853047

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足			講義時間内に2回予定			

課題に関するフィードバックの方法	・リアクションシートの質問については授業内で回答し、また感想や意見等も幾つか紹介し共有する。 ・中間レポートについては、事前に採点基準を示し、レポート提出後、解説・講評を行う。 ・テストについては、解答例・解説資料をテスト終了後に配付する。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	精神保健福祉士
		科目との関連	精神障害者就労支援施設において就労支援(職業リハビリテーション、就職活動支援など)。

質問への対応	授業内に質問を受ける時間を確保するほか E-Mail でも受け付けます。 E-Mail:kikujiro@hokusho-u.ac.jp
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	相談援助実習を履修済みあるいは履修予定であることが望ましい。 座席は指定する。 レジュメは、過去に配付したものも使用することがあるので、各自ファイリングするなどして、毎回持参すること。

科目名	権利擁護と成年後見制度	授業形態	講義	単位数	2
教員名	森田　弘之				

授業の目的		
	ねらい	基本的人権の尊重、個人の尊厳と生命・自由・幸福追求の権利を保障した憲法等の実現をめざして、市民社会の基本秩序を規定した近代民法は私有財産制を保障している。そしてその下では、各個人は原則として自己の意思に基づいてのみ、権利を取得し義務を負担する(私的自治の原則)。しかし、障害や高齢などにより、自己の自由な意思形成の基礎となる判断能力が不十分な方を支援し補充するための成年後見制度を活用するには、相談支援活動と法との関わりを通じて、どのような方法があるのか等について、他の制度及び権利擁護にかかわる組織・団体等と共に理解する。
	到達目標	(1)権利擁護の概念と憲法および法体系を理解する。 (2)成年後見制度の概要及び課題等を学び、他の支援事業との相違を理解する。 (3)相談援助の活動と法との関連を理解する。 (4)相談援助の活動において必要となる成年後見制度について理解する。 (5)虐待や認知症など支援を必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション・権利擁護の概念 【計画内容】授業の展開等を説明するのと、人権を支える法の仕組みについても学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておく。	A	第9回	【テーマ】成年後見人等の義務と課題 【計画内容】成年後見人等の後見実務とその限界ないし課題について学び、これからの市民後見人及び最近の動向についても考察します。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第2章 p.112-p.127を読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】日本国憲法の理解1 【計画内容】主に日本国憲法の基本的人権について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第1章 p.2-p.11を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】日常生活自立支援事業と成年後見制度利用支援事業 【計画内容】日常生活自立支援事業及び成年後見制度利用支援事業の概要と成年後見制度との相違点及び江別市などの取組みについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第3章 p.130-p.145を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】日本国憲法の理解2 【計画内容】自由権と社会権ないし公私分離の原則などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第1章 p.11-p.27を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】権利擁護にかかわる組織、団体の役割と実際 【計画内容】家庭裁判所、法務局及び市町村などの各役割を学び、いつでも相談できるようなネットワークを築くことを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第5章 p.148-p.171を読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】行政法の理解 【計画内容】主に行政組織法、行政作用法、行政救済法の三分類について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの該当箇所を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】権利擁護にかかわる専門職の役割 【計画内容】権利擁護の制度は、国民みんなで支えるもので、親族以外の第三者のうち、特に身上監護を行うのに適した社会福祉士などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第6章 p.174-p.196を読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】民法の理解1 【計画内容】総則、物権、債権及び契約の類型などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第1章 p.48-p.62を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】成年後見活動の実際 【計画内容】社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの判断能力の不十分な高齢者などについて、テキストの事例から支援の留意点や対応方法など、権利擁護活動の実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第7章 p.198-p.205を読んでおくこと(レポート)。	A
	第6回	【テーマ】民法の理解2 【計画内容】不法行為、親族法及び相続法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第1章 p.62-p.79を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】権利擁護活動の実際 【計画内容】障害のある子の将来への対応と実務について事例を通じて学び、関係機関との連携を図ることを学習します。また、成年後見制度の利用と促進についても説明します。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第7・8章 p.206-p.243を読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】法定後見制度1 【計画内容】成年後見制度の基本理念と成年後見、保佐及び補助の各概要について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第2章 p.82-p.97を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】最高裁の後見統計とこれまでの復習と国試対策 【計画内容】権利擁護及び成年後見制度について、最高裁の後見統計とこれまでの振り返りによる要点の整理を行います。 【授業時間外の学修内容】これまでに配付したプリントを復習しておくこと。	A・L
	第8回	【テーマ】法定後見制度2 【計画内容】法定後見の申立ての流れと任意後見制度の概要について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第2章 p.98-p.111を読んでおくこと。	A			

テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2014年、『社会福祉士養成講座 第19巻 権利擁護と成年後見制度第4版』、中央法規、9784805839362 講義時に説明します。
参考書	福祉臨床シリーズ編集委員会編、2018年、『権利擁護と成年後見制度[第4版]』、弘文堂、9784335611889 プリントを使用します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート		出席率	

課題に関するフィードバックの方法	第15回に国試対策と要点の整理を行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[健]社会福祉士_必修 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必
その他	成年後見制度や認知症などの報道等に関心を抱き、これからの指針や方策等についても関心をもってもらいたい。

科目名	司法福祉論	授業形態	講義	単位数	1
教員名	二階堂　恵				

授業の目的		
	ねらい	罪を犯した人たちが一定の刑事司法手続きを経て社会に戻ってきた際の、社会の受け入れが問題となっている。就労、住居、人とのつながりを回復することがこれらの人の社会復帰のために必要不可欠であり、司法と福祉の連携が重要となる。本講義では、少年犯罪や刑事司法の法的手続き、処遇、活動する組織、団体及び専門職について理解するだけでなく、福祉的支援の必要性と相談援助活動、関係機関や専門職との連携など支援の実際について理解することを目標に講義を展開する。
	到達目標	(1)刑事司法制度及び少年司法制度と更生保護制度の関係について理解できる。 (2)更生保護制度における社会復帰のための支援や官民の協働態勢等について理解する。 (3)更生保護と関係機関等との連携についてわかる。 (4)医療観察制度についてわかる。 (5)更生保護における近年の動向についてわかる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス·更生保護の沿革 【計画内容】更生保護の歴史及び刑事政策における更生保護の位置づけについて学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を確認し、可能な範囲でテーマに関して調べ学習すること。	A
	第2回	【テーマ】刑事司法·少年司法と更生保護制度 【計画内容】刑事司法及び少年司法の手続きと更生保護の位置づけについて学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を確認し、可能な範囲でテーマに関して調べ学習すること。	A
	第3回	【テーマ】保護観察の種類、方法及び措置 【計画内容】保護観察の種類、方法、良好措置と不良措置について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を確認し、可能な範囲でテーマに関して調べ学習すること。	A
	第4回	【テーマ】仮釈放及び生活環境調整の理解 【計画内容】社会復帰のための制度としての生活環境調整の方法等と仮釈放の手続きについて学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を確認し、可能な範囲でテーマに関して調べ学習すること。	A
	第5回	【テーマ】更生緊急保護の方法と保護施設 【計画内容】更生緊急保護、応急の救護の措置及び更生保護施設の機能等について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を確認し、可能な範囲でテーマに関して調べ学習すること。	A
	第6回	【テーマ】更生保護を担う人と関係機関·団体 【計画内容】更生保護従事者及び民間協力者の活動と、被害者支援、犯罪予防活動について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を確認し、可能な範囲でテーマに関して調べ学習すること。	A
	第7回	【テーマ】医療観察制度の理解 【計画内容】医療観察制度の内容及び同制度における保護観察所、裁判所、検察庁、医療機関等の役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を確認し、可能な範囲でテーマに関して調べ学習すること。	A
	第8回	【テーマ】更生保護の展望と課題 【計画内容】更生保護と関係機関とのかかわり、及び更生保護における最近の動向について学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を確認し、可能な範囲でテーマに関して調べ学習すること。	A

テキスト	辰野文理、2018年、『要説更生保護』、成文堂
参考書	藤本哲也·生島浩·辰野文理編、2016年、『よくわかる更生保護』、ミネルヴァ書房

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	保護観察官
		科目との関連	保護観察官としての業務経験をもとに実務に即した指導を行います。

質問への対応	初回受講時に具体的に説明します。
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	配付したプリントは、適宜使用しますので、受講時に持参してください。 第7回の終了時にレポートのテーマを示しますので、第8回の授業開始前に提出してください。

科目名	相談援助演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	久野　真知子	
授業の目的	ねらい	地域福祉を実際に地域で実施していくために必要な知識、技術、理念などを学びます。地域アセスメント、地域組織化の展開過程および地域福祉計画と地域福祉活動計画等を理解する機会となります。また、実践に必要な記録の技法を含めて学習していきます。
	到達目標	(1)地域福祉を実施するために必要な知識、技術、理念を実践的に理解できる。 (2)コミュニティワークの技法を身につける。 (3)記録の技法を使って学習することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】この授業の内容や流れ、到達目標について解説します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習して下さい。	A	第9回	【テーマ】地域アセスメントの作成 【計画内容】地域アセスメントの項目を確認し、アセスメントの記録が書けるように学習します。 【授業時間外の学修内容】地域アセスメント項目について調べてきて下さい。	H・J・K
	第2回	【テーマ】ある高齢者家族のケースから 【計画内容】日中独居の高齢者家族のケースではどのようなアセスメントの視点で分析し地域の資源を活用していくのか、またマッピング技法の確認も含めて学習します。 【授業時間外の学修内容】マッピング技法の復習をしておいて下さい。	H・J	第10回	【テーマ】コミュニティワーク事例①事例のはじまり 【計画内容】「事例」としてアプローチをしていくのは、さまざまなきっかけがあります。一つの出来事からコミュニティワークを実践することになる経緯を含めて学びます。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークのプロセスを学習してきて下さい。	H・J
	第3回	【テーマ】日中独居の高齢者家族へのコミュニティワーク 【計画内容】このケースではどのような地域の支援を実施できるか検討します。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークの基礎知識を確認してきて下さい。	H・J	第11回	【テーマ】コミュニティワーク事例②アセスメント 【計画内容】地域アセスメントについて事例をベースに学習します。 【授業時間外の学修内容】地域アセスメントの記録を見直してきて下さい。	H・J
	第4回	【テーマ】同じ課題を抱える地域住民を対象としたアプローチ 【計画内容】これまで取り上げてきた家族のように、地域で悩んでいる他の住民を対象として、どのような活動を計画すると効果があがるのか学習します。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークの事例を1つ読んできて下さい。	H・J	第12回	【テーマ】コミュニティワーク事例③計画作成 【計画内容】この事例ではどのような計画を作成して実施すると課題が解消されるのでしょうか。計画づくりを経験します。 【授業時間外の学修内容】実際の「計画」を見直してきて下さい。	H・J
	第5回	【テーマ】ある老人デイサービスが抱える課題の解決 【計画内容】老人デイサービスがその地域の特性による問題を抱えています。どのような解決が考えられるか検討します。 【授業時間外の学修内容】老人デイサービスについて確認してきて下さい。	H・J・K	第13回	【テーマ】コミュニティワーク事例④実施～評価 【計画内容】計画を実施し、その評価を行うプロセスを学びます。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークの評価方法を確認してきて下さい。	H・J
	第6回	【テーマ】ひとり親家庭への支援 【計画内容】他からの協力を得られづらく、孤軍奮闘しがちなひとり親家庭への支援を考えます。 【授業時間外の学修内容】ひとり親家庭の課題について調べておいてください。	H・J・K	第14回	【テーマ】コミュニティワーク事例⑤コミュニティワークから次のアプローチへ 【計画内容】コミュニティワークの実施によって解消された課題を確認し、残された課題に取り組む方法を学習します。 【授業時間外の学修内容】ソーシャルアクションについて確認してきて下さい。	H・J
	第7回	【テーマ】社会資源の活用 【計画内容】活用が可能な社会資源はどの程度存在し、利用しやすいのか身近な地域を例に検討します。 【授業時間外の学修内容】どのような社会資源があるのかを確認しておいてください。	H・J・K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】コミュニティワークの基礎知識と技術を再確認する機会とします。 【授業時間外の学修内容】本演習の資料を読んできて下さい。	H・J・K
	第8回	【テーマ】地域福祉活動計画の策定 【計画内容】ある地域の地域福祉活動計画を改善するとしたら、どの要素に注目し、どのようなプロセスで実施することができるのかを考えます。 【授業時間外の学修内容】地域福祉活動計画について調べておいてください。	H・J・K			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法		
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	授業時にお伝えします	
資格	[健]社会福祉士_必修	
その他	「相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」は、社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する学生が対象となります。 ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習」「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。 ※なお、本演習は4回以上の遅刻(15分以内)および欠席をした学生には単位を認定しません。	

科目名	相談援助演習Ⅳ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	久野　真知子、高野　和美				

授業の目的	
ねらい	相談援助の対象は、多岐にわたるとともにその内容も様々である。ソーシャルワーカーとしての援助も個々のケースに即して柔軟に対応するとともに様々な専門職と連携して総合的かつ包括的に展開することが求められる。ここでは、具体的な事例をもとにしてそうした総合的かつ包括的な援助のあり方について実践的に習得する。
到達目標	(1)様々な事例に応じたニーズを把握できる。 (2)ソーシャルワーカーとしての対応や援助を理解できる。 (3)社会資源やネットワークの活用の仕方を習得する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】相談援助を行うためのポイント 【計画内容】講義の目的と展開について説明します。相談援助を実践的に習得するためのポイントを紹介します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	B	第9回	【テーマ】低所得者事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源･ネットワーク 【計画内容】自立支援をどのように行うか考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J
第2回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(1)～高齢者･事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、虐待への対応や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J	第10回	【テーマ】社会的排除事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J
第3回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(2)～高齢者･対応の振り返りと社会資源･ネットワーク 【計画内容】高齢者虐待における被虐待者･虐待者それぞれへの対応やかかわりについて考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J	第11回	【テーマ】社会的排除事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源･ネットワーク 【計画内容】差別問題への対応の仕方を考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J
第4回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(3)～児童･事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、虐待への対応や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J	第12回	【テーマ】ホームレス事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J
第5回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(4)～児童･対応の振り返りと社会資源･ネットワーク 【計画内容】児童虐待における被虐待者･虐待者それぞれへの対応やかかわりについて考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J	第13回	【テーマ】ホームレス事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源･ネットワーク 【計画内容】就労支援等の援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J
第6回	【テーマ】家庭内暴力事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J	第14回	【テーマ】権利擁護事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J
第7回	【テーマ】家庭内暴力事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源･ネットワーク 【計画内容】被害者への対応や関係機関との連携について考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J	第15回	【テーマ】権利擁護事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源･ネットワーク 【計画内容】成年後見制度などの具体的な活用について考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J
第8回	【テーマ】低所得者事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B･H･J			

テキスト	必要に応じてプリントを配付します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	「相談援助演習Ⅱ･Ⅲ･Ⅳ･Ⅴ」は、社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する学生が対象となります。 ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助実習」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。本科目において4回以上の遅刻(15分以内)および欠席した学生は配属後であっても相談援助実習を中止し、単位を認定しませんので注意して下さい。

科目名	相談援助演習Ⅴ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	久野　真知子、高野　和美

授業の目的		
	ねらい	相談援助実習で得た個別的体験を一般化し、実践的な知識・技術を習得します。そのためには、自分自身の実習体験の振り返りや事例研究を行うことで、面接技術や利用者理解の重要性を再認識し、自己決定・エンパワメントに基づくソーシャルワーク実践について考えることができます。また、各学生の個別的体験を素材としたグループ学習を行うことで、より広い視点や視野から相談援助の方法をとらえ、価値観や倫理観と向き合う専門職としてのあり方を深く学びます。
	到達目標	(1)実習体験の振り返りを通して、相談援助職として必要な知識・技術を理解できる。 (2)相談援助職としての価値観・倫理観を再確認し、その専門性を表現できる。 (3)他の学生の経験を追体験としてとらえ、ソーシャルワークの視点や視野を広げて理解することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	B	第9回	【テーマ】事例研究1　組織・機関の理解と連携の必要性 【計画内容】事例を通して、地域における組織・機関の役割・機能について、関係機関等の連携も含めて理解し、課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
	第2回	【テーマ】実習体験からの学び1 【計画内容】各自の相談援助実習において経験したソーシャルワークの支援内容について振り返ります。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第10回	【テーマ】事例研究2　他職種・他職域の理解 【計画内容】事例を通して、連携する他職種・他職域について理解し、ソーシャルワーク職種・職域の広さを理解します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
	第3回	【テーマ】実習体験からの学び2 【計画内容】利用者との関係形成にかかる援助技術やコミュニケーション技法を理解します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第11回	【テーマ】事例研究3　ソーシャルワークの専門性について 【計画内容】事例を通して、人と環境の接点・相互作用に着目し、ソーシャルワークの専門性について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
	第4回	【テーマ】実習体験からの学び3 【計画内容】利用者との関わりから、相談援助の対象となる人びとへの理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第12回	【テーマ】事例研究4　ソーシャルワークのプロセス 【計画内容】個人に関わる家族・組織・地域の相互関係に着目し、ソーシャルワークの支援プロセスについて考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
	第5回	【テーマ】実習体験からの学び4 【計画内容】相談援助の過程における権利擁護・自己決定について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第13回	【テーマ】事例研究5　グループ活動の支援 【計画内容】グループワークの展開過程グループダイナミクスを活用したメンバーの支援について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
	第6回	【テーマ】実習体験からの学び5 【計画内容】ディレンマ体験を通して、自己決定・エンパワーメント・人間の尊重等ソーシャルワーカーとしての価値観・倫理観の学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第14回	【テーマ】事例研究6　地域福祉活動の支援 【計画内容】地域の特性を踏まえた地域課題に対して、組織・機関と地域住民の主体性に基づく支援について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
	第7回	【テーマ】実習体験からの学び6 【計画内容】カンファレンス・会議等による関係機関・地域住民との連携の実際から、チームアプローチのあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第15回	【テーマ】ソーシャルワークの専門職として求められるもの 【計画内容】ソーシャルワークの専門職として求められる知識・技術・能力について考え、自分自身の課題についても明らかにします。 【授業時間外の学修内容】テーマについて、レポートを作成しておくこと。	B・H・J
	第8回	【テーマ】実習体験からの学び7 【計画内容】地域における社会資源の存在とその活用の実際から、調整・開発を含めた社会資源のあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J			

テキスト	プリントを使用します
参考書	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『新社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法Ⅰ第3版』、中央法規 社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『新社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法Ⅱ第3版』、中央法規

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	各演習担当教員に確認してください。
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	「相談援助演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」は、社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する学生が対象となります。 ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助実習」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。本科目において4回以上の遅刻(15分以内)および欠席した学生は配属後であっても相談援助実習を中止し、単位を認定しませんので注意して下さい。

科目名	相談援助実習指導Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	岩本　希、久野　真知子

授業の目的		
	ねらい	相談援助実習の事前準備を目的とし、社会福祉士になるために必要な実習及び指導、倫理綱領や個人情報保護に関する知識など実習生として身に付けるべき内容について扱う。また社会福祉現場で活躍するソーシャルワーカーによる講義を受け、実際に展開されているソーシャルワークについて学ぶ。さらに相談援助実習終了までのプロセスや実習生の権利と義務、職場、ソーシャルワーカー、利用者への理解を深め実習イメージを膨らませる。
	到達目標	(1)主体的に相談援助実習に取り組む基礎的な知識･技術を身につける。 (2)支援を必要としている人と社会福祉施設･機関の役割及び社会福祉士が行う支援を理解する。 (3)社会福祉士に求められる価値･倫理が説明できる。 (4)相談援助実習に臨む姿勢や態度を身に付け、実習への意欲を高める。 (5)相談援助実習終了までのプロセスを理解するとともに、実習生として取り組むべき課題が理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】相談援助実習に向けた準備とは(集団指導) 【計画内容】相談援助実習指導Ⅰ到達目標、評価方法、提出物、注意事項、学習プロセス等について説明します。社会福祉士がどのような資格か理解し、意識的に取り組む姿勢を身に付けます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】高齢者福祉領域におけるソーシャルワーク(集団指導) 【計画内容】高齢者福祉領域において実践するソーシャルワーカーから講義を受け、現場におけるソーシャルワーカーの役割･業務(一日の流れなど)、利用者について事例等を踏まえ学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料およびテキストを熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】利用者の理解(個別指導) 【計画内容】事例を読みクライエントのイメージを膨らませ、なぜ社会福祉支援とりわけソーシャルワークが必要なのか理解を深めます。また、ソーシャルワーカーが活躍する現場にはどのような利用者がいるか理解します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料およびテキストを熟読しておくこと。	A	第10回	【テーマ】現場実践者講義振り返りと施設見学の準備(集団指導) 【計画内容】外部講師の講義内容を振り返ります。振り返りを通して社会福祉士の理解を深めつつ実習に必要な知識、技術などを確認します。また、施設見学の準備指導をします。 【授業時間外の学修内容】配付した資料およびテキスト、返却したレポート課題を振り返っておくこと。	A･H
	第3回	【テーマ】相談援助実習終了までのプロセス、相談援助実習の意義と目的(個別指導) 【計画内容】2年間にわたる相談援助実習指導及び相談援助実習終了までのプロセスを理解します。相談援助実習の意義と目的を理解し、社会福祉士になぜ相談援助実習が必要であるか考えます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料およびテキストを熟読しておくこと。	A	第11回	【テーマ】施設見学(集団指導) 【計画内容】これまでに学んだソーシャルワーカーとしての視点を意識し、社会福祉施設の見学に臨みます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料やテキストを熟読すること。施設見学後レポートを作成提出すること。	D･M
	第4回	【テーマ】実習生に求められる能力、自己コンピテンス･アセスメント(個別指導) 【計画内容】相談援助実習に取り組むために求められる能力(コミュニケーション、知識、観察、記録、考察、情報収集など)について理解します。自己コンピテンス･アセスメントに取り組み、自己の現状について客観的に把握します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料およびテキストを熟読しておくこと。	A･H	第12回	【テーマ】施設見学振り返り、記録、実習契約と3者の役割(個別指導) 【計画内容】施設見学を通じて理解したこと、感じたことなどを振り返りながら社会福祉専門職に必要な知識や価値などについて考察を深めます。また、実習記録の作成方法、実習契約と3者(実習生、実習施設機関、養成校)の役割について理解し、相談援助実習の準備を進めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料やテキストを熟読すること。	A
	第5回	【テーマ】ソーシャルワーカーの理解1～ソーシャルワーカーが働く職場とは～(個別指導) 【計画内容】ソーシャルワーカーがどのような現場で働いているのか理解を深めます。とくに児童福祉領域、障がい者福祉領域、高齢者福祉領域における実践現場にはどのような施設種別及び機能があるのか学びます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料およびテキストを熟読しておくこと。	A･H	第13回	【テーマ】社会福祉士と個人情報保護および倫理綱領(集団指導) 【計画内容】現場実践者より、個人情報保護法の概要、実習生の立場でも社会福祉士を目指す者として守秘義務があることを理解します。また、社会福祉士倫理綱領についても学び、実践現場におけるソーシャルワーカーの役割、行動、判断などの根拠を理解し、社会福祉士の価値と倫理について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】配付した資料やテキストを熟読すること。	A
	第6回	【テーマ】ソーシャルワーカーの理解2～ソーシャルワーカーとは～(個別指導) 【計画内容】あらゆる実践現場で働くソーシャルワーカーがどのような役割を担っているのか考えます。とくに、児童福祉領域、障がい者福祉領域、高齢者福祉領域におけるソーシャルワーカーの働きについて考えを深めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料およびテキストを熟読しておくこと。	A･H	第14回	【テーマ】個人情報保護および倫理綱領振り返り(集団指導) 【計画内容】個人情報保護、倫理綱領について理解度を確認します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料やテキストを熟読し、第13回講義内容を繰り返し確認しておくこと。	A･B
	第7回	【テーマ】児童福祉領域におけるソーシャルワーク(集団指導) 【計画内容】児童福祉領域において実践するソーシャルワーカーから講義を受け、現場におけるソーシャルワーカーの役割･業務(一日の流れなど)、利用者について事例等を踏まえ学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料およびテキストを熟読し、講義内容を振り返りレポート課題を作成提出すること。	A	第15回	【テーマ】まとめと今後の流れ(集団指導) 【計画内容】実習配属など相談援助実習に向けて今後のスケジュールや実習に臨むために実習生として準備すべきことについて説明します。これまでの講義内容の確認を行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義で配付されたプリントを熟読しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】障がい者福祉領域におけるソーシャルワーク(集団指導) 【計画内容】障がい者福祉領域において実践するソーシャルワーカーから講義を受け、現場におけるソーシャルワーカーの役割･業務(一日の流れなど)、利用者について事例等を踏まえ学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料およびテキストを熟読し、講義内容を振り返りレポート課題を作成提出すること。	A			

テキスト	川村隆彦編著、2014年、『事例で深めるソーシャルワーク実習』、中央法規出版
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		20%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題等に対するフィードバックは、随時、授業内において行います。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	不明な点は「相談援助実習指導Ⅰ」科目担当責任教員の岩本へ直接質問してください。
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	※本講義は4回以上の遅刻および欠席をした学生は、単位を認定しません。

科目名	相談援助実習指導Ⅱ	授業形態	演習	単位数	4
教員名	岩本　希、黒澤　直子、久野　真知子				

授業の目的

ねらい	相談援助実習の目的を理解し必要な知識と技術を得て、相談援助実習に効果的に取り組むことができるようにするとともに、実習後の振り返り等を通し社会福祉士として求められる資質、技能、倫理等についての定着を図る。
到達目標	(1)相談援助に関わる知識と技術について具体的かつ実際的に理解し実践的な技術等を体得する。 (2)社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 (3)具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を養成する。

授業の計画

第1回	【テーマ】前学期オリエンテーション 【計画内容】授業のオリエンテーションとして1年間の実習指導の授業のうち、主に前学期の流れと内容や提出物、注意事項等を確認します。また相談援助実習に向けて実習の意義や目的を確認する機会とします。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】実習前の領域別学習～事前実習の振り返りと本実習に向けて～ 【計画内容】事前実習の経験を領域ごとに振り返り、学習課題と実習生としての課題を確認します。そして各自が実習で達成したいことを個別課題として作成する基盤を作り、本実習に目的意識を持って取り組めるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	A・B・H
第2回	【テーマ】相談援助実習とは 【計画内容】相談援助実習の概要について再度確認し、また、各自にとっての相談援助実習の意義や課題を確認します。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび実習マニュアルの該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	B・H	第10回	【テーマ】個別課題の作成 【計画内容】個別課題の取り組みの進捗状況や疑問点などを確認しながら、個別課題の完成に向けた指導を行います。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	B・H
第3回	【テーマ】事前実習について 【計画内容】事前実習に向けた準備として、事前実習の内容や意義について説明します。また、事前実習の前に明確にしておくべき要素について確認を行います。そして電話を掛ける準備も行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「実習先に電話をかける」「オリエンテーションの意義・内容」「実習指導者に思いを伝える」を読んでくること。	A・H・N	第11回	【テーマ】事前打ち合わせ会等オリエンテーション 【計画内容】事前打ち合わせ会において個別課題についてスーパーバイザーから指導を受ける機会を持ちます。また実習に関わる様々な事項の打ち合せを行います。打ち合わせ会に向けて必要な準備や打ち合わせ会の流れについて説明します。また、事前訪問が必要な学生のケースについての説明も行います。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび配付資料の該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	A・H
第4回	【テーマ】日誌の書き方(事前実習用) 【計画内容】事前実習における日誌の書き方と取り扱い方の説明を行い、実際の日誌を書くことを念頭に置いて実践的に学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章「実習日誌の意義・書き方」を読んでくること。	H	第12回	【テーマ】事前打ち合わせ会の準備、個別課題の完成 【計画内容】事前打ち合わせ会で確認すべき項目は何か、個別課題の相談の仕方などを実際にＲＰをしながら練習し備えておきます。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび配付資料の該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	B・H・N
第5回	【テーマ】事前学習について 【計画内容】事前学習すべき要素や学習方法について説明します。また、各クラスでの事前学習の確認方法(レポートやノート作成)についても伝えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	A・H	第13回	【テーマ】指定課題の指導 【計画内容】指定課題の実際の取り組み方や流れについて詳しく説明、確認し、実習中に円滑に課題に取り組めるように学習する機会となります。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび配付資料の該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	A・H・L
第6回	【テーマ】個別課題とは何か 【計画内容】相談援助実習中に取り組む個別課題とは何か、どのような流れで作成していくかについて説明します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章「実習計画書の概要」「実習テーマ・達成課題を深める」を読んでくること。	A・H	第14回	【テーマ】スーパービジョンの活用方法と個別課題の修正 【計画内容】口頭または実習日誌などさまざまな形で行われるスーパービジョンについて、その意義やスーパーバイザーに報告・相談すべき事やスーパーバイジー(実習生)として期待される言動について学びます。また事前打ち合わせ会で個別課題の修正が必要な場合には、教員が指導し適切な個別課題を仕上げます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章「スーパービジョンを受ける」および第2章「実習テーマ・達成課題の修正」を読んでくること。	A・B・F
第7回	【テーマ】事前実習の振り返りと実習日誌の指導 【計画内容】3日間の事前実習での経験を言語化し、他の学生と共有します。夏の本実習に向けて理解できたことと分からないことなどを明確にして、事前学習等の準備につなげていきます。また事前実習で書いてきた実習日誌の指導も行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「オリエンテーションを振り返る」を読んでくること。	B・H	第15回	【テーマ】実習直前オリエンテーション 【計画内容】実習中のディレンマ、帰校日指導と記録活用法、緊急時や欠席時の連絡方法等、実習中の諸注意と確認事項について説明します。また実習に必要な日誌などを配付します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「近づく実習にさらに備える」、第3章「巡回指導・帰校日のスーパービジョンを活用する」ほか、すべてを読んでおいて下さい。	A
第8回	【テーマ】事前実習の振り返りと個別課題の作成 【計画内容】まず事前実習の体験を共有化し、実習までに解決すべき課題を整理します。また、そして各自が実習で達成したいことを個別課題として整理し、本実習に目的意識を持って取り組めるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	A・H			

テキスト	川村隆彦、2014年、『事例で深めるソーシャルワーク実習』、中央法規
参考書	初回講義時に具体的に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			20%		60%	20%
補足			個別課題のまとめ			事前学習・個別課題

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	原則として2年次後学期の「相談援助実習指導Ⅰ」「相談援助演習Ⅱ」及び2年次前学期までに開講されている社会福祉士受験資格取得にかかる前提科目(学科指定)の単位を取得していない者は履修できません。 ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助実習」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。本科目において前学期中に4回以上の遅刻(15分以内)および欠席した学生は配属後であっても相談援助実習を中止し、単位を認定しませんので注意して下さい。

科目名	相談援助実習	授業形態	実習	単位数	6
教員名	黒澤　直子、岩本　希、久野　真知子				
授業の目的	ねらい	授業で習得した相談援助に関する知識･技術･倫理等についての理解が深まり、社会福祉士としての基礎的な素養が高まることを目指します。			
	到達目標	(1)相談援助実習を通して、相談援助に関わる知識と技術について、具体的かつ実際的に理解し実践的な技術等を体得します。 (2)社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得します。 (3)関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解します。			
授業の計画	【計画内容】＜実習の内容＞ ①概ね1週目(職場理解) 実習機関の理解を深めます～理念や援助方針、運営管理、地域や地域資源との連携などの講義、企画同行など。 ②概ね2週目(職種理解) 社会福祉士の担う役割について理解を深めます～業務同行、日報作成、カンファランス同席など。 ③概ね3、4、5週目(ソーシャルワーク理解) ソーシャルワークの専門性について理解を深めます～相談面接同席、ニーズ把握のための手立･調査、アセスメント、個別援助計画作成、事例研究など。 ＜実習指導の内容＞ 設定した実習課題が達成されるよう、訪問･帰校日指導をとおして学びます。 毎週の訪問･帰校日指導を通して、次のことを指導していきます。 ①基本的なコミュニケーションや対人関係の構築など人間関係の形成について ②利用者理解とそのニーズ把握及び支援計画の作成について ③利用者やその関係者との援助関係の形成について ④利用者やその関係者への権利擁護及び支援とその評価について ⑤多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際について ⑥社会福祉士としての職業倫理、施設･事業者･機関･団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解について ⑦施設･事業者･機関･団体等の経営やサービスの管理運営の実際について ⑧当該実習先が地域社会の中の施設･事業者･機関･団体であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用･調整･開発に関する理解について 【授業時間外の学修内容】 実習機関および実習内容について十分な事前学習を行ってください。				D
テキスト	講義内で提示します				
参考書	初回講義時に具体的に説明します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
	補足			実習報告書･ 実習報告会資料			実習施設･ 機関の評価

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	不明な点は相談援助実習責任者:黒澤まで問い合わせて下さい。
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	原則として2年次後学期の「相談援助実習指導Ⅰ」「相談援助演習Ⅱ」及び2年次前学期までに開講されている社会福祉士受験資格取得にかかる前提科目(学科指定)の単位を取得していない者は履修できません。 ＜成績評価の内容について＞ 実習施設･機関の評価(その他40%)および意欲･態度･課題による評価60% ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習」「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。

科目名	高齢社会の街づくり	授業形態	講義	単位数	2

教員名	佐藤　克之

授業の目的	
ねらい	今日の福祉環境整備における国及び自治体の制度・政策について学ぶ。特に重要な公共的建築物の福祉環境整備調査項目、①駐車場・アプローチ・玄関出入り口・手すり・スロープ等、②トイレ・エレベーター・エスカレーター等、③自動販売機・コンセント・スイッチ・標示板等について、大学のキャンパス内で検証し、バリアフリー・ユニバーサルデザインについての考え方をグループにより調査・研究を行い、その成果をポスター・パワーポイントで発表する。また、住宅の整備項目についてはホームワークとして各自がレポートを作成し提出する。
到達目標	(1)福祉環境整備の国・自治体の制度・政策の理解。 (2)バリアフリーの理解。 (3)ユニバーサルデザインの理解。 (4)公共的建築物の整備項目及び住まいの整備項目の理解。 (5)グループ研究のあり方の理解。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション1 【計画内容】講義の紹介、15回の講義計画・テキスト・参考書・成績評価の方法について解説する。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-3 【計画内容】発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、タイトル・文章の配置、撮影等、ポスター化を行う。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A
第2回	【テーマ】オリエンテーション2 【計画内容】北海道での福祉環境整備についてビデオ教材により学ぶ。その後グループ化を行う。 【授業時間外の学修内容】福祉環境整備について国土交通省のホームページから検索し、必要と考えるデータ及び URL「https://」を USB に保存、それぞれの内容について調べてくること。	A	第10回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-4 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査2のポスター・パワーポイント発表を行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に解説する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を述べる。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A
第3回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-1 【計画内容】大学キャンパス内で複数箇所を比較検証する。実地調査では、公共的建築物の福祉環境整備調査1の中から1項目を選定し、計測、撮影、図面化等、発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、実地調査をグループごとにチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A	第11回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-1 【計画内容】大学キャンパス内で複数箇所を比較検証する。実地調査では、公共的建築物の福祉環境整備調査3の中から1項目を選定し、計測、撮影、図面化等、発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、実地調査をグループごとにチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A
第4回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-2 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査1の中から1項目を選定した内容を補足するため、関連企業のホームページから資料の収集を行う。また、前回の追加調査及びタイトル・文章の作成、図面化、撮影の印刷等、グループでチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A	第12回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-2 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査3の中から1項目を選定した内容を補足するため、関連企業のホームページから資料の収集を行う。また、前回の追加調査及びタイトル・文章の作成、図面化、撮影の印刷等、グループでチームワークを考慮し実施する。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A
第5回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-3 【計画内容】発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、タイトル・文章の配置、撮影等、ポスター化を行う。 【授業時間外の学修内容】ポスター化を行うので文房具等を用意し、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A	第13回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-3 【計画内容】発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、タイトル・文章の配置、撮影等、ポスター化を行う。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する。	A
第6回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査1-4 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査1のポスター・パワーポイント発表を行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に解説する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を述べる。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A	第14回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査3-4 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査3のポスター・パワーポイント発表を行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に解説する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を述べる。また、住宅の整備項目についても解説する(ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する)。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する。	A
第7回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-1 【計画内容】大学キャンパス内で複数箇所を比較検証する。実地調査では、公共的建築物の福祉環境整備調査2の中から1項目を選定し、計測、撮影、図面化等、発表時のプレゼンテーションの効果を検討し、実地調査をグループごとにチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A	第15回	【テーマ】札幌円山キャンパスでの発表 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査結果についてのポスター・パワーポイント発表(追加)等を札幌円山キャンパスで行う。発表者は作成した内容について要領よく丁寧に説明する。特に、関連企業の資料、図面、写真等、グループでの意見を含め述べる。また、ホームワークのレポートを提出する。 【授業時間外の学修内容】ホームワークは各自がレポートとして作成し最終講義に提出する。	A
第8回	【テーマ】公共的建築物の福祉環境整備調査2-2 【計画内容】公共的建築物の福祉環境整備調査2の中から1項目を選定した内容を補足するため、関連企業のホームページから資料の収集を行う。また、前回の追加調査及びタイトル・文章の作成、図面化、撮影の印刷等、グループでチームワークを考慮し実施する。 【授業時間外の学修内容】事前に、グループ内の役割分担を十分に検討する。	A				

テキスト	佐藤克之、2008年、『人にやさしいまちづくり・住まいづくりフォトマニュアル』、ライフシステム研究所
参考書	適宜紹介する。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%	20%	20%	
補足			課題1・2・3	住宅レポート		

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明する。
資格	[健]介護福祉士_選必、社会教育主事_選必 [ス][教][心]社会教育主事_選必 [芸]社会教育主事_選必、1級建築士_必修・2級建築士_選必
その他	講義では、各グループでの調査を行い、結果についてポスター化をする。 毎回、リアクションペーパーへ記入する。データの保存のために各自 USB が必要。

科目名	介護福祉と生活文化	授業形態	講義	単位数	2
教員名	八巻　貴穂、佐藤　克之				

授業の目的		
	ねらい	人を理解する上で欠かすことのできない生活文化について、歴史、宗教、哲学、死生観、通過儀礼など多方面から学ぶことにより、人の暮らしと生活を支える介護福祉との関係について学びを深める。毎回の講義やディスカッションを通し、生活文化とそれを支える介護福祉について学びを深める。介護福祉利用者の個別性や多様性について考察する。
	到達目標	(1)人の暮らしの多様性が理解できる。 (2)介護福祉利用者の生活背景が理解できる。 (3)その人らしい生活を支援する方法を考察することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション·生活文化と介護福祉 【計画内容】生活文化を学ぶ意義。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】シラバスの熟読。介護の歴史と日本文化の関係について資料収集。	A	第9回	【テーマ】季節の暦と年中行事と介護 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(八巻貴穂) 【授業時間外の学修内容】暦と暮らしに関する資料の収集。	A·K·F
	第2回	【テーマ】昭和の歴史と介護 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】大正デモクラシー、戦前·戦争の時代、戦後の思想·民主主義、そして現代に区分した資料収集。	A·K·F	第10回	【テーマ】生活の中の哲学 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】哲学的思考方法と他者理解に関する資料の収集。	A·K·F
	第3回	【テーマ】余暇活動と社会参加 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】遊びと趣味活動、社会参加につながる支援方法に関する資料の収集。	A·K·F	第11回	【テーマ】5つの不死感·自己感と死の倫理 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】「いきること」と死生観に関する資料の収集。	A·K·F
	第4回	【テーマ】人間の生活と宗教 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】生活と宗教に関する資料収集。	A·K·F	第12回	【テーマ】スピリチュアルペインとスピリチュアルケア 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】スピリチュアルペインとスピリチュアルケアに関する資料の収集。	A·K·F
	第5回	【テーマ】宗教とケアの歴史 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】キリスト教·仏教等の慈善活動とケアに関する資料の収集。	A·K·F	第13回	【テーマ】スピリチュアリティの3本柱 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】介護福祉におけるスピリチュアルケアに関する資料の収集。	A·K·F
	第6回	【テーマ】文学と介護 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】文学の中の介護の姿に関する資料の収集。	A·K·F	第14回	【テーマ】まとめ① 【計画内容】各自が再度収集した資料を加筆·修正し、提出用ファイルにまとめる。(八巻貴穂·佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】資料の加筆·修正。	A·K
	第7回	【テーマ】言葉と生活文化 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】生まれ育った土地や時代による言葉の違いに関する資料の収集。	A·K·F	第15回	【テーマ】まとめ② 【計画内容】各自が再度収集した資料を加筆·修正し、提出用ファイルにまとめる。(八巻貴穂·佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】資料の加筆·修正。	A·K
	第8回	【テーマ】日本人の通過儀礼と介護 【計画内容】課題に沿った情報収集と発表·ディスカッション。(八巻貴穂) 【授業時間外の学修内容】人生の節目と祝い事に関する資料の収集。	A·K·F			

テキスト	適宜紹介します
参考書	適宜紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	毎回の発表に対し、その都度教員から講評を行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_選必
その他	講義展開：各自が収集した情報を全員が発表し、ディスカッションを行い共有の知識とします。毎回出された課題についての情報収集、一部プリントの提出を行い、各自がパワーポイントを使用し、発表用のデータとして作成し、調べた内容について説明します。また、ディスカッションで指摘された内容については、再度情報の収集、加筆·修正し、最終講義で提出用ファイルにまとめます。 毎回、情報収集·発表を行うため、隔週2コマ続きで展開します。授業日程の詳細については、授業初回に説明します。

科目名	リハビリテーション論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	森竹　滉太、小玉　武志				

授業の目的	
ねらい	本講義では、リハビリテーションの体系や理念、目的・方法を様々な角度から学ぶことを目的とする。またリハビリテーションの領域における考え方や専門職の構成や関連職種との連携について認識する。 【講義全体の内容の概要】 リハビリテーションの歴史を概観し、リハビリテーション計画の立案に関わる評価、目標設定、プログラムの組み立て方や、リハビリテーションの技術、方法、知識などの修得を図る。各論として、高齢者や障害者・児などの各ライフステージにおけるリハビリテーションの特徴や主要疾患の障害像、問題の捉え方、アプローチの実際について理解を深める。 加えて福祉機器の活用や環境調整の進め方、関連社会資源や制度の利用などを含む包括的なリハビリテーションの援助技術を学習する。
到達目標	(1)リハビリテーションの体系や理念、目的・方法を理解する。 (2)リハビリテーションの各領域における取組の考え方や専門職種・従事者の構成について学び、関係職種との連携を認識する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】リハビリテーションの歴史的背景 【計画内容】リハビリテーションの歴史を概説する。(森竹滉太) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】機能障害をもたらす先天異常および精神障害 【計画内容】機能障害をもたらす種々の疾病について学ぶ。(小玉武志) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A
第2回	【テーマ】リハビリテーションの概念と基本原則～尊厳を支える介護と自立に向けた介護 【計画内容】リハビリテーションの概念と基本原則を概説する。(森竹滉太) 【授業時間外の学修内容】リハビリテーションの概念について予習すること。	A	第10回	【テーマ】リハビリテーションの専門職と連携 【計画内容】リハビリテーションの専門職種とそれぞれの連携について学ぶ。(小玉武志) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A
第3回	【テーマ】障害の程度とその影響1 【計画内容】障害を理解する上での基本的な考え方を紹介する。(森竹滉太) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A	第11回	【テーマ】リハビリテーション過程の実際1 【計画内容】講義および事例研究により、実際のリハビリテーション場面を通じてその過程を学ぶ。(小玉武志) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A
第4回	【テーマ】障害の程度とその影響2 【計画内容】障害を理解する上での基本的な考え方を紹介する。(森竹滉太) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A	第12回	【テーマ】リハビリテーション過程の実際2 【計画内容】講義および事例研究により、実際のリハビリテーション場面を通じてその過程を学ぶ。(小玉武志) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A
第5回	【テーマ】リハビリテーションの諸段階 【計画内容】段階に応じたリハビリテーションの考え方について学ぶ。(森竹滉太) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A	第13回	【テーマ】リハビリテーション計画の作成1 【計画内容】講義および事例研究により、実際のリハビリテーション計画を通じてその過程を学ぶ。(森竹滉太) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A
第6回	【テーマ】リハビリテーションの過程 【計画内容】リハビリテーションの過程について学ぶ。(森竹滉太) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A	第14回	【テーマ】リハビリテーション計画の作成2 【計画内容】講義および事例研究により、実際のリハビリテーション計画を通じてその過程を学ぶ。(森竹滉太) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A
第7回	【テーマ】リハビリテーションの総合的サービス体系 【計画内容】リハビリテーションを行う上で関連する社会資源について学ぶ。(小玉武志) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】講義全体の振り返りを実施する。(森竹滉太) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。予告する復習課題に対して取り組むこと。	A
第8回	【テーマ】機能障害をもたらす主な疾病と外傷 【計画内容】機能障害をもたらす種々の疾病について学ぶ。(小玉武志) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの復習を欠かさないこと。	A			

テキスト	プリントを使用する
参考書	プリントを使用する

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%			30%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉主事_選必
その他	講義形態は土曜日に行う集中講義となっており、1日あたりに3回分の講義を実施する。そのため出席日数の管理は各自注意して行うこと。筆記試験および確認試験の実施日程については、授業の中で改めて連絡を行う。なお講師の担当回は変更の可能性有り。その場合には連絡を行う。講義日程予定は、掲示およびポータルサイトにて周知する。

科目名	食生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	山部　秀子				

授業の目的		
	ねらい	食生活を営む上で必要な食事の基礎知識から、実際の福祉現場や実生活で実践できる食に関する技術について学びます。食事は生活の楽しみであると同時に健康に生きる上で重要な要素です。授業では、食品や調理などの食生活に関する基礎的な知識と技術について学び、実生活や他者への支援に役立たせることができる方法について習得します。さらに加齢とともに起こる身体的変化と食事の関連を探り、自立に向けた食生活支援技術を習得します。
	到達目標	(1)日常的に利用する食品の栄養的な特徴や機能について理解する。 (2)基本的な調理方法について理解し、食生活で実践できる。 (3)高齢化とともに現れる身体的変化に合わせた食事について理解し、実践できる。 (4)現代の食生活の問題点について認識し、課題解決の方法を考えることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】本講義のねらいと達成目標および授業の展開、評価基準について説明します。また、自らの食生活について振り返り、課題を見つけます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.2-p.5を熟読してきてください。	A	第9回	【テーマ】肉･魚介類の種類と特徴およびたんぱく質について 【計画内容】さまざまな肉類や魚介類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 肉類、魚介類の項を概観しておいてください。	A
	第2回	【テーマ】現代の食生活の問題点と望ましい食生活 【計画内容】最新の国民健康栄養調査結果等から、現代の食生活の問題点を探ります。自らの食生活の課題の解決策について考えます。 【授業時間外の学修内容】自らの食生活の問題点や課題について考えて来てください。	A	第10回	【テーマ】いも類･豆類の種類と特徴について 【計画内容】いも類や豆類、また大豆の加工品の特徴や調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト いも類、豆類の項を概観しておいてください。	A
	第3回	【テーマ】加齢に伴う身体的変化と、高齢者にとっての望ましい食事 【計画内容】生涯にわたっておいしく食事を食べるためのポイントについて学びます。加齢に伴って起こる変化について考え、おいしく食べる方法･おいしく提供する方法を考えましょう。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.8-p.9を熟読してきてください。	A	第11回	【テーマ】その他の食品と調味料の種類と特徴について 【計画内容】でんぷん類や油脂類、海藻類、調味料等調理を行う際に必要な食品について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 上記で学んでいない項について概観しておいてください。	A
	第4回	【テーマ】食事の組み立て方① 【計画内容】食事バランスガイドについて学びその概念を理解します。年齢･性別･生活活動に応じて必要な栄養が変化することを理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.6-p.7を熟読してきてください。	A	第12回	【テーマ】食品衛生と食中毒 【計画内容】調理に必要な衛生管理の方法、様々な食品の保存方法、賞味期限や消費期限等について理解します。また食中毒に関する知識を深め、予防方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.360-p.361を熟読しておいてください。	A
	第5回	【テーマ】食事の組み立て方② 【計画内容】食事バランスガイドを使い、自分の食生活を再構築します。また、最近の食情報について学ぶとともに高齢者の食事との違いを考えます。 【授業時間外の学修内容】新聞やインターネット等で話題になっている食に関する情報を調べてきてください。	A	第13回	【テーマ】食事と介護技法①嚥下について 【計画内容】高齢化に伴う飲み込みにくさ等の嚥下機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んでおいてください。	A
	第6回	【テーマ】穀類の種類と特徴および炭水化物について 【計画内容】主食となる穀類の種類や調理の特徴について学び日常の食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 穀類の項 p.32-p.49を概観しておいてください。	A	第14回	【テーマ】食事と介護技法②介護食について 【計画内容】介護食について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んでおいてください。	A
	第7回	【テーマ】野菜類･果実類の種類と特徴およびビタミン･ミネラルについて 【計画内容】古来から最新までの野菜類･果実類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 野菜類･果実類の項 p.88-p.157を概観しておいてください。	A	第15回	【テーマ】食生活のアセスメントとまとめ 【計画内容】自立した食生活を営むために必要な知識や技術について振り返り、本授業のねらいや目標が達成できたか、まとめの再確認をします。 【授業時間外の学修内容】授業中の自筆ノートを完成させておいてください。	A
	第8回	【テーマ】牛乳、乳製品･卵類の種類と特徴について 【計画内容】牛乳や牛乳を原材料とする乳製品、卵類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 乳および乳製品、卵類の項 p.264-p.274を概観しておいてください。	A			

テキスト	2021年、『オールガイド食品成分表』、実教出版
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			word で作成する		事前学習をしておくこと	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	管理栄養士
		科目との関連	栄養や食品について理解し、バランスのとれた食事を考えることができる授業を目指します。

質問への対応	講義時に質問を受けます。
資格	
その他	課題は授業中に提示します。 自分で食事を作り、評価をする課題があります。

科目名	食生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	山部　秀子				

授業の目的		
	ねらい	食生活を営む上で必要な食事の基礎知識から、実際の福祉現場や実生活で実践できる食に関する技術について学びます。食事は生活の楽しみであると同時に健康に生きる上で重要な要素です。授業では、食品や調理などの食生活に関する基礎的な知識と技術について学び、実生活や他者への支援に役立たせることができる方法について習得します。さらに加齢とともに起こる身体的変化と食事の関連を探り、自立に向けた食生活支援技術を習得します。
	到達目標	(1)日常的に利用する食品の栄養的な特徴や機能について理解する。 (2)基本的な調理方法について理解し、食生活で実践できる。 (3)高齢化とともに現れる身体的変化に合わせた食事について理解し、実践できる。 (4)現代の食生活の問題点について認識し、課題解決の方法を考えることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】本講義のねらいと達成目標および授業の展開、評価基準について説明します。また、自らの食生活について振り返り、課題を見つけます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.2-p.5を熟読してきてください。	A	第9回	【テーマ】肉･魚介類の種類と特徴およびたんぱく質について 【計画内容】さまざまな肉類や魚介類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 肉類、魚介類の項を概観しておいてください。	A
	第2回	【テーマ】現代の食生活の問題点と望ましい食生活 【計画内容】最新の国民健康栄養調査結果等から、現代の食生活の問題点を探ります。自らの食生活の課題の解決策について考えます。 【授業時間外の学修内容】自らの食生活の問題点や課題について考えて来てください。	A	第10回	【テーマ】いも類･豆類の種類と特徴について 【計画内容】いも類や豆類、また大豆の加工品の特徴や調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト いも類、豆類の項を概観しておいてください。	A
	第3回	【テーマ】加齢に伴う身体的変化と、高齢者にとっての望ましい食事 【計画内容】生涯にわたっておいしく食事を食べるためのポイントについて学びます。加齢に伴って起こる変化について考え、おいしく食べる方法･おいしく提供する方法を考えましょう。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.8-p.9を熟読してきてください。	A	第11回	【テーマ】その他の食品と調味料の種類と特徴について 【計画内容】でんぷん類や油脂類、海藻類、調味料等調理を行う際に必要な食品について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 上記で学んでいない項について概観しておいてください。	A
	第4回	【テーマ】食事の組み立て方① 【計画内容】食事バランスガイドについて学びその概念を理解します。年齢･性別･生活活動に応じて必要な栄養が変化することを理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.6-p.7を熟読してきてください。	A	第12回	【テーマ】食品衛生と食中毒 【計画内容】調理に必要な衛生管理の方法、様々な食品の保存方法、賞味期限や消費期限等について理解します。また食中毒に関する知識を深め、予防方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.360-p.361を熟読しておいてください。	A
	第5回	【テーマ】食事の組み立て方② 【計画内容】食事バランスガイドを使い、自分の食生活を再構築します。また、最近の食情報について学ぶとともに高齢者の食事との違いを考えます。 【授業時間外の学修内容】新聞やインターネット等で話題になっている食に関する情報を調べてきてください。	A	第13回	【テーマ】食事と介護技法①嚥下について 【計画内容】高齢化に伴う飲み込みにくさ等の嚥下機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んでおいてください。	A
	第6回	【テーマ】穀類の種類と特徴および炭水化物について 【計画内容】主食となる穀類の種類や調理の特徴について学び日常の食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 穀類の項 p.32-p.49を概観しておいてください。	A	第14回	【テーマ】食事と介護技法②介護食について 【計画内容】介護食について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んでおいてください。	A
	第7回	【テーマ】野菜類･果実類の種類と特徴およびビタミン･ミネラルについて 【計画内容】古来から最新までの野菜類･果実類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 野菜類･果実類の項 p.88-p.157を概観しておいてください。	A	第15回	【テーマ】食生活のアセスメントとまとめ 【計画内容】自立した食生活を営むために必要な知識や技術について振り返り、本授業のねらいや目標が達成できたか、まとめの再確認をします。 【授業時間外の学修内容】授業中の自筆ノートを完成させておいてください。	A
	第8回	【テーマ】牛乳、乳製品･卵類の種類と特徴について 【計画内容】牛乳や牛乳を原材料とする乳製品、卵類の特徴と調理について学び、食生活に応用できるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキスト 乳および乳製品、卵類の項 p.264-p.274を概観しておいてください。	A			

テキスト	2021年、『オールガイド食品成分表』、実教出版
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			word で作成する		事前学習をしておくこと	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	管理栄養士
		科目との関連	栄養や食品について理解し、バランスのとれた食事を考えることができる授業を目指します。

質問への対応	講義時に質問を受けます。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	課題は授業中に提示します。 自分で食事を作り、評価をする課題があります。

科目名	衣生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	長谷川　あい				
授業の目的	ねらい	衣服を着装することは人間に与えられた行動であり、健康的な現代生活を営むうえで身体の一部としての機能を持っています。授業では衣生活についての基礎的知識を学び、より快適な衣生活への視点を養うとともに、実践できる衣に関する技術について学びます。			
	到達目標	(1)衣生活についての基礎知識(衣服素材・衣服管理・衣服と環境・衣服製作)を習得する。 (2)実践できる衣服製作に関する基礎的技術を習得する。 (3)高齢者や介護を必要とする人々の自立にむけた衣生活面での支援について考えます。 (4)現代社会における衣服の社会性および衣服の消費と廃棄について学びます。			

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと衣生活学について 【計画内容】授業内容を紹介し15回の授業展開を説明します。なぜ衣生活を学ぶのかを具体的に解説します。高齢者や介護を必要とする人々の衣生活支援についても考えます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを用意し、シラバスを一読する。	A	第9回	【テーマ】衣服製作基礎実習(3)実習作品の製作② 【計画内容】衣服製作のための基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)の習得と、応用として作品を製作します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから基本的縫製技術について正確に理解しておく。	D
第2回	【テーマ】健康的な衣生活とは－衣服の機能と着装心理 / 衣生活の設計－衣服の選択 【計画内容】「人間にとっての衣とは何か」装いの起源と衣服の役割を説明し、現代社会と衣服の機能について学びます。人間と人体(体型)、既製服の選択と購入、品質表示について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第1.2.3章を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】衣服製作基礎実習(4)実習作品の製作③ 【計画内容】基本的縫製技術の復習と、作品を完成し提出します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習し、時間内にできなかった作品を進めておくこと。	D
第3回	【テーマ】衣服の素材について 【計画内容】衣服を構成する素材と繊維の種類と形態、染色・加工法について学びます。介護のための衛生用品の種類と特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4.5章を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】高齢者の衣服と安全性～自立に向けた身支度の介護 【計画内容】高齢者の体型と動作に適応する衣服について学び、高齢者にとって安全で快適な衣生活を考えます。衣服圧、寝床環境についても学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章を読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】衣服素材基礎実験 【計画内容】衣服素材の天然繊維と化学繊維について実験を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付の担当者作成プリントを読んでおくこと。	C	第12回	【テーマ】障害者の衣服と安全性～自立に向けた身支度の介護 【計画内容】障害を持つ人々の障害と動作に適応する衣服について学び、個々の身体の状態に応じた安全で快適な衣生活を考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章を読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】衣服と健康－衣服環境と安全性 【計画内容】健康で快適な衣生活を目指して、人体の生理的メカニズムと衣服の役割について学びます。衣服形態と安全性についても考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4章を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】衣服の資源と消費 【計画内容】衣服の生産と流通、消費と廃棄、衣服のリサイクルについて学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第7.9章を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】衣服衛生と管理・保管～自立に向けた家事の介護 【計画内容】衣服の汚れと洗濯、衣服の日常的な手入れと保管・収納について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第6章を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】衣服と環境 -21世紀の衣生活と北方圏の衣文化について 【計画内容】高齢者と介護を必要とする人々の自立にむけた衣生活支援について考えます。地球環境と衣生活について、現代の衣生活と寒冷地で快適に過ごす衣生活について考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストと配付プリントを復習し、理解できているか確認すること。	A
第7回	【テーマ】衣服製作基礎実習(1)基礎縫い 【計画内容】衣服製作に必要な縫製器具の扱い方を学び、基本的縫製技術(基礎縫い)を習得します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから縫製器具について正確に理解しておく。	D	第15回	【テーマ】衣生活学と衣服製作基本技術のまとめと確認 【計画内容】振り返りと考えの共有をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントについて理解を深めておくこと。	A
第8回	【テーマ】衣服製作基礎実習(2)実習作品の製作① 【計画内容】衣服製作のための基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)の習得と、応用として作品を製作します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)について正確に理解しておく。	D			

テキスト	間瀬清美他、2015年、『新版　衣生活の化学』、アイ・ケイ　コーポレーション、9784874923290
参考書	プリント配付

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		10%	20%	20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	初回講義時に具体的に説明します。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	第16回に最終評価のための筆記試験を実施します。テキストは可能な限り準備して下さい。実験・実習の日程は変更になる可能性があります。実習ではマスク・巾着製作を予定しています。オンライン授業になった場合にも、実習キットを郵送の上、各自製作に取り組んでもらいます。

科目名	衣生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	長谷川　あい				

授業の目的	
ねらい	衣服を着装することは人間に与えられた行動であり、健康的な現代生活を営むうえで身体の一部としての機能を持っています。授業では衣生活についての基礎的知識を学び、より快適な衣生活への視点を養うとともに、実践できる衣に関する技術について学びます。そして高齢者や、介護を必要とする人々の自立にむけた衣生活面での支援についても考えます。
到達目標	(1)衣生活についての基礎知識(衣服素材・衣服管理・衣服と環境・衣服製作)を習得する。 (2)実践できる衣服製作に関する基礎的技術を習得する。 (3)高齢者や介護を必要とする人々の自立にむけた衣生活面での支援について考えます。 (4)現代社会における衣服の社会性および衣服の消費と廃棄について学びます。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと衣生活学について 【計画内容】授業内容を紹介し15回の授業展開を説明します。なぜ衣生活を学ぶのかを具体的に解説します。高齢者や介護を必要とする人々の衣生活支援についても考えます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストを用意し、シラバスを一読する。	A	第9回	【テーマ】衣服製作基礎実習(3)実習作品の製作② 【計画内容】衣服製作のための基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)の習得と、応用として作品を製作します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから基本的縫製技術について正確に理解しておく。	D
第2回	【テーマ】健康的な衣生活とは－衣服の機能と着装心理／衣生活の設計－衣服の選択 【計画内容】「人間にとっての衣とは何か」装いの起源と衣服の役割を説明し、現代社会と衣服の機能について学びます。人間と人体(体型)、既製服の選択と購入、品質表示について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第1.2.3章を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】衣服製作基礎実習(4)実習作品の製作③ 【計画内容】基本的縫製技術の復習と、作品を完成し提出します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを復習し、時間内にできなかった作品を進めておくこと。	D
第3回	【テーマ】衣服の素材について 【計画内容】衣服を構成する素材と繊維の種類と形態、染色・加工法について学びます。介護のための衛生用品の種類と特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4.5章を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】高齢者の衣服と安全性～自立に向けた身支度の介護 【計画内容】高齢者の体型と動作に適応する衣服について学び、高齢者にとって安全で快適な衣生活を考えます。衣服圧、寝床環境についても学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章を読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】衣服素材基礎実験 【計画内容】衣服素材の天然繊維と化学繊維について実験を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付の担当者作成プリントを読んでおくこと。	C	第12回	【テーマ】障害者の衣服と安全性～自立に向けた身支度の介護 【計画内容】障害を持つ人々の障害と動作に適応する衣服について学び、個々の身体の状態に応じた安全で快適な衣生活を考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第8章を読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】衣服と健康－衣服環境と安全性 【計画内容】健康で快適な衣生活を目指して、人体の生理的メカニズムと衣服の役割について学びます。衣服形態と安全性についても考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4章を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】衣服の資源と消費 【計画内容】衣服の生産と流通、消費と廃棄、衣服のリサイクルについて学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第7.9章を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】衣服衛生と管理・保管～自立に向けた家事の介護 【計画内容】衣服の汚れと洗濯、衣服の日常的な手入れと保管・収納について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第6章を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】衣服と環境 -21世紀の衣生活と北方圏の衣文化について 【計画内容】高齢者と介護を必要とする人々の自立にむけた衣生活支援について考えます。地球環境と衣生活について、現代の衣生活と寒冷地で快適に過ごす衣生活について考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストと配付プリントを復習し、理解できているか確認すること。	A
第7回	【テーマ】衣服製作基礎実習(1)基礎縫い 【計画内容】衣服製作に必要な縫製器具の扱い方を学び、基本的縫製技術(基礎縫い)を習得します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから縫製器具について正確に理解しておく。	D	第15回	【テーマ】衣生活学と衣服製作基本技術のまとめと確認 【計画内容】振り返りと考えの共有をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントについて理解を深めておくこと。	A
第8回	【テーマ】衣服製作基礎実習(2)実習作品の製作① 【計画内容】衣服製作のための基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)の習得と、応用として作品を製作します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントから基本的縫製技術(手縫い、ミシン縫い)について正確に理解しておく。	D			

テキスト	間瀬清美他、2015年、『新版　衣生活の化学』、アイ・ケイ　コーポレーション、9784874923290
参考書	プリント配付します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		10%	20%	20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	初回講義時に具体的に説明します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	第16回に最終評価のための筆記試験を実施します。テキストは可能な限り準備して下さい。実験・実習の日程は変更になる可能性があります。実習ではマスク・巾着製作を予定しています。オンライン授業になった場合にも、実習キットを郵送の上、各自製作に取り組んでもらいます。

科目名	住生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2

教員名	佐藤　克之	
授業の目的	ねらい	自立に向けた居住環境の整備(生活福祉空間づくり)についての生活支援技術を学ぶ。寒冷地での高齢者等の住まいなどの相談に役立つバリアフリー・ユニバーサルデザイン等の基礎的な知識を学び、関係職種と連携して図面及びスケッチなどで打ち合わせができる基礎的な能力を身につける。
	到達目標	(1)自立に向けた居住環境の整備の理解。 (2)寒冷地での高齢者等の住まいなどの相談に役立つ基礎的な知識の理解。 (3)図面及びスケッチ等の基礎的な技術能力の理解。 (4)プレゼンテーション(作図・口頭発表)の理解。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション① 【計画内容】シラバスの内容について解説し、使用するテキストを紹介し各自が調べたバリアフリーの用語についてディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】バリアフリーの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第9回	【テーマ】人にやさしいまちづくり・リフォームヘルパー制度、等(栗山町の実践) 【計画内容】福祉のまち、栗山町で推進されてきた人にやさしいまちづくりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】居住環境整備について栗山町のホームページを検索する。	A
	第2回	【テーマ】オリエンテーション② 【計画内容】再度、シラバスの内容について解説し、各自が調べたユニバーサルデザインの用語についてディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】ユニバーサルデザインの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第10回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画① 【計画内容】各自が家族と住んでいる住宅を図面及びスケッチ等で表現する。 【授業時間外の学修内容】各自が家族と住んでいる住宅の資料を入手する。	A
	第3回	【テーマ】居住環境整備(生活福祉空間づくり)の意義と目的及び簡単な間取りの描き方 【計画内容】テキストを使用して、北国の生活福祉空間づくりとバリアフリーについて解説する。簡単な間取りの書き方・製図記号を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活福祉空間づくりの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第11回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画② 【計画内容】改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A
	第4回	【テーマ】人にやさしいすまい・高齢者配慮住宅 【計画内容】人にやさしいすまいの配慮について、実際に札幌市内に建設された高齢者配慮住宅・モデル住宅、等から設計のポイント、基準寸法、各室の設計、設備計画について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第12回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画③ 【計画内容】改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A
	第5回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース① 【計画内容】高齢者配慮住宅の1階平面図、1/100の図面をトレース(写す)する。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の1階平面図、1/100の図面を読み取る。	A	第13回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画・中間発表会 【計画内容】中間発表として各自が改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を作成しプレゼンテーション(作図・口頭発表)をポルト内のモデル住宅見学を含め北方圏学術研究センターで行う。 【授業時間外の学修内容】各自、中間発表の練習を行う。	A
	第6回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース② 【計画内容】高齢者配慮住宅の2階平面図、1/100の図面をトレース(写す)する。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の2階平面図、1/100の図面を読み取る。	A	第14回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画④ 【計画内容】各自が中間発表で提案した内容について追加・訂正を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A
	第7回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース③ 【計画内容】高齢者配慮住宅の1・2階平面図、1/100の図面を完成させる。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の1・2階平面図、1/100の図面を読み取る。	A	第15回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画・最終発表会 【計画内容】最終発表として各自が改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を作成しプレゼンテーション(作図・口頭発表)を行う。 【授業時間外の学修内容】各自、最終発表の練習を行う。	A
	第8回	【テーマ】ユニバーサルデザインの住宅設計指針・モデル住宅、等(帯広市の実践) 【計画内容】実際に帯広市が推進したユニバーサルデザインのすまいの考え方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】居住環境整備について帯広市のホームページを検索する。	A			

テキスト	佐藤克之、2008年、『人にやさしいまちづくり・住まいづくりフォトマニュアル』、ライフシステム研究所
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　技術・家庭編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　家庭編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法		
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明する。	
資格		
その他	授業では、住宅の平面図・スケッチ等を書くので、三角定規、0.3シャープペン、色鉛筆、消しゴムを必要とする。	

科目名	住生活学	授業形態	講義・演習	単位数	2

教員名	佐藤　克之	
授業の目的	ねらい	自立に向けた居住環境の整備(生活福祉空間づくり)についての生活支援技術を学ぶ。寒冷地での高齢者等の住まいなどの相談に役立つバリアフリー・ユニバーサルデザイン等の基礎的な知識を学び、関係職種と連携して図面及びスケッチなどで打ち合わせができる基礎的な能力を身につける。
	到達目標	(1)自立に向けた居住環境の整備の理解。 (2)寒冷地での高齢者等の住まいなどの相談に役立つ基礎的な知識の理解。 (3)図面及びスケッチ等の基礎的な技術能力の理解。 (4)プレゼンテーション(作図・口頭発表)の理解。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション① 【計画内容】シラバスの内容について解説し、使用するテキストを紹介し各自が調べたバリアフリーの用語についてディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】バリアフリーの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第9回	【テーマ】人にやさしいまちづくり・リフォームヘルパー制度、等(栗山町の実践) 【計画内容】福祉のまち、栗山町で推進されてきた人にやさしいまちづくりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】居住環境整備について栗山町のホームページを検索する。	A
	第2回	【テーマ】オリエンテーション② 【計画内容】再度、シラバスの内容について解説し、各自が調べたユニバーサルデザインの用語についてディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】ユニバーサルデザインの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第10回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画① 【計画内容】各自が家族と住んでいる住宅を図面及びスケッチ等で表現する。 【授業時間外の学修内容】各自が家族と住んでいる住宅の資料を入手する。	A
	第3回	【テーマ】居住環境整備(生活福祉空間づくり)の意義と目的及び簡単な間取りの描き方 【計画内容】テキストを使用して、北国の生活福祉空間づくりとバリアフリーについて解説する。簡単な間取りの書き方・製図記号を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活福祉空間づくりの用語について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第11回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画② 【計画内容】改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A
	第4回	【テーマ】人にやさしいすまい・高齢者配慮住宅・モデル住宅、等 【計画内容】人にやさしいすまいの配慮について、実際に札幌市内に建設された高齢者配慮住宅・モデル住宅、等から設計のポイント、基準寸法、各室の設計、設備計画について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅について厚生労働省及び国土交通省のホームページから検索する。	A	第12回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画③ 【計画内容】改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A
	第5回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース① 【計画内容】高齢者配慮住宅の1階平面図、1/100の図面をトレース(写す)する。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の1階平面図、1/100の図面を読み取る。	A	第13回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画・中間発表会 【計画内容】中間発表として各自が改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を作成しプレゼンテーション(作図・口頭発表)を行う。 【授業時間外の学修内容】各自、中間発表の練習を行う。	A
	第6回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース② 【計画内容】高齢者配慮住宅の2階平面図、1/100の図面をトレース(写す)する。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の2階平面図、1/100の図面を読み取る。	A	第14回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画④ 【計画内容】各自が中間発表で提案した内容について追加・訂正を行う。 【授業時間外の学修内容】各自が必要とする追加資料を入手する。	A
	第7回	【テーマ】高齢者配慮住宅のトレース③ 【計画内容】高齢者配慮住宅の1・2階平面図、1/100の図面を完成させる。 【授業時間外の学修内容】高齢者配慮住宅の1・2階平面図、1/100の図面を読み取る。	A	第15回	【テーマ】自宅のバリアフリー改造計画・最終発表会 【計画内容】最終発表として各自が改造前の平面図を基にバリアとなる問題点を指摘し、改造後の提案を作成しプレゼンテーション(作図・口頭発表)を行う。 【授業時間外の学修内容】各自、最終発表の練習を行う。	A
	第8回	【テーマ】ユニバーサルデザインの住宅設計指針・モデル住宅、等(帯広市の実践) 【計画内容】実際に帯広市が推進したユニバーサルデザインのすまいの考え方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】居住環境整備について帯広市のホームページを検索する。	A			

テキスト	佐藤克之、2008年、『人にやさしいまちづくり・住まいづくりフォトマニュアル』、ライフシステム研究所
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　技術・家庭編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　家庭編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法		
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明する。	
資格	[健]介護福祉士_必修	
その他	授業では、住宅の平面図・スケッチ等を書くので、三角定規、0.3シャープペン、色鉛筆、消しゴムを必要とする。	

科目名	障害のある人の理解	授業形態	講義	単位数	2

教員名	山道　祐子

授業の目的		
	ねらい	障害のある人の心理や身体機能を理解し、地域や家族を含めた障害のある人の生活支援について学習します。障害のある人とどう向き合うか、『障害』をどうとらえるか、ICF や障害者福祉制度を通して考えます。どんなに障害が重くとも障害のある人の「意思」と「自己決定」を尊重し支援することの重要性を学びます。また、障害を持つ本人のみではなく家族を含めた周囲の環境にも目を向け、地域でのサポート体制についても考える機会とします。
	到達目標	(1)障害者福祉の基本理念を理解する。 (2)障害種別ごとの身体的・心理的側面をふまえた生活と障害に応じた支援について理解する。 (3)自己決定に基づいた支援計画の必要性を理解する。 (4)家族支援のあり方を学ぶ。 (5)地域における多職種連携及び協働について学びチームアプローチのあり方を洞察する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】本科目のガイダンス・障害の概念 【計画内容】障害の概念(ICF の視点から)を捉え、自分の障害者観を客観視しながら考えてみます。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容・テキスト第1章第1節を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】精神障害のある人の理解 【計画内容】医学的・心理的・生活の視点から理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章第2節を読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】障害者福祉の基本理念 【計画内容】ノーマライゼーション・リハビリテーション・インクルージョン・自己決定・エンパワメント・権利擁護にについて、それぞれの意味や思想潮流を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章第2節を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】高次脳機能障害のある人の理解 【計画内容】医学的・心理的・生活の視点から理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章第3節を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】障害者福祉に関連する制度・障害者福祉制度と介護保険制度 【計画内容】障害者にかかる法律の概要について学びます。また、障害者福祉制度と介護保険制度の違いを学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章第3節4節を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】発達障害のある人の理解 【計画内容】医学的・心理的・生活の視点から理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章第4節を読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】肢体不自由(運動機能障害)のある人の理解 【計画内容】医学的・心理的・生活の視点から理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章第2節を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】難病のある人の理解・障害のある人の心理 【計画内容】医学的・心理的・生活の視点から理解します。障害受容の段階に応じた支援のポイントを理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章第5節・第2章第1節を読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】視覚に障害のある人・聴覚、言語に障害のある人の理解 【計画内容】医学的・心理的・生活の視点から理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章第3節第4節を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】地域のサポート体制・チームアプローチ 【計画内容】事例を通し、障害者が地域で生活するための社会資源の活用について考えます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第4章第1節第2節を読んでおくこと。	A・H
	第6回	【テーマ】重複障害・重症心身障害のある人の理解 【計画内容】医学的・心理的・生活の視点から理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章第5節第7節を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】家族への支援 【計画内容】事例を通し、サービス等利用計画を作成します。障害のある本人のみではなく家族への支援を含めて考えます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章第1節第2節を読んでおくこと。	A・H
	第7回	【テーマ】内部障害のある人の理解 【計画内容】医学的・心理的・生活の視点から理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章第6節を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】全体の振り返り 【計画内容】各回で学んだ内容を振り返ります。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	L
	第8回	【テーマ】知的障害のある人の理解 【計画内容】医学的・心理的・生活の視点から理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章第1節を読んでおくこと。	A			

テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編、2019年、『最新介護福祉士養成講座14　障害の理解』、中央法規
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%				40%	30%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	介護福祉士(障害者支援施設)・サービス提供責任者(障害者就労支援事業所)
		科目との関連	障害者の施設入所支援・地域での生活を支援してきた経験から失敗例も含め事例を提示しながら、様々な障害を持ちながら生活している当事者とどう向き合っていくべきかを一緒に考えていきたい。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	

科目名	専門演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	「専門演習Ⅰ」では、1年次から学習してきた福祉・介護・健康に関する基礎知識並びにスタディスキルズをもとに、それらに関連する専門分野の内容をより深め、研究の基礎を学習することを目的とします。福祉・介護・健康分野へのより高い関心・問題意識を持つことができるように、少人数のゼミナール形式で展開します。教員・学生双方の協力によって積極的なゼミナールを運営し、学習を深めていきます。				
	到達目標	(1)専門領域に関して専門的内容を理解する。 (2)ゼミナール内での発表や質疑応答などのディスカッションの経験を通してコミュニケーション能力を高める。 (3)専門領域における問題意識・課題を見つける。				
授業の計画	【計画内容】 第1回 オリエンテーション：指導教員ごとに少人数のゼミナール形式で行い、スケジュールや扱うテーマなどについて説明します。展開の詳細は指導教員によって異なるところがあります。 第2回～第7回 専門領域を知る：ゼミナールでの学習の仕方を学び、専門領域に関する知識や技術を得る方法等を学びます。 第8回～第14回 専門領域における興味・関心を高める：専門領域に関する文献を読み、また実践活動に参加しながら、関心を高め、理解を深めます。また文献から理解した内容や経験の振り返りをまとめ、発表・ディスカッションを行い、「書く」スキルと「伝える」スキルを高めます。 第15回 まとめと振り返り：これまでの学習やゼミナールでの活動を振り返り、後学期の「専門演習Ⅱ」に向けて方向性を明確にします。 【授業時間外の学修内容】提示された文献を事前に読み、レジュメを作成する。活動へ参加する際は、事前学習を行い、目的意識をもって参加すること。					A B・H・J F・H・J・M L

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レジュメ・レポート		発言や活動の積極性	

課題に関するフィードバックの方法	取り組み課題へのフィードバック方法は担当教員によって異なりますので適宜担当教員から説明します。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に各担当教員から具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	専門演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	「専門演習Ⅱ」では、「専門演習Ⅰ」で学習した福祉・介護・健康に関する専門分野の基礎知識や活動をもとに、それらに関連する内容をより深めます。個々の学生が専門領域における問題意識をもち、その解決のために必要な基本的な知識・技術を学習します。教員・学生双方の協力によって積極的なゼミナールを運営し、学習を深めていきます。			
	到達目標	(1)専門領域に関して専門的内容を理解する。 (2)ゼミナール内での発表や質疑応答などのディスカッションの経験を通してコミュニケーション能力を高める。 (3)専門領域における自分の興味・関心あることを見つけ、問題意識を持つ。			
授業の計画	【計画内容】 第1回 オリエンテーション：「専門演習Ⅱ」は基本的には「専門演習Ⅰ」と同じ指導教員のもとで展開します。少人数のゼミナール形式で行い、スケジュールや扱うテーマなどについて説明します。展開の詳細は指導教員によってことなるところがあります。 第2回～第7回 専門領域を深める：「専門演習Ⅰ」に引き続き、専門領域に関する自身の興味・関心を高め、理解を深めます。 第8回～第14回 専門領域における問題意識を持つ：専門領域に関する文献講読や実践活動への参加を通して、自ら問題意識を持ち、そのことについて深く探求していきます。また、文献から理解した内容や経験の振り返りをまとめ、発表・ディスカッションを行い、「書く」スキルと「伝える」スキルをさらに高めます。 第15回 まとめと振り返り：これまでの学習やゼミナールの活動を振り返り、次年度の「専門演習Ⅲ」に向けて方向性を明確にします。 【授業時間外の学修内容】提示された文献を事前に読み、レジュメを作成する。活動へ参加する際は、事前学習を行い、目的意識をもって参加すること。				A B・H・J F・H・J・M L
テキスト	講義時に説明します				
参考書	講義時に説明します				

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レジュメ・レポート		発言や活動の積極性	

課題に関するフィードバックの方法	取り組み課題へのフィードバック方法は担当教員により異なりますので、適宜担当教員から説明します。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に各担当教員から具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	介護技術演習Ⅳ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	笹木　笑子				

授業の目的		
	ねらい	本講義では、介護を必要とする人がどのような状態であっても、生を実感し、その人らしく生活することを支援するための、考察力・実践力を身につける。 介護を必要とする対象者の年齢的特性・障がいの種類による特性を理解したうえで、生活を豊かにするための支援方法を演習を交えて学ぶ。
	到達目標	(1)利用者の状況について共感的に理解するとともに、個別性のある生活支援とは何かを考えることができる。 (2) ICF の概念に基づくアセスメントから、生活の豊かさを提供する介護サービスを理解する。 (3)支援を効果的に行うための、アプローチ、プロセスを理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	B	第9回	【テーマ】高齢者の豊かさの支援(1)～在宅サービス系施設での支援～ 【計画内容】介護を必要とされている、在宅高齢者の生活支援について、地域社会とのつながり、生活空間の維持、拡大するための方法につい学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B
	第2回	【テーマ】ICF の概念に基づく豊かさの支援 【計画内容】「生活の豊かさ」について考えます。個人を対象にしたレクリエーション・アクティビティについて学びます。 【授業時間外の学修内容】「ICF の概念」について1～2年次の学習を見直すこと。	A・B	第10回	【テーマ】高齢者の豊かさの支援(2)～高齢者福祉施設での支援～ 【計画内容】高齢者福祉施設でのレクリエーション支援についてのアプローチ、プロセスを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・B
	第3回	【テーマ】日常生活の再構築と活性化～TR を活用した支援～ 【計画内容】リハビリテーションと介護予防の視点からレクリエーション支援について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B	第11回	【テーマ】レクリエーション支援の実際 【計画内容】目的、対象者に合わせたレクリエーション支援の実際を示し演習を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を熟読して、質問などを整理しておくこと。	B・E
	第4回	【テーマ】生活の豊かさを引き出すための支援～生活の3分割と支援～ 【計画内容】生活の豊かさを引き出す支援について、介護福祉士の役割と可能性を考えます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	A・B	第12回	【テーマ】豊かさの支援「プランニング(1)」 【計画内容】生活の豊かさの視点から、高齢者福祉施設におけるレクリエーションの実施計画を作成します。 【授業時間外の学修内容】高齢者福祉施設でのレクリエーションの資料・文献に目を通すこと。	A・K
	第5回	【テーマ】介護レクリエーションの実際 【計画内容】高齢者福祉施設で活用できる、具体的なレクリエーション支援の取り組みを学びます。現場で使えるレクリエーション財の作成。 【授業時間外の学修内容】示されたテーマを基にアクティビティを考えてくる。	B・E	第13回	【テーマ】豊かさの支援「プランニング(2)」 【計画内容】生活の豊かさの視点から、高齢者福祉施設におけるレクリエーションの実施計画書を作成します。 【授業時間外の学修内容】計画書、企画書の作成に向けて、資料などの準備をしておくこと。	A・K
	第6回	【テーマ】対象者に合わせた支援～高齢者への豊かさの支援～ 【計画内容】高齢者の歩まれた人生から、個々人に合わせた豊かさの支援と、支援時の配慮について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおくこと。	A・B	第14回	【テーマ】豊かさの支援「企画発表」 【計画内容】グループごとに立案したレクリエーションの実施計画を発表し、学びます。 【授業時間外の学修内容】発表の準備をしておくこと。	H・L・N
	第7回	【テーマ】対象者に合わせた支援～障がいや疾病に応じた豊かさの支援～ 【計画内容】対象者の障がいや疾病に応じた豊かさの支援と支援時の配慮について学びます。 【授業時間外の学修内容】障がいの特徴に関する文献、資料を読んでおくこと。	A・B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】半期の学びを振り返り、生活支援者としての役割について考察します。 【授業時間外の学修内容】これまでに配付したプリント、学習記録を復習し理解を深めること。	A・L
	第8回	【テーマ】目的に合わせた支援～アセスメントからアレンジまでのプロセス～ 【計画内容】「生きがい」「その人らしさ」を支援するレクリエーションアクティビティを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B			

テキスト	講義時にプリントを配付します
参考書	講義時に紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%	20%	40%		20%	
	補足	確認テスト	企画発表	課題提出		意欲、態度、出席状況	

課題に関するフィードバックの方法	第15回で、課題の支援計画書を返却、発表の内容をふり返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	社会教育、保健予防、高齢者福祉事業、福祉施設でのレクリエーション指導担当者
		科目との関連	福祉、医療、教育現場での指導経験を活かし、現場で実践できるレクリエーション技法を教授する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	グループワークの演習では主体的に学ぶ姿勢を期待します。 実践的な学びを取り入れるため、シラバス構成を変更する場合があります。

科目名	介護技術演習Ⅴ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	梶　晴美、菅原　ひとみ、吉田　重子				

授業の目的		
	ねらい	情報器官に障がいのある方の情報保障の意義とコミュニケーション方法および生活支援についてを学び、自立を目指した生活支援の基本を理解する。手話や点字の基本を実際に学ぶことにより、情報保障とその支援について考える。本科目は視覚障害、聴覚障害、盲ろう障害をもつ当事者および支援者らから支援を実践的に学ぶ。盲人養護老人ホームの見学を通して感覚障害を補う暮らしやすい環境整備および支援の実際を学ぶ。
	到達目標	(1)情報器官に障がいのある人の情報保障の意義とコミュニケーション方法を理解する。 (2)視覚障がいと視覚障がい者の生活を理解し、点字の基本・ガイドヘルプおよび自立を支える制度・支援の概要がわかる。 (3)聴覚障がいと聴覚障がい者の生活を理解し、手話の基本および自立を支える制度・支援の概要がわかる。 (4)盲ろう障がいを理解し、盲ろう者の生活課題とコミュニケーション方法がわかる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション、視覚障がいとは？ 【計画内容】授業を紹介し、15回の授業展開を説明する。視覚障がいの概要について学ぶ。(梶晴美・吉田重子) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・B	第9回	【テーマ】視覚障がいのある人の生活支援の実際2- 振り返り 【計画内容】盲人養護老人ホームの見学を通して、生活支援を学ぶ。見学後に振り返りのレポート課題を課す。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】見学を振り返り、学びをレポートにまとめる。	M・L
	第2回	【テーマ】視覚障がいの理解　障がいに伴う情報の不足を補う支援の在り方 【計画内容】視覚障がい者とのコミュニケーションの取り方、暮らしやすく安全な環境作りを学ぶ。 (吉田重子) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定個所を読んでおくこと。	A・B	第10回	【テーマ】聴覚障がいとは？ 【計画内容】聴覚障がいについての基礎知識を学ぶ。(菅原ひとみ) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定個所を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】コミュニケーション手段としての点字 【計画内容】点字の基本を学び、点字を書く体験を行う。(吉田重子) 【授業時間外の学修内容】前時に配付するプリントを読んでおくこと。	A・E	第11回	【テーマ】聴覚障がい者の生活 【計画内容】聴覚障がい当事者から日常生活における課題を聞き、その対応方法を理解する。(聴覚障がい者講師・菅原ひとみ) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントを読んでおくこと。	A・E
	第4回	【テーマ】視覚障がい者(児)の生活を支える制度について 【計画内容】日常生活用具、同行援護等の福祉制度、および、教育や他施設・他職種との連携について学ぶ。 (吉田重子) 【授業時間外の学修内容】これまでの授業感想を簡単なレポートにまとめておくこと、授業前半のまとめとして提出を求めます。	A	第12回	【テーマ】手話の基礎知識 【計画内容】手話の基礎を学び、簡単な挨拶等体験的に学習する。(聴覚障がい者講師・菅原ひとみ) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	E
	第5回	【テーマ】視覚障がいの理解　障がいに伴う移動の不便さを補う支援の在り方 【計画内容】ガイドヘルプを中心に学び、ガイド体験を行う。(吉田重子) 【授業時間外の学修内容】前時に配付するプリントを読んでおくこと。	A・E	第13回	【テーマ】聴覚障がい者のコミュニケーション～手話・もう一つの言語～ 【計画内容】聞こえない人のコミュニケーション方法及び日本の手話の歴史や特徴を学ぶ。(菅原ひとみ) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントを読んでおくこと。	A・E
	第6回	【テーマ】体験演習 【計画内容】まとめとして、グループワークにより学生各自が体験し、発表を行う。(吉田重子) 【授業時間外の学修内容】前回までの学習内容を復習し、レポート作成の準備とする。	F・H	第14回	【テーマ】聴覚障がい者福祉制度 【計画内容】聴覚障がい者活動の歴史を学習し、関連する聴覚障がい者福祉施策を理解する。(菅原ひとみ) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントを読んでおくこと。	A・E
	第7回	【テーマ】盲ろう者の理解 【計画内容】盲ろう障害の当事者による講義を通して、盲ろうという障害について学び、その生活課題およびその支援とコミュニケーション方法の実際について学ぶ。授業後レポート課題を課す。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】盲ろう障がいについて調べ、質問・疑問を整理してくること。	A・E	第15回	【テーマ】体験演習 【計画内容】学生自身が学習し、体験したことを手話で発表する。(菅原ひとみ) 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	F
	第8回	【テーマ】視覚障がいのある人の生活支援の実際1- 施設見学 【計画内容】盲人養護老人ホームの見学を通して、生活支援を学ぶ。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】盲人養護老人ホームについて事前に調べておくこと。	M			

テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会、2019年、『最新介護福祉士養成講座8 生活支援技術Ⅲ』、中央法規出版、978-4-8058-5768-7
参考書	野村豊子、2010年、『コミュニケーション技術』、ミネルヴァ書房、9784623052929 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会編、2019年、『初めての点訳　第3版』、特定非営利活動法人 全国視覚障害者情報提供施設協会、978-4-907272-24-1 吉田重子、2009年、『点字からはじまるメッセージ』、北海道新聞社、978-4-86368-006-7 うおやま、2019年、『ヤンキー君と白杖ガール第1巻～』、KADOKAWA

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足			レポート・プレゼンテーション			

課題に関するフィードバックの方法	視覚障害の課題は、担当者がコメントを入れて返却するので、必ずコメントを読んでください。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	吉田重子／視覚障害当事者　菅原ひとみ／現役手話通訳者
		科目との関連	吉田重子／当事者の立場を通して視覚障害者の支援について教授する。菅原ひとみ／現役手話通訳者として、当事者を交えて教授する

質問への対応	各授業内容に関しては授業終了時に各担当者へ。梶への質問はチームズまたはオフィスアワーで。吉田先生の授業資料については梶研究室へ。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	外部講師や当事者の講義が多いのでできるだけ欠席をしないよう整えて下さい。 施設見学は日程調整のうえ行うため授業回が変更になる場合があります。また状況により見学ができない場合は代替えになります。

科目名	介護過程Ⅳ（知的・精神障害者、内部疾患者）	授業形態	演習	単位数	1
教員名	山道　祐子				

授業の目的	
ねらい	個人の生活をとらえ支援方法を考える介護過程について、今までの学習及び実習を基に理解を深めます。特に「介護過程Ⅳ」では、利用者の生活及び年齢とともに心身に障害をもつことによる生活への影響を考えていきます。また、本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得する学習とします。
到達目標	(1)心身の障害について、特徴を介護の視点で述べることができる。 (2)個人の生活や思いを重視した介護過程を展開する。 (3)事例について個別性を考慮した介護計画を立てることができる。

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】15回の講義の展開内容や方法について説明します。 【授業時間外の学修内容】「介護過程Ⅰ」の内容を復習しておくこと。シラバスを読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】知的障害ある方への理解2 【計画内容】認知力・生活体験・ライフステージの関係を考慮した支援について理解します。 【授業時間外の学修内容】意思表示やコミュニケーションの方法について考える	A・L
第2回	【テーマ】受け持ち利用者の紹介 【計画内容】「介護実習Ⅰ」における受け持ち利用者の障害の状況を説明し、障害の種類・生活状況を相互に学びます。 【授業時間外の学修内容】説明するための資料整備。	B	第10回	【テーマ】中間のまとめと確認 【計画内容】障害のある方の生活についての理解を専門的な語句を用いて確認します。 【授業時間外の学修内容】9回までの講義の内容を復習しておくこと。	B
第3回	【テーマ】内部障害のある人の理解1- 心臓機能障害、呼吸機能障害 【計画内容】心臓機能障害及び呼吸機能障害の説明を行い、日常生活上の困難さと生活支援上の留意点を振り返ります。 【授業時間外の学修内容】心機能、呼吸機能について復習する。	A・L	第11回	【テーマ】自立に向けた年齢特徴に応じた課題 【計画内容】心身の障害と年齢特性に応じた課題を、生活上の課題としてとらえていきます。 【授業時間外の学修内容】各年代の特徴と社会参加の状況を確認する。	A・B
第4回	【テーマ】内部障害のある人の理解2- 腎臓機能障害、排泄機能障害、免疫機能障害 【計画内容】腎機能障害、排泄機能障害、免疫機能障害について説明し、生活に必要な用具などについても確認します。社会生活を継続するための支援についても言及します。 【授業時間外の学修内容】腎機能、排泄機能について復習する。	A・L	第12回	【テーマ】介護過程の実践的展開1- 障害の理解・個人生活の理解を踏まえたアセスメント 【計画内容】知的障害のある方の事例をグループワークにより検討します。利用者の思い、介護の視点で考えることを中心に議論します。 【授業時間外の学修内容】事例の検討課題を各自取り組む。	B・H
第5回	【テーマ】難病のある方への理解 【計画内容】難病について説明し、介護保険法・障害者総合支援法との関連等サービス体系にも言及する。難病のある方への支援、家族への支援について考えます。 【授業時間外の学修内容】介護保険の特定疾患を把握しておくこと。	A	第13回	【テーマ】介護過程の実践的展開2- 事例の課題抽出 【計画内容】各自の課題を基にグループワークにより議論します。利用者の思い、大事にしていること、医学的身体的状況も組み入れます。 【授業時間外の学修内容】課題の根拠等、各自が説明する準備をする。	B・H
第6回	【テーマ】精神障害のある方への理解1 【計画内容】精神障害のある方の現状と介護における生活支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】精神障害の種類と特性を把握しておくこと。	A	第14回	【テーマ】介護過程の実践的展開3- 事例の介護計画立案 【計画内容】アセスメントに基づき介護計画を立案します。グループごとに発表し目標・具体策の設定の根拠を話し合います。 【授業時間外の学修内容】生活上の課題設定の根拠を振り返る。	B・H
第7回	【テーマ】精神障害のある方への理解2 【計画内容】医療・福祉サービスを含む様々な社会資源を使った幅広い支援について理解します。 【授業時間外の学修内容】精神障害者に対する医療・福祉サービスを整理する。	A・L	第15回	【テーマ】介護過程の実践的展開4- 介護計画の評価 【計画内容】立案した介護計画を利用者視点で考察します。 【授業時間外の学修内容】利用者の思い、介護者の役割について考察する。	B・H
第8回	【テーマ】知的障害ある方への理解1 【計画内容】知的障害のある方の生活の実際と介護における生活支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】知的障害の状態像を把握しておくこと	A			

テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会、2019年、『介護過程』、中央法規 プリントを使用します
参考書	介護福祉士養成講座編集委員会、2019年、『生活支援技術Ⅲ』、中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会編、2019年、『障害の理解』、中央法規

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足			課題提出・発表			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	介護福祉士（障害児者支援施設）・サービス提供責任者（障害者就労支援事業所）
	科目との関連	障害児者の通所及び入所施設や地域での生活支援の経験から当事者主体の支援とは何かを考えていく。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	「介護過程Ⅰ」を履修済みであること。

科目名	介護過程Ⅴ（在宅支援）	授業形態	演習	単位数	1
教員名	佐藤　郁子				

授業の目的		
	ねらい	介護過程の理論と実習体験を関連付けながら、介護過程を展開する能力を養います。特にICFの概念を取り入れ目標指向介護を目指すとともに、在宅介護での事例を中心にその展開方法を学びます。いままでの介護過程の学びを深め、実践的かつ自発的に学ぶことができるように講義を展開したいと思います。
	到達目標	(1) ICFの概念に基づき、生活場面でのアセスメントの視点を理解できる。 (2)利用者の能力を引き出すアセスメントやニーズについて理解を深める。 (3)在宅における多様な支援について、根拠に基づき記録することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介、15回の展開内容や方法について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例4-1 【計画内容】グループホームで生活する障害者の事例を通してアセスメントの視点について学びます。 【授業時間外の学修内容】本講義を踏まえ、事例の理解を深めて次回参加するようにして下さい。	K
	第2回	【テーマ】生活場面におけるアセスメントについて 【計画内容】ICFの概念を振り返り、生活場面におけるアセスメントの視点を事例から考察します。 【授業時間外の学修内容】ICFの概念について復習しておいて下さい。	A	第10回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例4-2 【計画内容】前回の講義を踏まえ、事例のニーズや支援を中心にグループで理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】授業時に配付したワークシートを作成してグループワークに参加して下さい。	H
	第3回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例1-1 【計画内容】在宅で生活する高齢者の事例を通してアセスメントの視点について学びます。 【授業時間外の学修内容】本講義を踏まえ、事例の理解を深めて次回参加するようにして下さい。	A	第11回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例5-1 【計画内容】家族との関係調整を必要とする事例を通してアセスメントの視点について学びます。 【授業時間外の学修内容】本授業を踏まえ、事例の理解を深めて次回参加するようにして下さい。	K
	第4回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例1-2 【計画内容】前回の講義を踏まえ、事例のニーズや支援を中心にグループで理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】授業時に配付したワークシートを作成してグループワークに参加して下さい。	H	第12回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例5-2 【計画内容】前回の講義を踏まえ、事例のニーズや支援を中心にグループで理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義時に配付したワークシートを作成してグループワークに参加して下さい。	H
	第5回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例2-1 【計画内容】在宅で生活する障害者の事例を通してアセスメントの視点について学びます。 【授業時間外の学修内容】本講義を踏まえ、事例の理解を深めて次回参加するようにして下さい。	K	第13回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例6-1 【計画内容】医療ニーズを必要とする事例を通してアセスメントの視点について学びます。 【授業時間外の学修内容】本講義を踏まえ、事例の理解を深めて次回参加するようにして下さい。	K
	第6回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例2-2 【計画内容】前回の講義を踏まえ、事例のニーズや支援を中心にグループで理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義時に配付したワークシートを作成してグループワークに参加して下さい。	H	第14回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例6-2 【計画内容】前回の講義を踏まえ、事例のニーズや支援を中心にグループで検討を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義時に配付したワークシートを作成してグループワークに参加して下さい。	H
	第7回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例3-1 【計画内容】グループホームで生活する高齢者の事例を通してアセスメントの視点について学びます。 【授業時間外の学修内容】本講義を踏まえ、事例の理解を深めて次回参加するようにして下さい。	K	第15回	【テーマ】まとめ・補足説明 【計画内容】いままでの学びを振り返り、各自の介護過程実践における課題を共有します。 【授業時間外の学修内容】授業時に配付した課題を作成、確認して参加して下さい。	A・L
	第8回	【テーマ】介護過程の実践的展開事例3-2 【計画内容】前回の講義を踏まえ、事例のニーズや支援を中心にグループで理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】授業時に配付したワークシートを作成してグループワークに参加して下さい。	H			

テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会、2019年、『新・介護福祉士養成講座9介護過程』、中央法規出版、9784805857694
参考書	講義時に必要に応じて資料を配付します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	「介護過程Ⅰ」を履修済みであること。

科目名	介護実習指導Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	古市　孝義、梶　晴美、竹田　千春、八巻　貴穂、小川　好子

授業の目的		
	ねらい	「介護実習Ⅰ」のまとめ、「介護実習Ⅱ」の事前、事後指導を行う。利用者を理解し、介護過程の展開に必要な能力を養い、介護福祉士を目指すための個別ケア実践の学習を深める。あわせて福祉施設におけるレクリエーションの実践的な展開方法を学ぶ。グループ学習やロールプレイを通し、より実践的な学習を行う。事例学習により、より具体的な介護過程の展開方法を理解できるようにする。
	到達目標	(1)学内で習得する講義と演習の統合をはかりながら、利用者を理解し、個別介護の必要性を理解する。 (2)利用者主体の介護過程を展開する方法を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】「介護実習Ⅰ」の学びの報告と自己評価 【計画内容】「介護実習Ⅰ」の振り返りと自己評価をします。実習後の事後学習について説明します。(古市孝義・八巻貴穂・竹田千春・小川好子) 【授業時間外の学修内容】「介護実習Ⅰ」の記録物を整理し、報告集原稿作成の準備をしておくこと。	A・H・L	第14回	【テーマ】実習カンファレンスの学び方、「介護実習Ⅱ」における記録について 【計画内容】実習カンファレンスの意義と目的、実習日誌をはじめとする記録物の情報整理から「介護実習Ⅱ」における学び方を考えます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・H・N
	第2回	【テーマ】介護過程の展開①～総合アセスメントから介護計画立案 【計画内容】「ケーススタディ」(アセスメント表)から介護計画立案の展開を学びます。(古市孝義・八巻貴穂・竹田千春・小川好子) 【授業時間外の学修内容】テキスト『介護過程』の必要な個所を見直すこと。	A・H・L	第15回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」激励会、諸注意 【計画内容】激励会と「介護実習Ⅱ」に係る諸注意の説明により、実習への意識を高めます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】配付したレジュメなどを見直し、実習の準備状況を確認すること。	A・H
	第3回	【テーマ】アセスメント表から介護計画立案へ 【計画内容】グループワーク：受け持ち事例の学びから介護計画立案に向けて事例検討を行います。(古市孝義・八巻貴穂・竹田千春・小川好子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を踏まえて、自己の「ケーススタディ」を見直すこと。	B・H	第16回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」帰校日 【計画内容】「介護実習Ⅱ」の折り返し時点で大学に戻り、実習での学びを振り返るとともに実習課題達成状況の確認や記録指導を行います。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】実習前半の記録を見直し、自己の実習状況について振り返ること。	A・H・L
	第4回	【テーマ】受け持ち事例のケアカンファレンス 【計画内容】グループワーク：受け持ち事例の学びからケアカンファレンス形式の事例検討を行います。(古市孝義・八巻貴穂・竹田千春・小川好子) 【授業時間外の学修内容】受け持ち事例の介護過程を振り返り事例報告の準備をすること。	B・H・J	第17回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」の学びの報告と事後学習のガイダンス 【計画内容】「介護実習Ⅱ」の振り返りをし自己評価を行います。「介護実習Ⅱ」の事後学習について説明をします。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】実習期間中の記録を見直し、自己の実習状況について考察をすること。	A・H・L
	第5回	【テーマ】実習報告会の学び方 【計画内容】実習報告会の意義と学びを深めるための参加態度を考え、「介護実習Ⅰ」報告会への準備をします。(古市孝義・八巻貴穂・竹田千春・小川好子) 【授業時間外の学修内容】「介護実習Ⅰ」の記録物を整理し提出をすること。	A・B・H	第18回	【テーマ】介護過程の展開(個別介護計画と実践・評価)① 【計画内容】介護過程の実施記録と評価の視点を中心に学びます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】「受け持ち利用者の記録」を整理し、報告集原稿作成の準備をすること。	B・H
	第6回	【テーマ】実習報告会の準備 【計画内容】実習報告会に向けて、報告原稿を精査し実践的な準備をするとともに、有意義な報告会となるよう運営について検討をします。(古市孝義・八巻貴穂・竹田千春・小川好子) 【授業時間外の学修内容】報告原稿を作成し、報告の準備をすること。	A・B・H	第19回	【テーマ】介護過程の展開(個別介護計画と実践・評価)② 【計画内容】グループワーク：各自、受け持ち利用者の事例を通して、介護過程の学びをまとめます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を踏まえて、自己の「受け持ち利用者の記録」を見直すこと。	B・H
	第7回	【テーマ】「介護実習Ⅰ」報告会 【計画内容】『介護実習Ⅰ報告集』に基づく実習報告プレゼンテーション及び質疑応答により、「介護実習Ⅰ」の学びを深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】『介護実習Ⅰ報告集』を熟読すること。	F	第20回	【テーマ】楽しみの支援②～レクリエーション計画実践の評価 【計画内容】レクリエーション計画と実践の記録を整理し、評価の視点を学びます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】レクリエーション実践の記録を整理し発表の準備をしておくこと。	A・B・H
	第8回	【テーマ】「介護実習Ⅰ」個人面談 【計画内容】「介護実習Ⅰ」の実習評価に関する個人面談を行います。(古市孝義・八巻貴穂・竹田千春・小川好子) 【授業時間外の学修内容】授業資料・実習記録の整理をし、「介護実習Ⅱ」に向けて自己の課題を明確にすること。	L	第21回	【テーマ】事例検討会①(レクリエーション) 【計画内容】グループワーク：レクリエーション計画と実践の報告を行い学びを共有します。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】レクリエーションの記録を整理し発表の準備をすること。	B・F
	第9回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」ガイダンス 【計画内容】「介護実習Ⅱ」への必要な準備を説明し、事前学習に何が必要かを考えます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】『介護実習要項』を熟読すること。	A・H	第22回	【テーマ】事例検討会②(介護過程) 【計画内容】グループワーク：個々に取り組んだ介護過程による事例検討で、学びを深めます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】「受け持ち利用者の記録」を整理し発表の準備をすること。	B・F・J
	第10回	【テーマ】介護過程の展開②～実施と評価について 【計画内容】介護計画実践の留意点、評価の視点を理解します。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】テキスト『介護過程』の必要な個所を見直すこと。	A・H	第23回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」報告会の準備、訪問介護実習に向けて 【計画内容】「介護実習Ⅱ」報告会の準備とともに訪問介護実習に向けたガイダンスを行います。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】『介護実習Ⅱ報告集』『介護実習要項』を熟読すること。	A・H
	第11回	【テーマ】楽しみの支援①～レクリエーション計画について 【計画内容】レクリエーション計画の立案、企画の実施方法について学びます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】レクリエーション活動援助法のテキスト・資料などを見直すこと。	A・H	第24回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」報告会 【計画内容】代表学生による介護過程実践報告および意見交換を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】『介護実習Ⅱ報告集』を熟読すること。	F・J
	第12回	【テーマ】事前学習発表 【計画内容】各自のテーマに沿った事前学習の発表・質疑応答を行い、個々の事前学習の学びを共有し深めます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】事前学習の発表内容をレジュメにまとめ、発表の準備をしておくこと。	F	第25回	【テーマ】「介護実習指導Ⅲ」に向けて 【計画内容】模擬ケアカンファレンスを実施し、他職種連携による介護支援の理解を深めます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を読み支援方法について検討しておくこと。	B・J
	第13回	【テーマ】特別講義「実習指導者の講義」 【計画内容】介護老人保健施設の実習指導者の講義から、実習について学びます。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】テキスト・参考書の関連項目を読み、施設種別について調べること。	A	第26回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」個人面談 【計画内容】「介護実習Ⅱ」の実習評価に関する個人面談を行います。(古市孝義・八巻貴穂・小川好子) 【授業時間外の学修内容】授業資料・実習記録の整理をし、今後の学習への課題を明確にすること。	L

テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会、2019年、『介護総合演習・介護実習』、中央法規出版、9784805857700 適宜レジュメを配付します
参考書	「介護概論」及び「介護過程」、「介護技術演習」のテキスト

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		50%	20%
	補足			事前学習、提出物、報告集			口頭発表、グループワーク

課題に関するフィードバックの方法	実習準備のために必要な課題、レポートなどはその都度確認し指導を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	梶晴美・小川好子／介護福祉士　古市孝義・竹田千春・八巻貴穂／看護師
		科目との関連	介護福祉士または看護師の経験を生かし、介護実習の指導にあたる

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	2年後学期(集中)の「介護実習Ⅰ」と3年前学期(集中)の「介護実習Ⅱ」を連続・並行で履修すること。 『介護実習要項』に定める履修要件を満たしていること。 本科目の受講状況その他により介護実習への準備不足と評価した場合は「介護実習Ⅱ」の履修を延期する場合がある。 「介護実習指導Ⅰ」を履修済みであること。

科目名	介護実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	6

教員名	古市　孝義、八巻　貴穂、小川　好子

授業の目的		
	ねらい	「介護実習Ⅰ」で習得した技術・知識・態度を基に、個別的なアセスメント・介護計画の作成・実施・評価を行い、個人に即した介護を実践する能力を養う。また、介護過程の実践を通して、利用者とともに生活環境を整えること、社会参加等、多角的な生活支援のあり方を学ぶ。
	到達目標	(1)利用者の生活を尊重し、人間関係を形成するとともに個別的介護技術の考察と実践ができる。 (2)介護過程を展開し利用者のニーズに即した援助方法を学び、介護理念を考察できる。 (3)レクリエーションの実施等、様々な角度からの生活支援を考える。 (4)介護職員チームとしての支援を理解し、報告・相談ができる。また他職種との連携を考える。 (5)地域で生活する利用者をとらえ、家族・地域社会とのつながりを考える。

授業の計画		
【計画内容】6週間の集中実習であり実習は障害者支援施設・介護老人保健施設・特別養護老人ホームから一箇所を選択して実習します。 ・第1段階(1～3週目) 施設の特徴を理解します。受け持ち利用者に対してアセスメントを行い、介護計画の立案を行います。(全教員) ・第2段階(4～6週目) 受け持ち利用者に対して、介護計画に基づいた介護を実践し評価します。様々な角度からの生活支援を考え、実践・評価・再アセスメントを行い、利用者の希望に沿った援助であるか考察します。施設で行われている行事等に参加し、家族・地域社会とのつながりを考えます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「介護実習指導Ⅱ」の授業にて準備学習に取り組むこと。	D

テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会、2019年、『介護福祉士養成介護総合演習・介護実習』、中央法規出版、9784805857700
参考書	「介護概論」及び「介護過程」、「介護技術演習」のテキスト

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			20%	20%	20%	40%
	補足			実習上の記録	ケーススタデイ	取り組み姿勢	施設による評価

課題に関するフィードバックの方法	実習中の課題については、カンファレンス時や帰校日等で指導を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	介護福祉士、看護師
		科目との関連	介護福祉士または看護師の経験を生かし、介護実習の指導にあたる

質問への対応	「介護実習指導Ⅱ」の授業時に具体的に説明します
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	「介護実習指導Ⅰ」「介護実習指導Ⅱ」と連続・並行で履修すること。 『介護実習要項』に示した「介護実習Ⅱ」の履修要件を充たしていること。 「介護実習指導Ⅱ」の受講状況や3年次開講の『介護福祉士受験資格取得の指定科目』の修得状況から判断して、介護実習への準備不足と判断した場合は、履修を認めない場合がある。

科目名	医療的ケアⅠ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	梶　晴美、竹内　美幸				

授業の目的

ねらい	介護福祉士が医療的ケアを行う意義と制度を理解し、「たんの吸引」と「経管栄養」を安全に実施するための知識・技能の基本的知識を身につけます。医行為に関する法律を理解した上で、医療的ケアに伴う感染予防の知識、リスクマネジメントを正しく理解します。また、安全な「たんの吸引」実戦に向けて、利用者・家族の立場に立ち、介護福祉士の専門性をいかした技術提供の基礎および留意点を修得することを目的とします。
到達目標	(1)利用者・家族の立場に立ち、医療的ケア実施の意義が理解できる。 (2)医療的ケア実施に必要な制度、感染予防の知識を持ち、介護福祉士の専門性を活かした技術提供の基礎を身につける。 (3)安全な「たん吸引」実践に向けて、その技術や留意点を修得する。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス、個人の尊厳・医療の倫理 【計画内容】「医療的ケア」を学習する全体構成を説明します。介護福祉士が医療的ケアを学ぶに当たり、個人の尊厳と自立、医療の倫理について確認します。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。テキストの該当箇所を読んでくること。	A	第12回	【テーマ】喀痰吸引とは② 【計画内容】喀痰吸引が必要な状態、人工呼吸器が必要な状態、人工呼吸器について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当個所を読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】保健医療に関する制度・医行為に関する法律について 【計画内容】保健医療、医行為についての法律を理解します。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでくること。	A	第13回	【テーマ】利用者や家族の気持ちと対応について 【計画内容】子どもの吸引について、利用者や家族の気持ちについて理解を深め、対応の仕方、説明の仕方について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当個所を読んでおくこと。	A・H
第3回	【テーマ】チーム医療と介護職の役割・感染予防の知識 【計画内容】チームとしての生活支援を行うための、介護職・医療職の連携を理解します。また、安全な生活環境としての感染予防の知識を学びます。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでくること。	A	第14回	【テーマ】喀痰吸引の器具の説明と使用方法 【計画内容】吸引に必要な物品と起坐位のしくみについて学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当個所を読んでおくこと。	A・B・E
第4回	【テーマ】生活環境の清潔と消毒法について・消毒と滅菌 【計画内容】日常の介護場面における清潔管理について学びます。消毒と滅菌の違いを理解し、介護者自身の健康管理とともに利用者の安全を守る方法を学びます。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでくること。	A・B	第15回	【テーマ】喀痰吸引の技術と留意点① 【計画内容】必要物品の清潔保持を感染対策の視点から理解し、準備をする上での留意点について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当個所を読んでおくこと。	A・B・E
第5回	【テーマ】たん吸引及び経管栄養の安全な実施について 【計画内容】たん吸引及び経管栄養を安全に実施することの意味を理解し、リスクマネジメントの考え方を学びます。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでくること。	A	第16回	【テーマ】喀痰吸引の技術と留意点② 【計画内容】安全に実施するために利用者の状態観察の視点を理解します。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当個所を読んでおくこと。	A・B・E
第6回	【テーマ】健康状態の把握① 【計画内容】普段の状態を知ること、顔色、食欲、行動、バイタルサインの測定など、健康観察の意義と方法について学びます。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでくること。	A・B	第17回	【テーマ】喀痰吸引の技術と留意点③ 【計画内容】感染予防の視点に立って、実施する手順と留意点を理解する。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当個所を読んでおくこと。	A・B・E
第7回	【テーマ】健康状態の把握② 【計画内容】顔色、食欲、行動、バイタルサインの測定など、健康観察の意義と方法について学びます。また急変状態とその対処方法についても学びます。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでくること。	A・B	第18回	【テーマ】喀痰吸引の技術と留意点④ 【計画内容】利用者の状態を理解したうえで、適切な報告と後片付けを理解します。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当個所を読んでおくこと。	A・B・E
第8回	【テーマ】ヒヤリハット、アクシデント報告 【計画内容】ヒヤリハット、アクシデント報告の必要性と報告書の記入について学びます。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでくること。	A・H	第19回	【テーマ】喀痰吸引により生じる危険と安全確認 【計画内容】喀痰吸引の技術と留意点を振り返りながら、危険の種類について理解を深める。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。第15回～18回までの授業内容を復習しておくこと。	A・H
第9回	【テーマ】呼吸のしくみとはたらき① 【計画内容】生命維持における呼吸の重要性を理解し、呼吸のしくみと主な呼吸機器株の名称、機能について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでくること。	A	第20回	【テーマ】急変・事故発生時の対応と事前対策 【計画内容】ヒヤリハット・アクシデントの実際と報告、報告書の書き方について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H
第10回	【テーマ】呼吸のしくみとはたらき② 【計画内容】呼吸器のはたらき(換気とガス交換)について学び、いつもと違う呼吸、呼吸の苦しさがもたらす苦痛と障害について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当個所を読んでおくこと。	A・B・E	第21回	【テーマ】喀痰吸引に伴うケアと報告と記録 【計画内容】痰を出しやすくするケアと体位について学び、職員間の連携や緊急時を含めた報告連絡方法について確認します。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。	A・B・H
第11回	【テーマ】喀痰吸引とは① 【計画内容】痰を生じて排出する仕組み、痰の貯留を示す状態、喀痰吸引とは何かを学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当個所を読んでおくこと。	A	第22回	【テーマ】喀痰吸引のまとめ 【計画内容】たん吸引の必要な事例の呼吸状態を把握し、実際のたん吸引技術を総合的にシュミレーターで確認します。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。マニュアルの要点をDVDで確認しておくこと。	B・E・L・N

テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編、2019年、『最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア』、中央法規、978-4-8058-5775-5
参考書	(社)全国訪問看護事業協会編、2012年、『介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト』、中央法規、9784805852507

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	60%				20%	20%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	看護師
	科目との関連	看護師の経験を生かし、介護福祉士が実施できる医療的ケアを教授する。

質問への対応	授業終了後に直接担当者まで
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	「介護実習Ⅱ」を履修予定であること。第23回目に筆記試験を行います。

科目名	医療的ケアⅡ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	竹内　美幸、梶　晴美				

授業の目的		
	ねらい	介護福祉士が行う医療的ケアに関して、主に経管栄養法に関する基本的な消化器系のしくみと働きを理解し、安全な「経管栄養法」の実施に向けて、利用者や家族の立場に立ち、介護福祉士の専門性を活かした技術提供の基礎および留意点を習得することを目的とします。また、急変時の対応方法についても習得します。
	到達目標	(1)利用者・家族の立場に立ち、経管栄養実施の意義が理解できる。 (2)安全な「経管栄養法」の実施に向けて、その技術や留意点を修得する。 (3)急変時の救急蘇生について習得する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業ガイダンス　食事介助の技術と留意点 【計画内容】授業の紹介、15回の展開内容や方法について説明します。食事支援での学びを復習し、食事の基本的知識やその留意点を確認します。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。食事に関する介護実習での経験を整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】経管栄養法の技術と留意点(1) 【計画内容】経管栄養法に必要な物品とそのしくみ、清潔保持方法について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A・B・E
	第2回	【テーマ】消化器系のしくみと働きについて 【計画内容】「こころとからだのしくみ」の復習とともに、経管栄養法を行うための必要な知識として消化器管の役割・機能について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】経管栄養法の技術と留意点(2) 【計画内容】経管栄養法に必要な物品の準備と留意点、利用者の観察内容等について学びます。(準備～利用者への説明と同意、実施前の観察、確認事項)(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A・B・E・L
	第3回	【テーマ】消化吸収のしくみとよくある消化器系の症状について 【計画内容】「こころとからだのしくみ」の復習とともに、経管栄養法を行うための必要な知識として消化、吸収、嚥下のしくみ、よくある消化器系の症状などについて学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】経管栄養法の技術と留意点(3) 【計画内容】前回までの手順を確認するとともに、実施終了までの観察と確認について学びます。(準備から終了までを確認)(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A・B・E・L
	第4回	【テーマ】経管栄養法とは　経管栄養法で注入する内容について 【計画内容】経管栄養法が必要とされる状態、そのしくみや種類について基本的な内容を学びます。栄養剤の種類、栄養剤の条件、保存方法、使用方法の留意点を学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A・B	第12回	【テーマ】経管栄養法の技術と留意点(4) 【計画内容】前回までの手順を確認するとともに、報告から後片付けまでについて学びます。(準備から記録までを確認)(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A・B・E・L
	第5回	【テーマ】経管栄養法の安全な実施について 【計画内容】経管栄養法を安全に実施することの意味、リスクマネジメントの考え方やその方法、実施にあたっての留意点を学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A・B・E	第13回	【テーマ】「医療的ケア演習」に向けて 【計画内容】「医療的ケアⅠ・Ⅱ」で学んできたことを振り返り、「医療的ケア演習」に向けて必要な準備や介護福祉士の役割を考察します。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	E・H・L
	第6回	【テーマ】経管栄養法に関連する消化器系の感染と予防について 【計画内容】消化器系の感染の可能性を示す状態について理解し、予防方法及び感染の疑いのあるときの対応について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A・H	第14回	【テーマ】急変状態と救急蘇生① 【計画内容】急変状態および救急蘇生法について学びます。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。復習課題に取り組む。	A
	第7回	【テーマ】経管栄養法を受ける利用者や家族の対応について　子どもの経管栄養について 【計画内容】経管栄養法を受ける利用者や家族の気持ちや実施にあたっての対応方法、説明と同意の重要性について学びます。経管栄養法を必要とする子どもの理解と、子どもの経管栄養法の留意点について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A・H	第15回	【テーマ】救急蘇生の実際 【計画内容】救急蘇生法の実際をビデオで学び、トレーニング用人形と教材を使って胸骨圧迫、人工呼吸、AED の使用方法について学びます。(梶晴美) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。前回の復習をしておく。	A・E
	第8回	【テーマ】経管栄養法により生じる危険・事後の安全確認 【計画内容】経管栄養法によって生じる危険・事故について理解し、事前・事後の安全確認について学びます。ヒヤリハット・アクシデントの対応と報告について学びます。(竹内美幸) 【授業時間外の学修内容】テキストの指定箇所を読んでおくこと。	A			

テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編、2019年、『最新介護福祉士養成講座15』、中央法規、978-4-8058-5775-5
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%				20%	20%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	看護師
		科目との関連	看護師の経験を生かし、介護福祉士が実施できる医療的ケアを教授する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	「医療的ケアⅠ」を履修していること。第16回に筆記試験を行います。

講義要綱

SYLLABUS

生涯スポーツ学部　3年次

2021年4月　発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511　江別市文京台23番地
TEL（011）386－8011
FAX（011）387－1542